

社会医療法人かりゆし会

ハートライフ病院 年報 第18巻 平成23年度
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI Heartlife hospital
Vol.18 2011(April 1, 2011 - March 31,2012)

年報発刊によせて



平成8年12月（開院9年目）の年報の内容を見てみると、介護保険の導入と医療保険領域における医療機関の機能分化について、次年度中に当院の進む道をさだめ、邁進したいものと記している。あれから16年の年月が経過しているが、当院の進む道は定まっただろうか。社会保障改革最終年度の2025年に向けて、ハートライフ病院の進む道を皆で論議し、未来像を描くことが望まれる。もう一つは医療従事者の研修の充実について、医療従事者の研修支援の範囲と程度を模索している過程であると同時に、高いレベル（医師卒後臨床研修指定病院）でも対応できる環境を整えつつあると書かれている。今、医師の後期研修・専門医研修を始め、更なる充実が喫緊の課題であろう。

平成19年3月に病院長を辞して、今は、医療機能の維持・向上を支えるのは「健全な医療経営」を旗印に、社会医療法人かりゆし会の盤石な経営基盤と近未来設計に携わり、週1回（2時間）の勉強会を行っている。経営の要の1番目は、医師をはじめ優秀なスタッフの確保・育成でしょう。2番目は、病院の医療の歴史と医療機能分化・医療連携を含めた地域における役割。3番目は、医療制度・診療報酬改定の動向と病院の目指す方向との位置の確認。4番目は、地域の人口動態で20～25年後の中部保健医療圏において、医療保険領域は1.3倍、介護保険領域は1.6倍の需要が生じるとされています。5番目は、病床利用率の確保と3番目に関与するDPC係数の推移と分析・対応。6番目は、人件費比率や材料費の適正化・改善等の内部の運営・経営努力。そして、可能なら部門・診療科別原価計算や疾患別原価計算が2重・3重入力なしで行えるようになる事です。7番目は、医療における消費税問題と、企業の病院経営参入および混合診療を押し進めるTPP、そして国家財政の行方でしょう。8番目は、目標を立てたら諦めずに貫き通す強い意志であろうと思います。今、がじまる薬局と本館の間の土地を購入し或いは長期の借地契約を結び、その土地に、3～4階建ての旧館の1.5倍の新館を2年前後内に増築する予定である。同時期に、介護支援を付帯した100室程度の高齢者向けの建物を準備中です。

社会医療法人 かりゆし会
理事長 安里 哲好

目次

年報発刊によせて 3

年報発刊によせての挨拶 6

病院概要 8

組織概要 8

病院名・8、所在地・8、連絡先・8、管理者一覧・8、理念・8、基本方針・8

施設概要 9

許可病床数・9、敷地面積及び建物概要・9、職員数・9、病院機能認定など・10、指定医療一覧・10、施設認定一覧・10

診療体制 11

標榜診療科目・11、その他、センター・専門外来など・11、受付時間・11、診療時間・11、休診日・11

地域医療支援病院認定 関連統計情報 12

紹介率（紹介率・逆紹介率）・12、共同利用・13、研修・13

財務情報 14、活動実績 15、今年度の主な出来事 17

患者統計・病歴統計 19

患者統計 20

外来・救急外来 20

外来 1 日平均患者数推移・20、地域別外来患者数・20、救急搬送件数推移と救急患者の入院数・21、消防署（地域）別救急搬送件数・21、外来化学療法室（がん化学療法外来）施行数推移・22

入院 23

3 指標・23、入院 1 日平均患者数推移（稼働）・24、ICU 患者統計・25、退院患者疾患別（病態）分類・27

部署別業務実績 29

医 局 30

各科概要・実績 34

内 科 34

呼吸器内科 36

循環器内科 38

消化器内科 40

血液内科 42

内科年度総括 44

小児科 45

心療内科 47

外 科 48

乳腺外来 53

外科年度総括 55

整形外科 56

形成外科 60

脳神経外科 62

眼科 64

耳鼻咽喉科 66

泌尿器科 68

産婦人科 70

皮膚科 73

放射線科 74

麻酔科 76

血液浄化部 80

救急総合診療部 82

医局総括 84

看護部 86

部門紹介 86

各部署概要・実績 90

外来 90

救急外来 93

人工透析室 95

手術室・中央材料室 98

ICU 100

西 2 階病棟（産婦人科） 103

3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科） 106

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科） 109

5 階病棟（消化器内科・小児科） 111

6 階病棟（血液内科） 113

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病） 116

看護部 年度総括 118

医療技術部 120

部門紹介 120

各部署概要・実績 121

放射線科 121

臨床検査科 125

臨床工学科 130

栄養科 138

薬局 141

リハビリテーション科 143

医療技術部 年度総括 148

医療安全管理室 150

感染対策管理室 154

栄養サポート室 160

内視鏡センター 164

予防医学センター 169

事務部 176

部門紹介 176

各部署概要・実績 177

総務課 177

財務課 179

用度課 181

診療情報管理室 182

請求業務課 185

医療情報管理室 186

地域医療連携室 188

経営企画室 193

施設管理課 195

料飲・販売 198

事務部 年度総括 200

委員会活動 201

医療安全管理委員会・202、医療ガス安全・管理委員会・203、医療事故対策委員会・204、医療廃棄物委員会・204、院内感染対策委員会・205、衛生委員会・206、NST・褥瘡対策委員会・207、エネルギー委員会・208、栄養管理委員会・209、化学療法委員会・210、がん対策推進委員会・211、呼吸器ケア委員会・212、個人情報対策委員会・212、診療録管理委員会・213、卒後診療研修管理委員会・214、地域医療支援病院運営委員会・215、治験審査委員会・216、薬事審議委員会・217、輸血療法委員会・218、臨床検査適正委員会・219、倫理委員会・220、安全管理委員会・221、DPC 委員会・221、緩和ケア委員会・222、診療報酬対策委員会・223、投書対策委員会・224、IT 推進委員会・225、クリティカルパス委員会・226、患者満足度向上委員会・227、健康増進委員会・228、医療機器安全管理委員会・229、広報委員会・230、年報作成委員会・231、救急・ICU 検討委員会・231、図書委員会・232、人事検討委員会・232、教育研修管理委員会・232、手術室運営委員会・233、診療材料等管理検討委員会・233、物品購入検討委員会・233、クリニック設立委員会・234

写真で見る

ハートライフ病院の 1 年 235

東日本大震災災害救助医療派遣 240

編集後記 242

年報発刊によせての挨拶



平成 23 年 3 月 11 日、東北大震災が起こり 1 万 9 千人の方が命を失い、多くの方が被災されました。お亡くなりになった方々のご冥福を心からお祈りいたします。ハートライフ病院からも多くの職員が自ら手をあげて被災地の岩手県大槌町や宮城県石巻市の避難所の救護に参加しました。医師 4 人、看護師 4 人、薬剤師 1 人の計 9 人を派遣しましたが、当初は冷たい体育館に寝袋で寝泊まりし、毎食おにぎり 2 個、トイレは屋外の簡易トイレで、医療器具は熱湯で煮沸し再使用し、余震も続くという過酷な状況で患者さんの診療に従事しました。「笑顔で親切、ハートライフ病院」をスローガンにしているハートライフ病院にとって、この 9 人の職員の活動は大きな誇りであります。また、その方々を快く送り出してくれた同僚と上司の方に心から感謝申し上げます。それと同時に日々の診療をあたりまえに行っている現状が本当にありがたいことだと感謝せずにはいられません。この感謝の気持ちを胸に、今年度も 24 時間の救急医療を行い地域の皆様のニーズに応えられたと思います。さらに、昨年以上に「より安全な医療」、「より質の高い医療」を実践できたと思います。職員一人一人の頑張った実践の記録が、その結果がこの年報に詰まっています。頑張ってくださいました職員の皆様に心より感謝いたします。来年度は 職員一人一人が自分に与えられた仕事のスキルアップに努力し、日々自分の成長を感じることができる病院、日々生きがいを感じながら生き生きと働ける病院にすべく、「笑顔で親切、ハートライフ病院」を患者さんに対して、職員同士で実践していきます。

社会医療法人 かりゆし会
ハートライフ病院
院長 奥島 憲彦

病院概要

病院概要

(平成23年4月1日現在 / データ作成 総務課 比嘉)

組織概要

病院名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

所在地

〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話 (098) 895-3255 (代表)

FAX (098) 895-2534

ホームページ <http://www.heartlife.or.jp/>

管理者一覧

理事長	安里 哲 好	医局長	西原 実
院長	奥島 憲彦	看護部長	西銘 宣子
副院長	松元 悟	医療技術部長	宮城 竜也
副院長	久場 良也	事務部長	宮良 長男
副院長	佐久川 廣	人財開発室長	比嘉 一廣

理念

わたしたちは心と心をつなぐ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 急性期医療（質の高いチーム医療）
2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）
3. 救急医療（24時間二次救急）
4. がんの予防と治療
5. 研修教育病院
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切

施設概要

許可病床数

300床（無料個室177床、有料個室55床。うち、開放病床22床）

敷地面積及び建物概要

敷地面積 19,474.80㎡ 建築面積 7,231.56㎡ 延べ床面積 24,680.51㎡
規模構造 鉄筋コンクリート造 地上9階・地下1階

職員数

総数 761名

職種別

(平成23年4月1日現在 / データ作成 総務課 比嘉)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	67	臨床工学士	10	OMA(視能訓練士)	1	ケースワーカー	5
保健師	4	臨床検査技師	32	診療放射線技師	16	施設技術者	4
助産師	12	理学療法士	12	管理栄養士	5	保育士	1
看護師	303	作業療法士	5	栄養士	1	その他	53
准看護師	36	言語聴覚士	3	調理師	12	合計	761
看護助手	40	薬剤師	13	事務	102		
クレーク	10	視能訓練士	1	医師事務作業補助者	13		

指導医・専門医・認定医

(平成23年4月1日現在 / データ作成 総務課 比嘉)

名称	人数	名称	人数
日本内科学会指導医	4	日本医師会認定健康スポーツ医	2
日本内科学会総合内科専門医	6	日本脳神経外科学会専門医	2
日本内科学会認定医	16	日本小児科学会専門医	2
日本血液学会専門医	2	日本小児科学会認定医	1
日本循環器学会専門医	3	日本産婦人科学会専門医	3
日本糖尿病学会研修指導医	1	母体保護法指定医	1
日本糖尿病学会専門医	2	日本麻酔科学会指導医	1
日本肝臓学会専門医	1	日本麻酔科学会専門医	1
日本感染症学会専門医	1	日本麻酔科学会認定医	1
日本外科学会指導医	1	日本集中治療医学会専門医	1
日本外科学会専門医	6	日本泌尿器学会指導医	1
日本外科学会認定医	6	日本泌尿器学会専門医	2
日本消化器外科学会指導医	1	日本耳鼻咽喉科学会専門医	1
日本消化器内視鏡学会専門医	6	THP健康測定医	1
日本消化器内視鏡学会指導医	1	ICD協議会認定インフェクションコントロールドクター	1
日本消化器病学会指導医	2	日本医師会認定産業医	4
日本消化器病学会専門医	6	日本消化器がん検診学会認定医	2
日本整形外科学会専門医	3	日本がん治療認定機構がん治療暫定教育医	4
日本体育協会公認スポーツドクター	2	日本がん治療認定機構がん治療認定医	4

病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型） 厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 卒後臨床研修評価機構認定病院（2009年9月更新）
3. 地域医療支援病院
4. 24時間二次救急指定病院
5. （財）日本医療機能評価機構 一般病院 認定第 GB97-3 号
6. DPC 対象病院

指定医療一覧

- | | |
|---|---|
| 1. 労働者災害補償保険指定医療機関 | 9. 原爆医療法指定医療機関 |
| 2. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関 | 10. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
《てんかん》 |
| 3. 母体保護法指定医療機関 | 11. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
《未熟児医療》 |
| 4. 結核予防法指定医療機関 | 12. 特定疾患治療研究事業指定医療機関 |
| 5. 生活保護法指定医療機関 | 13. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関 |
| 6. 戦傷病者特別援護法指定医療機関 | 14. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《心臓脈管外科に関する医療》 |
| 7. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《腎臓に関する医療》 | |
| 8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《耳鼻咽喉科に関する医療》 | |

施設認定一覧

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------|
| 1. 日本整形外科専門医研修施設 | 13. 日本脳神経外科学会専門医認定訓練施設 |
| 2. 日本外科学会外科専門医修練施設 | 14. 日本臨床細胞学会認定施設 |
| 3. 日本消化器外科学会専門医修練施設 | 15. 日本眼科学会専門医制度研修施設 |
| 4. 日本消化器内視鏡学会認定指導施設 | 16. 日本病理学会研修登録施設 |
| 5. 日本循環器学会専門医研修施設 | 17. 日本消化器病学会認定施設 |
| 6. 本麻酔科学会麻酔科認定病院 | 18. 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設 |
| 7. 日本産婦人科学会卒後研修指導施設 | 19. 日本がん治療認定医機構認定研修施設 |
| 8. 日本内科学会認定医制度教育病院 | 20. 臨床研修指定病院 |
| 9. 日本泌尿器科専門医教育施設 | 21. 日本医療機能評価機構認定病院 |
| 10. 日本透析学会認定教育関連施設 | 22. 社団法人日本感染症学会研修施設 |
| 11. 日本糖尿病学会認定教育施設 | 23. 非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科施設 |
| 12. 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児
専門医暫定研修施設 | |

診療体制

標榜診療科目

- | | | | |
|---------|-----------|---------|--------------|
| ● 内科 | ● 小児科 | ● 整形外科 | ● 眼科 |
| ● 呼吸器内科 | ● 心療内科 | ● 形成外科 | ● 皮膚科 |
| ● 循環器内科 | ● 外科 | ● 脳神経外科 | ● 放射線科 |
| ● 消化器内科 | ● 大腸・肛門外科 | ● 泌尿器科 | ● 麻酔科 |
| ● 血液内科 | ● 乳腺外科 | ● 耳鼻咽喉科 | ● リハビリテーション科 |

その他、センター・専門外来など

- | | | |
|-----------------|---------|----------------------|
| ● 糖尿病センター | ● 肝臓外来 | ● 生活習慣病・禁煙外来 |
| ● 血液浄化部（人工透析など） | ● 不整脈外来 | ● 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 外来 |
| ● 予防医学センター | ● 食道外科 | ● 股関節外科・膝関節スポーツ外来 |
| ● 内視鏡センター | ● 血管外科 | ● 通院治療室（外来化学療法） |
| ● 悪性腫瘍相談センター | ● 乳腺外来 | |
| ● 胸やけ外来 | ● 甲状腺外来 | |

24時間救急指定病院【内科・外科・整形外科・脳神経外科・循環器内科】

受付時間

月曜日～金曜日	午前 8:00～11:30	午後 12:00～16:30
土曜日	午前 8:00～11:30	午後 休診

診療時間

月曜日～金曜日	午前 9:00～12:00	午後 14:00～17:00
土曜日	午前 9:00～12:30	午後 休診

休診日

救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

地域医療支援病院認定 関連統計情報

紹介率（紹介率・逆紹介率）

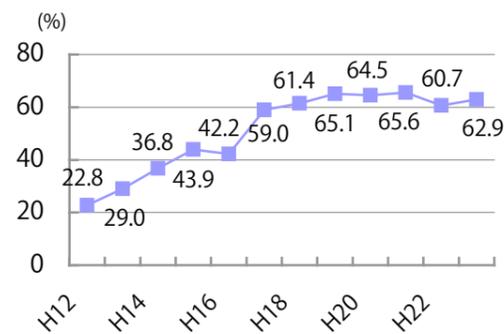
(データ作成 地域医療連携室 仲地)

紹介患者状況

	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均
紹介患者数	6,026	502	5,620	511	6,067	506
緊急入院患者数	1,944	162	1,912	164	1,846	154
初診患者数	19,097	1,591	19,280	1,697	18,662	1,555
救急初診患者数	7,624	635	6,485	842	6,704	559
初診緊急入院患者数	694	58	525	45	684	57
逆紹介患者数	5,035	420	5,089	424	5,478	457
紹介率	65.6%		60.7%		62.9%	
逆紹介率	41.5%		38.2%		43.8%	

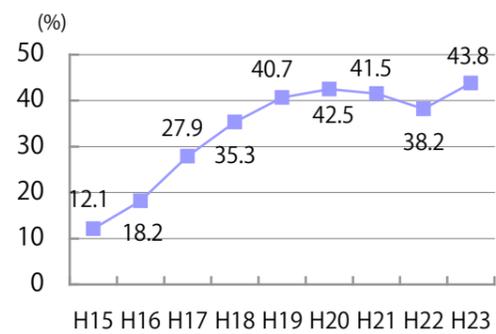
地域医療支援病院紹介率の実績

(月平均紹介率)



地域医療支援病院逆紹介率の実績

(月平均逆紹介率)



共同利用

(データ作成 地域医療連携室 仲地)

年度別 登録医状況

年度	登録医数	備考
平成 19 年度 3 月	280	地域医療支援病院認可時
平成 20 年度 3 月	276	4 施設閉院
平成 21 年度 3 月	292	
平成 22 年度 3 月	303	
平成 23 年度 3 月	307	登録医療機関は 303 件

開放病床の共同利用状況（開放病床 22 床）

年度	延べ利用患者数	年間平均利用率
平成 21 年度	10,608	132%
平成 22 年度	11,073	137%
平成 23 年度	9,300	115%

医療機器の共同利用状況

年度	総件数	MRI	CT	RI	超音波
		紹介件数	利用率	紹介件数	利用率
平成 21 年度	3,260	661	10,870	326	12,428
	20.3%	9.1%	17.2%	13.0%	
平成 22 年度	3,417	678	11,073	293	12,876
	19.8%	8.8%	11.3%	12.3%	
平成 23 年度	3,452	626	11,775	333	14,533
	18.1%	7.6%	11.7%	12.8%	

平成 23 年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数	医療圏	件数
北部医療圏	8	八重山医療圏	10
中部医療圏	103	その他医療圏	1
南部医療圏	168	合計	303
宮古医療圏	13		

【参考】沖縄県総診療所数 821 件 登録医の比率 36.9%

研修

(データ作成 地域医療連携室 仲地)

地域医療従事者に対する検討会・勉強会実施状況

内訳	回数	症例件数	参加人数			備考
			院内	院外	合計	
救急症例検討会	4回	15	125	224	349	◆ 消化器系症例検討会：19:00～21:00 (偶数月第 4 木曜日開催)
消化器系症例検討会	4回	12	79	20	99	◆ 救急症例検討会：18:00～20:00 (3ヶ月毎第 4 金曜日開催)
循環器勉強会	3回		56	26	82	◆ 糖尿病勉強会：18:30～20:00 (不定期開催)
糖尿病勉強会	1回		22	67	89	◆ 循環器勉強会：19:00～21:00 (不定期開催)
合計		27	282	337	619	

救急救命士実習実績（気管挿管：7 名・薬剤投与：5 名）

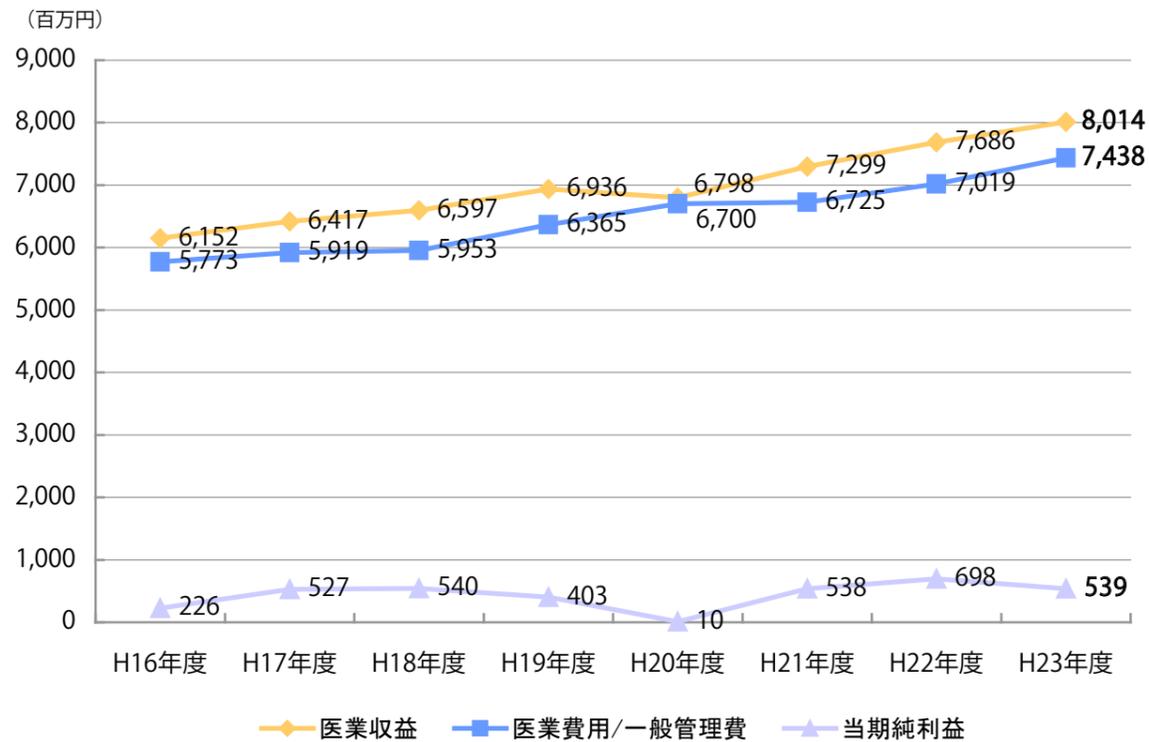
消防本部名	実習名	実習期間 (開始～終了)	成功症例	備考
比謝川行政事務組合 ニライ消防本部	気管挿管	2011 年 4 月 6 日～2011 年 5 月 26 日	30 例	(救気管) 第 23-001 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2011 年 6 月 1 日～2011 年 7 月 21 日	30 例	(救気管) 第 23-002 号
宜野湾市消防本部	気管挿管	2011 年 7 月 25 日～2011 年 9 月 9 日	30 例	(救気管) 第 23-003 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2011 年 9 月 12 日～2011 年 10 月 28 日	30 例	(救気管) 第 23-004 号
うるま市消防本部	気管挿管	2011 年 10 月 31 日～2011 年 12 月 15 日	30 例	(救気管) 第 23-005 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2011 年 12 月 19 日～2012 年 2 月 21 日	30 例	(救気管) 第 23-006 号
沖縄市消防本部	気管挿管	2012 年 2 月 28 日～2011 年 4 月 19 日	30 例	(救気管) 第 24-001 号
東部消防組合消防本部	薬剤投与	2011 年 5 月 3 日～	A パート：0 例 / B パート：1 例	(薬) 第 23-002 号
東部消防組合消防本部	薬剤投与	2011 年 5 月 13 日～	A パート：0 例 / B パート：1 例	(薬) 第 23-003 号
東部消防組合消防本部	薬剤投与	2011 年 6 月 7 日～	A パート：0 例 / B パート：1 例	(薬) 第 23-004 号
東部消防組合消防本部	薬剤投与	2011 年 6 月 15 日～	A パート：0 例 / B パート：1 例	(薬) 第 23-005 号
東部消防組合消防本部	薬剤投与	2011 年 7 月 19 日～2011 年 7 月 23 日	A パート：10 例 / B パート：1 例	(薬) 第 23-006 号

財務情報

(単位：百万円 / データ作成 財務課 比嘉)

	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
医業収益								
入院診療収益	4,070	4,296	4,258	4,674	4,602	4,930	5,241	5,411
外来診療収益	1,692	1,704	1,830	1,751	1,714	1,827	1,885	1,997
保険予防活動収益	384	377	390	399	372	387	391	409
その他医業収益	6	4	6	5	5	11	22	32
収益業務事業収益	0	36	113	107	105	144	147	165
計	6,152	6,417	6,597	6,936	6,798	7,299	7,686	8,014
医業費用								
一般管理費 計	5,773	5,919	5,953	6,365	6,700	6,725	7,019	7,438
医業利益	379	498	644	571	98	574	667	576
経常利益	302	425	583	545	113	504	746	572
税引前当期利益	324	738	677	545	78	540	699	540
法人税・住民税等	98	211	137	142	68	2	1	1
当期純利益	226	527	540	403	10	538	698	539

財務状況推移



活動実績

(職員向け講習会など抜粋。詳細は各部門に掲載 / データ作成 企画室広報 知念)

年月日	活動内容	主催・事務局など
2011年4月21日	東日本大震災救護班報告会	総務課
2011年5月11日	いきいき講演会良い病院をつくりましょう! 【講師・演者】人と経営研究所 大久保 寛司 氏	病院長 奥島
2011年5月20日	臨床応用に向けた iPS 細胞の現状と課題 【講師・演者】京都大学 iPS 細胞研究所 規制科学部門 教授 青井 貴之 先生	病院長 奥島
2011年5月17日	平成 22 年度 科別実績報告会 1 日目	年報委員会
2011年5月18日	平成 22 年度 科別実績報告会 2 日目	年報委員会
2011年5月16日	化学療法勉強会	化学療法委員会
2011年5月19日	感染対策講演会	感染対策委員会
2011年5月23日	化学療法勉強会	化学療法委員会
2011年6月14日	平成 22 年度 各委員会実績報告会 1 日目	年報委員会
2011年6月15日	平成 22 年度 各委員会実績報告会 2 日目	年報委員会
2011年6月17日	DPC の現状とハートライフ病院の分析 【講師・演者】病院経営ストラテジスト 井上 貴裕 氏	病院長 奥島
2011年7月4日	NST 委員会院内勉強会	NST 委員会
2011年7月12日	平成 22 年度 各部署実績報告会 1 日目	年報委員会
2011年7月13日	平成 22 年度 各部署実績報告会 2 日目	年報委員会
2011年7月16日	分析の技術と DPC データの活用手法 【講師・演者】病院経営ストラテジスト 井上 貴裕 氏	病院長 奥島
2011年7月20日	ニコニコベースのジョギングとステップ運動 【講師・演者】福岡大学教授 田中 宏暁 先生	健康増進委員会
2011年8月3日	院内感染対策講演会	院内感染対策委員会
2011年8月10日	いきいき講演会『良い病院を作りましょうパート 2』 【講師・演者】人と経営研究所 大久保 寛司 氏	病院長 奥島
2011年8月17日	医療安全講演会 1 日目	医療安全管理委員会
2011年8月18日	医療安全講演会 2 日目	医療安全管理委員会
2011年8月25日	パラメディカル、定例勉強会(肺がん)	薬局 田中
2011年8月26日	整形外科勉強会	整形外科 新垣 薫
2011年9月1日	中部合同カンファレンス	中部地区医師会(ハートライフ病院事務局)
2011年9月2日	がん化学療法勉強会	化学療法委員会
2011年9月8日	看護部業務改善報告会	看護部
2011年9月9日	DPC 勉強会 1 日目 【講師・演者】病院経営ストラテジスト 井上 貴裕 氏	病院長 奥島
2011年9月10日	DPC 勉強会 2 日目 【講師・演者】病院経営ストラテジスト 井上 貴裕 氏	病院長 奥島
2011年9月13日	メディエーション学習会	メディエーター 池村
2011年9月14日	いきいき講演会『わくわくのしい職場づくり』 【講師・演者】人と経営研究所 大久保 寛司 氏 ヨリタ歯科 新谷 順子 氏	病院長 奥島
2011年9月17日	ICLS	麻酔科 久場
2011年9月20日	病理検討会	医局
2011年9月29日	心臓核医学勉強会	循環器内科 三戸
2011年10月8日	メディエーション学習会	メディエーター 池村
2011年10月14日	県技師会 生理機能勉強	県技師会 生理機能班
2011年10月15日	BLS 講習	看護部
2011年10月22日	沖縄がん心のケア研究会	沖縄がん心のケア研究会(事務局:薬局 西澤)
2011年11月4日	平成 23 年度 慰霊祭	臨床検査科 神谷
2011年11月5日	BLS	救急・ICU 検討委員会
2011年11月5日	平成 23 年度 院内研究発表会	院内研究発表会 実行委員会
2011年11月9日	血液疾患におけるがん看護	中外製薬

今年度の主な出来事

(2011 年 4 月～2012 年 3 月 / データ作成 総務課 比嘉)

年	月日	
2011 年 (平成 23 年)	4 月 1 日	入職式・オリエンテーション・消防訓練 新入職者 49 名 (内訳) 卒後臨床研修医第 8 期生採用 3 名 医局 10 名 看護師 27 名 検査技師 3 名 臨床心理士 2 名 社会福祉士 1 名 その他 3 名
	4 月 9 日	『診療科目変更』血液内科・形成外科増設
	4 月 11 日	『細胞調製室(CPC)』開設
	5 月 12 日	『ハートライフクリニック』地鎮祭
	5 月 17 日～ 18 日	『第 2 回各科診療実績報告会』
	6 月 14 日～ 15 日	『第 2 回委員会実績報告会』
	7 月 12 日～ 13 日	『第 2 回各部署実績報告会』
	8 月 22 日	ハートライフ病院 開院 23 周年
	9 月 8 日	院内研究発表会「看護部予選会」
	9 月 15 日	『卒後臨床研修医訪問審査』3 回目更新
	9 月 28 日	院内研究発表会「事務部予選会」
	10 月 6 日	院内研究発表会「医療技術部予選会」
	2012 年 (平成 24 年)	10 月 11 日
10 月 15 日		「第 1 回 ハートライフ病院大運動会」
11 月 4 日		慰霊祭
11 月 5 日		第 18 回 院内研究発表会
2012 年 (平成 24 年)	3 月 22 日	卒後臨床研修医第 6 期生 修了式 5 名
	3 月 24 日	ハートライフクリニック 落成式

年月日	活動内容	主催・事務局など
2011 年 11 月 11 日	医療安全講演会	医療安全管理室
2011 年 11 月 12 日	院内 BLS	救急・ICU 検討委員会
2011 年 11 月 16 日	感染対策委員会 勉強会	感染対策委員会
2011 年 11 月 18 日	沖縄血液疾患講演会 —2014 年造血幹細胞移植学会招致記念—	協和発酵キリン
2011 年 12 月 1 日	緩和ケア勉強会	緩和ケアチーム
2011 年 12 月 7 日	DPC におけるハートライフ病院の現状と課題 【講師・演者】 病院経営ストラテジスト 井上 貴裕 氏	病院長 奥島
2011 年 12 月 13 日	看護学生 & 1 年目ナース対象 循環器勉強会	看護部教育委員会
2011 年 12 月 14 日	いきいき講演会 【講師・演者】 人と経営研究所 大久保 寛司 氏 Live on 代表 尾角 光美 氏	病院長 奥島
2011 年 12 月 20 日	院内 CPC	副院長 佐久川
2012 年 1 月 18 日	エコドライブ講習会	沖縄県公衆衛生協会(事務局:総務課 内間)
2012 年 1 月 19 日	医療技術部勉強会	医療技術部
2012 年 1 月 23 日	Web カンファ / がん化学療法・造血幹細胞移植施行時の栄養管理	大塚製薬工場
2012 年 1 月 25 日	禁煙講演会	衛生委員会
2012 年 1 月 26 日	前向き臨床推論 【講師・演者】 豊見城中央病院 総合内科医長 池原 泰彦 先生	病院長 奥島
2012 年 2 月 3 日	診療収益の決定要因、2012 年度診療報酬改定の最新情報 【講師・演者】 病院経営ストラテジスト 井上 貴裕 氏	病院長 奥島
2012 年 2 月 14 日	介護支援専門員との勉強・懇親会	地域医療連携室
2012 年 2 月 14 日	CPC (研修医)	研修担当 島崎
2012 年 2 月 16 日	学会予演会 & 勉強会	ICU 師長 内間
2012 年 2 月 17 日	メンタルヘルス講演会	衛生委員会
2012 年 2 月 23 日	消化器系症例検討会	地域医療連携室
2012 年 2 月 25 日	ICLS	救急・ICU 検討委員会
2012 年 2 月 28 日	CPC (臨床病理検討会)	医局
2012 年 3 月 2 日	排泄ケア勉強会	看護部
2012 年 3 月 3 日	院内 ICLS 内間	救急・ICU 検討委員会
2012 年 3 月 6 日	2012 年度診療報酬改定の概要と対策 【講師・演者】 病院経営ストラテジスト 井上 貴裕 氏	病院長 奥島
2012 年 3 月 8 日	医療の質と経営の質の両立を目指して 【講師・演者】 佐賀大学医学部付属病院 藤井 進 先生	DPC 委員会
2012 年 3 月 16 日	事務職員に求められること～仕事の価値を生み出すために～ 【講師・演者】 済生会熊本病院 甲斐 聖人 氏	病院長 奥島
2012 年 3 月 22 日	循環器勉強会	地域医療連携室
2012 年 3 月 26 日	個人情報の取り扱いについて 【講師・演者】 沖縄国際大学教授 前津 榮健 先生	個人情報管理委員会
2012 年 3 月 27 日	伊那食品工業(株)見学報告会	病院長 奥島ほか見学者 3 名
2012 年 3 月 29 日	医療安全勉強会 (深部静脈血栓症予防 / 肺血栓塞栓症予防)	医療安全管理・医療機器安全管理
2012 年 3 月 30 日	平成 24 年度診療報酬改定院内研修会	ハートライフ病院事務部
2012 年 3 月 31 日	院内 BLS/ICLS 内間	救急・ICU 検討委員会

患者統計・病歴統計

患者統計

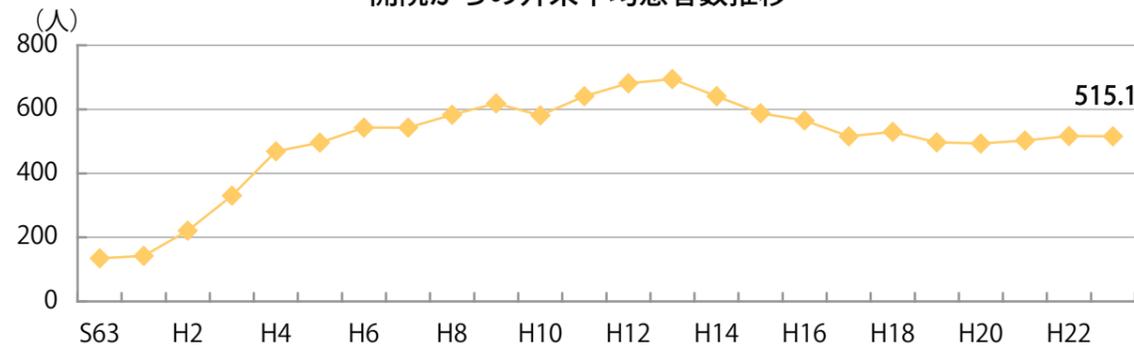
外来・救急外来

外来1日平均患者数推移

(データ作成: 請求業務課 宮城)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成19年度	503.4	498.5	475.0	482.1	463.0	499.4	501.2	525.5	530.9	510.1	483.8	492.8	497.1
平成20年度	490.0	495.0	488.6	501.0	473.4	507.2	503.3	491.8	508.7	503.5	475.8	482.4	493.4
平成21年度	464.0	499.6	488.4	498.2	499.1	501.0	498.2	508.9	515.6	511.2	497.7	542.3	502.0
平成22年度	512.0	504.7	494.5	507.0	500.0	545.8	523.0	545.9	553.9	508.7	492.4	508.7	516.4
平成23年度	503.4	523.6	489.1	505	499.7	525.9	510.7	532	544.3	526.6	519.3	501.4	515.1

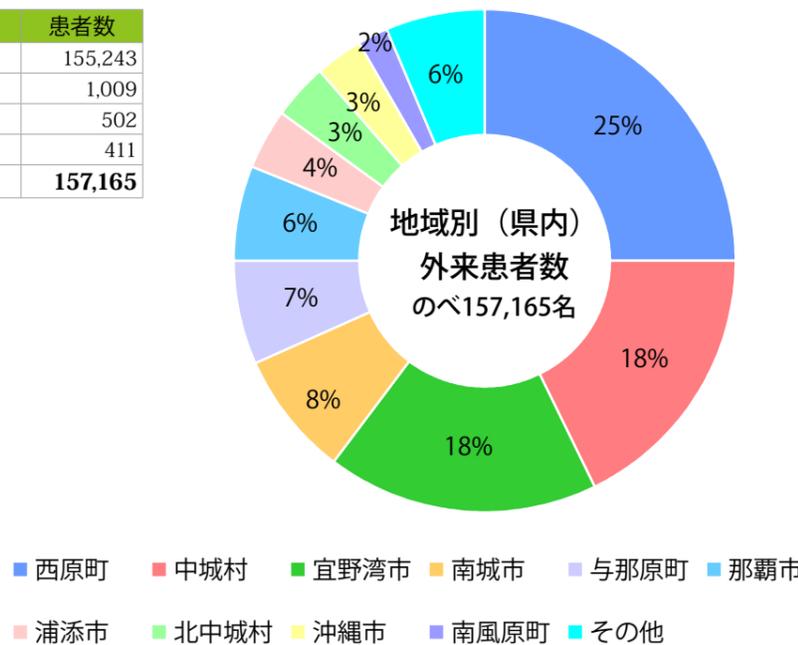
開院からの外来平均患者数推移



地域別外来患者数

地域	患者数
沖縄本島(橋で接続されている島を含む)	155,243
離島	1,009
県外	502
その他・不明	411
合計	157,165

(データ作成: 企画室広報 知念)

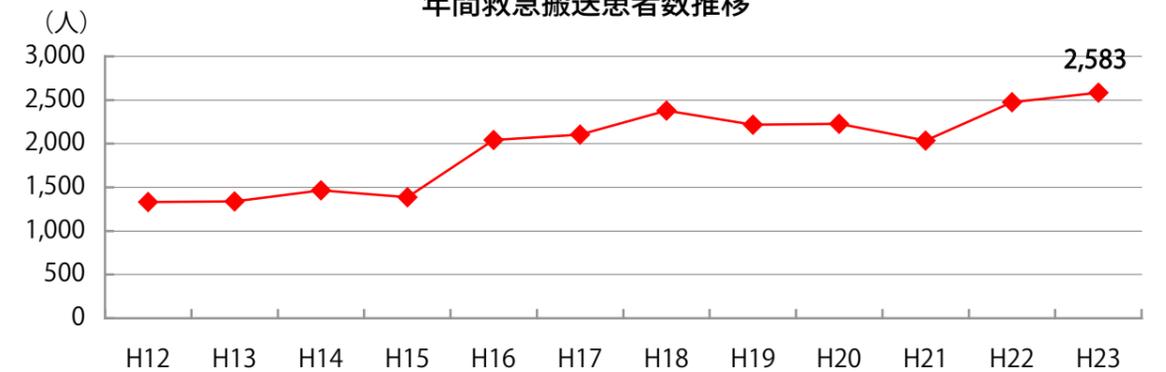


救急搬送件数推移と救急患者の入院数

(データ作成: 地域医療連携室 新垣)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
平成19年度	搬送人数 210	183	190	210	170	195	173	157	161	184	200	192	2,225	185.4
	内入院数 91	87	83	95	67	97	76	77	81	99	92	77	1,022	45.9%
平成20年度	搬送人数 204	179	174	219	195	183	190	169	195	208	158	168	2,242	186.8
	内入院数 92	68	67	79	69	67	85	80	85	92	71	72	927	41.3%
平成21年度	搬送人数 131	117	140	187	207	194	154	153	194	207	175	176	2,035	170
	内入院数 65	55	56	90	101	87	71	82	98	99	81	81	966	47.5%
平成22年度	搬送人数 163	188	185	230	221	224	195	225	223	231	169	222	2,476	206
	内入院数 81	76	91	88	83	84	87	110	96	110	91	99	1,096	44.3%
平成23年度	搬送人数 202	187	201	209	215	190	230	209	226	224	240	250	2,583	215
	内入院数 84	78	91	90	109	84	112	98	118	105	101	114	1,184	45.8%

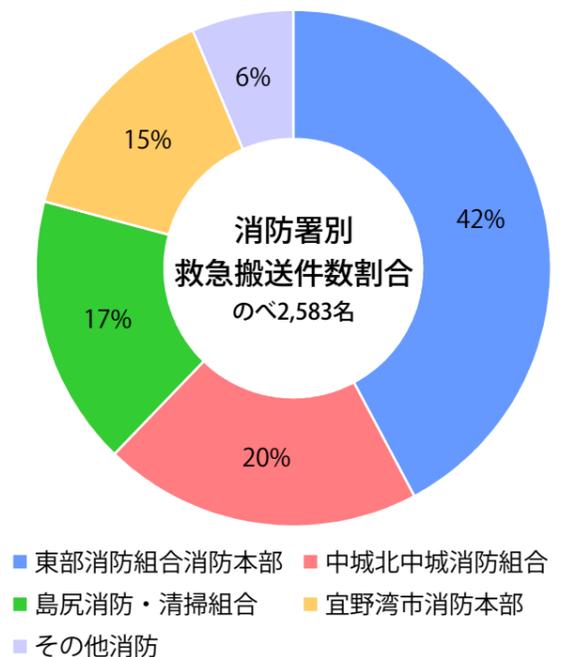
年間救急搬送患者数推移



消防署(地域)別救急搬送件数

(地域医療支援病院運営委員会資料より/データ作成: 地域医療連携室 砂川)

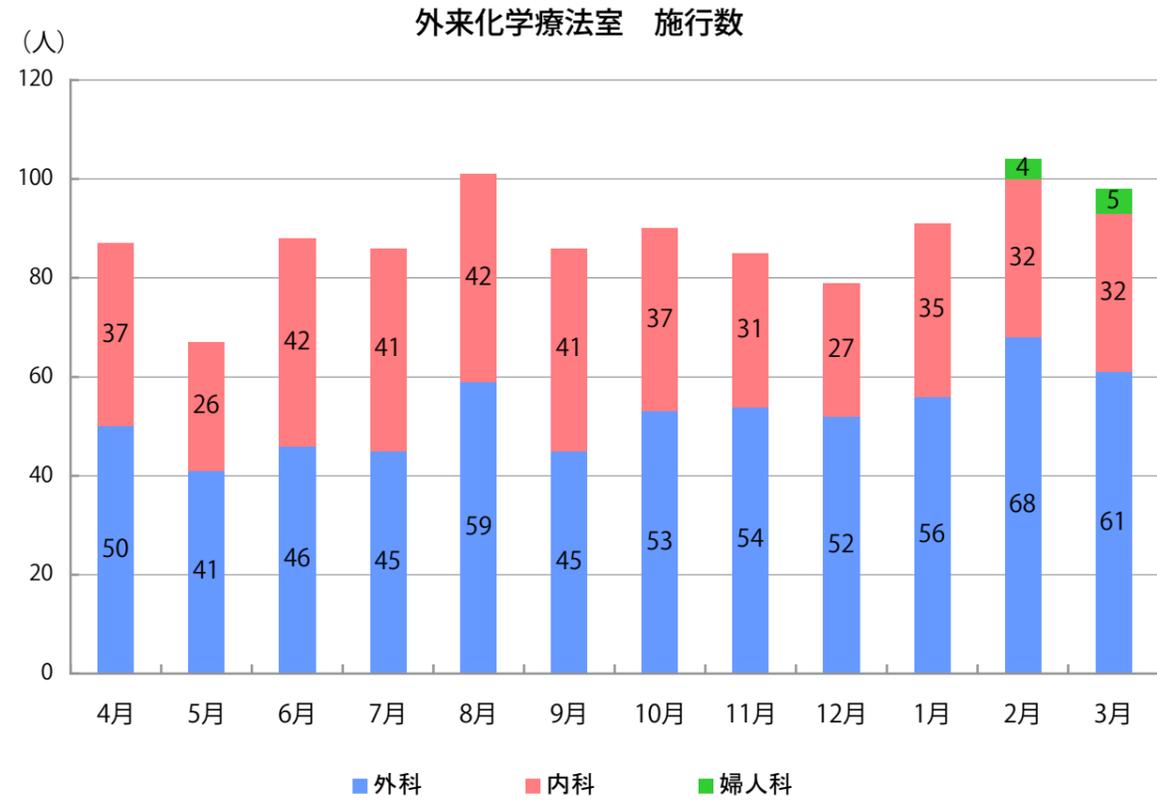
	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合(中城村・北中城村)	517	328	63.4%
東部消防組合消防本部(西原町・与那原町・南風原町)	1,090	753	69.1%
宜野湾市消防本部(宜野湾市)	376	254	67.6%
島尻消防・清掃組合(南城市・八重瀬町)	435	306	71.2%
その他消防(上記以外の市町村)	165	114	69.1%
合計	2,583	1,755	67.9%



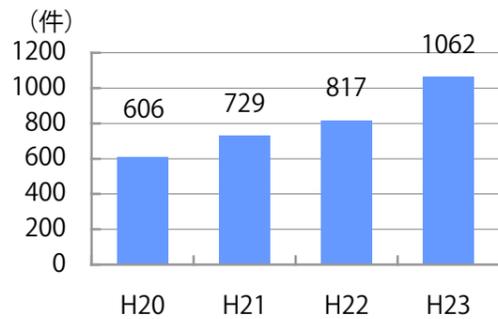
外来化学療法室（がん化学療法外来）施行数推移

(データ作成:看護部外来 本田)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
外科	50	41	46	45	59	45	53	54	52	56	68	61	630
内科	37	26	42	41	42	41	37	31	27	35	32	32	423
婦人科											4	5	9
総計	87	67	88	86	101	86	90	85	79	91	104	98	1,062



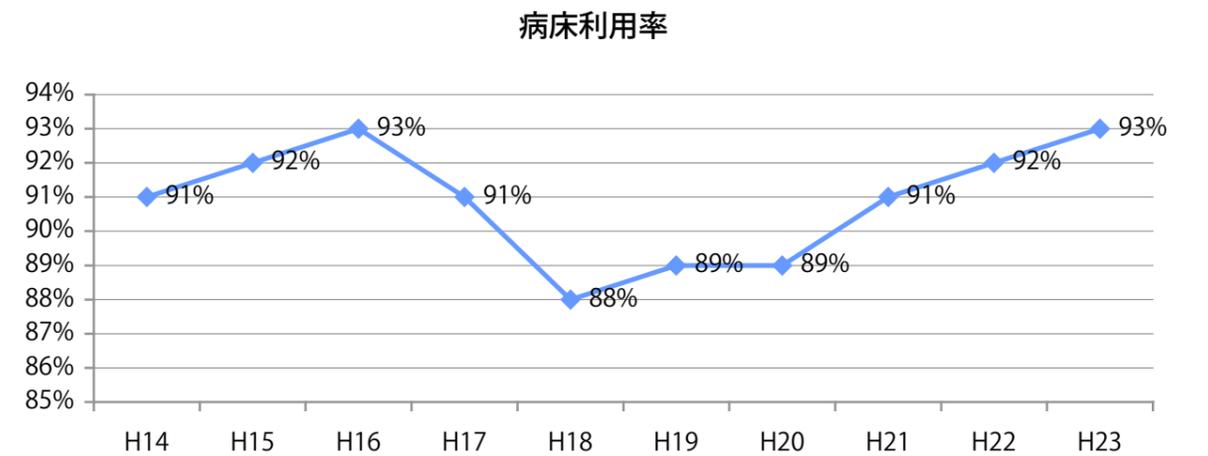
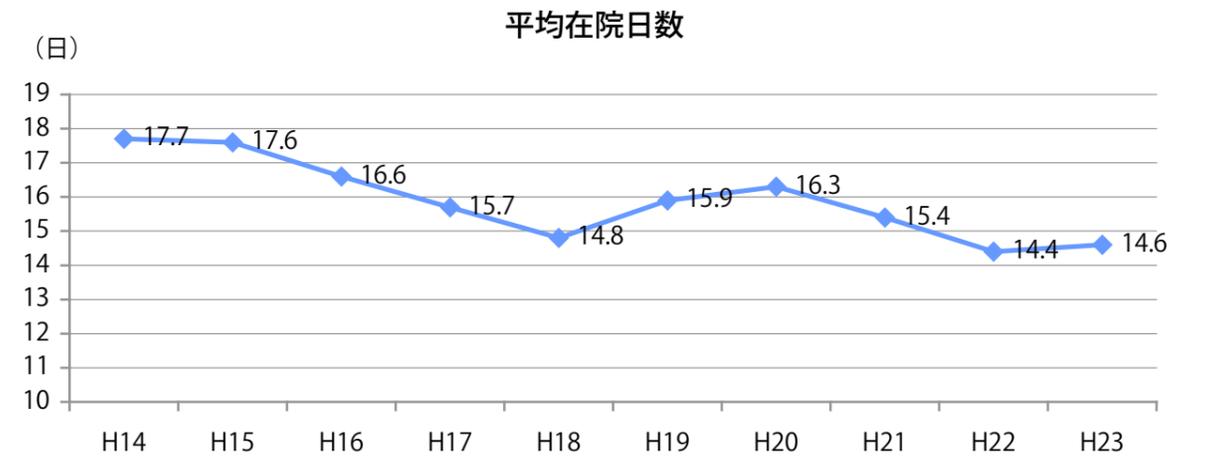
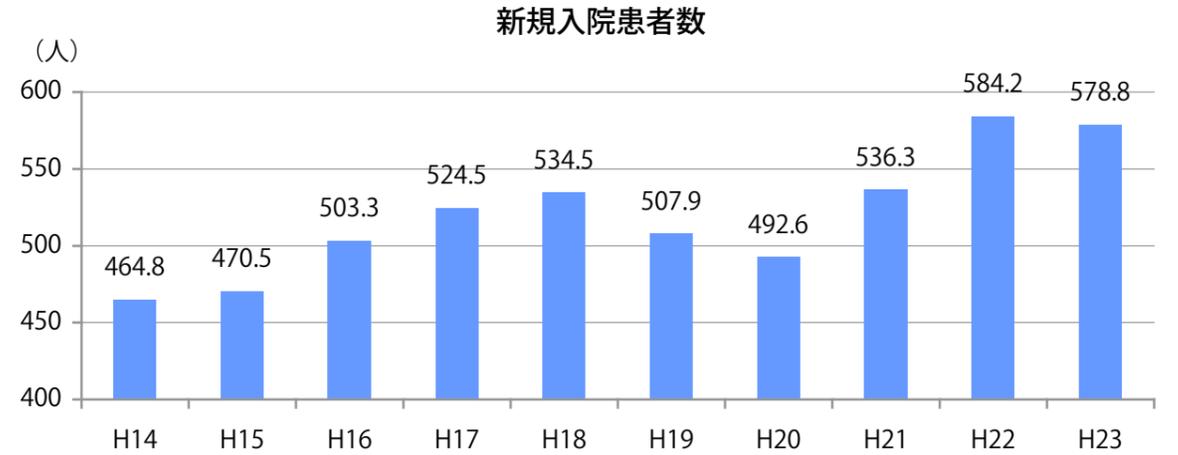
外来化学療法件数年次推移



入院

3 指標

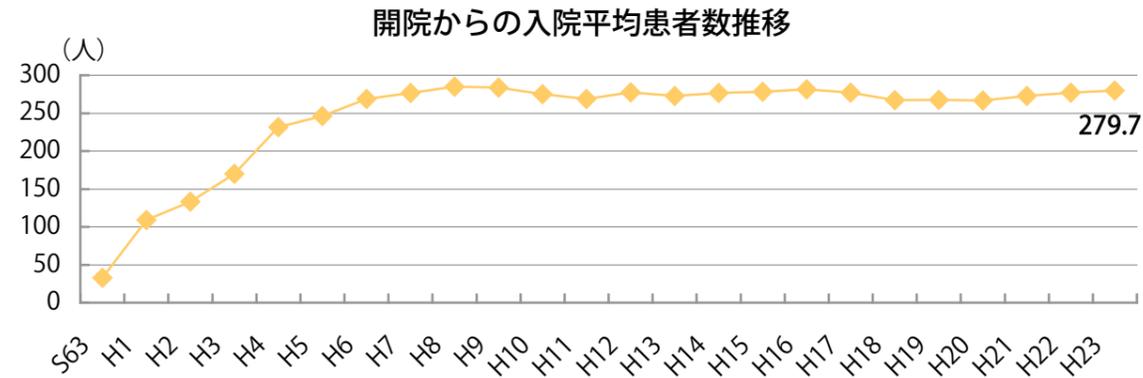
(データ作成:地域医療連携室 粟盛)



入院 1 日平均患者数推移 (稼働)

(データ作成: 請求業務課 高良)

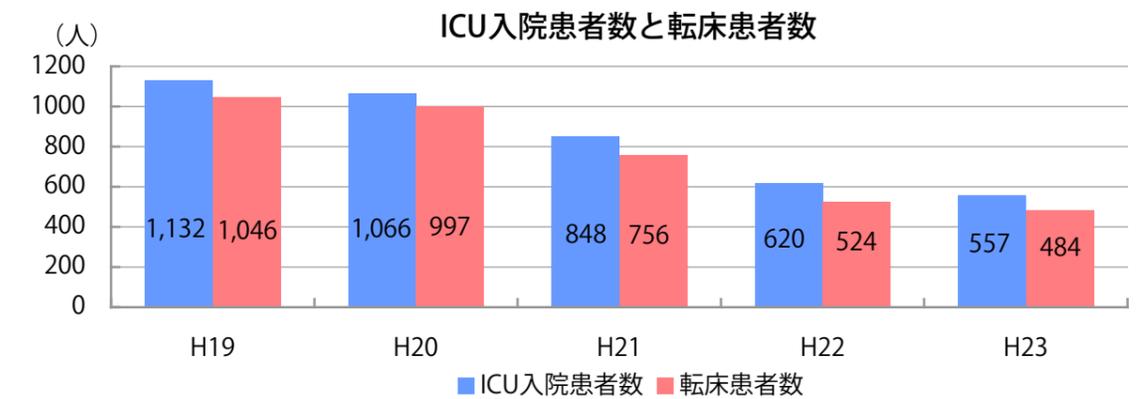
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成 23 年度	287.2	271.9	277.5	287.4	283.5	284.2	270.1	282.9	264.3	276.6	286.8	284.5	279.7



ICU 患者統計

(データ作成 ICU 安村)

	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
内科	384	367	366	370	313	300	250	305
外科	324	318	319	362	306	302	175	122
脳神経外科	62	104	116	104	98	113	123	93
整形外科	100	83	103	102	142	64	24	11
産婦人科	74	86	80	52	65	27	17	5
耳鼻咽喉科	41	55	76	101	101	9	7	1
泌尿器科	12	13	5	10	7	22	15	12
眼科	15	35	20	31	34	11	2	0
救急科	-	-	-	-	-	-	7	8
総数	1,012	1,061	1,085	1,132	1,066	848	620	557

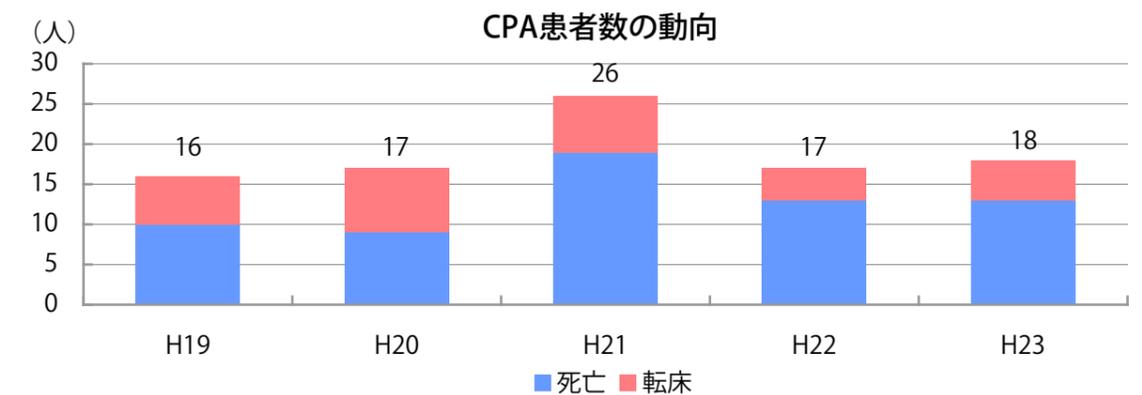
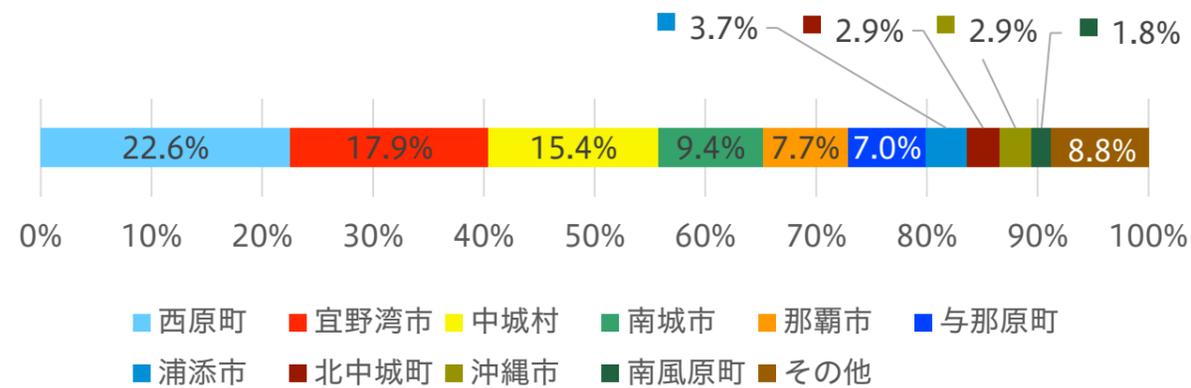


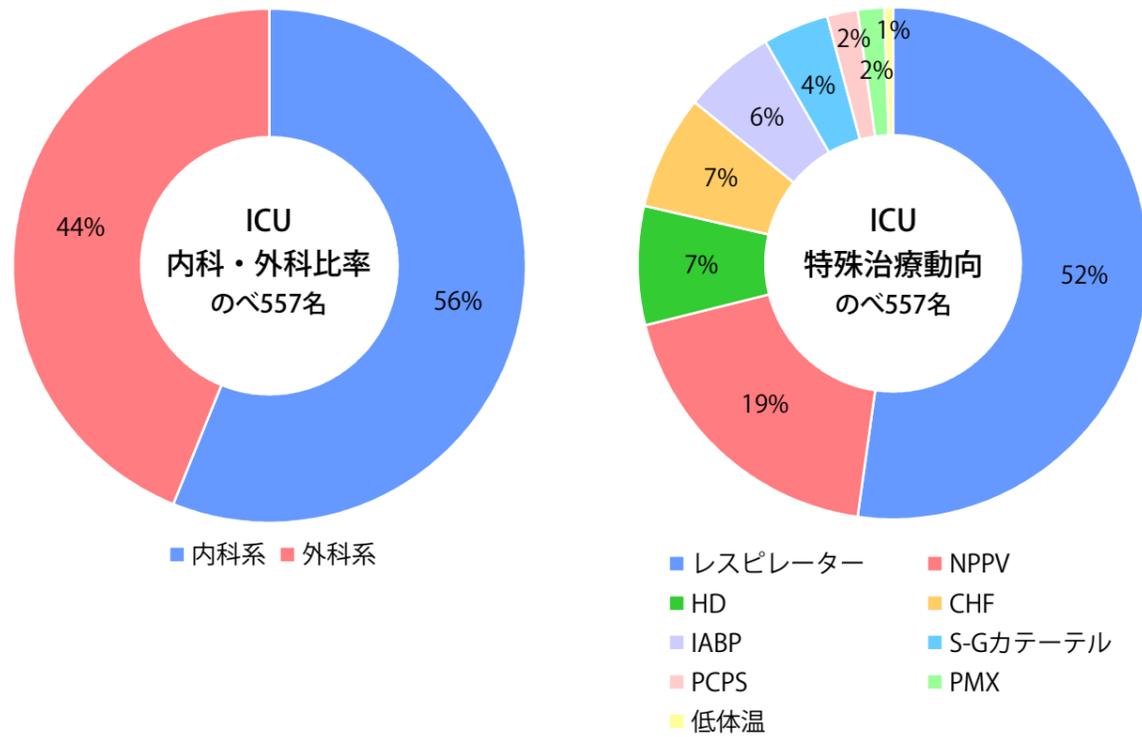
エリア別入院患者数 (のべ)

(データ作成: 企画室広報 知念)

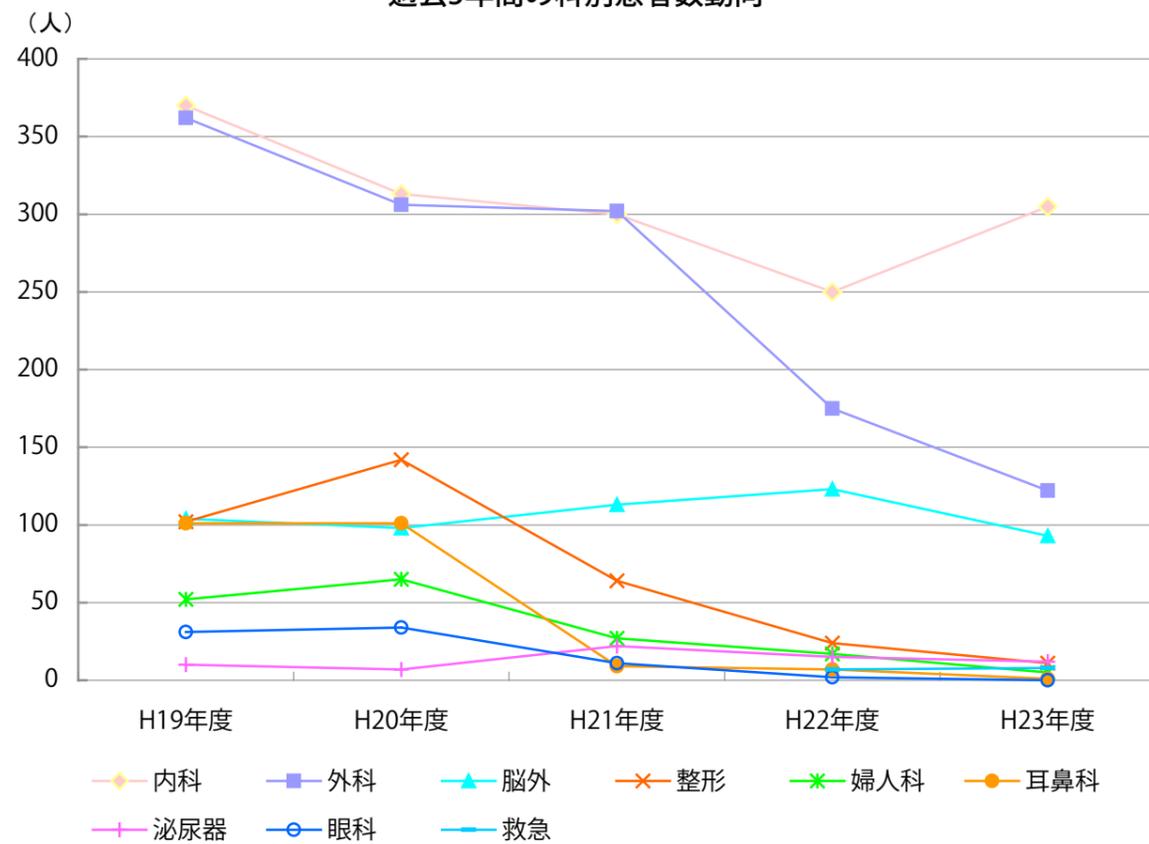
地域	患者数
沖縄本島 (橋で接続されている島を含む)	7,115
離島	92
県外	57
その他・不明	97
総合計	7,361

沖縄本島内 入院延べ患者構成比





過去5年間の科別患者数動向



※収容のルール変更によりICUに収容された外科の患者数は減少傾向にあります。

退院患者疾患別(病態)分類

(データ作成: 診療情報管理室 山本/島袋)

	内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳神経外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	麻酔科	総計
I. 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	男 84	女 72	6	4	1	3	0	0	31	0	0	0	129
II. 新生物 (C00-D48)	男 217	女 128	185	53	5	1	0	9	0	0	0	0	470
III. 血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	男 17	女 28	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	26
IV. 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	男 101	女 94	7	4	0	0	2	0	0	0	0	0	114
V. 精神および行動の障害 (F00-F99)	男 1	女 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
VI. 神経系の疾患 (G00-G99)	男 57	女 34	1	0	4	7	0	6	3	0	0	0	78
VII. 眼および付属器の疾患 (H00-H59)	男 0	女 1	0	0	0	0	76	0	1	0	0	0	77
VIII. 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	男 12	女 25	1	1	0	0	13	3	0	0	0	0	30
IX. 循環器系の疾患 (I00-I99)	男 371	女 261	12	7	1	75	0	0	0	0	1	0	467
X. 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	男 455	女 447	11	10	0	0	27	155	0	0	0	0	658
XI. 消化器系の疾患 (K00-K93)	男 337	女 242	278	5	0	0	1	1	0	0	0	0	622
XII. 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	男 19	女 26	18	2	13	0	0	1	2	0	0	0	55
XIII. 骨格筋系および結合組織の疾患 (M00-M99)	男 11	女 12	3	0	94	0	0	0	0	0	0	0	108
XIV. 尿路器系の疾患 (N00-N99)	男 70	女 251	3	71	0	0	0	3	0	0	0	0	147
XV. 妊娠、分娩および産後 (O00-O99)	男 4	女 4	1	0	0	0	0	0	478	0	0	0	483
XVI. 周産期に発生した病態 (P00-P96)	男 0	女 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

		内 科	外 科	泌 尿 器 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	小 児 科	産 科	婦 人 科	救 急 科	麻 酔 科	総 計
XVII. 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	男	2	1	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	8
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	計	2	1	0	0	1	0	4	1	0	0	0	0	9
XVIII. 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	男	7	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	10
	女	6	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	9
	計	13	0	1	0	0	0	1	3	1	0	0	0	19
XIX. 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	男	21	45	10	233	32	0	2	1	0	0	0	0	344
	女	26	24	4	238	14	0	1	0	0	4	0	0	311
	計	47	69	14	471	46	0	3	1	0	4	0	0	655
XXI. 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	男	14	0	0	0	0	0	0	178	0	0	0	0	192
	女	9	0	0	0	0	0	0	166	0	0	0	0	175
	計	23	0	0	0	0	0	0	344	0	0	0	0	367
総計		3,465	1,008	273	718	188	161	99	714	482	190	1	1	7,300

部署別業務実績

医 局

部門紹介

医師数は常勤 58 名と、非常勤 25 名、研修医 9 名の総勢 92 名が診療にあたっています。内訳は下記の表をご参照ください。

内科は循環器、消化器（内視鏡センターを含む）、呼吸器、血液、内分泌代謝（糖尿病センター含む）と細分化されています。

毎日 500 名前後の患者さん、年間 2,500 件あまりの救急搬送に対応しています。また、当院では臨床研究が盛んで、年間 80 題超の学会発表、論文発表も行っております。

医師数

（平成 23 年 4 月 1 日現在 / データ作成 総務課 比嘉）

	内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	内分泌科・糖尿病	血液内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	放射線科	麻酔科	心療内科	病理検査部門	人間ドック	合計
医師数 常勤			24			3	8	5		2	2	4	1	1	0	1	3	1	0	3	58	
医師数 非常勤			8				4	1	1		2				2	1	3	1	2		25	
指導医数			22			3	6	4		2	2	3	1	1		1	1	1			47	
研修医数	1 年次 3 名											2 年次 6 名										

医局方針

1. 患者の安全・QOL を第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性の確立のため学会活動など自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 地域の医療機関、保健、福祉施設との連携を積極的に行う。
4. 他部署との交流・院内行事への参加を積極的に行う。
5. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club（抄読会 / 毎週水曜日 8:00～8:30）

（データ作成 医局 高嶋）

月日	担当者	演題名
2011 年 4 月 6 日	末吉健次	TIA と診断治療
4 月 13 日	花城直次	大腸憩室炎
4 月 20 日	渡慶次 学	高圧注入損傷
4 月 27 日	高良 誠	オートプシー・イメージング
5 月 11 日	佐久川 廣	肝癌
5 月 18 日	村山茂美	高齢者乳癌
5 月 25 日	武田 理	産婦人科と深部静脈血栓症
6 月 1 日	新垣 薫	股関節疾患
6 月 8 日	喜久本 藍	妊娠糖尿病の新診断基準
6 月 15 日	金城太貴	ビタミン B1 欠乏症
6 月 22 日	新垣珠代	デング熱
6 月 29 日	下浦広之	尿路感染症の予防 クランベリーについて
7 月 6 日	上原 健	突発性難聴
7 月 13 日	親川 知	RA RS3PE リウマチ性多発筋痛症
7 月 20 日	田村次朗	胃生検について～胃生検 Group 分類の改訂に伴って～
7 月 27 日	照屋明子	複数枚羊膜移植手術が有効であった角膜穿孔の 2 症例について
8 月 3 日	安谷屋 徳章	バセドウ病
8 月 10 日	安里義秀	急性細気管支炎
8 月 17 日	三戸正人	心疾患患者の管理について
8 月 24 日	狩俣 かおり	骨髄バンク移植・採取・骨髄運搬
8 月 31 日	比嘉章子	和温療法～患者にやさしい包括的医療～
9 月 7 日	宮平 工	大腸癌治療の現状（手術療法と化学療法）
9 月 14 日	川満 豊	小児予防接種について
9 月 21 日	西原 実	急性虫垂炎
9 月 28 日	大西 勉	子宮内避妊具の長期装着から放線菌を産生し卵巣腫瘍をきたした 1 例
10 月 5 日	與座 一	慢性腎臓病 (CKD) と高尿酸血症について
10 月 12 日	国吉史雄	東日本大震災医療支援報告
10 月 19 日	宮城 純	慢性膵炎臨床診断基準 2009 について
10 月 26 日	澤岬安勝	直腸癌の低侵襲手術～実地臨床から～
11 月 2 日	知花賢治	肺炎ガイドラインについて
11 月 9 日	山入端 敦	HTLV-I とは
11 月 16 日	城間丈二	内視鏡的逆行性膵胆管造影検査
11 月 30 日	釜野武志	乳酸クリアランスと重症敗血症の転帰
12 月 7 日	新里輔鷹	多発性肝転移を伴う若年者大腸癌に対して集学的治療を施行した 1 例
12 月 14 日	前本 均	シミュレーターで経験したエピネフェリンが無効なアナフィラキシーショックの 1 例
12 月 21 日	青山貴博	化膿性脊椎炎 / 椎間板炎
12 月 28 日	親川仁貴	しゃっくり (吃逆)
2012 年 1 月 4 日	後藤敬子	肝硬変に伴う難治性腹水
1 月 11 日	島袋全志	レプトスピラ症
1 月 18 日	富里孔太	巨大結節が見つかった急性肝炎
1 月 25 日	上原盛幸	血球貪食症候群について
2 月 1 日	嘉川春生	当院における ESWL
2 月 8 日	佐久川 陽子	気道管理機材について
2 月 15 日	花城 ふく子	潰瘍性大腸炎に合併した原発性硬化性胆管炎の 1 例
2 月 29 日	平良直也	Ethnoepidemiology of HTLV-1 related diseases
3 月 7 日	井手上 隆史	母乳の科学
3 月 14 日	仲田 操	非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン
3 月 21 日	折田 均	糞線虫症について
3 月 28 日	山本 壽一	ハートライフクリニック

院内 CPC (臨床病理検討会)

(データ作成 医局 高嶋)

演題名	年月日	担当者
通常とは異なる機序による左主幹部の心筋梗塞を発症した末期肝硬変の一例	2011年9月20日	島袋全志、三戸正人、喜友名正也、戸田隆義
原発性胆汁性肝硬変に合併した肝細胞癌の1剖検例	2011年12月20日	青山貴博、佐久川 廣、喜友名正也、戸田隆義
気管支拡張症に重症肺炎を合併した一例	2012年2月14日	後藤敬子、新垣珠代、知花賢治、普天間光彦、喜友名正也
食道静脈瘤破裂をきたした肝癌合併肝硬変の1例	2012年2月28日	富里孔太、花城ふく子、佐久川 廣、喜友名正也
感染性心内膜炎に伴う多発性血栓性梗塞の1例	2012年3月13日	親川仁貴、下浦広之、仲田 操、喜友名正也、戸田隆義

研修医向け教育

(データ作成 総務課 嶋崎)

研修・勉強会名	主催	開催地	開催日	出席者
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2011年5月12日	後藤敬子、富里孔太、親川仁貴、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、知花賢治
一般社会法人群星沖繩臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2011年5月26日	後藤敬子、富里孔太、親川仁貴、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、知花賢治
一般社会法人群星沖繩臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2011年6月30日	後藤敬子、富里孔太、親川仁貴、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、知花賢治
一般社会法人群星沖繩臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2011年7月7日	後藤敬子、島袋全志、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、知花賢治
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2011年7月21日	後藤敬子、島袋全志、親川仁貴、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、知花賢治
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2011年8月18日	花城ふく子、親川仁貴、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、知花賢治
一般社会法人群星沖繩臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2011年10月6日	富里孔太、島袋全志、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、知花賢治
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2011年10月13日	富里孔太、島袋全志、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、山城充土、知花賢治
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2011年11月10日	島袋全志、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、山城充土、與那嶺周平、知花賢治
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2011年12月8日	富里孔太、島袋全志、親川仁貴、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、與那嶺周平、知花賢治
一般社会法人群星沖繩臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2012年1月5日	後藤敬子、富里孔太、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、與那嶺周平、知花賢治
一般社会法人群星沖繩臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2012年2月2日	富里孔太、島袋全志、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、町田紀昭、知花賢治
一般社会法人群星沖繩臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2012年3月1日	花城ふく子、島袋全志、親川仁貴、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、與那嶺周平、知花賢治
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2012年3月15日	花城ふく子、富里孔太、親川仁貴、青山貴博、新里輔鷹、前本均、上原盛幸、與那嶺周平、知花賢治

研修医学会発表

(データ作成 総務課 嶋崎)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
大酒家に発症した自己免疫性肝炎の1例	第293回日本内科学会九州地方会	長崎県	2011年5月28日	青山貴博、城間丈二、折田 均、宮城 純、佐久川 廣、長嶺春利(ながみね内科)
粗大結節肝を呈した原因不明の重症急性肝炎の1例	第112回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011年6月12日	富里孔太、佐久川廣、城間丈二、折田 均、宮城 純、
コイルによる肝動脈塞栓が功を奏したHCCの1例	第91回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2011年6月24日	後藤敬子、佐久川廣、青山貴博、城間丈二、宮城 純、折田 均
頭頸部領域癌症例に対する内視鏡的胃瘻増設術の検討	第91回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2011年6月24日	親川仁貴、宮平 工、国吉史雄、堤 真吾、照屋なつき、澤岬安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦、長濱正吉(琉球大学院消化器腫瘍外科)
骨盤内放射線照射術後の膀胱直腸瘻に対して、横行結腸人工肛門造設術を施行した一例	第98回日本消化器病学会九州支部例会	長崎県	2011年11月18日	新里輔鷹、澤岬安勝、宮平 工、村山茂美、国吉史雄、西原 実、堤 真吾、花城直次、奥島憲彦
骨髄原発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例	第295回九州地方会日本内科学会九州支部	佐賀県	2011年11月20日	上原盛幸、宮城 敬、山入端敦、大瀨昌代、狩俣かおり、平良直也
CMV感染症を契機に発症した血球貪食症候群の一例	第113回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011年12月11日	上原盛幸、狩俣かおり、宮城敬、平良直也、山入端 敦、栗山一孝、大瀨昌代
心エコーが有効であったガス壊疽の一例	第296回日本内科学会九州地方会	福岡県	2012年1月28日	後藤敬子、三戸正人、金城太貴、下浦広之、仲田 操、與座 一、新垣珠代、大瀨昌代、平良直也
free air を認めた膝外傷の一例	第48回日本腹部救急医学会総会	石川県	2012年3月14日	新里輔鷹、宮平 工、花城直次、西原 実、奥島憲彦

※初期研修医のみ。後期研修医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

各科概要・実績

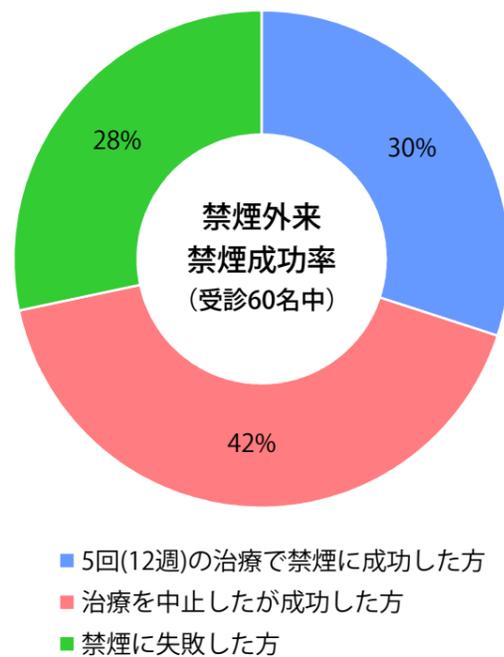
内 科

ハートライフ病院の内科は、消化器 5 名、循環器 6 名、血液 5 名、呼吸器 3 名、糖尿病内分泌 4 名、総合診療 1 名の体制です。腎臓、膠原病と神経の領域の専門医はおらず、皆でこれらの領域の疾患に対応しております。それぞれの専門分野において、県内でトップレベルの診療をしており、また、当院は県内に 6 病院しかない内科学会の認定教育施設になっております。教育施設として認定されるには剖検数や学会発表数、CPC の開催数等のクリアすべき高いハードルがありますが、スタッフの頑張りで毎年これらの施設基準を満たしています。

2010 年 10 月に非血縁者間の骨髄移植を施行できる施設として認定され、現在、沖縄県内で唯一の骨髄バンクを介した骨髄移植が可能な施設になっています。2011 年には 15 例の非血縁者間（バンク）骨髄移植を行っています。

「内科」では、各専門内科に含まれない初診・二次精査および各種専門外来を紹介いたします。内科系の詳細なデータは、以降の各専門内科ページをご参照ください。

生活習慣病・禁煙外来



二次精査件数

(データ作成 予防医学センター 安次富 / 地域医療連携室 砂川)

他医療機関からの二次精査の紹介患者数*	1,025
ハートライフ病院の予防医学センターからの紹介で2次精査として当院を受診した患者数*	2,398

※診療科にかかわらず、すべての患者を含みます。

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師 3 名（スタッフ 2 名、後期研修医 1 名）体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、月曜日と金曜日の午後 1 時より 7 階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師 3 名に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・NST・MSW と一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の 16 時から胸写カンファレンスを行い、水曜日 17 時からは放射線科との合同画像カンファレンスを行う事で胸写や胸部 CT の読影力向上に努めています。火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。木曜日の午後は各部署のリンクスタッフと共に呼吸器装着患者の RST ラウンドを行っています。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
呼吸器内科部長 副医局長 7 階病棟医長	普天間 光彦	肺炎・気管支喘息・肺気腫・肺癌・肺結核	
呼吸器内科医長	知花 賢治	幅広く内科・救急診療に携わっていきたいと思いますので よろしくお願ひ致します。	日本内科学会認定医 日本呼吸器学会専門医 総合内科専門医
後期研修医	新垣 珠代	呼吸器内科一般	

検査・治療件数

(データ作成 企画室広報 知念)

検査・治療	件数	検査・治療	件数
気管支鏡検査	49	睡眠時無呼吸外来のべ患者数	1,128 名

研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院で経験した Dengue 熱の一例	第 112 回 沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 6 月 12 日	新垣珠代、知花賢治、大浦 学、 普天間光彦、佐久川 廣
原発性肺癌と胸腺癌の同時重複癌の 1 例	第 51 回 日本肺癌学会九州支部学術講演会	熊本県	2011 年 7 月 30 日	知花賢治、新垣珠代、古堅智則 (琉球大学第一内科)、照屋孝夫 (同第 2 外科)、普天間光彦、藤 田次郎 (同第一内科)
てんかん発作後の急性肺水腫を繰り返した 1 例	第 294 回 日本内科学会九州地方会例会	福岡県	2011 年 8 月 20 日	新垣珠代、知花賢治、普天間光 彦、佐久川 廣、 上笹 航 (脳神経外科)

論文著書

(データ作成 図書 宮城)

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
東日本大震災医療支援 沖縄県医師会災害 救助医療班について(第 12 陣報告)【一般】	沖縄県医師会報	(2011.09) 47 巻 9 号・Page1007-1009	普天間光彦

年度総括



呼吸器内科部長
普天間 光彦

平成 23 年度は年間 625 名の入院患者さんの診療を行い、49 名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会総会に参加して見聞を広め、県医学会で演題発表を行い、また、知花先生を中心に県外でも活発に活動しており、内科学会九州地方会、肺癌学会、呼吸器学会九州地方会で演題発表を行いました。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。平成 24 年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしていく予定です。

循環器内科

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
理事長	安里 哲好	循環器疾患・生活習慣病	日本内科学会指導医 日本透析医学会専門医 日本循環器学会専門医 日本医師会産業医
外来診療部長兼 救急総合診療部長	與座 一		一般循環器
循環器内科部長	仲田 操		日本内科学会専門医 日本内科学会指導医 日本循環器学会専門医
循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急・地域医療	日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医 日本循環器学会専門医 日本救急医学会救急専門医
	比嘉 章子		一般内科
	金城 太貴		
	下浦 広之		

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

(データ作成 企画室広報 知念)

	H19	H20	H21	H22	H23
冠動脈 CT	846	821	629	581	556
トレッドミル	155	125	133	186	304
ホルター心電図	196	210	193	215	229
心筋シンチ	99	107	123	133	111
経胸壁心エコー	2,883	2,503	2,619	2,753	3,085
経食道心エコー	8	8	18	20	31

治療件数一覧

(データ作成 企画室広報 知念)

	H19	H20	H21	H22	H23
経皮的冠血行再建術 (PCI)	71	130	142	137	145
ペースメーカー植込み術	10	12	16	20	18
電池交換	1	5	4	4	2
一時的ペースメーカー	9	3	6	15	6
IABP	7	9	19	14	12
PCPS	0	0	1	2	3
下大静脈フィルター	1	0	1	1	5
末梢血管拡張術 (PPI)	0	0	1	1	5

研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
慢性好酸球性肺炎の経過中に好酸球性心筋炎を発症した一例	第 112 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 6 月 12 日	下浦広之、仲田 操、金城太貴、三戸正人、與座 一
Stent 回収に難渋し、外科的処置を必要とした一例	第 64 回沖縄県心血管インターベンション研究会	沖縄県	2011 年 10 月 21 日	金城太貴、仲田 操、三戸正人、下浦広之、與座 一
沖縄県における脳卒中医療連携に試み	全日本病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 29 日	安里哲好、(沖縄県医師会) 高良英一、豊見山直樹、外間尚美、岩田 剛、下地辰典、饒波正博、渡嘉敷 宗、重盛康司、仲地 聡、玉城信光
左前下行枝の PCI 中にたこつぼ型心筋症の発症が疑われた一例	第 111 回日本循環器学会九州地方会	福岡県	2011 年 12 月 3 日	下浦広之、三戸正人、金城太貴、仲田 操、與座 一
僧帽弁輪石灰化 (MAC) に付着し多発性塞栓症を起こした Group G streptococcus (GSS) による感染性心内膜炎の一例	第 113 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 12 月 11 日	前本 均、三戸正人、金城太貴、下浦広之、仲田 操、與座 一
IVUS による心筋虚血の評価 (The effect of lesion length on Fractional flow reserve: a study using 3D-IVUS)	第 65 回沖縄県心血管インターベンション研究会	沖縄県	2012 年 1 月 16 日	仲田 操、三戸正人、下浦広之、金城太貴、後藤敬子、與座 一
心房細動に起因する脳栓塞症患者におけるワルファリンの日常生活動作に与える影響の検討	医療連携カンファレンス	沖縄県	2012 年 1 月 17 日	仲田 操、三戸正人、下浦広之、金城太貴、與座 一
心エコーが有効であったガス壊疽の一例	第 296 回日本内科学会九州地方会	福岡県	2012 年 1 月 28 日	後藤敬子、三戸正人、金城太貴、下浦広之、仲田 操、與座 一、新垣珠代、大瀨昌代、平良直也
99mtc-mibi washout によるアンスラサイクリン系抗腫瘍剤の心毒性評価	心臓核医学地域別教育研修会	沖縄県	2012 年 2 月 10 日	三戸正人、宮城 敬

活動実績

出前健康講話実施状況

(データ作成 地域医療連携室 仲田)

テーマ	開催地	年月日	講師
メタボリックシンドロームについて	中城村 健康保険課 吉の浦会館	2011 年 12 月 9 日	三戸正人

年度総括



循環器内科部長
仲田 操

循環器内科の診療は、與座一を中心に、仲田操、三戸正人、金城太貴、下浦広之の 5 人で行っています。前記の業務実績のとおり、侵襲的治療は狭心症や心筋梗塞など虚血性疾患への PCI を多く行って参りました。平成 24 年度は、侵襲的治療は狭心症や心筋梗塞など虚血性疾患への PCI に加え、不整脈であるカテーテルアブレーションを開始予定です。また、心肺運動負荷試験検査のために呼吸ガス代謝モニター器を導入し、心大血管疾患リハビリテーション (I) の施設認定を取得して、心不全をはじめとした心疾患の心臓リハビリテーション・運動療法の開始をめざします。さらに、運動処方とは心疾患だけでなく、冠動脈疾患のリスクファクターである糖尿病や高血圧症などへの適応もあるため、今後、積極的に予防医療への介入も検討しています。

消化器内科

消化器内科が扱う臓器は幅広く、腎臓・副腎など一部の臓器を除く腹部の臓器のほとんどが守備範囲となります。そのため対象となる患者さんは多く、症例は多岐にわたります。また、人間は精神的ストレスが掛ると身体的には消化管に影響が出る事が多く、心身医療とも密接な関わりがあります。おそらく病院を受診する患者さんのかなりの部分を消化器疾患が占めているものと思われます。当科は、なかでも肝疾患に対する治療に力を入れており、肝再生医療（幹細胞から肝臓を再生する）の導入を厚生労働省に申請中です。認められれば県内最初の施設となり、同分野においてさらなる発展が期待されています。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

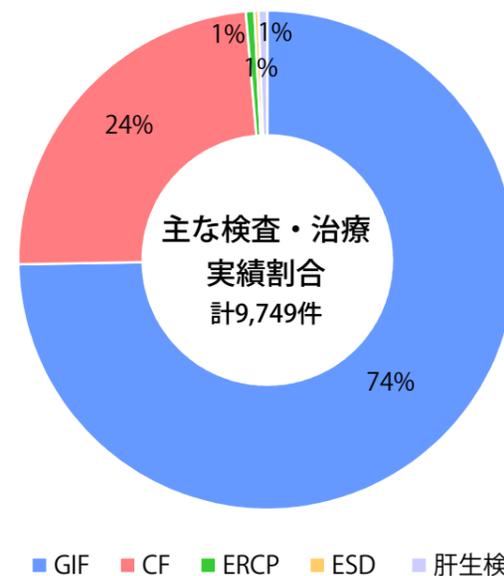
役職	氏名	専門分野	学会認定など
副院長 内科部長	佐久川 廣	肝炎・肝硬変・肝癌・B 型及び C 型慢性肝炎の治療・肝癌の治療	日本肝臓病学会専門医 日本感染症学会指導医 インфекションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会認定医 日本消化器病学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定機構がん治療暫定教育医
消化器内科部長 内視鏡センター長	折田 均	胸焼け外来（機能性消化管疾患）	日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医
5 階病棟医長	宮城 純	上部・下部消化管疾患の診断・治療	日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定医
消化器内科医長	城間丈二		日本内科学会認定医 日本肝臓病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医
	田村次朗		日本内科学会認定医

検査・治療・手術件数

主な検査・治療実績

(データ作成 企画室広報 知念)

	2009 年度	2010 年度	2011 年度
GIF	7,528	7,587	7,288
CF	2,509	2,509	2,319
ERCP	56	94	65
ESD	35	30	17
(食道 / 胃 / 大腸)	(6/15/14)	(13/10/7)	(11/5/1)
肝生検	77	72	60



研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
大酒家に発症した自己免疫性肝炎の 1 例	第 293 回日本内科学会九州地方会	長崎県	2011 年 5 月 28 日	青山貴博、城間丈二、折田 均、宮城 純、佐久川 廣、長嶺春利 (ながみね内科)
粗大結節肝を呈した原因不明の重症急性肝炎の 1 例	第 112 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 6 月 12 日	富里孔太、佐久川 廣、城間丈二、折田 均、宮城 純、
コイルによる肝動脈塞栓が功を奏した HCC の 1 例	第 91 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2011 年 6 月 24 日	後藤敬子、佐久川 廣、青山貴博、城間丈二、宮城 純、折田 均
核酸アナログ製剤が奏効した D 型肝硬変の 1 例	第 15 回日本肝臓学会大会	福岡県	2011 年 10 月 20 日	城間丈二、田村次郎、折田 均、宮城純、佐久川 廣、宮里 賢 (那覇市立病院内科)、仲吉朝邦 (琉生病院内科)、前城達次 (琉球大第一内科)、藤田次郎 (同)、金城福則 (琉球大学附属病院・光学医療診療部)
閉塞性黄疸で発症した肝細胞癌の 1 例	第 98 回日本消化器病学会九州支部例会	長崎県	2011 年 11 月 19 日	田村次朗、城間丈二、折田 均、宮城 純、佐久川廣、金城福則 (琉球大学光学医療 診療部)、藤田次郎 (琉球大学第一内科)

論文著書

(データ作成 図書 宮城)

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の診断と治療【解説】	沖縄県医師会報 (0917-1428)	(2011.05) 47 巻 5 号・Page566-570	佐久川 廣 城間丈二

その他活動実績

院内活動としては、隔月で地域登録医との消化器症例検討会を開催しており、また職員向けの講演会や勉強会を不定期で行いました。院外活動としては、前表のとおり県内外での学会発表や医療関連雑誌などへの論文投稿や一般向けの雑誌、新聞などへの執筆も行っています。今年度は、例年に比べて学会発表が少なかったですが、地域や医師会などでの講演活動も積極的に行いました。

年度総括



消化器内科部長
折田 均

平成 23 年度は前年度末に発生した東日本大震災の影響を受け、内視鏡件数が激減したが（詳細は内視鏡センターの年度総括の項を参照）、これは不可抗力的な事象であり、致し方ないと考えています。業務内容は例年と変わりなく、特に目立った出来事はなく、また重大な医療事故もなかった事は良かったと考えます。ただ問題はここ 1～2 年常勤医の退職が続いており、一頃よりも明らかに消化器内科がパワーダウンしていることです。紹介の項にもあったようにニーズの多い領域であり、マンパワーが不足すると個人が疲弊して耐えられずに退職するという悪循環に陥ってしまいます。今後は常勤医の増員、とりわけ若手医師（20～30 歳代）の確保が不可欠であると考えます。

血液内科

血液内科は、現在 5 名の医師が常駐しており血液疾患一般の診療を行っています。特に造血幹細胞移植の症例数は県内ではトップであり、全国的にみても上位 30 位前後に入る症例数を誇っております。

その中で骨髄バンクのドナーより行われる非血縁者間骨髄移植は、県内では唯一当院でしか行えず沖縄県の移植医療に貢献しているという自負があります。このような成果はひとえに病院職員、県外まで赴きドナーの骨髄を運搬して下さる方々や病棟看護師、コメディカルの皆様の協力の上で成り立っていると感謝しております。今後とも皆様のお力添えのほど宜しくお願い申し上げます。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
血液内科部長 無菌治療センター長 5 階病棟医長	平良 直也	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会総合内科専門医
血液内科医長	宮城 敬	一般血液内科	日本内科学会認定医
	狩俣 かおり	一般血液内科	日本内科学会認定医 日本血液学会専門医
	大濱 昌代	一般血液内科	日本内科学会認定医
	山入端 敦	一般血液内科	日本内科学会認定医

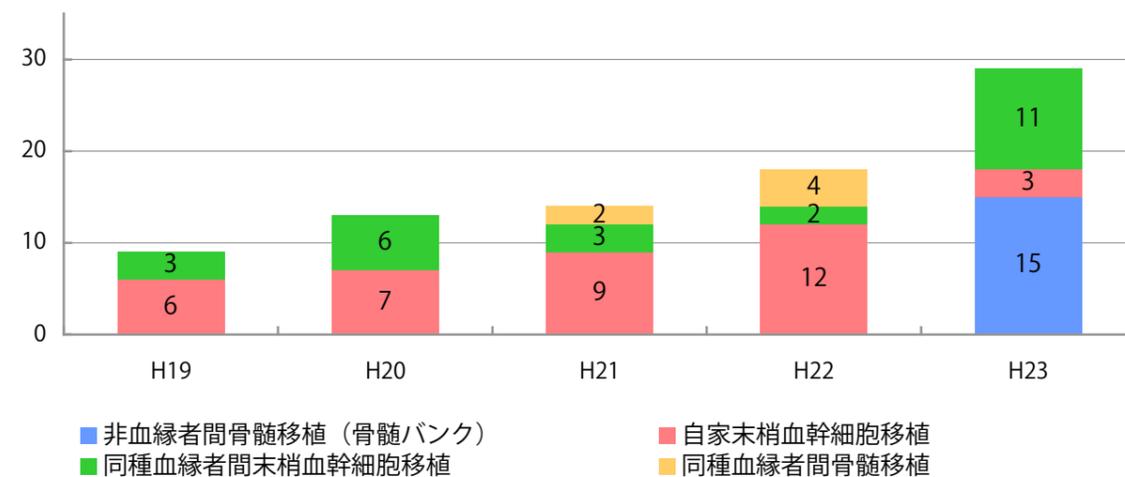
検査・治療・手術件数

骨髄移植術実施一覧

(データ作成 企画室広報 知念)

	H19	H20	H21	H22	H23
非血縁者間骨髄移植 (骨髄バンク)	-	-	-	-	15
自家末梢血幹細胞移植	6	7	9	12	3
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	3	6	3	2	11
同種血縁者間骨髄移植			2	4	0
計	9	13	16	18	29

移植症例実績



研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Sustained CCyR to dasatinib in CML-BC with two different acquired bcr-abl mutations	第 73 回日本血液学会学術集会	愛知県	2011 年 10 月 15 日	Kaori Karimata, Atsushi Yamanoha, Masayo Ohama, Takashi Miyagi, Naoya Taira, Sinya Kimura (Division of Hematology, Dept. Int. Med. Saga Univ. Japan), Kazutaka Kuriyama (Hematology, School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Univ. of the Ryukyus)
沖縄県における造血幹細胞移植の病診連携	第 53 回全日本病院学会	宜野湾市	2011 年 10 月 29 日	平良直也、宮城 敬、狩俣かおり、大濱昌代、山入端 敦
骨髄原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例	第 295 回九州地方会 日本内科学会九州支部	佐賀県	2011 年 11 月 20 日	上原盛幸、宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり、平良直也
サイトメガロウイルス初感染を契機に発症したケームス陰性自己免疫性溶血性貧血の一例	第 113 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 12 月 11 日	大濱昌代、山入端 敦、狩俣かおり、宮城 敬、平良直也、栗山一孝
CMV 感染症を契機に発症した血球貪食症候群の一例	第 113 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 12 月 11 日	上原盛幸、狩俣かおり、宮城敬、平良直也、山入端 敦、栗山一孝、大濱昌代

年度総括



血液内科部長
平良 直也

この 2 年間で当院にて行われた骨髄バンクドナーからの骨髄採取術は 20 例を超え、全国でも優秀な採取施設であり社会に貢献度が高い施設として骨髄バンクから感謝状を授与されました。

また移植症例数も順調に推移しており、無菌室の稼働率も良好で少しでも病院の利益に貢献しているのではないかと考えております。

次年度は医療制度の改定に伴い、無菌室の清浄度のアップを図るために無菌病棟の大掛かりな改築を行う予定です。それにより、より一層質の高い医療が期待できます。また新たに臍帯血移植を行う予定であり今後ますます移植症例数が増える見込みです。

さらには、近年再生医療が注目されており造血幹細胞を用いた再生医療に取り組む準備を始めたいと考えております。

内科年度総括



内科部長・副院長
佐久川 廣

平成23年度の内科の収益は、前年と比較して10.1%の伸びを示しました。その原因として①入院患者数の増加、②血液及び循環器科の高点数患者の増加が上げられます。入院患者数に関しては、新規入院患者が月平均で36名伸び、298.3名でした。また、稼働患者数も月平均で8名増え、稼働数の平均が150.4名でした。新規入院患者数の中で老人施設からの入院数が増加傾向にあり、昨年より月平均で10名増えています。高齢化に伴いこの傾向は続くと思われま。平成24年度は、心大血管疾患リハビリテーション（I）を開始する予定です。また、自己骨髄細胞を用いた肝再生療法の準備を進めております。既に臨床研究の申請を行い、厚生労働省の認可を待っている段階です。申請が受理されれば、平成24年度中に2-3症例の治療を行う予定です。

小児科

言うまでも無く小児科とは、子供を対象に診察する科です。この小児科の特徴としては、まずは子供の病気に関しては全部の診療科に、ある程度対応できる必要があるということです。もう一点、子供の身体は大人とは異なりますから、子供を対象に限定して診るだけでも独立した診療科となります。また子供の体は常に変化（成長）しており、年齢が僅か1歳違うだけでも、体の状態に大幅な開きがあります。即ち、各々の成長期には、各々固有の症状が存在する訳です。小児科はそれに対応して行かなければなりません。

当院の小児科では紹介患者を中心に診療を行い、入院を含め3人の医師が連携し新生児、膠原病など専門的な疾患から肺炎、気管支喘息、アトピー性皮膚炎など一般的な疾患まで幅広く対応しています。

医師プロフィール

(平成23年8月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長	安里義秀	新生児	日本小児科学会専門医
小児科医長	国島知子	一般小児科	日本小児科学会専門医
	川満 豊	一般小児科	日本小児科学会専門医

研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
歩行困難を主訴とし診断の異なる2乳児例	第113回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011年12月11日	青山貴博、安里義秀、国島知子、川満 豊

論文著書

(データ作成 医局 大城)

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間(11/1～11/30)によせて	沖縄県医師会報(0917-1428)	(2011.11) 47巻11号 Page1246-1247	安里義秀

その他活動実績

乳児健診……中城村、西原町を中心に計18回

校医……中城小学校 / 中城幼稚園 (安里)

西原小学校 / 西原幼稚園 (国島)

RyuMIC 臨床研修指導医養成セミナー・タスクフォース (安里)

年度総括



小児科部長
安里 義秀

DPC 統計による当院小児科の平均在院日数は約 4 日（全国平均の約 7 日）、治癒退院率 32%（同 14%）となっており、より短い期間でより確実に疾病に対応できていると思われます。また紹介入院率は 55%（同 37%）とより地域連携病院としての役割を果たしています。一方で来院患児はその 1/3 が西原町となっており、立地から考えると宜野湾市、中城村からの来院者が少ない傾向があります。これは地域への当院小児科の周知が不十分なことを表しており、今後乳幼児健診等に積極的にに関わり、周辺市町村への当院小児科医師を身近に感じてもらえるように努力する必要があることを示しています。

心療内科

当科は新設してから早 4 年目になります。医師一名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、他科に入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。当科での入院治療は行っていません。

よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療をする科ということになります。自律神経の機能がうまく調整できなくなる原因は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労などさまざまです。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれませんね。

医師プロフィール

（平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
	菅野 善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

年度総括



心療内科
菅野 善一郎

平成 23 年度は、県医師会の被災地ボランティアから始まりました。詳しくは広報紙あすなろ春号（No.69）の特集に載っていますが、わたくし自身、自分の在り方や人の一生などさまざまなことを考えさせられました。がれき撤去が進まず復旧は遅々としているようで、その後の大槌町が気がかりです。

平成 24 年度は、衛生委員会主催で「心の健康づくり計画」を予定しています。これは、職員のメンタルヘルスケアについての規定を明文化して、広く知識を持ってもらうことでメンタルヘルス不調を予防しようという 3 ケ年計画での試みです。一人でも多くの職員が「ハートライフ病院に勤められてよかった」と思える環境づくりを目指していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

外科

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
院長	奥島憲彦	消化器外科・食道外科・食道癌の内視鏡的治療	日本外科学会指導医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構認定医 日本医師会産業医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本食道学会認定医 日本体育協会公認スポーツドクター
医局長 外科部長	西原 実	一般消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡外科・抗がん剤治療	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会評議員 検診マンモグラフィ読影認定医 Best Doctors in Japan 認定
外科副部長 4 階病棟医長	宮平 工	胃癌・大腸癌に対する手術治療・抗がん剤治療 各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術・単孔式手術	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会認定医 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本消化器外科学会消化器がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医
外科副部長	花城直次		日本外科学会認定医 日本外科学会専門医
	村山茂美	乳腺外来	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 日本乳癌学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
	澤岨安勝		日本外科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
	堤 真吾		
	国吉史雄		

検査・治療・手術実績

術式別一覧 (KCODE ベース)

(データ作成 企画室広報 知念)

K-CODE	術式	件数
	その他	2
	CV 抜去	14
	胃瘻造設術	1
	縫合術	1
K000	CV 抜去創傷処置 (100cm2 未満)	1
K002	デブリードマン	3
K004	皮膚・皮下・粘膜下血管腫摘出術	1
K005	皮膚、皮下腫瘍摘出 (露出部)2cm 未	4
	皮膚、皮下腫瘍摘出 (露出部)4cm 以上	1
	皮膚、皮下腫瘍摘出 (露出部)4cm 未満	6
	皮膚、皮下腫瘍摘出術	2
K006	胸部皮膚、皮下腫瘍摘出術	1
	殿部皮膚、皮下腫瘍摘出術	1
	皮膚、皮下腫瘍摘出術	18
	皮膚、皮下腫瘍摘出 - 露出部外 3 ~ 6cm	10
	皮膚、皮下腫瘍摘出 - 露出部外 -3cm 未	4
	皮膚、皮下腫瘍摘出 - 露出部外 -6cm 以	3
K013	分層植皮術	2
K015	皮弁作成・移動・切斷・遷延皮弁術	1
K016	筋 (皮) 弁術	1
K019	複合組織移植術	1
K020	自家遊離複合組織移植術	1
K046	骨折観血の手術	2
K308	PEG 中止胃・十二指腸ファイバースコピー	1
	胃・十二指腸ファイバースコピー	3
K386	気管切開術	7
K396	気管切開孔閉鎖術	1
K399	気管狭窄症手術	1
K461	甲状腺部分切除術	1
K464	副甲状腺 (上皮小体) 腺腫過形成手術	1
K474	乳腺腫瘍摘出術	3
K476	乳癌 2. 乳房部分切除術	10
	乳癌 3. 乳房切除術	2
	乳癌 4. 乳房部分切除術	3
	乳癌 5. 乳房切除・胸筋温存 (郭清有)	8
	乳腺悪性腫瘍手術	2
	両方乳癌 5. 乳房切除・胸筋温存 (郭清有)	1
K513	胸腔鏡下肺切除術	1
K526	食道腫瘍摘出術	1
K529	食道悪性腫瘍手術	1
K611	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用埋込	19
	抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用埋込	13
K615	血管塞栓術	1
K618	中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置	2
K626	リンパ節摘出術	13
	鼠径リンパ節摘出術	1
K627	リンパ節群郭清術	2
K633	大腿・鼠径ヘルニア	40
	腹壁癒痕ヘルニア	8
	臍ヘルニア	4

K-CODE	術式	件数
K634	大腿・鼠径ヘルニア	1
K636	試験開腹術	3
K637	限局性腹腔膿瘍手術	3
K639	急性汎発性腹膜炎手術	8
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	1
K646	胃血管結紮術	1
K647	胃縫合術	1
K654	内視鏡的消化管止血術	1
K655	胃切除術	11
K657	胃全摘 - 悪性	6
	胃全摘術	3
K662	胃腸吻合術	6
K664	胃瘻造設術	77
	開腹胃瘻造設術	1
K671	胆管切開結石摘出術	3
K672	胆嚢摘出術	14
K680	総胆管胃 (腸) 吻合術	2
K695	肝切除術	6
K702	脛体尾部腫瘍切除術	1
K703	脛頭部腫瘍切除術	2
K711	脾摘出術	1
K714	腸閉塞症手術	1
K716	小腸切除術	6
	腸閉塞症手術	2
K718	虫垂切除術	15
K719	回盲部切除術	1
	結腸切除術	28
K724	腸吻合術	1
K725	腸瘻造設術	3
K726	人工肛門造設術	17
K732	人工肛門閉鎖術	5
K740	直腸切除・切斷術	11
K743	ミリガン・モーガン手術	1
	痔核手術	4
K745	肛門周囲膿瘍切開術	1
K746	痔瘻根治手術	1
K747	肛門ポリープ切除術	1
K753	毛巣洞手術	1
K787	尿管尿管吻合術	1
K803	膀胱悪性腫瘍手術	1
K804	尿管摘出術	1
K888	子宮付属器腫瘍摘出術	1
K889	子宮付属器悪性腫瘍手術	1
K013-24	全層植皮術	1
K474-2	乳管腺葉区域切除術	6
K476-31	乳房再建術	1
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	1
K526-	内視鏡的食道粘膜切除術	1
K526-22	食道早期悪性腫瘍 ESD	4
K607-2	血管縫合術	1
K655-22	腹腔鏡下胃切除術	1

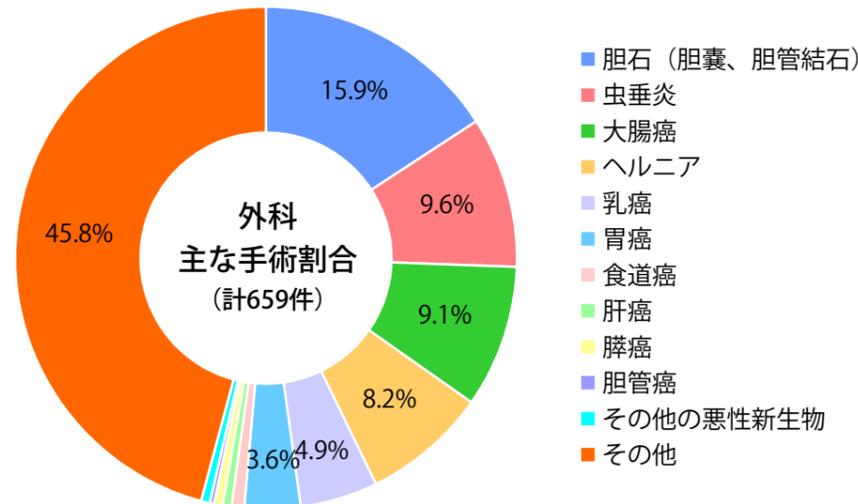
K-CODE	術式	件数
K671-21	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術	2
K672-	腹腔鏡下胆嚢摘出術	2
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	89
K711-2	腹腔鏡下脾摘出術	1
K716-2	腹腔鏡下小腸切除術	2
K718-	緊急腹腔鏡下虫垂切除術	1
	腹腔鏡下虫垂切除術	27
K718-21	Appedectomy+Abscess(-)	4

部位別一覧

部位・行為	件数
甲状腺・上皮小体 切除	2
乳腺 良性 切除	3
乳腺 悪性 切除	32
肺 悪性腫瘍 切除	1
肺 良性(自然気胸など)	1
食道 切除・再建	1
食道 ESD	6
胃 開腹 幽門側切除	11
胃 開腹 全摘術	9
胃 開腹 その他(胃十二指腸潰瘍など)	7
胃 腹腔鏡下手術	1
胃 腹腔鏡下手術 胃瘻造設	78
肝臓 腹腔鏡下手術 肝切除	6
胆嚢 結石 腹腔鏡下胆嚢摘出	91
胆嚢 結石 開腹胆嚢摘出	14
総胆管 結石	5
膵臓・胆管 膵頭十二指腸切除	2
膵臓・胆管 体尾部切除	2
膵臓・胆管 パイパス術	8
脾 腹腔鏡下手術 摘出	1

手術割合

	件数
胆石(胆嚢、胆管結石)	105
虫垂炎	63
大腸癌	60
ヘルニア	54
乳癌	32
胃癌	24
食道癌	6
肝癌	4
膵癌	4
胆管癌	1
その他の悪性新生物	4
その他	302



K-CODE	術式	件数
K719-	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	1
K719-21	腹腔鏡下結腸切除術	5
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	15
K740-	腹腔鏡下直腸切除・切断術	1
K740-22	腹腔鏡下直腸切除・切断術	5
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	1
	診療科合計	659

(データ作成 外科 花城)

部位・行為	件数
小腸 切除 人工肛門	8
小腸 その他	11
大腸 腹腔鏡下手術 結腸	5
大腸 開腹 結腸	29
大腸 腹腔鏡下手術 直腸	6
大腸 開腹 直腸	11
大腸 その他	23
虫垂炎 腹腔鏡下手術	28
虫垂炎 開腹	35
大腿・鼠径ヘルニア	41
腹壁癒痕ヘルニア	13
毛嚢洞	1
肛門(痔核・痔瘻ほか)	8
CV ポート 挿入	34
CV ポート 抜去	14
体表の手術	59
リンパ節生検	16
気管切開	8
その他の全身麻酔下の手術	22
その他の局所麻酔下の手術	6

(データ作成 メディカルクラーク 崎原 / 仲松)

研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
門脈内ガス血症 6 例の検討	平成 23 年度琉球大学第一外科同門会総会・学術集会	沖縄県	2011 年 6 月 4 日	堤 真吾、国吉史雄、照屋なつき、澤岷安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦
頭頸部領域癌症例に対する内視鏡的胃瘻増設術の検討	第 91 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2011 年 6 月 24 日	親川仁貴、宮平工、国吉史雄、堤 真吾、照屋なつき、澤岷安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦、長濱正吉(琉球大学院消化器・腫瘍外科)
直腸脱に対する腹腔鏡下直腸つり上げ術の経験	第 97 回日本消化器病学会九州支部例会	福岡県	2011 年 6 月 25 日	宮平工、国吉史雄、堤 真吾、照屋なつき、澤岷安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦、長濱正吉(琉球大学大学院消化器・腫瘍外科)
経肛門的針生検が診断に有用であった直腸癌の 1 例	第 97 回日本消化器病学会九州支部例会	福岡県	2011 年 6 月 25 日	澤岷安勝、宮平工、堤 真吾、国吉史雄、花城直次、西原実、村山茂美、奥島憲彦
超高齢者の胆石症手術における諸問題	第 66 回日本消化器外科学会総会	愛知県	2011 年 7 月 14 日	宮平工、国吉史雄、堤真吾、照屋なつき、花城直次、西原実、奥島憲彦
当院における DCIS 手術症例の検討から	第 19 回日本乳癌学会学術総会	宮城県	2011 年 9 月 3 日	村山茂美、照屋なつき、喜友名正也(同病理)、戸田隆義(琉球大学医学部附属病院検査部)
S 状結腸腸重積をきたした直腸癌の一例	第 62 回 沖縄県外科学会プログラム抄録集	沖縄県	2011 年 9 月 4 日	国吉史雄、堤 真吾、花城直次、澤岷安勝、村山茂美、宮平工、西原実、奥島憲彦、喜友名正也、戸田隆義
内視鏡的胃瘻造設術後の早期死亡症例の検討	第 19 回日本消化器関連学会週間 JDDW2011	福岡県	2011 年 10 月 23 日	宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦、長濱正(琉球大学第一外科)
術後約 6 年半を経過し、肝転移を来した十二指腸癌の 1 例	日本癌治療学会第 49 回学術集会	愛知県	2011 年 10 月 29 日	西原実、国吉史雄、堤真吾、澤岷安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、奥島憲彦、山本雅一(東京女子医科大学附属消化器病センター 外科)
頭頸部領域癌症例に対する内視鏡的胃瘻造設術の検討	第 7 回沖縄県胃瘻研究会	浦添市	2011 年 11 月 12 日	親川 仁貴、宮平 工
門脈内ガスを認めた 6 例の検討	第 73 回日本臨床外科学会総会	東京都	2011 年 11 月 18 日	堤 真吾、国吉史雄、照屋なつき、澤岷安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦
骨盤内放射線照射術後の膀胱直腸瘻に対して、横行結腸人工肛門造設術を施行した一例	第 98 回日本消化器病学会九州支部例会	長崎県	2011 年 11 月 18 日	新里輔鷹、澤岷安勝、宮平工、村山茂美、国吉史雄、西原実、堤 真吾、花城直次、奥島憲彦
膵頭十二指腸切除後に胆管結石を来した 1 例	第 73 回日本臨床外科学会総会	東京都	2011 年 11 月 19 日	西原実、国吉史雄、堤 真吾、澤岷安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、奥島憲彦
腹腔鏡補助下に修復した鼠径ヘルニア嵌頓の 2 例	第 24 回日本内視鏡外科学会	大阪府	2011 年 12 月 7 日	澤岷安勝、宮平工、堤 真吾、国吉史雄、花城直次、西原実、村山茂美、奥島憲彦
MITAS 術後に局所再発した直腸腫瘍に対し、TEM を施行した 1 例	第 24 回日本内視鏡外科学会	大阪府	2011 年 12 月 9 日	宮平工、国吉史雄、堤 真吾、澤岷安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
胃癌術後の髄膜癌腫症の 1 例	第 84 回日本胃癌学会総会	大阪府	2011 年 12 月 10 日	宮平工、澤岷安勝、長濱正吉(琉球大学大学院消化器・腫瘍外科)
膵頭十二指腸切除術後の胃空腸吻合部に狭窄をきたした 1 例	第 113 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 12 月 11 日	西原実、国吉史雄、堤 真吾、澤岷安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、奥島憲彦

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Ommaya reservoir にて治療した胃癌髄膜癌症の 1 例	第 113 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 12 月 11 日	宮平 工、国吉史雄、堤 真吾、澤岷安勝、花城直次、西原 実、奥島憲彦
著明な多発肝転移を伴う若年者大腸癌に対して集学的治療を施行した一例	第 113 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 12 月 11 日	新里輔麿、宮平 工、国吉史雄、堤 真吾、村山茂美、澤岷安勝、花城直次、西原 実、奥島憲彦、佐久川廣
盲腸・虫垂憩室穿孔の 1 例	第 113 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2011 年 12 月 11 日	国吉史雄、花城直次、堤 真吾、澤岷安勝、宮平 工、西原 実、奥島憲彦、村山茂美、喜友名正也、戸田隆義
腹腔鏡補助下に修復した鼠径ヘルニア嵌頓の 1 例	第 63 回 沖縄県外科学会プログラム抄録集	沖縄県	2012 年 2 月 5 日	澤岷安勝、宮平 工、国吉史雄、堤 真吾、花城直次、村山茂美、西原 実、奥島憲彦
free air を認めた膈外傷の一例	第 48 回日本腹部救急医学会総会	石川県	2012 年 3 月 14 日	新里輔麿、宮平 工、花城直次、西原 実、奥島憲彦
直腸静脈瘤出血に対して開腹下に下腸間膜静脈塞栓術を施行した 1 例	第 48 回日本腹部救急医学会総会	石川県	2012 年 3 月 15 日	堤 真吾、国吉史雄、澤岷安勝、村山茂美、宮平 工、花城直次、西原 実、奥島憲彦、高良 誠
腹腔鏡補助下右半結腸切除術における D3 郭清	第 6 回大腸疾患外科治療研究会	沖縄県	2012 年 1 月 28 日	講師 宮平 工

乳腺外来

2005 年から月 1 回、2006 年には週 1 回も加え琉球大学からの乳腺外科医による外来診療が行われていました。2007 年 4 月『乳腺外科外来』は正式に開設しました。乳腺外来の開設以降手術件数は増加しており、今後も一層の増加が見込まれております。乳腺外来では主に検診(マンモグラフィーや乳腺超音波)や自覚症状で見つかった乳腺病変の二次精査と有病変者の定期検診を行っています。良性疾患では乳腺症や良性腫瘍(線維腺腫・葉状腫瘍・乳頭腫など)、授乳期以外の乳腺炎、乳輪下膿瘍。悪性では乳癌を主に診療しています。乳癌は術前術後を通じ補助化学内分分泌療法や定期再発検診等を行っています。また、外科外来看護師によるリンパ浮腫指導も来院に合わせ施行し、化学療法施行者に関しては薬局・通院治療室、地域連携室も加わり症例毎の状態に合わせた治療計画を行えるよう努めています。

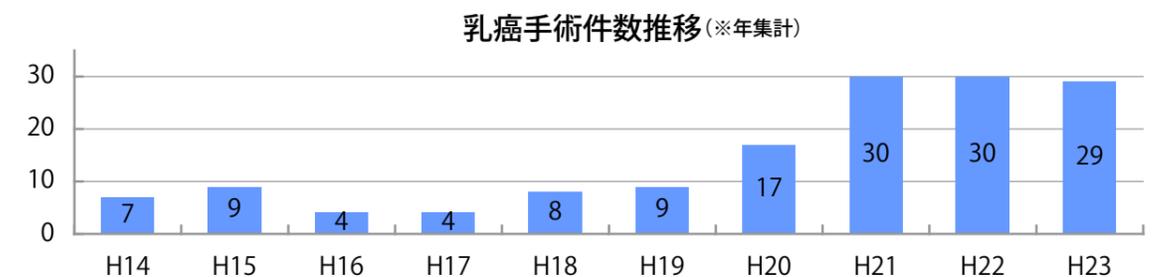
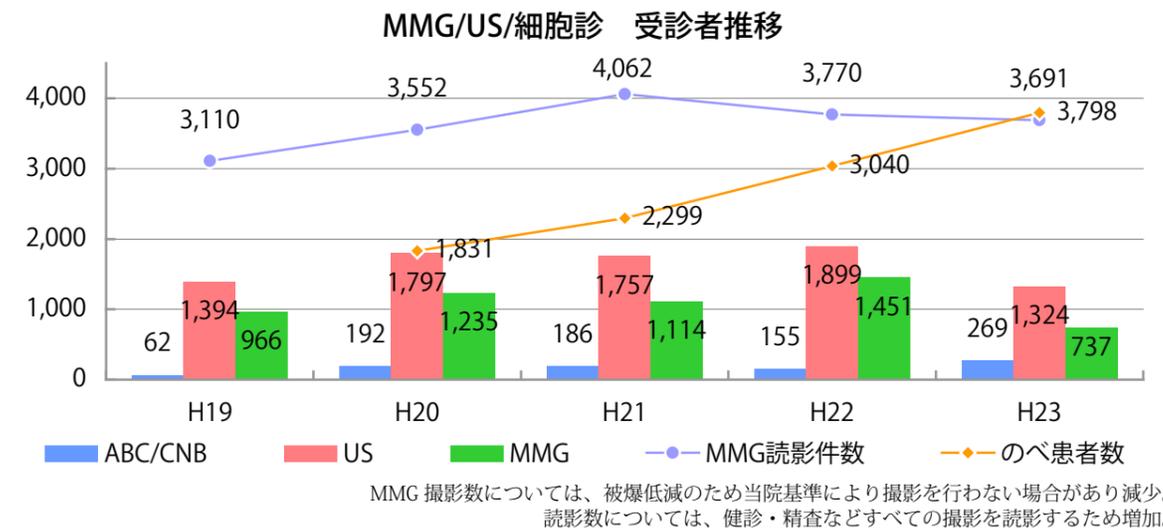
医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
乳腺外科医長	村山茂美	乳腺外来	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 日本乳癌学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医

検査・治療・手術件数

(データ作成 乳腺外科 村山)



**研究業績
学会発表**

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における DCIS 手術症例の検討から	第 19 回日本乳癌学会学術総会	宮城県	2011 年 9 月 3 日	村山茂美、照屋なつき、喜友名正也(同病理)、戸田隆義(琉球大学医学部附属病院検査部)

その他活動実績

出前健康講話

(データ作成 地域医療連携室 仲地)

テーマ	開催地	年月日	講師
乳がんの病気について	いいあんべ一家(西原町) 内間公民館	H23.11.24	村山 茂美

その他

院外活動では「with you OKINAWA ※」にコーディネーターとして参加。院内では、偶数月に人間ドック・放射線科医師を対象とした乳がん勉強会を開催。

※沖縄県内の乳がん患者さんとその家族の生活の質を向上させるために、患者さんと家族、各科の医師・看護師・技師など医療従事者、その他多職種の関係者が参加し、ともに考え、理想的なケアを実現するための会。

年度総括



乳腺外科医長
村山 茂美

本年度は昨年に比べ手術症例数の増減に大きな変化は認めませんでした。症例の内容は変化していました。病期 0- II 期が過半数以上である事に変化はありませんでしたが、前年に比べ病期 III - IV 期といった進行症例数の増加を認めています。これは進行症例者の受診増加に伴うものと考えられます。事実、沖縄県は平成 22 年度乳がん関連死亡率は全国ワースト 2 位となっています。背景として県内での乳がんに対する関心の低下や検診後の二次精査未受診や未受診の自覚症例者の存在があるのではないかと考えられます。乳がんは早期発見で 90% 以上の生存率が確立している癌であり、沖縄県の乳腺専門医は他県に比べ少なくはありません。当院手術症例者という限定された病期分布状態からではありますが、考えさせられる 1 年でした。

外科年度総括



外科部長兼
医局長
西原 実

今年度の外科は、奥島院長以下 8 名で頑張って参りました。手術件数ですが、腹腔鏡下胆嚢摘出術 91 例、胃瘻造設術 78 例、大腸手術 74 例、虫垂切除 63 例、ヘルニア根治術 54 例、胃手術 28 例など計 659 件でした。院外からの紹介患者数は 1092 件、院内からのコンサルト件数は 1007 件でした。相当数の紹介があり、大変うれしく思います。学会発表は県外、県内を合わせて 20 件以上に上ります。8 人という人数から考えると、よくがんばれたと自負しております。また、外科部長として地域連携室課長の仲地とともに、宮古、八重山の登録医の先生方を訪問し、ハートライフ病院外科をアピールして参りました。離島の皆様に医療を通して貢献し、多少なりとも紹介率のアップにつながればと考えております。

整形外科

整形外科は、松元悟、新垣勝男、渡慶次学、新垣薫、琉球大学からのローテーター親川知の 5 人です。琉球大学整形外科講座より、金曜日は関節外科非常勤医の応援を得ています。松元 悟は主に膝関節・スポーツを担当。沖縄県体育協会常務理事で、国体帯同 Dr. をはじめ県のスポーツ振興にも努めています。新垣勝男は脊椎外科を担当し、脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニアなどの手術を行っています。渡慶次 学は手の外科を担当しています。橈骨遠位端骨折手術は増加傾向にありプレートの発達により早期社会復帰が可能となっております。新垣薫は股関節を担当しています。定評のある専門性の高いアプローチによる人工関節手術や股関節鏡視下手術を行い、手術件数も増加しています。親川知は一般外傷を担当しながら、関節リウマチ疾患にも積極的に取り組んでいます。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
副院長	松元 悟	関節外科(膝関節)・外反母趾・スポーツ障害	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会リウマチ医認定 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師学会認定健康スポーツ医
整形外科部長	新垣 勝男	脊椎・脊髄外科	日本整形外科学会専門医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医
整形外科医長	渡慶次 学	手の外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本手の外科学会認定専門医
3 階病棟医長	新垣 薫 親川 知	関節外科(股関節)	日本整形外科学会専門医 一般整形

検査・治療・手術件数

術式別一覧 (KCODE ベース)

K-CODE	術式	件数
	中止用法なし	1
	異物除去(その他)	1
K000	創傷処理	9
	デブリードマン	1
K002	デブリードマン	1
K005	皮膚、皮下腫瘍摘出術	2
K006	皮膚、皮下腫瘍摘出術	1
K016	動脈(皮)弁術	1
K026	股関節筋群解離術	1
K028	腱鞘切開術	26
K030	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術	8
K035	腱剥離術	2
K037	腱縫合術	15
K039	腱移植術	1
K040	腱移行術	1
K043	骨搔爬術	1
K044	骨折非観血的整復術	1
K045	骨折経皮的鋼線刺入固定術	2
K046	骨折観血的手術	167

(データ作成 企画室広報 知念)

K-CODE	術式	件数
K048	骨内異物(挿入物)除去術	49
	橈骨骨内異物(挿入物)除去術	1
	前腕骨内異物(挿入物)除去術	1
	両足骨内異物(挿入物)除去術	1
K050	腐骨摘出術	3
	母指腐骨摘出術	1
	中指腐骨摘出術	1
K052	骨腫瘍切除術	1
K054	脛骨骨切り術	1
K056	偽関節手術	1
K057	変形治療骨折矯正手術	2
K059	骨移植術	10
K060	関節切開術	1
K061	関節脱臼非観血的整復術	1
K063	関節脱臼観血的整復術	7
K065	関節内異物(挿入物)除去術	6
K066	関節滑膜切除術	2
K070	ガングリオン摘出術	6
K073	関節内骨折観血的手術	27
	腓骨関節内骨折観血的手術	2

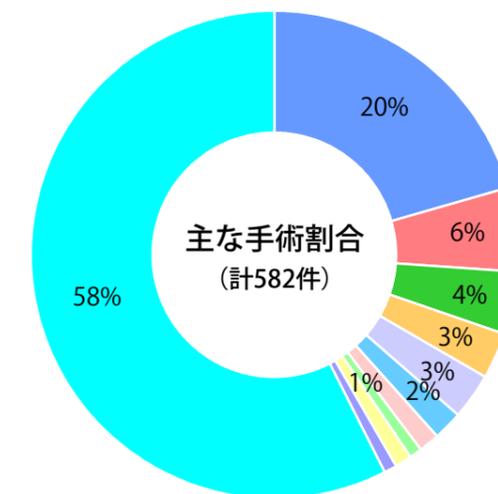
K-CODE	術式	件数
	脛骨関節内骨折観血的手術	2
K074	靭帯断裂縫合術	1
K076	観血的関節授動術	1
K077	観血的関節制動術	1
K078	観血的関節固定術	1
K081	人工骨頭挿入術	34
K082	人工関節置換術	40
K084	四肢切断術	10
	両方四肢切断術	1
K085	四肢関節離断術	1
K087	断端形成術	2
K088	切断四肢再接合術	3
K091	陥入爪手術	5
K093	手根管開放手術	7
K113	腸骨窩膿瘍搔爬術	1
K125	骨盤骨折観血的手術	1
K126	骨盤骨(軟骨)組織採取術	1
K128	脊椎内異物(挿入物)除去術	1
K131	脊椎固定術・椎弓切除術・椎弓形成術	16
K132	脊椎固定術・椎弓切除術・椎弓形成術	9
K133	黄色靭帯骨化症手術	1
K134	椎間板摘出術	9
K142	脊椎固定術・椎弓切除術・椎弓形成術	1
K182	神経縫合術	5

主な手術一覧

(データ作成 整形外科 新垣)

部位・行為	件数
骨折観血的手術	167
関節鏡下関節滑膜切除術	10
関節鏡下靭帯断裂形成術：十字靭帯	7
人工骨頭挿入術	34
人工関節置換術	45

K-CODE	術式	件数
K188	神経剥離術	4
	尺骨神経剥離術	1
K197	神経移行術	3
K610	動脈形成術	2
K623	静脈形成術	1
K035-	腱滑膜切除術	1
K037-2	アキレス腱断裂手術	1
K055-2	大腿骨頭回転骨切り術	1
K060-31	化膿性結核性関節炎清掃術	4
	化膿性関節炎又は結核性関節炎清掃	1
K066-	関節鏡下関節滑膜切除術	3
K066-21	関節鏡下関節滑膜切除術	7
K066-31	滑液膜摘出術	1
K066-5	膝蓋骨滑液嚢切除	1
K067-	関節鼠摘出手術	1
K068-2	半月板切除術	3
K069-	半月板縫合術	1
K069-3	半月板縫合術	8
K079-21	関節鏡下靭帯断裂形成術：十字靭帯	7
K082-	人工関節置換術	1
K082-21	人工関節置換術	1
K082-31	人工関節置換術	3
K141-2	寛骨臼移動術	2
合計		579



- 骨折観血的手術
- 人工関節置換術
- 人工骨頭挿入術
- 脊椎固定術・椎弓切除術・椎弓形成術
- 腱鞘切開術
- 腱縫合術
- 関節鏡下関節滑膜切除術
- 椎間板摘出術
- 関節鏡下靭帯断裂形成術：十字靭帯
- 手根管開放手術
- その他

研究業績

論文著書

(データ作成 図書 宮城)

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
THA 手術手技・合併症 白蓋ソケットガイドを用いた人工股関節置換術におけるカップ設置角の検討	日本人工関節学会誌 (1345-7608)	(2011.12) 41 巻 Page618-619	新垣 薫、大湾 一郎、金谷文則

その他活動実績

院内外研修受講実績

(データ作成 整形外科 渡慶次)

名称	開催地	実施年月日	参加者
指導医講習会	福岡県	2011 年 6 月 23 日～ 24 日	渡慶次 学

年度総括



整形外科医長
渡慶次 学

平成 23 年度は高齢化に伴い頰椎症性脊髄症・大腿骨頸部骨折・橈骨遠位端骨折の手術割合が増加傾向でした。また、変性疾患の治療にも積極的に取り組み、人工股関節置換術と人工膝関節置換術も共に増加しています。社会医療法人となり救急医療に広く対応している影響もあり、四肢外傷が増え再接着術などのマイクロサージャリー件数も増加しました。

平成 24 年度は重度変形性関節症による疼痛から解放される人工関節置換術のメリットについて啓蒙し、股関節鏡視下手術等の低侵襲手術へ取り組むことでより満足していただける医療を目指していく予定です。なお、平成 24 年 7 月より脊椎脊髄外科指導医（新垣勝男）の退職により、脊椎専門外来は閉鎖します。整形スタッフ減少により負担増加が予想されますが、安全で健全な診療を継続していけるよう努力します。

形成外科

形成外科は、平成 23 年 4 月から診療を開始いたしました。現在、1 週間のうち土曜日だけの診療ですが、午前中は外来及び局麻手術などの保険診療を、午後はレーザー治療を含めた自費診療を行っております。対象疾患は、なかなか治らない傷や傷跡の治療や相談、巻き爪ばかりではなく、^{がんけんかすい}眼瞼下垂症や二重手術の希望、わきがなどの美容的な手術から、^{ろうときょう}手指の先天異常、漏斗胸、癌切除後の再建手術や重度顔面外傷など形成外科としてオールラウンドに対応できるように心がけております。近い将来には、常勤として毎日形成外科としての医療をハートライフ病院に提供できるようこれからも頑張る所存です。お気軽にご相談いただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

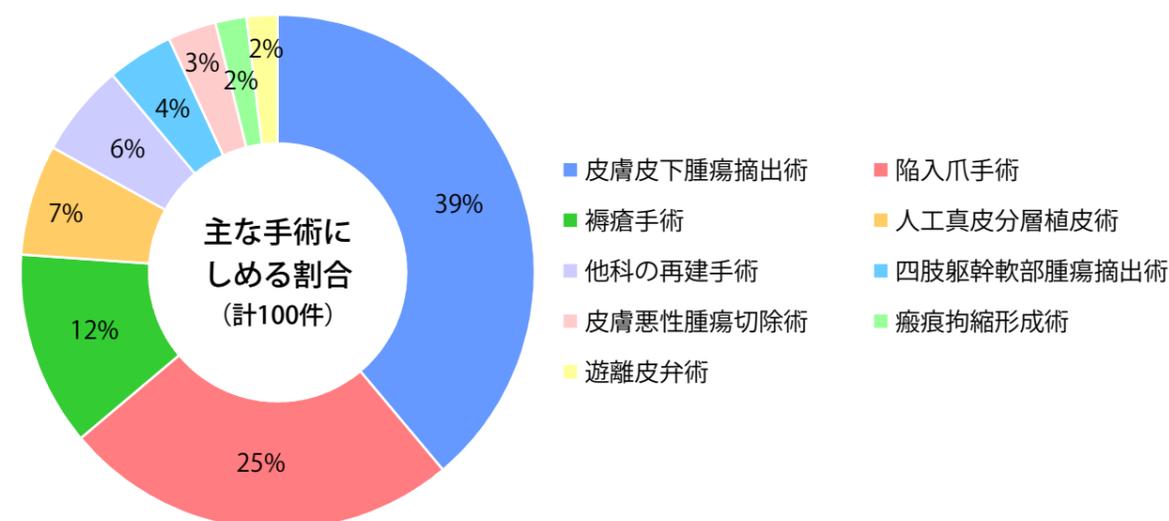
役職	氏名	専門分野	学会認定など
	東盛貴光	手足の外科、広範囲重症熱傷、マイクロサージャリー	日本形成外科学会専門医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会専門医 身体障害者福祉法指定医(肢体不自由)

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

(データ作成 形成外科 東盛)

部位・行為	件数	部位・行為	件数
皮膚皮下腫瘍摘出術	39	瘢痕拘縮形成術	2
皮膚悪性腫瘍切除術	3	遊離皮弁術	2
四肢軀幹軟部腫瘍摘出術	4	陥入爪手術	25
褥瘡手術	12	他科の再建手術	6
人工真皮分層植皮術	7	合計	100



年度総括



形成外科
東盛 貴光

平成 23 年 4 月よりスタートし、当初は 3～4 人であった 1 日の外来患者は、最近では毎週 30 人を超える程となり予約は連日いっぱいになるまで拡大しました。これもひとえに安里理事長、奥島院長をはじめとした関連各科の先生方、外来看護スタッフ、手術室スタッフ、事務の方々のおかげに他なりません。この場を借りて御礼申し上げます。平成 23 年度は私事ですが琉球大学への国内留学を兼ねていたため平日にも診療を行うことがありましたが、平成 24 年 5 月より平日は東京女子医大病院での勤務であることから土曜日だけの診療で大変ご迷惑をおかけしております。平成 24 年はレーザー機器の購入による自費診療も開始させていただき、大変ご好評をいただいております。近い将来レーザー治療部門の拡大、顔面・手足の重度外傷や、外科系各科の再建手術や褥瘡の管理を含め、常勤としてハートライフ病院の発展に寄与していきたいと考えておりますので今後ともよろしく願い申し上げます。

脳神経外科

脳神経外科は末吉健次、上笹航の二名の脳神経外科専門医が担当しております。主に脳血管障害を治療しておりますが、脳腫瘍、三叉神経痛、顔面けいれん等の手術も行っております。外来に関しましては、脳神経疾患を広く診察し、必要に応じて神経内科医が在籍する病院や琉球大学付属病院へ紹介しております。また、救急搬送も受け入れており、脳出血、くも膜下出血、頭部外傷等の緊急手術も行っております。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉健次	顔面痙攣・三叉神経痛の手術・脳動脈瘤開頭クリッピング	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科医長	上笹航	脳動脈瘤開頭クリッピング・血管内手術	日本脳神経外科学会専門医

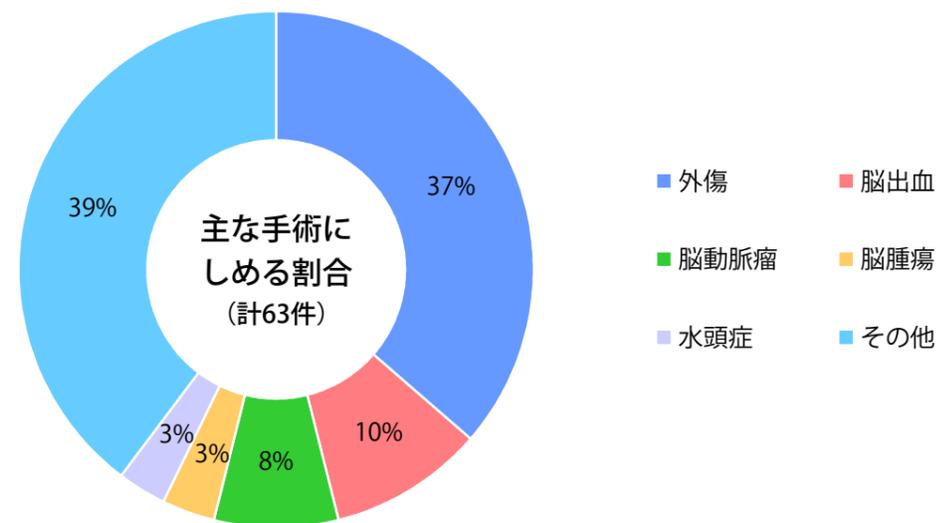
検査・治療・手術件数

手術件数一覧

(データ作成 脳神経外科 末吉)

部位・行為	件数
開頭クリッピング	4
血管内手術	1
脳腫瘍摘出術	2
急性硬膜外血腫除去術	1
急性硬膜下血腫除去術	4
脳内血腫除去術	2

部位・行為	件数
穿頭ドレナージ手術	18
脳室ドレナージ手術	4
シャント手術(水頭症)	2
頭蓋形成手術	3
減圧開頭手術	2
その他	20
合計	63



研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Enterprise VRD で視床梗塞を生じた一例	第 15 回日本脳神経血管内治療学会九州・山口地方会	福岡県	2012 年 2 月 11 日	上笹航、百次仁(那覇市立病院脳神経外科)、金城典人(那覇市立病院脳神経外科)、松山美智子(那覇市立病院脳神経外科)、石川智司(那覇市立病院脳神経外科)、豊見山直樹(那覇市立病院脳神経外科)、島袋(那覇市立病院脳神経外科)

活動実績

出前健康講話

(データ作成 地域医療連携室 仲地)

講座名	開催地	年月日	演者
脳卒中について	いいあんべー家(西原町) 小那覇公民館	2011 年 6 月 10 日	末吉健次

年度総括



脳神経外科部長
末吉 健次

平成 23 年度末より血管内治療を導入しております。導入したばかりですが、今後は治療の選択肢を増やし、より安全に、より効果的な治療ができるように努めていく所存です。

近年、物忘れや歩行障害を主訴に、ご家族と来院するご高齢の患者さんが増えてきましたが、その中には正常圧水頭症の方もおり、シャント手術で改善する可能性があります。手術適応と判断した場合、ご本人、ご家族の同意の上、シャント手術を行い、少しでもより良い生活ができるようなお手伝いができればと考えております。

眼科

眼科は眼科専門医の照屋明子が担当させていただいており、外来（火・水午前）は琉大からの応援医師が担当しています。

当科の特徴は、前眼部（角結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、年間約 20 件の角膜移植術を行っています。その他、白内障手術や翼状片手術、霰粒腫、眼瞼内反等に対する手術治療も行っています。

外来では一般的な眼科診療を含め、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重度のアレルギー疾患に対する診療や、円錐角膜や角膜移植後のハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病網膜症や網膜裂孔に対するレーザー治療、緑内障に対するレーザー治療も行っていますが、緑内障、網膜疾患に関しては必要に応じて琉大附属病院の専門外来と連携し診療を行っています。

医師プロフィール

（平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田）

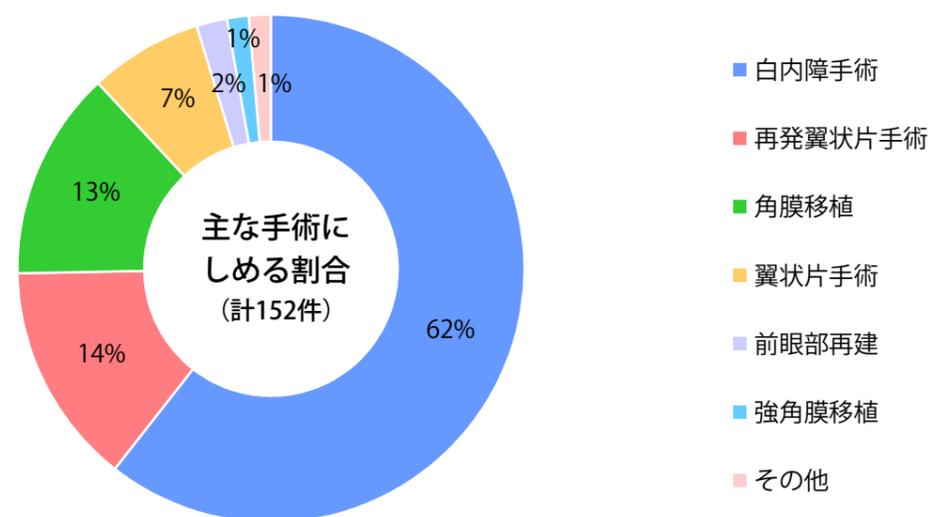
役職	氏名	専門分野	学会認定など
医長	照屋明子	角膜疾患の専門外来は琉大と当院のみ。海外ドナー角膜を用いての角膜移植も行っています。	日本眼科学会専門医

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

（データ作成 眼科 照屋）

部位・行為	件数	部位・行為	件数
白内障手術	91	前眼部再建（羊膜移植）	3
再発翼状片手術	21	強角膜移植	2
角膜移植	20	その他	2
翼状片手術	11	合計	150



年度総括



眼科医長
照屋 明子

当科は一人体制であるため、外来での待ち時間や手術待機期間が長くなってしまい、患者さんにはご迷惑をおかけしています。

平成 24 年度からは、琉球大学病院からの応援医師も増員される予定ですので、皆様の精神的・肉体的負担が少しでも軽減できるようスタッフ一同力を合わせて頑張っていきたいと考えております。

「わかりやすく、丁寧に」をモットーに、患者さんに「ハートライフの眼科に来てよかった」と思ってもらえるような診療ができるよう努力していきたいと思っています。

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は文字どおり、耳や鼻、咽頭、咽喉の手術、頸部腫瘍などを扱っている診療科ですが、その範囲は広く、のどの先の気管や食道の病気や機能異常も取り扱います。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
医長	上原 健	一般耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

年報集計用名称	集計
耳	24
鼻	18
良性腫瘍	8
その他	3

(データ作成 企画室広報 知念)

年報集計用名称	集計
リンパ節摘出術	3
扁桃摘出術	3
気管切開術	2
頭頸部悪性腫瘍	2
総計	63

年度総括

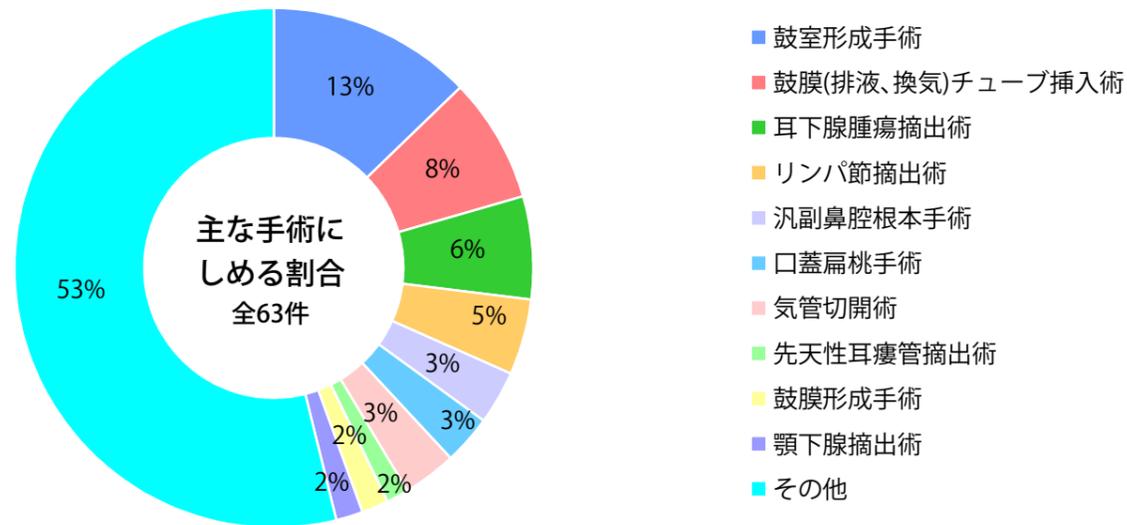


耳鼻咽喉科
渡嘉敷 光紘

前任の上原医師から引き継ぎ、平成 24 年 4 月より皆様の診療にあたらせていただいております。

平成 23 年度の手術では、耳手術が 36%、頭頸部腫瘍手術が 28%、鼻手術が 23% で、咽頭・喉頭とその他が残りの 13% を占めていますが、手術件数自体は平成 22 年度と比較すると大幅に減少しました。耳鼻咽喉科の入院患者数はのべ 121 名で、平均在日数は 5.96 日でした。比較的、短期間で良好な状態での退院につなげることができたと考えております。

現在、手術は主に開業医、大学病院医師との連携で行っております。地域医療支援病院として、今後も他院・他科の先生方との病診連携の維持に努め、より患者さんの立場に立った手術が行えるように努力したいと考えております。



泌尿器科

泌尿器科は、平成8年から派遣の常勤医1人体制でスタートし、平成20年4月からは常勤医2人で体制が強化されました。現在、病診連携の推進もあり外来患者さんは増加の一途です。

手術関連では、結石性腎盂腎炎等での緊急ステント留置や経皮的腎瘻が増加しています。ESWLによる結石破碎治療も9年で300例を超えました。腹腔鏡下腎摘術も徐々に増加しています。PSA検査の普及に伴い早期に発見される前立腺がんが増加傾向であり、手術療法やホルモン療法、他院への放射線治療の紹介等を行っています。

透析業務も兼務しており、外来透析患者130名程のうち約100名を泌尿器科で担当し、透析の維持管理やシャント手術に対応しています。

医師プロフィール

(平成23年8月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川春生	一般泌尿器	日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医
泌尿器科医長	大城琢磨	一般泌尿器・排尿障害・尿路結石	日本泌尿器科学会専門医

検査・治療・手術件数

術式別一覧 (KCODE ベース)

K-CODE	術式	件数
K413	前立腺針生検法	4
K773	腎(尿管)悪性腫瘍手術	5
K775	経皮的腎(腎盂)瘻造設術	3
K798	膀胱結石摘出術	8
K803	膀胱悪性腫瘍手術	20
K805	膀胱瘻造設術	5
K816	外尿道腫瘍切除術	1
K821	尿道狭窄内視鏡手術	1
K826	陰茎切断術	1
K828	包茎手術	4
K830	精巣摘出術	2
K833	精巣悪性腫瘍手術	1

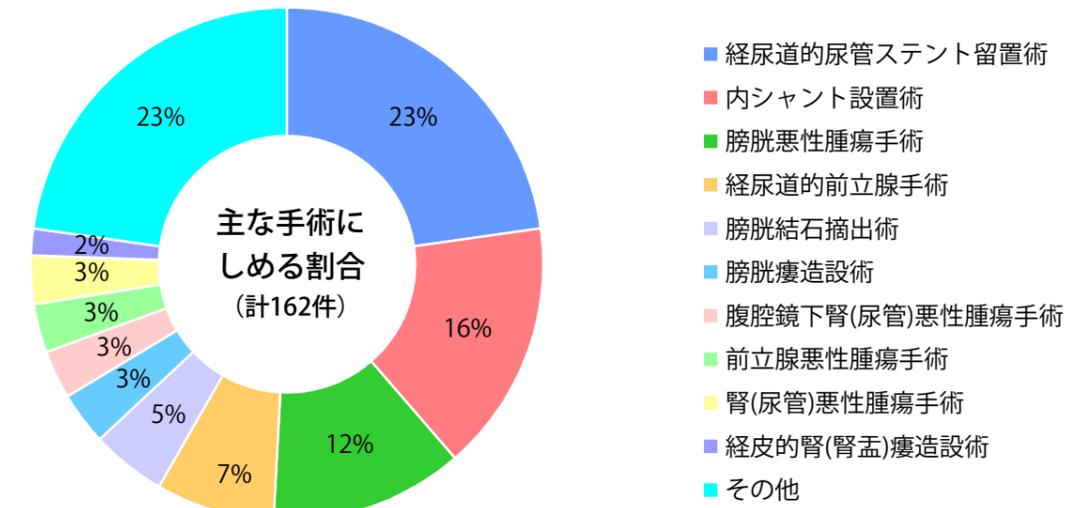
(データ作成 企画室広報 知念)

K-CODE	術式	件数
K834	精索静脈瘤手術	1
K835	陰嚢水腫手術	3
K841	経尿道的前立腺手術	12
K843	前立腺悪性腫瘍手術	5
K607-3	上腕動脈表在化法	3
K610-3	内シャント設置術	26
K617-3	静脈瘤切除術	1
K773-2	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	5
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	37
K783-3	経尿道的尿管ステント除去術	1
K821-3	尿道ステント前立腺部尿道拡張術	1
	その他	12
計		162

体外衝撃波結石破碎術 (ESWL) 外来施行数

(データ作成 企画室広報 知念)

	件数
年間患者数	37
年間施行数	101



研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
前立腺肥大症患者に対するシロドシン使用前後の排尿症状改善度の検討	第99回日本泌尿器科学会総会	愛知県	2011年4月23日	大城琢磨、宮里 実(東北大学医学部泌尿器)、伊波 恵(琉球大学医学部泌尿器科)、豊里友常(同)、松村英理(同)、木村太一(同)、安次嶺 聡(同)、町田典子(同)、大城吉則(同)、斎藤誠一(同)、嘉川春生
琉球大学における二分脊椎症例の臨床的検討	第18回日本排尿機能学会	福井県	2011年9月17日	大城琢磨、宮里 実(琉球大学大学院医学研究科機能再生医科学コース泌尿器科学講座)、宮城亮太(同)、木村 隆(同)、松村英理(同)、安次嶺 聡(同)、町田典子(同)、呉屋真人(同)、大城吉則(同)、斎藤誠一(同)、嘉川春生

年度総括



泌尿器科部長
嘉川 春生

泌尿器科は、平成8年から琉球大学病院派遣の常勤医1人体制でスタートし、平成20年4月からは常勤医2人で体制が強化されました。外来は琉球大学泌尿器科からの月、土の応援を頂き大学との協力体制を維持しています。

現在、病診連携の推進もあり、外来患者さんは増加の一途です。特にここ2、3年は近隣の泌尿器科の閉院に伴い紹介患者さんが増加傾向にあります。

手術関連では、結石性腎盂腎炎等での緊急ステント留置や経皮的腎瘻が増加しています。ESWLによる結石破碎治療も9年で300例を超えました。腹腔鏡下腎摘術も徐々に増加しています。PSA検査の普及に伴い早期に発見される前立腺がんが増加傾向であり、手術療法、ホルモン療法、他院への放射線治療の紹介等を行っています。透析業務も兼務しており、外来透析患者130名程のうち約100名を泌尿器科で担当し、透析の維持管理やシャント手術に対応しています。今後も地域医療への貢献を目指していく所存です。

産婦人科

産婦人科は常勤 3 名、後期研修医（産婦人科専修医）1 名、助産師 17 名と看護師 15 名と充分とはいえない数ながら日々頑張っています。産科領域では NICU 管理を必要とするハイリスク妊娠、婦人科領域では放射線治療を要する進行子宮頸癌、不妊症領域では体外受精。以上を除く全ての治療を積極的に実施しています。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
産科部長・西 2 階 病棟医長	大西 勉	産婦人科全般・子宮筋腫に対する経膈手術	日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医
婦人科部長	武田 理	産婦人科全般・婦人科腫瘍・腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門 医
	井手上 隆史	産婦人科・不妊症・無痛分娩・腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医
	喜久元 藍		

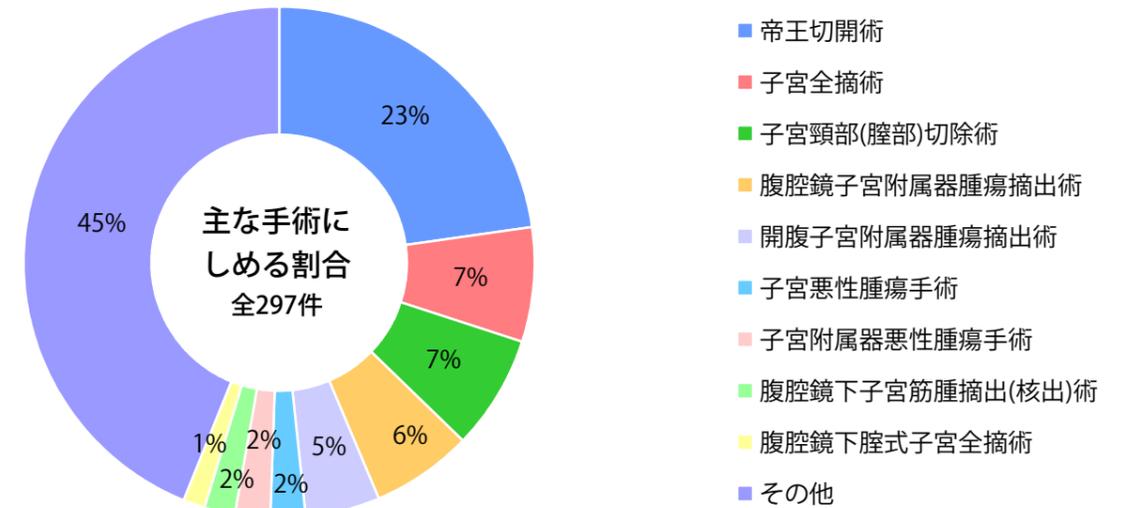
検査・治療・手術件数

総分娩件数 343 件

術式別一覧 (KCODE ベース)

(データ作成 企画室広報 知念)

K-CODE	術式	件数	K-CODE	術式	件数
	子宮全摘、両付属器切子宮悪性腫瘍手術	1	K872	子宮筋腫摘出 (核出) 術	1
	試験開腹術	1	K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	1
	妊娠中絶	19	K877	子宮全摘術	22
	無痛分娩	25	K879	子宮悪性腫瘍手術	7
	卵管結紮術	4	K886	子宮付属器癒着剥離術	1
	腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術	19	K888	開腹子宮付属器腫瘍摘出術	14
	子宮内膜ポリープ切除術	2	K889	子宮付属器悪性腫瘍手術	6
K630	腹壁膿瘍切開術	1	K898	帝王切開術	68
K632	腹壁腫瘍摘出術	1	K906	子宮頸管縫縮術	5
K636	開腹止血術	1	K909	流産手術	31
K642	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	1	K911	胞状奇胎除去術	1
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	1	K912	子宮外妊娠手術	4
K716	小腸切除術	1	K872-	子宮内膜ポリープ切除術	1
K740	直腸切除・切断術	1	K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出 (核出) 術	6
K860	腔壁形成手術	1	K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術	1
K861	子宮内膜搔爬術	11	K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	4
K865	子宮脱手術	6	K888-21	卵管腫瘍全摘除術	1
K866	子宮頸管ポリープ切除術	1	K909-	子宮内容除去術	4
K867	子宮頸部 (腔部) 切除術	20	K909-2	子宮内容除去術	2
			計		297



研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
骨髄内デスマイド腫瘍の 1 例	第 50 回特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会学術講演会	北海道	2011 年 7 月 24 日	武田 理、喜久元 藍、井手上隆史、大西 勉、喜友名正也 (同病理)、戸田隆義 (琉球大学医学部付属病院検査部)
卵巣原発腹膜偽粘液腫の 1 例	第 63 回日本産婦人科学会学術講演会	大阪府	2011 年 8 月 29 日	武田 理、井手上隆史、大西 勉
子宮内膜症に対する薬物療法の検討	第 35 回沖縄県産婦人科学会学術集会	宜野湾市	2011 年 9 月 4 日	武田 理、喜久元 藍、井手上隆史、大西 勉
当科で経験した子宮 adenosarcoma の 1 例	第 35 回沖縄県産婦人科学会学術集会	宜野湾市	2011 年 9 月 4 日	喜久元 藍、井手上隆史、武田 理、大西 勉、喜友名正也
子宮内膜症～治療方針とディナゲストの使用経験	ディナゲスト研修会	那覇市	2012 年 1 月 26 日	武田 理

論文著書

(データ作成 図書 宮城)

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
子宮内膜症に対する薬物療法の検討	沖縄産科婦人科学会雑誌 (2185-288X)	(2012.3) 34 巻 Page22-27	武田 理、喜久元 藍、井手上隆史、大西 勉

その他活動実績

主な院外での活動として、名桜大学、具志川看護専門学校、沖縄看護専門学校、浦添看護専門学校へ非常勤講師派遣を行いました。

年度総括



産婦人科部長
大西 勉

分娩件数は年々増加しており、現在の施設では限界の状態に近づいています。手術件数も同規模の病院と比較して遜色ない数字と自負しています。

産科領域では分娩件数の増加を図るよりも、より安全で快適な出産をめざして、内容の充実を図っていきます。また、婦人科領域では、近隣の先生方からのご紹介をより多く頂く努力をしていくとともに、常に最先端の治療ができる体制を整えていきます。

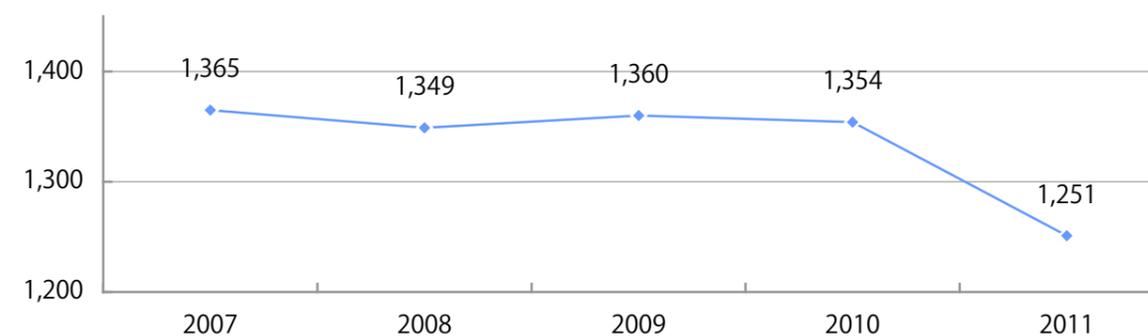
皮膚科

皮膚科は、毎週火曜日と木曜日の午後の外来診療を行っています。診療は琉球大学医学部附属病院の皮膚科医師が非常勤で対応しております。

のべ患者数

1,251 名

のべ受診者数推移



放射線科

放射線科の診療内容は CT、MRI、RI（ラジオアイソトープ）、マンモグラフィー、IVR（血管内治療）が主な仕事内容になっています。昨年度の CT、MRI の件数はほぼ前年度と横ばいです。RI は近年の減少傾向を反映し、減少が見られます。翌診療日までの読影率は 90% 超で、読影加算 2（月 150 点）で課されている請求条件をクリアしています。

画像診断が間接的に診療に関わるのに対し、IVR は直接治療に携わる領域で、23 年度は 30 件で、肝動脈化学塞栓療法などの待機的治疗から、消化管出血、膵炎動注療法等、緊急を要する治療まで臨床の先生方の要求に対応する形になっています。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

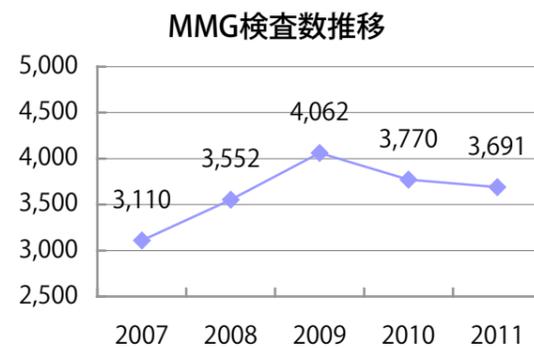
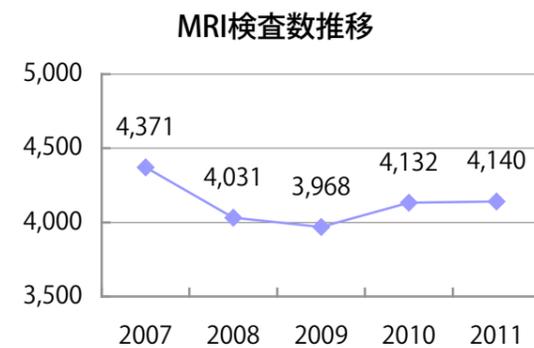
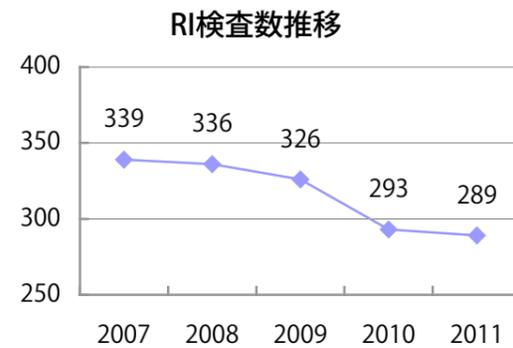
役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科副部長	高良 誠		日本医学放射線学会専門医

検査・治療件数

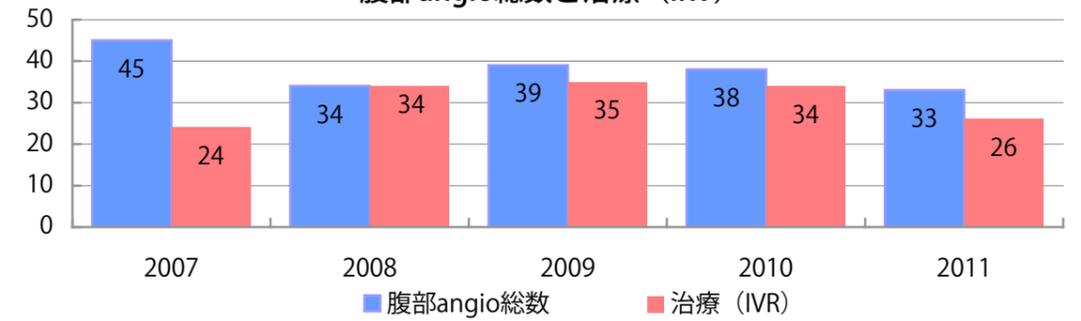
各種検査・治療件数と推移一覧

(データ作成 放射線科 高良)

CT 検査数推移	MRI 検査数推移	RI 検査数推移	MMG 検査数推移	腹部 angio	
				総数	治療 (IVR)
11,989	4,140	289	3,691	33	26



腹部angio総数と治療 (IVR)



研究業績

論文著書

(データ作成 医局 大城)

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
【PACS 選定 - その理由、そして効果】選定法を臨床現場から提示する PACS 選びは仕事の質を左右する	新医療 (0910-7991)	(2011.8) 38 卷 8 号 Page49-51	高良 誠

年度総括



放射線科副部長
高良 誠

平成 24 年度は、まず 4 月から放射線読影医の増員が予定されており、読影精度向上が見込まれます。さらに研修医教育充実の期待に応えたいと思います。マンモグラフィのモニター診断をスタート予定です。これまで弱点とされていた微細石灰化の描出も、5M モニタと最新ビューアの組み合わせで支障のないレベルまで向上しており、データ保存の確実性、比較読影の容易さからも診断精度の向上が見込まれます。一方、12 年目の CT が老朽化し、後発導入の 64 列 CT と画質面で整合性がとれない状態で、日進月歩の技術革新に遅れることなく、将来の保険点数上の差別化から落とされないためにも、最新型の CT に更新が望ましいと考えます。

麻酔科

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

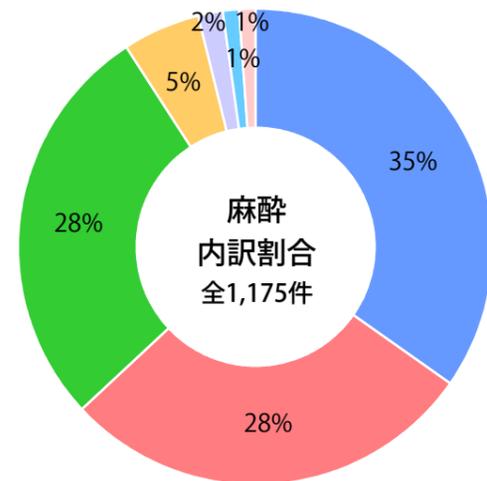
麻酔科			
副院長 麻酔科部長	久場 良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医
	釜野 武志	一般麻酔	日本麻酔科学会認定医
	佐久川 陽子	一般麻酔	日本麻酔科学会認定医

検査・治療・手術件数

麻酔件数一覧

麻酔法	件数
A 全身麻酔 (吸入)	408
B 全身麻酔 (TIVA)	14
C 全身麻酔 (吸入) + 硬・脊・伝麻	333
D 全身麻酔 (TIVA) + 硬・脊・伝麻	326
E 脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔 (CS)	63
F 硬膜外麻酔	18
G 脊髄くも膜下麻酔	13
合計	1,175

(データ作成 企画室広報 知念)



- A 全身麻酔 (吸入)
- C 全身麻酔 (吸入) + 硬・脊・伝麻
- D 全身麻酔 (TIVA) + 硬・脊・伝麻
- E 脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔 (CS)
- F 硬膜外麻酔
- B 全身麻酔 (TIVA)
- G 脊髄くも膜下麻酔

研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
急性間欠性ポルフィリン症患者への 2 回の麻酔経験	九州麻酔科学会第 49 回	宮崎県	2011 年 9 月 17 日	釜野武志、佐久川陽子、久場良也
PMX-DHP が有効であった小腸穿孔の 4 例	九州麻酔科学会第 49 回	宮崎県	2011 年 9 月 17 日	佐久川陽子、釜野武志、久場良也
「稀な疾患 6」座長	日本臨床麻酔学会第 31 回大会	宜野湾市	2011 年 11 月 4 日	久場良也
腸閉塞を誘因として発症した敗血症性ショックに対する PMX-DHP の効果	第 16 回エンドトキシン血症救命治療研究会	東京都	2012 年 1 月 28 日	久場良也、釜野武志、佐久川陽子

論文著書

(データ作成 図書 宮城)

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
PMX-DHP が有効であった PTP 誤飲による小腸穿孔の 1 例	エンドトキシン血症救命治療研究会誌	2011・1号 P159-163	久場 良也

年度総括



麻酔科部長・副院長
久場 良也

麻酔科にとって平成 23 年暮れは変化の年でした。平成 23 年 11 月から釜野武志、翌 24 年 4 月から佐久川陽子の二人の医師が交代で 4 ヶ月間の琉球大学麻酔科での研修を行い、無事終了しました。当院では経験の出来ない心臓・血管外科の麻酔、新生児の麻酔、ICU 管理、ペインクリニック外来等多岐にわたる内容でした。短い時間に多くの研修を望んだため負担が大きかったかもしれませんが、しかしこの経験が二人の麻酔科医としての自信に繋がって行くものと確信しています。二人が研修に出向している間は琉球大学麻酔科より波照間先生の応援がありました。彼の独特のキャラクターもあって手術部スタッフは大いに和んだことでしょう。さて来年は二人とも専門医受験の年です。日々の麻酔科診療の中、大変でしょうがしっかりと取り組んで頂きたいと思います。

糖尿病センター

糖尿病センターは外来と入院での糖尿病患者の診療と教育、糖尿病患者会の運営、他科入院中の糖尿病患者の血糖コントロールと教育、院内スタッフの糖尿病勉強会、中部地区医師会との連携事業の一環として開業医やスタッフの糖尿病勉強会、日本糖尿病協会沖縄県支部への参加、沖縄県糖尿病療養指導士会の運営協力を実施しています。センター専属は担当医師 6 名（常勤 4 名、非常勤 2 名）、看護師 5 名とクラーク 1 名。また、7 階病棟の糖尿病患者担当看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士の協力のもとに教育コースを運営しています。中部地区医師会との連携でコントロール不良や重篤な合併症を持つ糖尿病患者を受け入れ、改善させて逆紹介する病診連携システムを開始しています。

来年度から外来部門は病院から分離してハートライフクリニックの糖尿病内科として新たなシステムを構築する予定です。

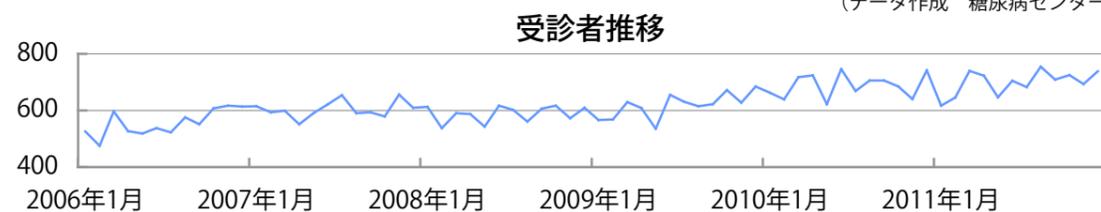
医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
糖尿病センター長	山本 壽一	糖尿病	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本糖尿病学会研修指導医 日本内分泌学会指導医
	毛利 貴子	糖尿病	日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病学会専門医
	渡辺 蔵人	糖尿病	日本内科学会認定医 日本糖尿病学会専門医
	安谷屋 徳章	内分泌・糖尿病を専攻しています。	日本内科学会認定医

検査・治療件数

(データ作成 糖尿病センター 山本)



研究業績

学会発表

(データ作成 糖尿病センター 山本)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
肥満糖尿病患者の臨床像	第 49 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2011 年 10 月 14 日	山本壽一、毛利貴子、安谷屋徳章、渡辺蔵人、崎原みち代、山城小百合、大家聡樹、玉那覇美幸、大城郁子、仲里幸康
糖尿病劇場「先生、薬余っています」ワークショップ	第 4 回実践的糖尿病研究会	沖縄県	2012 年 1 月 14 日	山本壽一、翁長寛人、魚住達也、知念恵子
糖尿病診療における心理的アプローチ	第 56 回佐賀糖尿病内分泌懇話会	佐賀県	2012 年 2 月 24 日	山本壽一
運動療法を促す個別指導の工夫 - 質問紙を利用した患者の問題点の把握 -	第 54 回日本糖尿病学会年次総会	北海道	2011 年 5 月 20 日	長嶺敦司、大城郁子、玉那覇美幸、久場徳子、渡辺蔵人、崎原みち代、山城小百合、毛利貴子、山本壽一

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病患者の食事摂取前後の満腹メーターを探る	第 54 回日本糖尿病学会年次総会	北海道	2011 年 5 月 20 日	新垣優子、久場徳子、真栄城ゆかり、渡真利ゆりか、毛利貴子、山本壽一
患者のセルフケアを高める本当の援助とは -HbA1C が高い患者ほど、家族に問題を抱えている -	第 54 回日本糖尿病学会年次総会	北海道	2011 年 5 月 20 日	毛利貴子、渡邊蔵人、崎原みち代、山城小百合、大城郁子、玉那覇美幸、仲里幸康、長嶺敦司、山本壽一
糖尿病患者指導における病棟看護師の苦手意識	第 54 回日本糖尿病学会年次総会	北海道	2011 年 5 月 20 日	堀江恭子、当銘たけみ、知念恵子、渡辺蔵人、毛利貴子、山本壽一
糖尿病患者の食行動の心理臨床的理解	第 54 回日本糖尿病学会年次総会	北海道	2011 年 5 月 20 日	大家聡樹
沖縄県中部地区における糖尿病地域医療連携の試み (第 1 報)	第 54 回日本糖尿病学会年次総会	北海道	2011 年 5 月 20 日	砂川博司、山本壽一
ハートライフ病院における血糖測定器の適正使用について	ハートライフ病院糖尿病勉強会	当院	2011 年 8 月 24 日	仲里幸康
インスリンポンプ療法導入による糖代謝と気持ちの変化	平成 23 年度第 4 回中部地区医師会糖尿病標準治療委員会講義	中部地区医師会館	2011 年 9 月 21 日	玉那覇美幸、山本壽一
CSII 導入患者の糖代謝は CSII 導入目的に関係するか	第 49 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2011 年 10 月 14 日	玉那覇美幸、大城郁子、仲里幸幸、毛利貴子、山本壽一
脳梗塞後の 2 型糖尿病患者に対する心理療法の検討	第 49 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2011 年 10 月 15 日	大家聡樹、毛利貴子、仲里幸康、長嶺敦司、大城郁子、玉那覇美幸、山本壽一
自分を象るものとしての弛め	日本臨床動作学会第 19 回学術大会	京都府	2011 年 9 月	大家聡樹
糖尿病チーム医療における臨床心理士の役割と独自性についての一考察	第 16 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	東京都	2011 年 9 月	大家聡樹、大城郁子、玉那覇美幸
老いの中で病いを生きる	日本箱庭療法学会第 25 回大会	東京都	2011 年 10 月	大家聡樹
当糖尿病センターでの臨床、心理士の活動 - 外来での面接を中心に -	近畿糖尿病教育フォーラム第 2 回講演会	京都府	2011 年 12 月 10 日	大家聡樹
摂食不安定高齢者に対する糖尿病薬選択の提案	第 113 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県医師会館	2011 年 12 月 11 日	安谷屋徳章、渡辺蔵人、毛利貴子、山本壽一

論文著書

(データ作成 糖尿病センター 山本)

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
地球で健康に生かしてもらうために僕らが気をつけること	内科医の道、医学書院	1 巻 1 号 (2012.02) P.1180-1180 (ISID:1103100012)	山本壽一
糖尿病 1000 年の知恵	医歯薬出版	東京、2011 年、p40-46	毛利貴子 監訳: 石井均

年度総括



糖尿病センター長
山本 壽一

平成 23 年度の外来受診者数は 8,473 名で、糖尿病センターを開設した 10 年前の約 6 倍に増加しています。来年度はクリニックへの移行に向けて中部地区医師会糖尿病標準治療の連携を前倒しでスタートさせ、年度後半の 4 ヶ月で治療によりコントロール良好となった患者 395 名を登録医に逆紹介しました。学会活動としては発表が 18 件で Web 雑誌掲載や翻訳が 2 件と多くのスタッフが携わりました。

血液浄化部

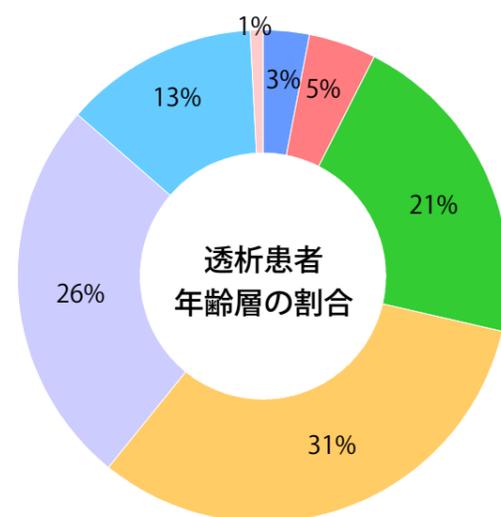
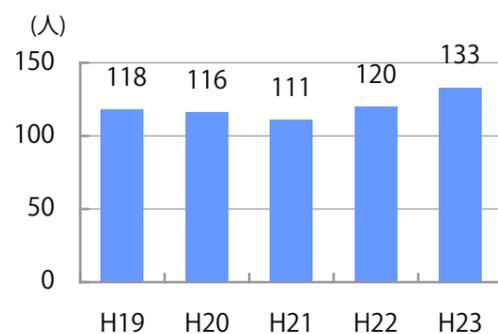
医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

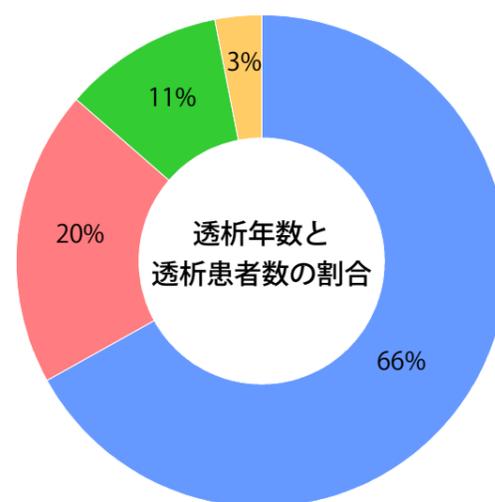
役職	氏名	専門分野	学会認定など
理事長	安里哲好	循環器疾患・生活習慣病	日本内科学会指導医 日本透析医学会専門医 日本循環器学会専門医 日本医師会産業医
泌尿器科部長・血液浄化部長	嘉川春生	一般泌尿器	日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医
泌尿器科医長	大城琢磨	一般泌尿器・排尿障害・尿路結石	日本泌尿器科学会専門医

透析件数など

透析患者総数推移



■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代
■ 70代 ■ 80代 ■ 90代



■ 1～10年 ■ 11～19年
■ 20～29年 ■ 30～34年

年度総括



泌尿器科部長
嘉川 春生

戦後最悪の災害となった3.11東日本大震災の影響を受け、平成23年度の上半期は医薬品の品切れ等が発生し医薬品の調整等、透析患者さんの治療に影響が出ました。また8階透析室にある22台の患者監視装置が一新され、全47床の機器が透析システムによりペーパーレス化されました。データ入力業務の削減に繋がり、フットケアの充実等、透析中の看護ケアが向上しました。また、これまで生理食塩水を用いてプライミング・補液・回収等が行われていましたが、D-FAS装置導入により生食から透析液に移行し生食レス化された事により、業務の合理化と安全性が向上しました。

平成24年度は看護師、臨床工学技士、クラーク、助手とスタッフ一丸となり血液浄化部の業務の見直しを図りながら、患者サービスと医療安全を強化してまいります。また、スタッフ教育を実践し透析知識、技術の向上と患者教育の充実を図ります。

救急総合診療部

大事故災害への対応において重要な考え方に CSCATTT があります。複数傷病者が発生した場合、優先度の高い患者を見極め (triage)、適切な治療 (treatment) が行える部署へ患者を搬送する (transport) 必要があります。

混乱した現場にまず必要なことは、指揮命令系統をたてる (command & control) ことです。そして自分の安全、まわりの人の安全、傷病者の安全を確保しなくてはなりません (Safety: self, scene, survivor)。また医療は一人では行えません。他の部署と連携し (Communication)、現在の状況を把握、評価 (assessment) し、やっと医療が行えるのです。

私たち救急総合診療部は、災害にも強い救急部を目指し改革を始めています。

医師プロフィール

(平成 23 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
副院長・麻酔科部長	久場良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医
外来診療部長 救急総合診療部長	與座 一	一般循環器	
循環器内科医長	三戸正人	循環器救急・地域医療	日本救急医学会救急専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医 日本循環器学会専門医
	国吉史雄		

研究業績

学会発表

(データ作成 医局 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Fibroelastoma の嵌頓による左主幹部の心筋梗塞を発症した末期肝硬変の一例	第 39 回日本救急医学会 総会・学術集会	東京都	2011 年 10 月 20 日	三戸正人、金城太貴、下浦広之、久場良也
心肺蘇生術にともなう空気塞栓から急性心筋梗塞を含む多発性塞栓症を来したと考えられた一例	第 39 回日本救急医学会 総会・学術集会	東京都	2011 年 10 月 20 日	金城太貴、三戸正人、下浦広之、久場良也

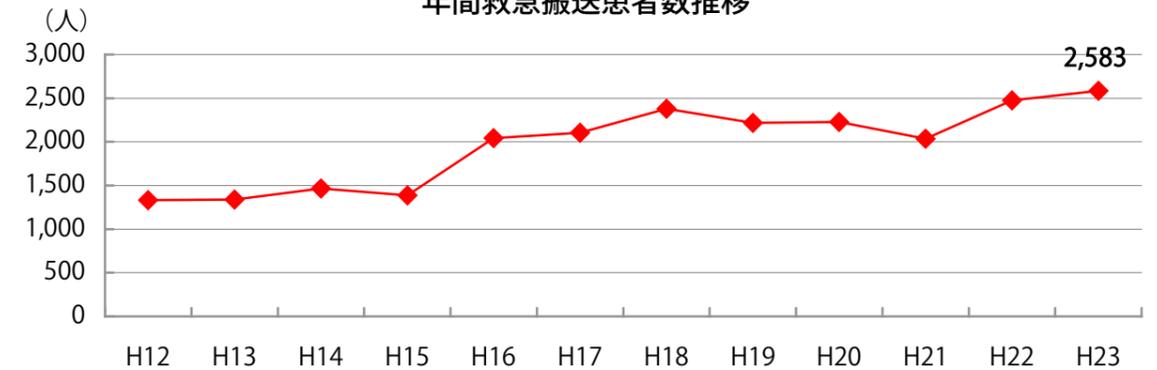
その他活動実績

出前健康講話

(データ作成 地域医療連携室 仲田)

テーマ	開催地	年月日	講師
メタボリックシンドロームについて	中城村 吉の浦会館	2011 年 12 月 9 日	三戸正人

年間救急搬送患者数推移



年度総括



救急総合診療部副部長
三戸 正人

救急総合診療部は平成 22 年度に副院長の久場が総務大臣表彰、平成 23 年度には中部地区 MC 協議会会長就任、平成 24 年度には救急医療功労者厚生労働大臣表彰と、長年にわたり地域の救急医療を支えてきたということで院外からの評価が高まっています。

「救急車は断らない」を合い言葉に、24 時間 365 日の二次救急体制を今後も維持するため救急総合診療委員会を中心に、より地域の皆様、救急隊、開業医の先生方の信頼に応えられるよう病院で待つ救急体制 (in-hospital) から、一分でも早く医療を投入できるよう病院前の医療 (pre-hospital) へも参加できるよう努力をしていくつもりです。

来年度はそれに加え、災害医療の病院内対応コース (hospital MIMMS) を沖縄で開催できるよう調整もすすめています。これからの救急総合診療部をよろしく願いいたします。

医局総括



外科部長兼
医局長
西原 実

医局は云うまでもなく、病院の中心となる部署であります。内科25名（呼吸器3名、消化器5名、循環器7名、血液5名、糖尿病4名、心療内科1名）、外科8名、麻酔科3名、整形外科5名、産婦人科4名、小児科3名、脳神経外科2名、泌尿器科2名、眼科1名、耳鼻咽喉科1名、放射線科1名、人間ドック3名、研修医9名の計66名からなります。

医局行事としては、毎週水曜日の午前8時15分からのジャーナルクラブ（勉強会）、毎週木曜日午後5時30分からの医局会議があります。また、研修医への教育として、火・木・金の午前8時15分頃からのレクチャーカンファレンスや、手技指導も行っております。

また、4月には新しく加わった先生の歓迎会を天久テラスで、10月には西原マリンパークでビーチパーティ、ラ・フォンテで歓送迎会を行いました。12月には医局忘年会をホテルロイヤルオリオンで、3月には研修修了パーティ&医局送別会をエリスリーナ西原ヒルズガーデンで行いました。大学からのローテーションで来られる先生方が多いため、毎年相当数の医師が入れ替わり、患者さんをはじめ他部署にも多大なご迷惑をおかけしておりますが、ご了承いただければと思っております。

看護部

部門紹介

看護部は11部署あり、平成23年4月1日時点での職員数は385名と病院一の大所帯です。建物の2階～7階に6つの病棟を有し、そのほかにも集中治療室、救急外来、一般外来、手術室・中央材料室、透析室があります。現在は7：1看護を実現しており、様々な看護活動に主体的に取り組み、多職種が関わる委員会活動にも積極的に参加しています。また、念願の認定看護師も誕生しており、これからは様々な分野でエキスパート看護師を増やし看護の質を向上させることを目標としています。

職員数（平成23年4月1日現在）

総数 385名

助産師	12名	臨床心理士	2名
正看護師	287名	保育士	1名
准看護師	30名	クラーク	10名
看護助手	40名	事務	3名

認定看護師

(データ作成 企画室 広報 仲田)

氏名	認定・資格名
内間幸人	集中ケア認定看護師

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切にされた質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

7：1看護

勤務体制 二交替制

看護方式 固定チームナーシング

看護記録 POS（電子カルテ）

看護単位

■外来

■救急外来

■ICU

■手術室 / 中央材料室

■透析室

■一般病棟

- ・2階病棟（産婦人科）
- ・3階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科）
- ・4階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）
- ・5階病棟（消化器内科・小児科）
- ・6階病棟（血液内科※クリーンルーム10床）
- ・7階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）

研究実績

学会発表

(データ作成 看護部 仲田)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
医療支援活動報告	東日本大震災にかかる沖縄県医師会医療支援活動報告会	那覇市	2011年7月2日	仲地ますみ
体温表を活用した患者の見える化と記録時間短縮の取り組み	第5回SSユーザー看護部会	大阪府	2011年8月18日	仲地ますみ
電子カルテに関するアンケート調査の結果報告	第6回看護部業務改善報告会	院内	2011年9月8日	仲地ますみ
看護師ユニフォーム変更の検討	第6回看護部業務改善報告会	院内	2011年9月8日	西銘宣子
座長	第27回沖縄県看護研究会	沖縄市	2012年1月28日	仲地ますみ

論文著書

(データ作成 看護部 仲田)

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
共同翻訳	BRIEF INNTervention 危険・有害な飲酒への簡易介入：プライマリケアにおける使用マニュアル	2011年5月	池村久美子

院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

名称	主催	開催地	開催日	対象部署	担当・参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2011 年 4 月 1 日	—	総務課、看護部
BLS	病院	当院	2011 年 4 月 2 日	—	救急 ICU 検討委員会
基礎看護技術研修	看護部	当院	2011 年 4 月 5 ～ 4 月 13 日	—	仲地ますみ、主任会
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 4 月 30 日	—	仲地ますみ、森富江、宮城つかさ、當眞さゆり
第 54 回日本糖尿病学会年次学術集会	日本糖尿病学会	北海道	2011 年 5 月 20 日～ 5 月 22 日	看護部 7F 病棟	大家聡樹、知念恵子、堀江恭子
感染管理認定看護師教育課程		神奈川県	2011 年 5 月 22 日～ 12 月 17 日	5F 病棟	宮城美那
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 5 月 24 日	各部署	仲地ますみ、森富江、宮城つかさ、當眞さゆり
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 5 月 26 日	—	仲地ますみ、竹本直美
感染制御講習会	日本病院会	東京都	2011 年 5 月 28 日～ 29 日	3F	城間克也
慢性心不全認定看護師教育課程受験	北里大学看護キャリア開発・研究センター	東京都	2011 年 6 月 4 日	ICU	島袋すが子
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 6 月 9 日	—	仲地ますみ、仲宗根香織
新人看護師 3 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 6 月 23 日	—	仲地ますみ、平良勇 小橋川春子、知念恵子
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 6 月 28 日	—	地ますみ、森富江、宮城つかさ、當眞さゆり
浮腫軽減のためのアロママッサージ講座	温もりのある看護のためのセミナー事務局	沖縄県	2011 年 7 月 16 日	看護部 OR	西銘宣子、中野久乃
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 7 月 26 日	—	仲地ますみ、森富江、宮城つかさ、當眞さゆり
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011 年 7 月 28 日	—	仲地ますみ、中野久野、岡田仁
1 年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 8 月 18 日	—	宮城つかさ、各部署プリセプター
認定看護管理者教育ファーストレベル	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 8 月 18 日～ 12 月 16 日	外来	林広江
SS ユーザー会 (電子カルテの運用について)	ソフトウェアサービス	大阪府	2011 年 8 月 20 日	看護部 ICU	仲地ますみ、玉城秀美、内間幸人
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011 年 8 月 25 日	—	仲地ますみ、林広江、仲田ひろ子
日本臨床心理学会第 30 回秋季大会	日本心理臨床学会	福岡県	2011 年 9 月 2 日～ 9 月 4 日	看護部	大家聡樹
日本臨床動作学会第 19 回学術大会	日本臨床動作学会	京都府	2011 年 9 月 17 日～ 19 日	看護部	大家聡樹
新人看護師 6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 9 月 22 日	—	仲地ますみ、城田玲子、外間真紀子、比嘉暢
第 16 回日本糖尿病教育看護学会	日本糖尿病教育看護学会	東京都	2011 年 9 月 24 日～ 25 日	看護部	大家聡樹
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 9 月 29 日	—	仲地ますみ、森富江、宮城つかさ
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011 年 10 月 3 日	—	西銘宣子、仲地ますみ、粟盛信子、玉城秀美、
3 年目研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 10 月 20 日	—	仲地ますみ、藤本寿賀子、諸喜田久美
第 53 回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 29 日	看護部	西銘宣子、仲地ますみ、石川由希、玉城秀美

名称	主催	開催地	開催日	対象部署	担当・参加者
慢性心不全認定看護師教育課程	北里大学看護キャリア開発・研究センター	神奈川県	2011 年 10 月 1 日～ 3 月 31 日	ICU	島袋すが子
2 年目研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 11 月 17 日	—	仲地ますみ、屋良ちえみ 我那覇美帆、竹本健太
感染制御講習会	日本病院会	東京都	2011 年 11 月 19 日～ 20 日	3F 病棟	城間克也
創傷・スキンケアセミナー	アルケア株式会社	沖縄県	2011 年 11 月 20 日	—	嘉数智子
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 11 月 22 日	—	仲地ますみ、森富江、宮城つかさ、當眞さゆり
働き続けられる職場作り	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 11 月 26 日	看護部	西銘宣子
看護連盟都道府県別リーダースミナー	日本看護連盟	沖縄県	2011 年 11 月 30 日	看護部	仲地ますみ、中野久乃、屋良ちえみ、米須智子
看護管理者に役立つ法律・制度・経営のエッセンスと最新情報	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 12 月 9 日～ 10 日	看護部	西銘宣子
1 年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2012 年 1 月 19 日	—	宮城つかさ、各部署プリセプター
新人看護職員実地指導者研修	沖縄県看護協会	沖縄県	2012 年 2 月 6 日～ 10 日	4F 病棟、6F 病棟	宮城つかさ、比嘉暢
2 年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2012 年 2 月 16 日	—	鈴木千恵、久手堅政直
病院で使うアロマセラピー講師：宮森孝子	看護部	当院	2012 年 2 月 21 日	全部署	池村久美子
リスクマネージャー研修	沖縄県看護協会	沖縄県	2012 年 2 月 24 日	看護部	玉城秀美
感染制御講習会	日本病院会	東京都	2012 年 2 月 25 日～ 26 日	3F 病棟	城間克也
師長・主任合同研修	看護部	当院	2012 年 3 月 6 日	—	西銘宣子、仲地ますみ、粟盛信子、玉城秀美、
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 3 月 22 日	—	仲地ますみ、森富江、當眞さゆり
社会保険診療報酬改定説明会	日本看護協会	沖縄県	2012 年 3 月 23 日	各師長	西銘宣子、仲地ますみ、ほか 11 名

各部署概要・実績

外来

職員数

総数 41 名

正看護師 22 名

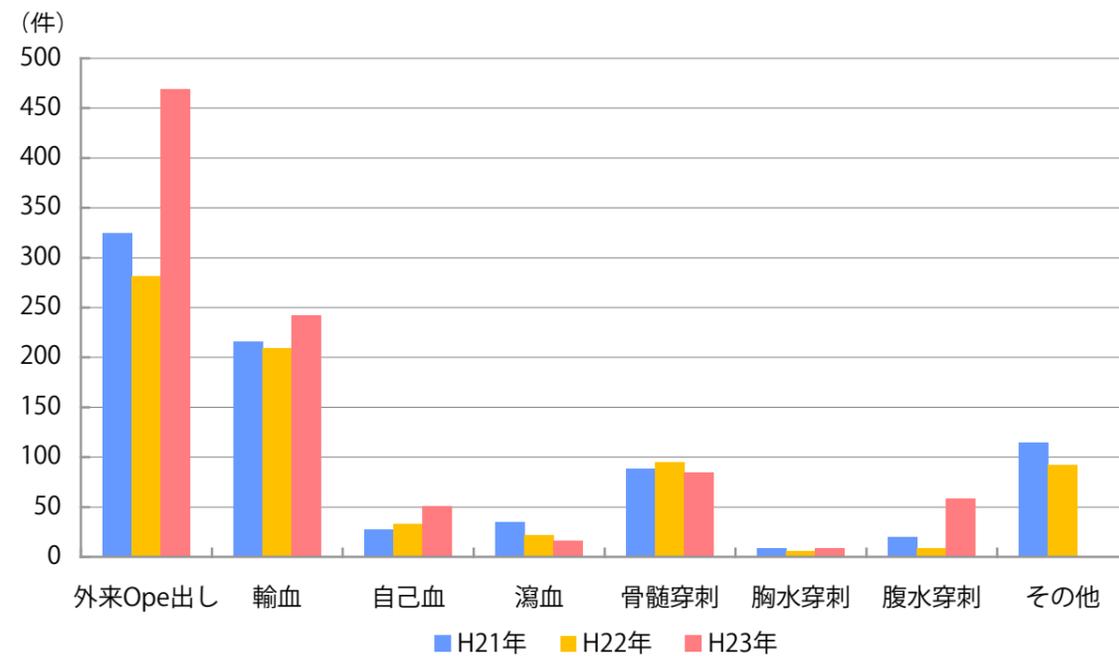
准看護師 4 名

看護助手 4 名

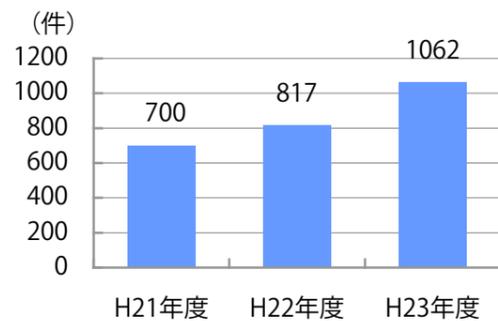
クラーク 11 名

業務実績

処置室で行われる主な処置



外来での化学療法



研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 林)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
外来がん化学療法を受ける患者に対する看護の取り組み～乳癌患者への面接調査から～	日本病院学会	沖縄市	2011年10月29日	徳比嘉 恵(発表) 本田由佳里、村山茂美、西原 実
内科外来におけるペースメーカーチェック	第17回院内研究発表会	当院	2011年9月8日	金城こずえ(発表)、仲元園子、安谷屋佳子、林 広江、松元直子、大滝正美

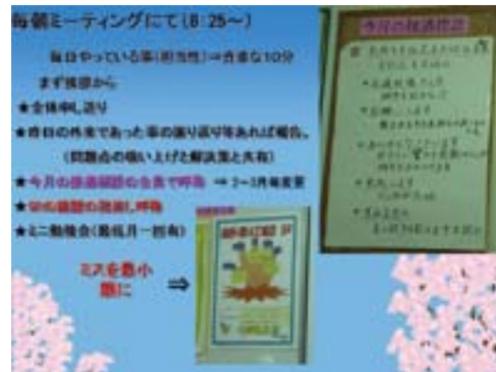
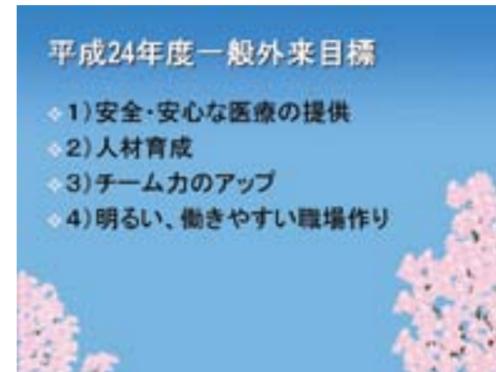
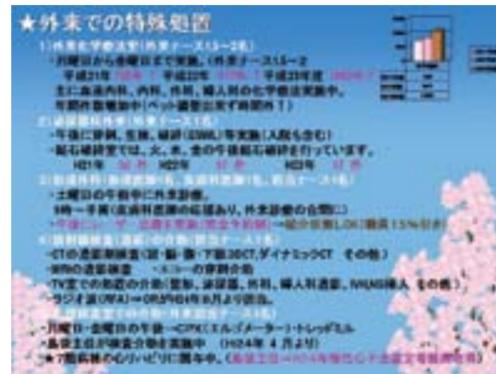
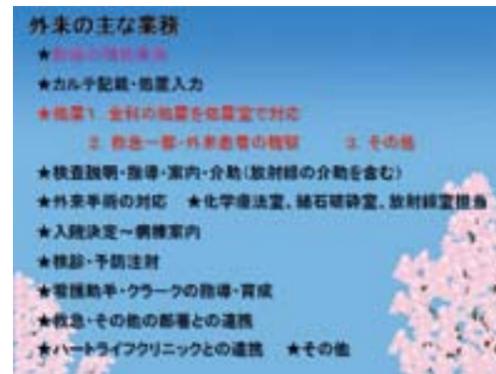
活動実績

院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011年5月27日	仲本園子、新垣 薫
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年5月26日	呉屋孝子、安里真実
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月9日	崎原美枝子、新垣千賀子
看護職と倫理	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月6日	金城こずえ
臨床に役立つフィジカルアセスメントの基礎	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月7日～8日	安谷屋佳子
解決志向アプローチ	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月13日	仲元園子
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011年7月28日	仲西まゆみ
解決志向アプローチ	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年8月3日	仲元園子
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011年8月25日	徳比嘉 恵
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月21日	本田由佳理
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月22日	林 広江
第16回日本糖尿病教育看護学会	日本糖尿病教育看護学会	東京都	2011年9月24日～25日	大城郁子
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011年10月3日	林 広江、本田由佳理、大城郁子
第49回日本糖尿病学会九州地方会	日本糖尿病学会	福岡県	2011年10月13日～15日	玉那覇美幸
感染管理I	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月19日	比嘉妙美
看護職と倫理	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月26日	金城こずえ
第53回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011年10月29日	徳比嘉 恵、本田由佳理
フィッシュ哲学 いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011年10月27日	本田由佳里
糖尿病患者のフットケア	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年11月4日	久高 恵
リンパ浮腫実技講習会	メド一産業株式会社	沖縄県	2011年11月13日	本田由佳理
アロマでいきいきリフレッシュ	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年11月17日	林 広江
糖尿病重症化予防(フットケア)	日本糖尿病教育・看護学会	大阪府	2011年12月10日～11日	久高 恵
沖縄県看護研究学会	沖縄県看護協会	沖縄県	2012年1月28日	仲元園子、金城こずえ

実績報告会発表資料



救急外来

職員数

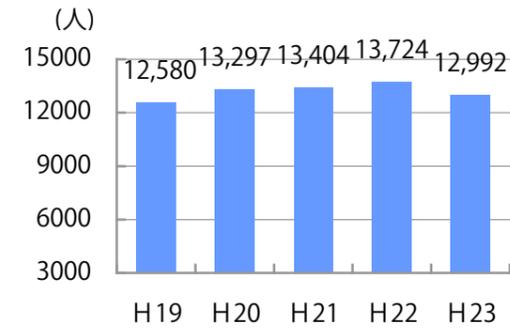
総数 18名

正看護師 17名

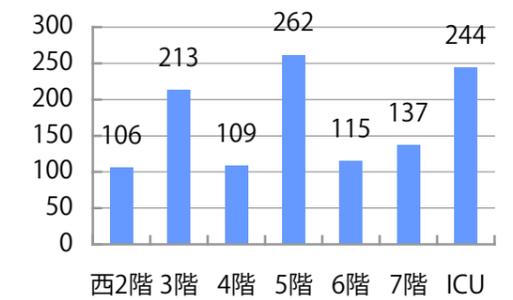
准看護師 1名

業務実績

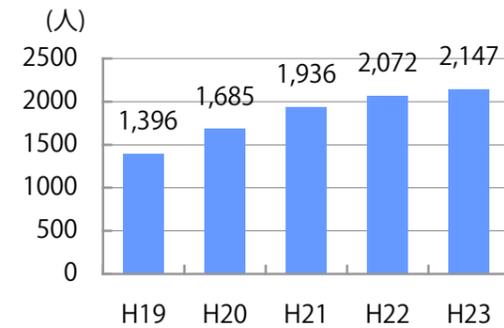
救急受付患者年次推移



入院先内訳



救急受付患者の入院数



活動実績

院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2011年4月1日	島袋健太
BLS	病院	当院	2011年4月2日	島袋健太
基礎看護技術研修	看護部	当院	2011年4月5~4月13	島袋健太
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011年4月30日	山田義長
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011年5月27日	島袋健太、今井こずえ
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月23日	島袋健太
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011年7月28日	坂本慶太
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011年8月18日	島袋健太

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011年8月25日	真志取美幸
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月21日	山田義長
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月22日	足立かおり
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月22日	島袋健太
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月29日	山田義長
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011年10月3日	小渡君子、竹本健太
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2012年1月19日	島袋健太
2年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2012年2月16日	山田義長
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012年3月22日	山内優子

人工透析室

職員数

総数 23 名

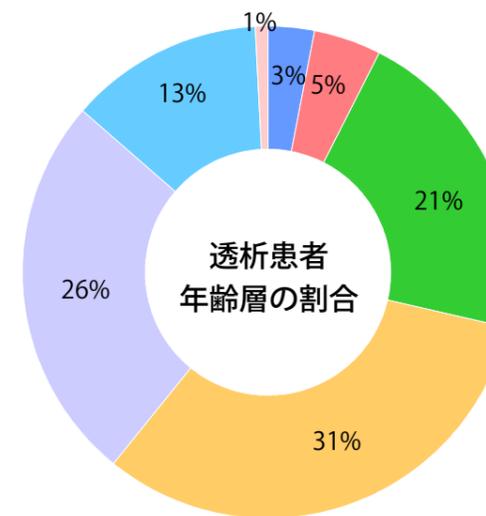
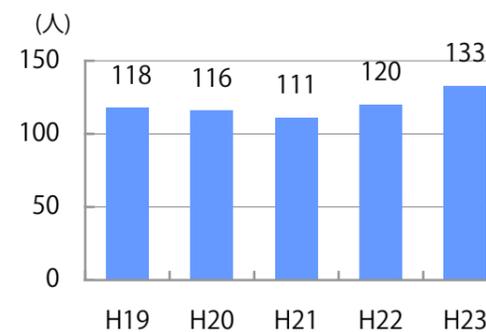
正看護師 17 名

准看護師 4 名

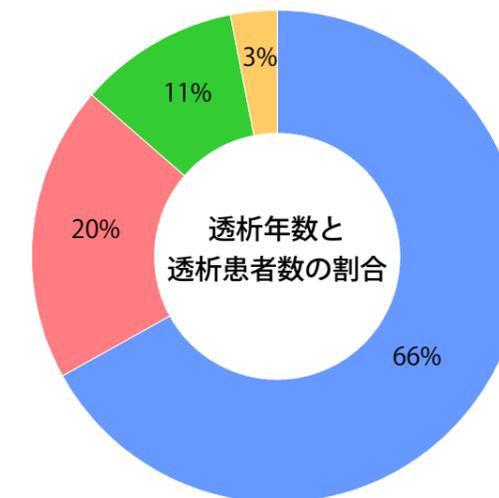
看護助手 2 名

業務実績

透析患者総数推移



■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代
■ 70代 ■ 80代 ■ 90代



■ 1～10年 ■ 11～19年
■ 20～29年 ■ 30～34年

実績報告会発表資料

1. 部署紹介

部署目標

- ・安全な医療の提供
- ・救急医療のスキルアップ
- ・適切なトリアージ
- ・接遇の向上

スタッフ

- ・看護師21名 (H24.8.1現在)
- 師長 1名
- 主任 2名

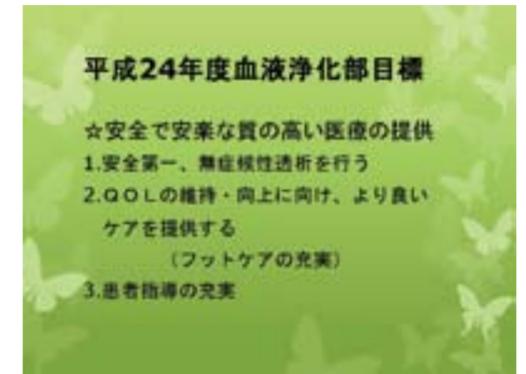
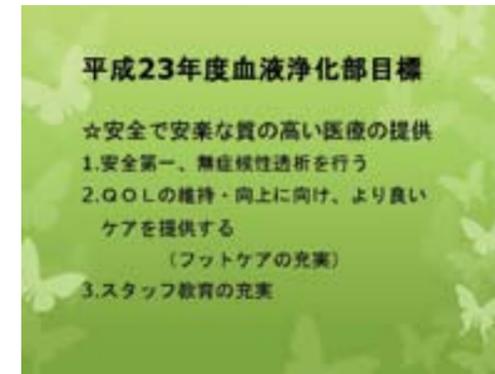
研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 城田)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
自己止血を試みて	第56回日本透析医学会・学術集会・総会	神奈川県	2011年6月17日	新里恭子、銘里礼子
電子カルテとフューチャーネットウェブの導入と評価	第18回院内研究発表会看護部予選会	当院	2011年9月8日	竹本直美、山内淳子
電子カルテとフューチャーネットウェブの導入と評価	第44回九州人工透析研究会・総会	佐賀県	2011年11月27日	柴野川盛広、宮城幸江、竹本直美
座長	第30回沖縄県人工透析研究会	沖縄県	2012年3月11日	竹本直美

実績報告会発表資料



論文著書

(データ作成 看護部 城田)

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
反復性大腸憩室炎に認められた Cap polyposis が疑われた一例	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	2006.11) 0911-5897) 45 巻 2 号 Page14-16	佐藤孝俊、洲鎌理知子、城間丈二、比嘉良夫、折田均、金城福則、(琉球大学付属病院・光学医療診療部)

活動実績

院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年5月26日	仲松初美
モニター心電図講習会 BACIC	日本光電	当院	2011年5月27日	山内敦子、伊保和香子
第6回日本透析学会学術集会	日本透析学会	神奈川県	2011年6月18～19日	新里恭子、屋良淳子
臨床に役立つフィジカルアセスメントの基礎	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月7～8日	伊保和香子
第15回血液透析技術セミナー	日本血液浄化技術学会	東京都	2011年7月9～7月10日	屋良淳子、与那覇直子
透析療法従事職員研修	日本腎臓財団	埼玉県	2011年7月16～17日	赤嶺美智江、島袋さおり
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011年7月28日	新里恭子
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011年10月3日	城田玲子、竹本直美
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011年8月25日	宮城幸江
フィッシュ哲学 いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011年10月27日	宮城幸江
糖尿病患者のフットケア	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年11月4日	屋良淳子、新里恭子
第44回九州人工透析研究会	九州人工透析研究会	佐賀県	2011年11月26日～28日	柴野川盛広、宮城幸江
糖尿病・肥満症・生活習慣病の最近の問題	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年12月3日	川満桃子
糖尿病重症化予防(フットケア)	日本糖尿病教育・看護学会	大阪府	2011年12月10～11日	竹本直美
創傷・褥瘡ケアII	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年12月22日	上原千晶、瀬底真由美
沖縄県人工透析研究会	沖縄県人工透析研究会	沖縄県	2012年3月11日	赤嶺美智恵、屋良淳子、柴野川盛広、島袋さおり

手術室・中央材料室

職員数

総数 20 名

正看護師 12 名

准看護師 3 名

看護助手 5 名

業務実績

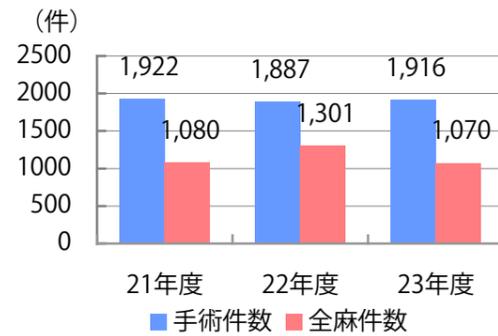
月平均手術件数

158 件

1 日平均手術件数

9 件

手術実績



研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 中野)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
電子カルテ導入に伴う誤認手術防止システム再構築の効果検討	第 18 回院内研究発表会	当院	2011 年 9 月 8 日	神里 歩、中野久乃
長時間 ESD の皮膚トラブルに関する対策と効果検討	第 33 回日本手術医学会	鹿児島県	2011 年 10 月 7 日	大城祥子、中野久乃、釜野武志、佐久川陽子、久場良也
安心・安全・安楽な周術期看護の提供を目指して一骨髄採取術に対する取り組みと工夫	第 53 回全日本病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 29 日	東恩納小百合、許田敏行、米田 梓、中野久乃、狩俣かおり、久場良也

活動実績

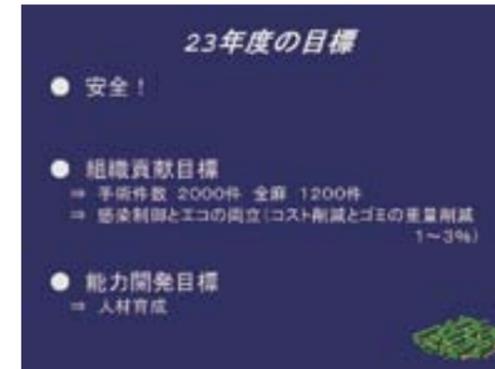
院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 5 月 26 日	赤池智子
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 6 月 9 日	前原里美、比嘉千恵子
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011 年 5 月 27 日	大城祥子、米田 梓、東恩納小百合
臨床に役立つフィジカルアセスメントの基礎	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 7 月 7 日～8 日	米田 梓
看護研究入門編	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 7 月 16 日	東恩納小百合

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011 年 7 月 28 日	東恩納小百合
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011 年 8 月 25 日	玉城重信
第 33 回日本手術医学会	日本手術医学会	鹿児島県	2011 年 10 月 7 日～8 日	中野久乃、神里歩、大城祥子
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011 年 10 月 3 日	中野久乃、比嘉憲貴、
フィッシュ哲学 いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011 年 10 月 27 日	比嘉憲貴、渡辺容子
第 53 回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 29 日	東恩納小百合、大城祥子
2 年目研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 11 月 17 日	大城祥子
2 年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2012 年 2 月 16 日	大城祥子

実績報告会発表資料



ICU

職員数

総数 24 名

正看護師 20 名

准看護師 1 名

看護助手 3 名

月平均入院患者状況

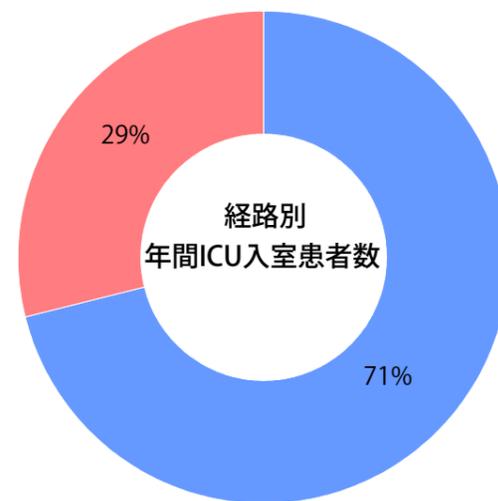
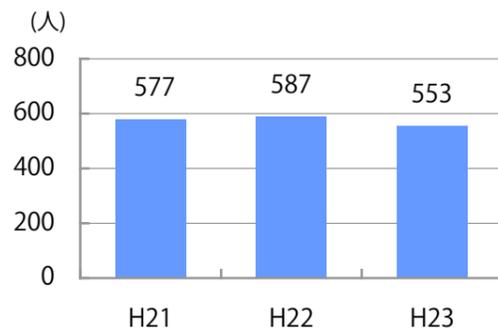
病床利用数 5.1 床

新規入院患者数 32.3 名

在院日数 8.2 日

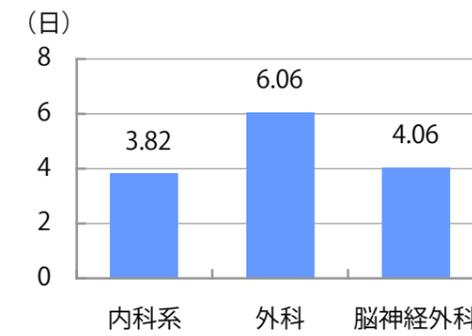
業務実績

過去 3 年間の ICU 入室患者数 (術後リカバリー患者除く)

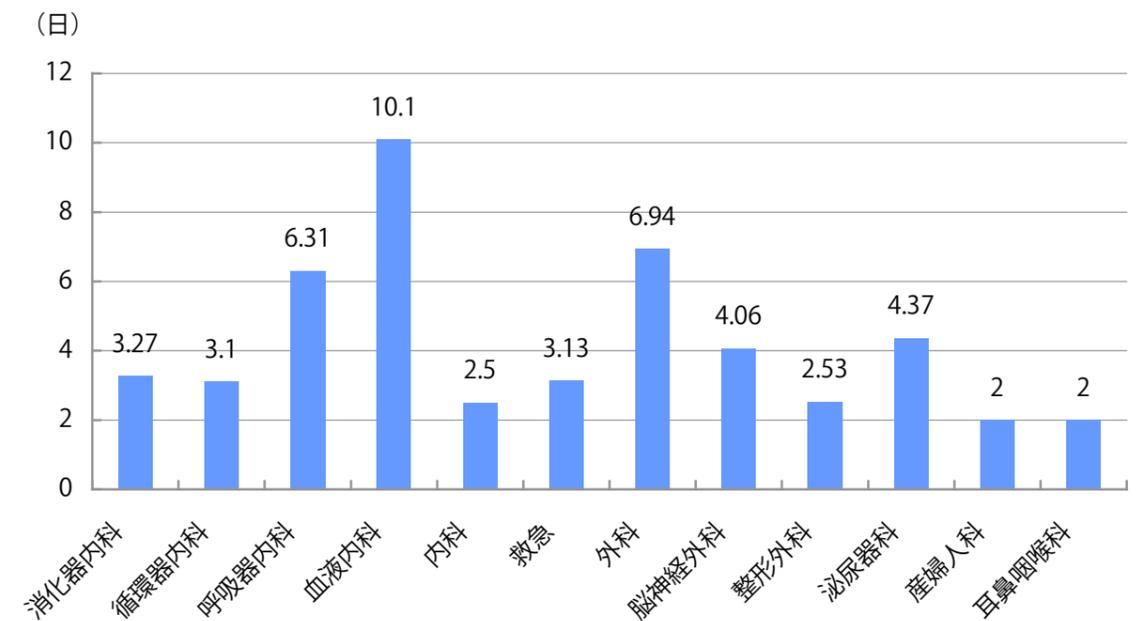


■ 救急外来 ■ 病棟

救急外来から入室した患者の平均滞在日数



科別平均滞在日数



研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 内間)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
末梢静脈炎予防の取り組み	院内研究発表会	当院	2011 年 9 月 8 日	玉城玲奈、安里しのぶ
座長	全国病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 29 日	内間幸人
人工呼吸管理の疼痛コントロール	第 39 回日本集中治療学会	千葉県	2012 年 2 月 28 日 ～ 3 月 1 日	宮里伸也、安村公均

活動実績

院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2011 年 4 月 1 日	仲尾寿々奈
BLS	病院	当院	2011 年 4 月 2 日	仲尾寿々奈

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
基礎看護技術研修	看護部	当院	2011年4月5日～4月13日	仲尾寿々奈
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011年4月30日	山城奈保子
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011年5月27日	狩俣貴子、宮本峰香、宮里伸也、安里しのぶ
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月9日	山入端美春、宮里ともみ
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月23日	仲尾寿々奈
臨床に役立つフィジカルアセスメントの基礎	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月7日～8日	内間幸人、島袋すが子
看護研究入門編	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月16日	狩俣貴子、宮本峰香
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011年7月28日	宮里伸也、
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011年8月18日	仲尾寿々奈
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011年8月25日	与那嶺史子
急性期における身体抑制を考える	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月10日	玉城紀光
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月22日	狩俣貴子
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月22日	仲尾寿々奈
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月29日	山城奈保子
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011年10月3日	内間幸人、仲宗根香織
3年目研修	看護部教育委員会	当院	2011年10月20日	塩屋秀子
第53回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011年10月29日	塩屋秀子
フィッシュ哲学いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011年10月27日	洲鎌正子
心臓病看護教育セミナー	医学同人者	沖縄県	2011年11月17日	山城敏裕、玉木紀光
創傷・スキンケアセミナー	アルケア株式会社	沖縄県	2011年11月20日	山城奈保子、狩俣貴子
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2012年1月19日	仲尾寿々奈
沖縄県看護研究学会	沖縄県看護協会	沖縄県	2012年1月28日	内間幸人
呼吸セミナー	日本離床研究会	福岡県	2012年1月28日～29日	内間幸人
第39回日本集中治療医学会	日本集中治療医学会	千葉県	2012年2月28日～3月1日	宮里伸也、安村公均
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012年3月22日	田畑佑希子、宮里伸也

西 2 階病棟（産婦人科）

職員数

総数 28 名

助産師 12 名

正看護師 11 名

准看護師 3 名

看護助手 2 名

月平均入院患者状況

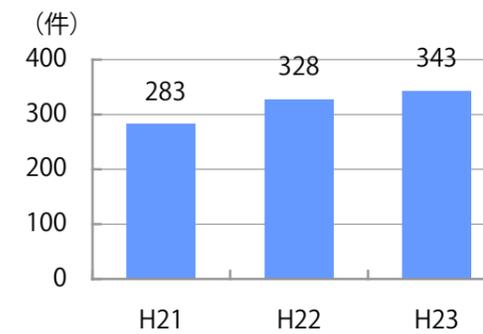
病床利用数 18.0 床

新規入院患者数 75.8 名

在院日数 5.7 日

業務実績

分娩件数



研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 諸喜田)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における無痛分娩の現状	院内研究発表会	当院	2011年9月8日	諸喜田久美、平良由美、上原美代子

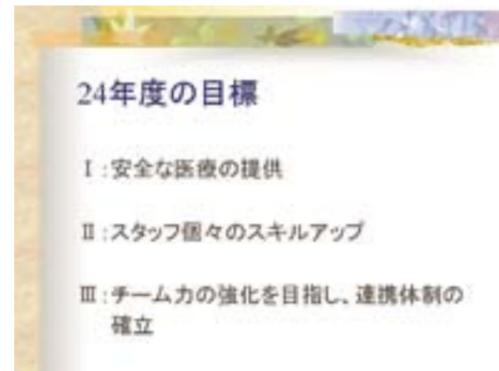
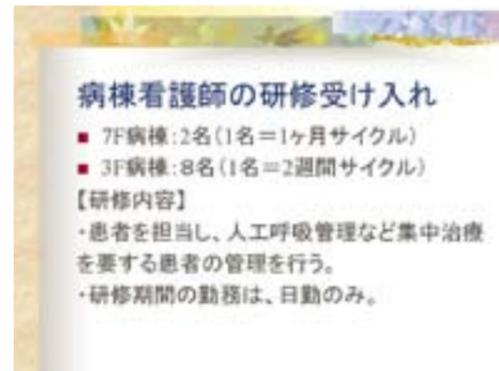
活動実績

院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2011年4月1日	座波菜見子
BLS	病院	当院	2011年4月2日	座波菜見子
基礎看護技術研修	看護部	当院	2011年4月5日～13日	座波菜見子
第8回新生児蘇生法講習会	沖縄県周産期ネットワーク協議会	沖縄県	2011年4月17日	我那覇美帆
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011年4月30日	諸喜田久美
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年5月26日	名城唄代
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011年5月27日	親盛智子
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月9日	宮城美和子
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月23日	座波菜見子

実績報告会発表資料



研修名	主催	開催地	開催日	参加者
これからの看護記録のあり方	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月23日	仲地春代、親盛智子
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011年7月28日	平良由美、比嘉由香
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011年8月18日	座波菜見子
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011年8月25日	友利しのぶ
わかりやすい文章の書き方	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月9日	仲地春代
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月22日	今井理恵、親盛智子
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月22日	仲尾寿々奈
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月29日	諸喜田久美
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011年10月3日	小橋川春子、我那覇美帆、諸喜田久美
医療安全管理者要請研修	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月6日～11月6日	小橋川春子
事例に学ぶ医療安全と看護	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月8日	上原ちえみ、上原美代子
感染管理I	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月19日	今井理恵、平良由美
3年目研修	看護部教育委員会	当院	2011年10月20日	又吉志菜子、具志堅理沙
第53回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011年10月29日	東 初美
病的新生児管理研修 ※1人20日間を5クール	病院	沖縄県	2011年10月3日～2月29日	平屋敷加代、諸喜田久美、仲地春代、又吉志菜子、具志堅理沙
フィッシュ哲学 いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011年10月27日	我那覇美帆、諸喜田久美
糖尿病患者のフットケア	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年11月4日	成田明日香
2年目研修	看護部教育委員会	当院	2011年11月17日	上原ちえみ、今井理恵
アロマでいきいきリフレッシュ	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年11月17日	座波菜見子
働き続けられる職場作り	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年11月26日	我那覇美帆
看護管理者に役立つ法律・制度・経営のエッセンスと最新情報	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年12月9日～10日	小橋川春子
助産師研修	沖縄県看護協会	沖縄県	2012年1月13日～14日	我那覇美帆、諸喜田久美
分娩期周辺の産科救急	沖縄県助産師会	沖縄県	2012年1月14日	仲地春代、上原ちえみ、又吉志菜子、具志堅理沙
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2012年1月19日	座波菜見子
マタニティヨガ指導者養成ベーシックコース		大阪府	2012年1月19日～22日	諸喜田久美
2年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2012年2月16日	上原ちえみ、今井理恵
新生児蘇生講習会	沖縄周産期ネットワーク協議会	沖縄県	2012年3月17日	金城嘉奈子
糖尿病の治療・看護・指導のための講習会	沖縄糖尿病療養指導士会	沖縄県	2012年3月17日	今井理恵
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012年3月22日	今井理恵、上原ちえみ

実績報告会発表資料

平成23年度の目標

- 1.安全な医療・看護の提供
- 2.スタッフの積極的な行動
- 3.患者指導・教育
- 4.業務の効率化

3.患者指導と教育
 外来からの保健指導の継続
 妊娠初期・中期・後期の個別指導
 両親学級
 母乳外来
 マタニティヨガ



看護学生・助産学生の実習受け入れ
 おもと会・北看・名桜大・福岡の4校の看護学校の受け入れ
 5月～1月まで約1年を通して実習指導を行っている



県立看護大学の助産学生
 約2カ月間で10例の分娩介助を昼夜を通して行っている



平成24年度の目標

- 1.安全な医療
- 2.人材の育成
- 3.保健指導の充実
- 4.委員会・係り活動の活発化
- 5.助産師外来の立ち上げ

3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科）

職員数

総数 40 名

正看護師 33 名

看護助手 5 名

准看護師 2 名

月平均入院患者状況

病床利用数 56.6 床

新規入院患者数 86.8 名

在院日数 18.9 日

研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 屋良)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
電子カルテ導入後～入院時チェックリスト改定～マニュアル作成まで	第 6 回業務改善委員会	当院	2011 年 9 月 8 日	親川優介、當間さゆり、足立聖子、佐伯 恵、吉田日麻、金川優子、宮本佳奈

活動実績

院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2011 年 4 月 1 日	崎原盛史、宜野座里香、仲宗根夏子
BLS	病院	当院	2011 年 4 月 2 日	
基礎看護技術研修	看護部	当院	2011 年 4 月 5 ～ 4 日 13 日	
プリセプター 報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 4 月 30 日	梶原明香ほか
看護必要度評価者院内指導者研修	日本臨床看護マネジメント学会	看護協会	2011 年 5 月 29 日	仲地鮎美
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 5 月 26 日	小波津 忍、久貝恵子
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011 年 5 月 27 日	外間真紀子、仲地鮎美、益倉福子、親川優介、桑本佳裕、屋良ちえみ
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 6 月 9 日	新垣ユリ子、新里優子
新人看護師 6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 6 月 23 日	崎原盛史、宜野座里香、仲宗根夏子
看護職と倫理	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 7 月 6 日	永原有佳理
臨床に役立つフィジカルアセスメントの基礎	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 7 月 7 ～ 8 日	大見謝奈々、知念宏共
看護研究入門編	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 7 月 16 日	足立聖子、高良那津子
これからの看護記録のあり方	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 7 月 23 日	屋良ちえみ、當眞さゆり
口腔ケア研修	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 8 月 17 日	大城幸江
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011 年 7 月 28 日	桑本佳裕、親川優介
解決志向アプローチ中級編	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 8 月 3 日	呉屋清美

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
1 年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 8 月 18 日	崎原盛史、宜野座里香、仲宗根夏子
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011 年 8 月 25 日	高良那津子、足立聖子、友寄貴美代
医療現場を悩ますクレーム・暴力のマネジメント	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 8 月 25 ～ 26 日	屋良ちえみ
急性期における身体抑制を考える	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 9 月 10 日	天久園代
創傷・褥瘡ケア I	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 9 月 21 日	屋良ちえみ
創傷・褥瘡ケア I	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 9 月 22 日	益倉福子、森山由紀子
新人看護師 6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 9 月 22 日	崎原盛史、宜野座里香、仲宗根夏子
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 9 月 29 日	梶原明香、益倉福子
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011 年 10 月 3 日	屋良ちえみ、外間真紀子、當眞さゆり
医療安全管理者要請研修	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 10 月 6 ～ 11 月 6 日	外間真紀子
3 年目研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 10 月 20 日	奥間有太郎、大見謝奈々
第 53 回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 29 日	外間真紀子
フィッシュ哲学 いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011 年 10 月 27 日	當眞さゆり
糖尿病患者のフットケア	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 11 月 4 日	佐伯 恵
事故防止のために知っておきたい基礎知識	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 11 月 5 ～ 6 日	天久園代
2 年目研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 11 月 17 日	知念宏共、佐久間春香
アロマでいきいきリフレッシュ	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 11 月 17 日	屋良ちえみ
創傷・スキンケアセミナー	アルケア株式会社	沖縄県	2011 年 11 月 20 日	森山由紀子、益倉福子
働き続けられる職場作り	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 11 月 26 日	外間真紀子
創傷・褥瘡ケア II	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 12 月 22 日	森山由紀子、益倉福子
看護管理者に役立つ法律・制度・経営のエッセンスと最新情報	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 12 月 9 ～ 10 日	屋良ちえみ
1 年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2012 年 1 月 19 日	崎原盛史、宜野座里香、仲宗根夏子
沖縄県看護研究学会	沖縄県看護協会	沖縄県	2012 年 1 月 28 日	外間真紀子、仲地鮎美
2 年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2012 年 2 月 16 日	知念宏共、佐久間春香
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 3 月 22 日	大見謝奈々、奥間有太郎

実績報告会発表資料

平成23年度病棟目標

- 1 安全な医療の提供(5S・5Rの継続)
- 2 スタッフの育成
- 3 チーム医療の評価

2 スタッフ育成

- ① 院内研修参加(看護部研修)
- ② 院外研修(看護協会主催研修)
- ③ 勉強会・カンファレンス

3 チーム医療の強化

- ① 医師・看護師・助手
リハビリ・MSWとの情報の共有
- ② 活発な患者カンファレンス

平成24年度病棟目標

- 1 夢を持つ希望高く
- 2 人を信じよう
- 3 人を愛そう愛し合おう
- 4 みんなで一つになろう

★H24年の取り組み II

- 1 TENAオムツの導入
H23 3月より導入 現在も取り組み中
- 2 看護ケアにアロマの導入



4 階病棟 (外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科)

職員数

総数 44 名
 正看護師 36 名
 准看護師 2 名
 看護助手 5 名
 クラーク 1 名

月平均入院患者状況

病床利用数 51.6 床
 新規入院患者数 82.0 名
 在院日数 18.2 日

研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 小橋川)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
日勤帯の超過勤務の見直し～夜勤5人体制を導入して～	第6回看護部業務改善報告会	当院	2011年9月8日	比嘉則子

活動実績

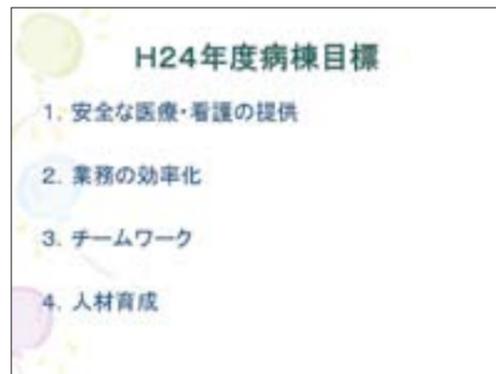
院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2011年4月1日	大曾根崇、村山結加香、川上美和子
BLS	病院	当院	2011年4月2日	
基礎看護技術研修	看護部	当院	2011年4月5～4月13日	
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011年4月30日	稲福藤子他
フレッシュマンのキャリア形成レポート	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年5月12～13日	大曾根崇、川上美和子、村山結加香
がん看護研修1	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年5月28日	野原千草、藤堂早紀
看護必要度評価者院内指導者研修	日本臨床看護マネジメント学会	沖縄県	2011年5月29日	宮城つかさ
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年5月26日	西村侑佳、岡本麗奈
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011年5月27日	稲福藤子、與古田望、宮平良太、平田いとも
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月9日	与那嶺敬子、上原朋恵
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月23日	大曾根 崇、村山結加香、川上美和子
これからの看護記録のあり方	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月23日	宮城つかさ
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011年7月28日	平田いとも
解決志向アプローチ中級編	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年8月3日	平田いとも
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011年8月18日	大曾根 崇、村山結加香、川上美和子
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011年8月25日	平良 桐、金城昭子
急性期における身体抑制を考える	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月10日	平良 勇
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月22日	名嘉 悠

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新人看護師 6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 9 月 22 日	大曾根 崇、村山結加香、川上美和子
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 9 月 29 日	稲福藤子他
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011 年 10 月 3 日	森 富江、平良 勇、宮城つかさ
3 年目研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 10 月 20 日	野原千草、與古田 望、
第 53 回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 29 日	玉城直美
フィッシュ哲学 いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011 年 10 月 27 日	平田いとも、金城昭子、藤堂早紀、稲福藤子
2 年目研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 11 月 17 日	宮平良太
1 年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2012 年 1 月 19 日	大曾根 崇、川上美和子
2 年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2012 年 2 月 16 日	宮平良太
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 3 月 22 日	野原千草、宮平良太

実績報告会発表資料



5 階病棟（消化器内科・小児科）

職員数

総数 41 名

正看護師 34 名

准看護師 2 名

看護助手 4 名

保育士 1 名

月平均入院患者状況

病床利用数 49.9 床

新規入院患者数 145.6 名

在院日数 10.6 日

研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 米須)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
看護記録の統一化～電子カルテ導入後経過表マニュアルを作成・活用して～	第 18 回院内研究発表会	当院	2011 年 11 月 5 日	門谷 優、佐藤寛子、前田利恵子、大宮那保、羽鳥 恵

活動実績

院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2011 年 4 月 1 日	我如古志乃 北代いづみ
BLS	病院	当院	2011 年 4 月 2 日	
基礎看護技術研修	看護部	当院	2011 年 4 月 5 ～ 4 月 13 日	
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 4 月 30 日	伊波佐智恵他
看護必要度評価者院内指導者研修	日本臨床看護マネジメント学会	看護協会	2011 年 5 月 29 日	鈴木千恵
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 5 月 26 日	尾崎聖子
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011 年 5 月 27 日	狩俣千佳、伊波佐智恵、富里理恵、羽鳥恵
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 6 月 9 日	仲村嶺子、金城義乃
新人看護師 6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 6 月 23 日	我如古志乃 北代いづみ
口腔ケア研修	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 8 月 17 日	又吉愛美、狩俣千佳
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011 年 7 月 28 日	森 春香、門谷 優
1 年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011 年 8 月 18 日	我如古志乃 北代いづみ
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011 年 8 月 25 日	我謝要子、市川祐鼓
急性期における身体抑制を考える	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 9 月 10 日	米須智子、野口久美子、比嘉君代
創傷・褥瘡ケア I	沖縄県看護協会	沖縄県	2011 年 9 月 22 日	浅賀智美、鈴木千恵、比嘉君代、伊波佐智恵
新人看護師 6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 9 月 22 日	我如古志乃、北代いづみ
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011 年 9 月 29 日	伊波佐智恵、狩俣千佳
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011 年 10 月 3 日	米須智子、鈴木千恵、嘉陽陽子

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
事例に学ぶ医療安全と看護	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月8日	我謝要子、野口久美子、米須智子
感染管理I	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月19日	狩俣千佳、深澤梨恵子
3年目研修	看護部教育委員会	当院	2011年10月20日	狩俣千佳、又吉愛美
第53回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011年10月29日	鈴木千恵
フィッシュ哲学 いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011年10月27日	米須智子、鈴木千恵
2年目研修	看護部教育委員会	当院	2011年11月17日	浅賀智美
看護管理者に役立つ法律・制度・経営のエッセンスと最新情報	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年12月9日～10日	米須智子
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2012年1月19日	我如古志乃 北代いづみ
2年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2012年2月16日	浅賀智美
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012年3月22日	新垣鈴香、又吉愛美

6階病棟（血液内科）

職員数

総数 37名

正看護師 30名

准看護師 2名

看護助手 5名

月平均入院患者状況

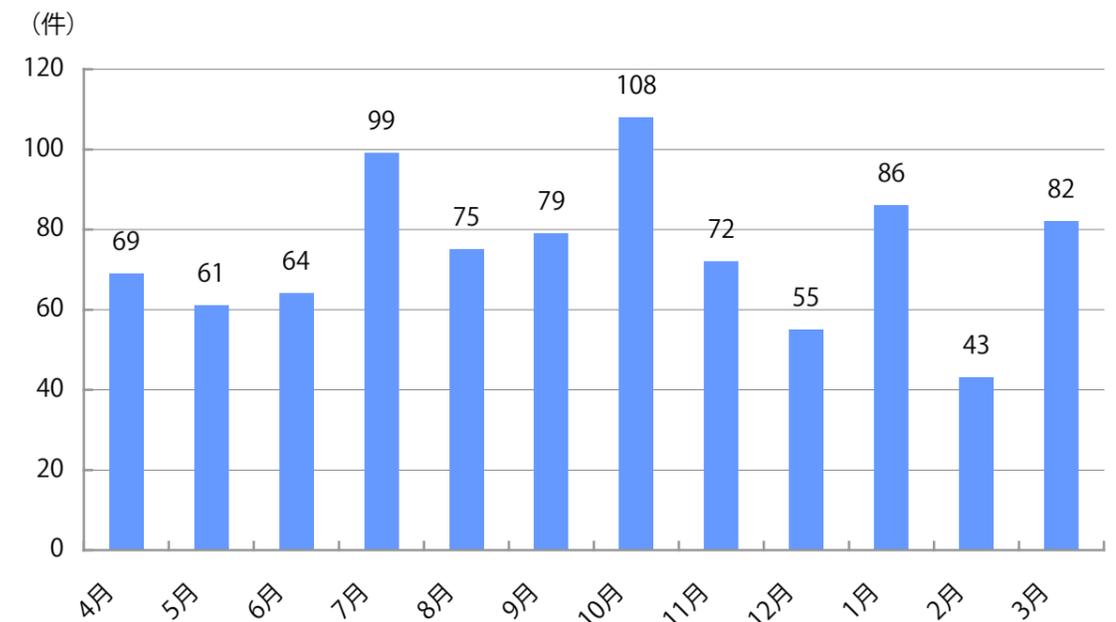
病床利用数 47.9床

新規入院患者数 48.1名

在院日数 30.85日

業務実績

平成23年度化学療法件数



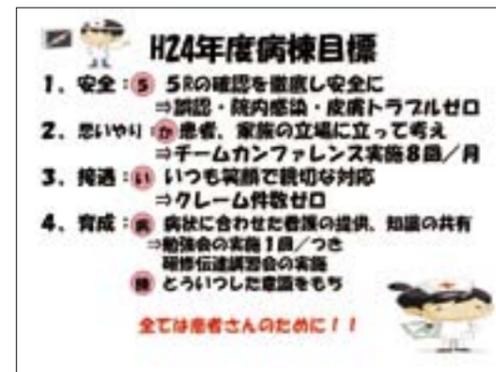
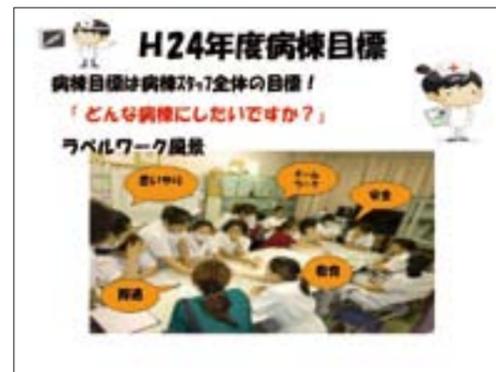
研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 森)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
血液がん より良い治療とより良い治療暮らしと血液がん治療 清潔ケアについて	NPO 法人血液情報広場・つばさフォーラム in 沖縄	琉球大学	2011年11月19日	比嘉 暢
座長		那覇市	2011年2月1日	藤本寿賀子

実績報告会発表資料



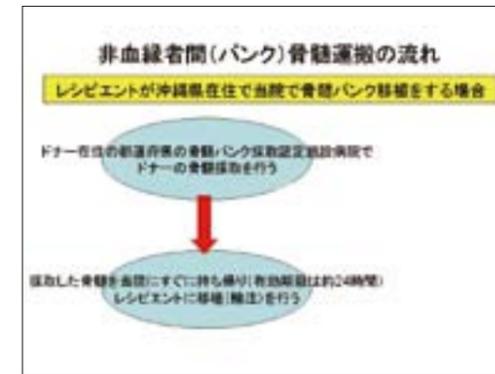
活動実績

院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2011年4月1日	下地奈帆、仲松未来、古謝つかさ
BLS	病院	当院	2011年4月2日	
基礎看護技術研修	看護部	当院	2011年4月5日～4月13日	
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011年4月30日	松本香奈子他
がん看護研修I	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年5月28日	玉城裕美
看護必要度評価者院内指導者研修	日本臨床看護マネジメント医学会	看護協会	2011年5月29日	仲田ひろ子
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年5月26日	柴田 忍、嶺井あずみ
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011年5月27日	下地奈帆、古謝つかさ、仲松未来、本間陽子
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月9日	城間鈴奈、宮城幸子
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月23日	下地奈帆、仲松未来、古謝つかさ
臨床に役立つフィジカルアセスメントの基礎	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月7日～8日	平良ゆかり
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011年7月28日	泉 淑子、安里みゆき
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011年8月18日	下地奈帆、仲松未来、古謝つかさ
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011年8月25日	城間菊乃
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月22日	泉 淑子
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月21日	比嘉常美
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月22日	下地奈帆、仲松未来、古謝つかさ
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月29日	松本香奈子、大田あずさ
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011年10月3日	師長・主任
事例に学ぶ医療安全と看護	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月8日	神山紋子
感染管理I	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月19日	安里紀子
3年目研修	看護部教育委員会	当院	2011年10月20日	田中菜里子
第53回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011年10月29日	下地久美子
フィッシュ哲学 いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011年10月27日	比嘉 暢
事故防止のために知っておきたい基礎知識	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年11月5～6日	神山紋子
2年目研修	看護部教育委員会	当院	2011年11月17日	玉城裕美、本郷朋美
アロマでいきいきリフレッシュ	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年11月17日	松本香奈子
創傷・褥瘡ケアII	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年12月22日	比嘉常美、泉 淑子
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011年1月19日	下地奈帆、仲松未来、古謝つかさ
2年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2011年2月16日	玉城裕美、本郷朋美
第34回日本造血細胞移植学会	日本造血細胞移植学会	大阪府	2011年2月24日～25日	比嘉 暢、諸喜田雅子、屋良絢子
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011年3月22日	鈴木育美、田中菜里子

実績報告会発表資料

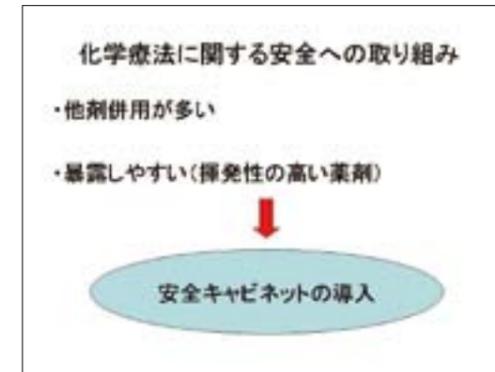


H23年度の実績

患者指導の推進
 移植後の生活指導のパンフレット作成

学会発表
 第34回日本造血細胞移植学会 大会発表

カンファレンスの充実
 血液内科カンファレンス(毎週水曜日17:30～)
 血液内科ガス・カンファレンス



H24年度の取り組み

患者指導の推進
 造血細胞移植後患者管理指導科 300点
 受理番号(指導書)第1号
 策定開始 平成24年7月1日

血液内科勉強会
 日本造血細胞移植学会看護部会刊「カルテ」を活用

カンファレンスの開催
 カンファレンス対象患者数 246名
 ガス・カンファレンス患者数 5名

H24年5月1日現在

7階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）

職員数

総数 42名

正看護師 33名

准看護師 4名

看護助手 5名

月平均入院患者状況

病床利用数 51.8床

新規入院患者数 79.6名

在院日数 16.7日

研究業績

学会発表

(データ作成 看護部 宮平)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ポスター発表	全国糖尿病学会	北海道	2011年5月19日～21日	堀江恭子
座長	全国病院学会	沖縄県	2011年10月29日	宮平典子
電子カルテ導入における質の高い看護ケアに向けて	院内研究発表会 業務改善報告会	当院	2011年11月27日	笹原 綾、新垣仕言、堀江恭子

活動実績

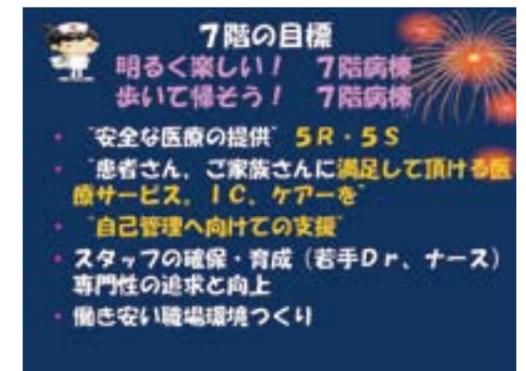
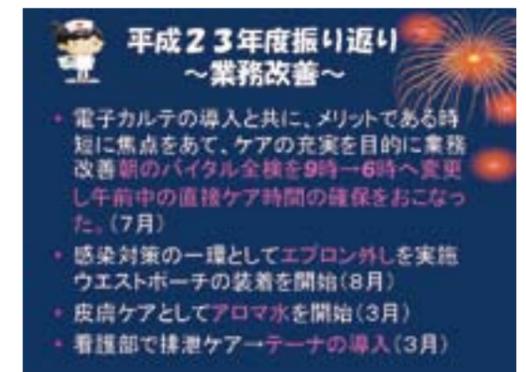
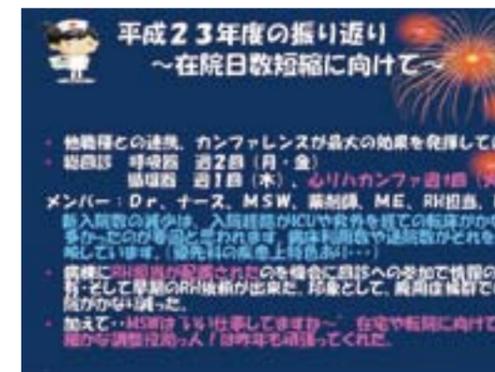
院内・院外研修実績

(データ作成 看護部 仲地)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2011年4月1日	當銘亜里沙、荷川取由佳
BLS	病院	当院	2011年4月2日	
基礎看護技術研修	看護部	当院	2011年4月5～4月13日	
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2011年4月30日	下地博一 他
看護必要度評価者院内指導者研修	日本臨床看護マネジメント学会	看護協会	2011年5月29日	知念恵子
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年5月26日	新垣絹子、小濱るり子、新垣裕子
モニター心電図講習会	日本光電	当院	2011年5月27日	児玉若菜、宮良達也、比嘉勝代、當銘亜里沙、荷川取由佳、岡田仁、下地博一
助手研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月9日	内間琴奈、比嘉照美
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年6月23日	當銘亜里沙、荷川取由佳
臨床に役立つフィジカルアセスメントの基礎	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年7月7～8日	知念恵子、新垣仕言、滝田千晶、宮良達也
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2011年7月28日	砂川友美
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011年8月18日	當銘亜里沙、荷川取由佳
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2011年8月25日	平良由貴子、児玉若菜
急性期における身体抑制を考える	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月10日	知念恵子、仲西厚子

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
創傷・褥瘡ケアI	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年9月22日	比嘉勝代、児玉若菜
新人看護師6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月22日	當銘亜里沙、荷川取由佳
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011年9月29日	下地博一、屋嘉比愛実
師長・主任合同研修	看護部	当院	2011年10月3日	宮平典子、久手堅政直、岡田 仁、知念恵子
災害医療と看護	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年10月14日	岡田仁
3年目研修	看護部教育委員会	当院	2011年10月20日	安次嶺 徹、下地博一、屋嘉比愛実
第53回全日本病院学会	全日本病院学会	沖縄県	2011年10月29日	半嶺 梢
フィッシュ哲学いきいき職場作り	沖縄県民間病院管理者会	沖縄県	2011年10月27日	新垣仕言、半嶺 梢
2年目研修	看護部教育委員会	当院	2011年11月17日	滝田千晶、新垣仕言、宮良達也
これからの看護を担うリーダーとは	固定チームナーシング研究会	沖縄県	2011年11月19日	宮平典子、岡田 仁、知念恵子、半嶺 梢、仲西厚子、安次嶺 徹
創傷・スキンケアセミナー	アルケア株式会社	沖縄県	2011年11月20日	宮平典子、新垣仕言、宮城久美子
看護管理者に役立つ法律・制度・経営のエッセンスと最新情報	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年12月9～10日	宮平典子
1年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2011年1月19日	當銘亜里沙、荷川取由佳
沖縄県看護研究学会	沖縄県看護協会	沖縄県	2011年1月28日	宮平典子、宮良達也
呼吸セミナー	日本離床研究会	福岡県	2011年1月28～29日	岡田 仁、半嶺 梢
2年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2011年2月16日	滝田千晶、新垣仕言、宮良達也
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2011年3月22日	宮良達也、新垣仕言

実績報告会発表資料



看護部 年度総括



看護部長
西銘 宣子

平成 23 年度は、「安全」「人材育成」「チームワーク」「電子カルテ活用で業務の効率化」の 4 つを目標に掲げました。

平成 23 年 1 月に稼動した電子カルテが看護部門にとっても大きな体制の変化で、利便性が増し業務の効率化につながりました。効率化が図れた分を、きめ細やかな観察やケアの時間にあてることができ、委員会・チーム活動の充実などにも取り組みました。

人材育成については、年間の研修計画に則り、院内外の研修に多くのスタッフが参加しました。大学病院での新生児研修へ 5 名のスタッフが 1 ヶ月ずつ参加、また 2 名の看護師が、感染看護、慢性心不全看護の認定看護師研修を受講しました。委員会・チーム活動に参加することで他職種との連携もより密になり、専門性を高める場となっています。

看護職の採用は今年度も厳しい状況で、4 月新卒の採用は 15 名でした。働きやすい職場環境づくりで看護職者の定着を図れるよう、時間外勤務の低減や、子育て中の看護職者の夜勤の調整など、また、FISH 活動を取り入れチーム力を高める取り組みをしました。平成 19 年度に 7 対 1 看護を取得し、夜勤の看護師の増員も図ったことで正職員の離職率は少しずつ減少傾向です。

平成 24 年度は、新たに、救急や呼吸ケア、化学療法、安全管理など 6 領域の院内認定制度を作り、知識、技術の向上を図れる体制作りをすすめていきます。FISH 活動を継続し更なるチーム力の強化に努めます。その一つとしてスタッフの希望が大きかったユニフォームの変更を予定しています。子育て支援の一つとしてハートライフクリニック内に病児保育所が開設されることも大きな期待です。

継続して、安全で質の高い看護の提供に努めて参ります。

医療技術部

部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の6部門で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

活動実績

医療技術部勉強会

(データ作成 企画室広報 仲田)

演題名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
肺がんについて	当院	2011年8月25日	大城盛寛
医療技術職の免許取得まで	当院	2012年1月9日	喜屋武結子

各部署概要・実績

放射線科

職員数

総数

17名

職種別

診療放射線技士 16名

助手 1名

認定・資格

氏名	認定・資格名
宮城竜也	基準撮影認定員 胃がん検診専門技師
大城雅史	第1種放射線取扱主任者
新垣弘扇	検診マンモグラフィ認定技師

氏名	認定・資格名
津波麻利子	検診マンモグラフィ認定技師
新垣千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
程岡美貴	検診マンモグラフィ認定技師
岸本伊智子	検診マンモグラフィ認定技師
出津利恵	検診マンモグラフィ認定技師

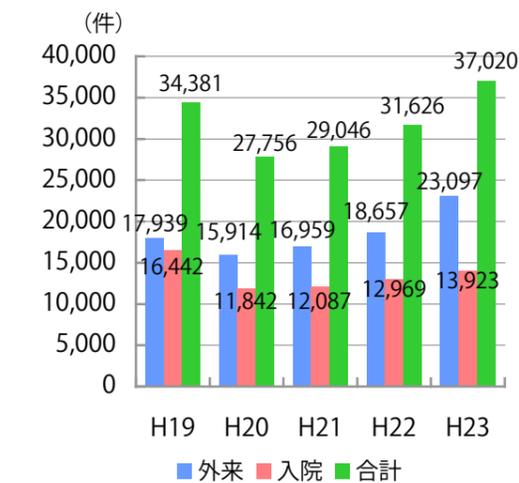
運営方針

1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

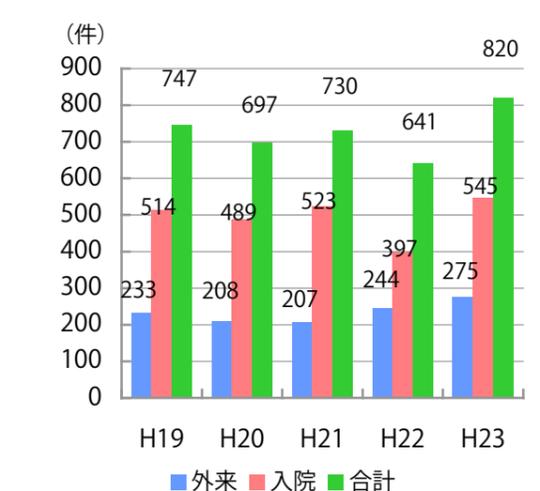
検査・治療実績

(データ作成 放射線科 仲座)

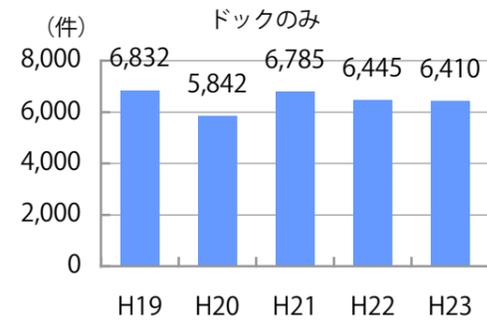
一般撮影



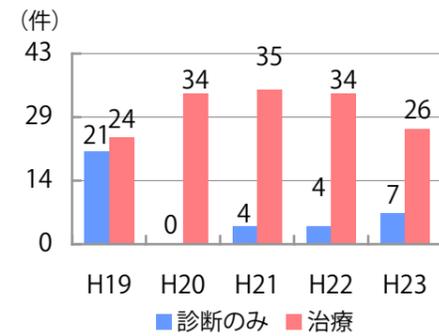
透視検査



透視検査



腹部アンギオ



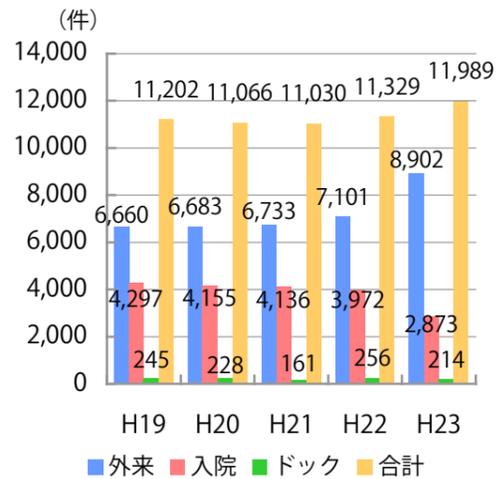
研究業績

学会発表

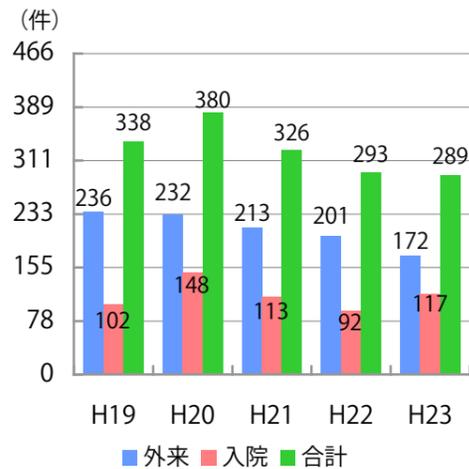
(データ作成 放射線科 仲座)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における IT の担うべき役割	第 53 回全日本病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 30 日	大城盛寛
基準撮影法と症例検討	沖縄県消化管撮影研究会 (沖縄銀杏会)	沖縄県	2011 年 10 月 28 日	宮城竜也
NPO 法人日本消化器がん検診精度管理評価機構「基準撮影法」	日立 胃がん X 線検診セミナー in 沖縄	沖縄県	2012 年 1 月 28 日	宮城竜也

CT 検査



RI 検査



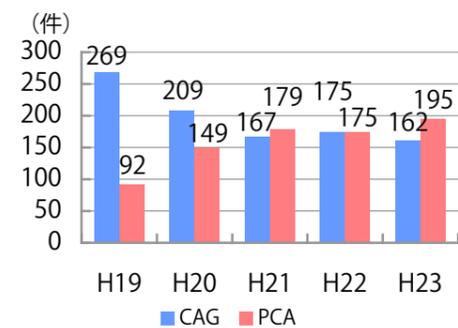
活動実績

科内勉強会

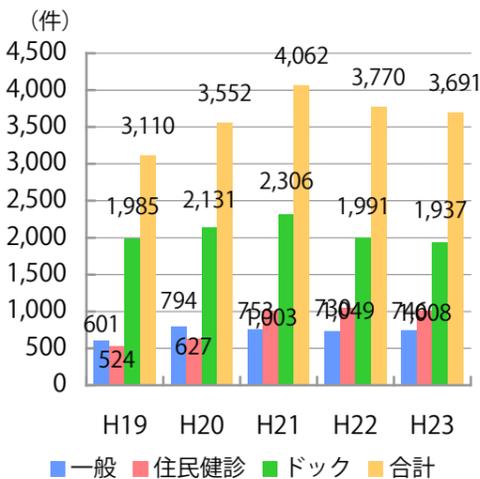
(データ作成 放射線科 仲座)

演題名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
子宮について	放射線科	2011 年 4 月 20 日	程岡美貴
CT 装置について	放射線科	2011 年 5 月 31 日	喜屋武結子
糖尿病 2 について	放射線科	2011 年 6 月 30 日	中村弘之
肝炎からその後	放射線科	2011 年 7 月 29 日	新垣千登勢
高血圧について	放射線科	2011 年 8 月 30 日	与古田 拡
成人 T 細胞白血病について	放射線科	2011 年 9 月 30 日	大城雅史
痛風について	放射線科	2011 年 10 月 31 日	津波麻利子
CT の症例について	放射線科	2011 年 11 月 30 日	大城盛寛
静脈血栓塞栓症について	放射線科	2011 年 12 月 29 日	石原 悟
胃の解剖と生理	放射線科	2012 年 1 月 28 日	辻本 豊
PDF 大腸・胃透視読影について	放射線科	2012 年 2 月 10 日	米須 勇
感染対策と結核について	放射線科	2012 年 3 月 19 日	新垣弘扇

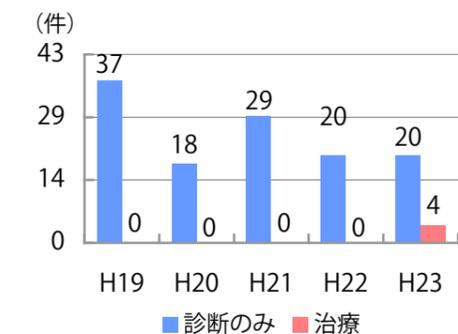
血管造影検査



マンモグラフィ検査



脳アンギオ



実績報告会発表資料



臨床検査科

職員数

総数

28名

職種別

臨床検査技師 23名
 衛生検査技師 1名
 視能訓練士 1名

眼科助手 (OMA) 1名
 検査助手 2名

認定・資格

(データ作成 臨床検査科 神谷)

氏名	認定・資格名
比嘉一廣	細胞検査士 健康食品管理士
神谷乗敏	健康食品管理士
仲里幸康	健康食品管理士 糖尿病療養指導士
吉野仁高	細胞検査士

氏名	認定・資格名
齋藤辰好	超音波検査士
島袋泰彦	超音波検査士
仲松勝彦	超音波検査士
照屋祥子	超音波検査士
安里奈美	超音波検査士
天願聖子	認定血液検査技士

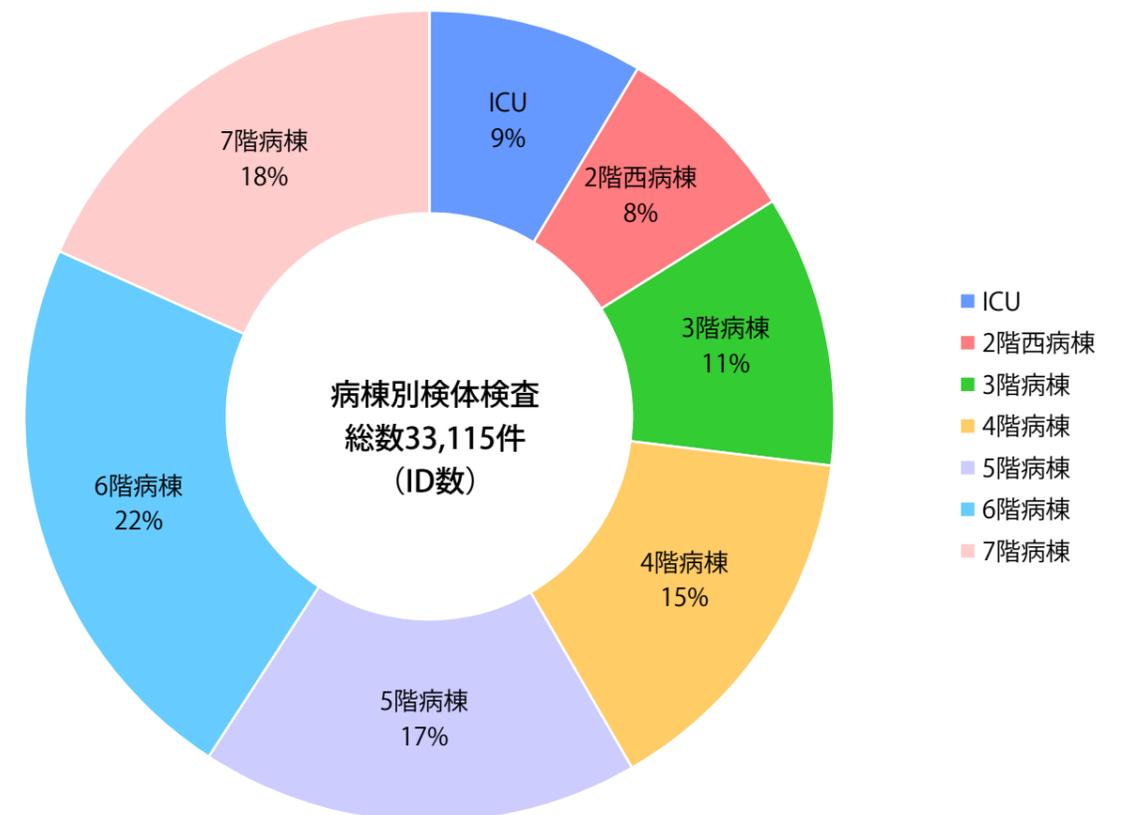
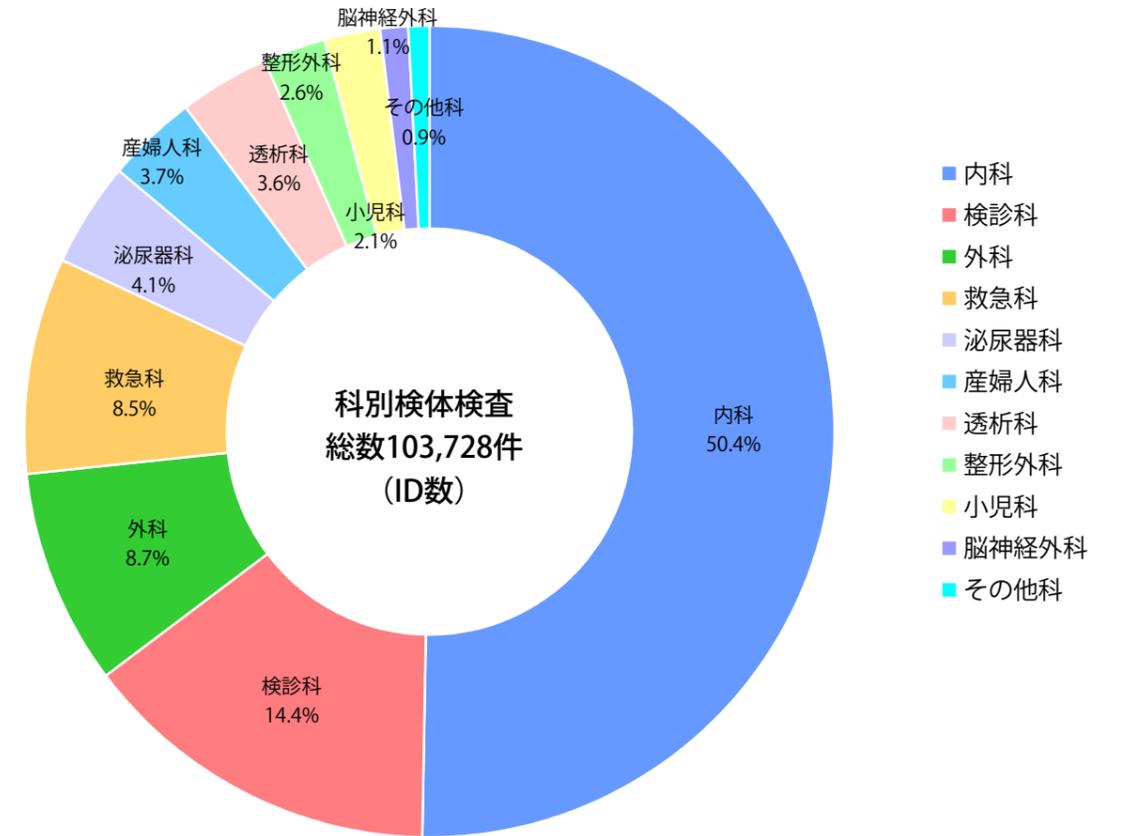
運営方針

臨床検査は①疾病の診断②治療方針決定③予後の判定にかかわる重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を目的とする。

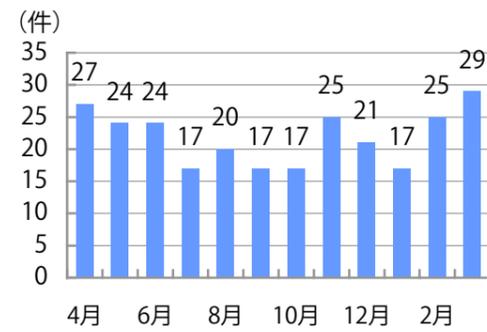
検査・治療実績

(データ作成 臨床検査科 神谷)

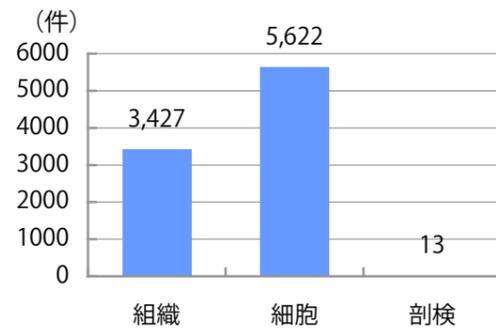
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図12誘導	496	486	520	453	451	425	475	434	423	428	472	452	5,507
CVR-R-ECG	40	35	41	34	29	33	18	33	44	59	57	24	447
マスター心電図	17	18	25	19	30	21	24	22	21	32	48	40	317
トレッドミル	26	25	35	27	29	25	28	9	18	28	31	17	298
ホルター心電図	13	17	23	9	21	12	11	31	17	13	15	19	201
24時間血圧測定	2	2	3	3	5	5	4	4	4	2	4	2	40
肺機能検査	83	66	64	96	66	78	78	78	66	77	73	71	896
ABI測定	53	42	44	47	51	41	30	45	47	37	61	28	526
サ-モグラフィ-	44	28	38	22	33	25	18	32	12	18	81	32	383
呼気中尿素試験	14	12	19	14	21	21	17	15	19	8	14	16	191
脳波検査	12	13	7	11	3	7	7	5	8	3	6	7	89
神経伝導速度	3	4	5	3	4	4	6	1	5	2	6	7	50
終夜睡眠ポリグラフ	3	3	4	5	5	5	2	2	2	3	1	1	30
心エコー	306	260	291	261	251	212	238	240	284	251	294	275	3,163
腹部エコー	471	501	510	509	505	480	476	479	469	449	444	464	5,857
泌尿器エコー	95	80	100	131	110	146	141	116	130	101	117	111	1,378
表在エコー	137	176	209	212	266	192	285	203	247	184	153	133	2,397
血管エコー	107	76	92	100	127	104	98	82	94	90	103	95	1,168
胎児エコー	35	26	23	27	29	25	26	36	25	29	21	31	333
経食道エコー	4	3	1	3	1	4	3	5	3	3		1	31
聴力検査	89	69	95	95	101	85	130	98	97	94	77	129	1,159
ティンパノメトリー	57	44	55	56	67	44	56	13	50	62	44	61	609
MRI	270	327	360	276	249	271	286	284	267	266	283	316	3,455
食道PHモニター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
経直腸エコー	1	2	1	5	2	2	3	1	1	1	0	1	20
ENOG	0	0	2	2	2	2	3	0	2	5	0	2	20
アブミ骨反射検査	0	0	1	2	2	2	5	1	3	4	2	3	25



骨髓像分類



病理細胞診



実績発表会発表資料

業務内容

- ・4階検体検査室(生化学,血液,免疫,輸血)
- ・院外検査検体分離(SRL,細菌検査)
- ・4階病理細胞検査(病理組織,細胞診,剖検)
- ・7階糖尿病患者(教育指導,機器管理)
- ・1階生理検査室(MRLSAS,CAG含)
- ・1階眼科検査室(眼科検査)
- ・1階聴力検査(聴力検査)

24年度目標

- ・細胞調整室の稼働
- ・臨床検査医の確保
- ・細菌検査室の構築

研究業績

学会発表

(データ作成 臨床検査科 神谷)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院で経験したキメラの一症例	第48回沖縄県医学検査学会	沖縄県	2011年6月12日	仲松秀美、蔵下 恒、神谷乗敏、比嘉一廣
子宮体部同所性癌肉腫の1例	第48回沖縄県医学検査学会	沖縄県	2011年6月12日	吉野仁高、津波克幸、仲里幸康、神谷乗敏、比嘉一廣、大西 勉、喜友名正也(中部徳洲会病院・病理診断科、戸田隆義(琉球大学附属病院検査部))
座長	第48回沖縄県医学検査学会	沖縄県	2011年6月12日	島袋泰彦
座長	第48回沖縄県医学検査学会	沖縄県	2011年6月12日	天願聖子
座長	第48回沖縄県医学検査学会	沖縄県	2011年6月12日	仲里幸康
発表	2011年度日本臨床細胞学会沖縄県支部 定例会	沖縄県	2011年7月21日	吉野仁高
SMBG 新画面表示の調査～画面表示の理解度調査報告その後～	第46回九州地区医学検査学会	熊本県	2011年10月2日	吉野仁高、仲里幸康、神谷乗敏

活動実績

講演会・院外活動への参加

(データ作成 臨床検査科 神谷)

名称	開催地	年月日	参加者
ピンクリボン沖縄イベント	沖縄県	2011年10月16日	イベント実務参加:具志堅善則
乳癌予防啓発講演会	沖縄県	2011年10月23日	聴講:具志堅善則
第5回環境の森健康フェスタ2011	沖縄県	2011年10月23日	実務委員参加:仲里幸康、吉野仁高、具志堅善則、神谷乗敏、比嘉一廣
沖縄県医師会臨床検査技師会精度管理調査報告会	沖縄県	2012年2月19日	報告者・参加:仲里幸康、天願聖子、我如古 靖、具志堅善則
まじゅらん健康フェスタ	沖縄県	2012年3月4日	実務委員参加:山川奈津子、仲里幸康、具志堅善則
沖縄リハビリテーション栄養研究会	沖縄県	2012年3月31日	参加:具志堅善則、大城小百合

臨床工学科

職員数

総数

10 名

職種別

臨床工学士 10 名

認定・資格

(データ作成 臨床工学科 大城)

氏名	認定・資格名
大城 安	医療機器情報コミュニケーター (MDIC) 透析技術認定士 呼吸療法認定士 VELA 保守点検講習終了者 EVT-4 保守点検講習会終了者 OT-707 保守点検終了者 医療ガス保安管理技術者
仲松晋也	第1種 ME 技術実力検定試験 透析技術認定士 呼吸療法認定士 透析液安全管理者 VELA 保守点検講習終了者 ザビーナ保守点検講習終了者 EVT-4 保守点検講習会終了者 OT-707 保守点検終了者 トップ TOP-6100 保守点検終了者 コンパクトドレーンユニット
野原 剛	第2種 ME 技術実力検定試験 透析技術認定士 呼吸療法認定士 ベースメーカー関連業務習得 (セミナー第1期) VELA 保守点検講習終了者 ザビーナ保守点検講習終了者 EVT-4 保守点検講習会終了者 カンガルー 624 型ポンプ保守点検終了者
豊川真理	第2種 ME 技術実力検定試験 医療機器情報コミュニケーター (MDIC) VELA 保守点検講習終了者 ザビーナ保守点検講習終了者 EVT-4 保守点検講習会終了者 OT-707 保守点検終了者 カンガルー 624 型ポンプ保守点検終了者 トップ TOP-6100 保守点検終了者 テルモ TE-331S テルモ TE-161S コンパクトドレーンユニット

氏名	認定・資格名
大瀨明日香	第2種 ME 技術実力検定試験 OT-707 保守点検終了者
弓濱義之	第2種 ME 技術実力検定試験 ベースメーカー関連業務習得 (セミナー第1期) ACLS VELA 保守点検講習終了者 OT-707 保守点検終了者 カンガルー 624 型ポンプ保守点検終了者
大瀨健太	第2種 ME 技術実力検定試験 OT-707 保守点検終了者 トップ TOP-6100 保守点検終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守点検終了者
宮城直史	第2種 ME 技術実力検定試験 EVT-4 保守点検講習会終了者 OT-707 保守点検終了者 トップ TOP-6100 保守点検終了者
新川桂一郎	第2種 ME 技術実力検定試験 VELA 保守点検講習終了者 トップ TOP-6100 保守点検終了者 OT-707 保守点検終了者
内里 司	呼吸療法認定士 VELA 保守点検講習終了者 ザビーナ保守点検講習終了者 EVT-4 保守点検講習会終了者 OT-707 保守点検終了者 カンガルー 624 型ポンプ保守点検終了者 トップ TOP-6100 保守点検終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守点検終了者

理念

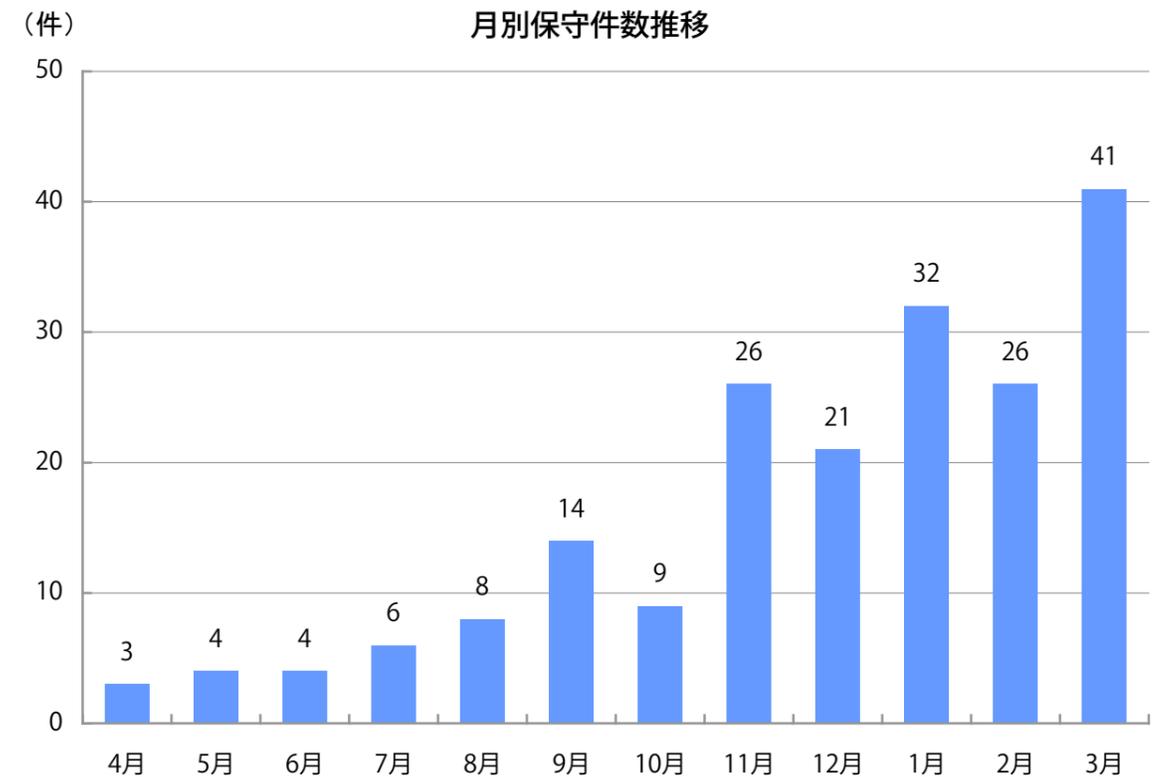
臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に、他部門との連携を密にし高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

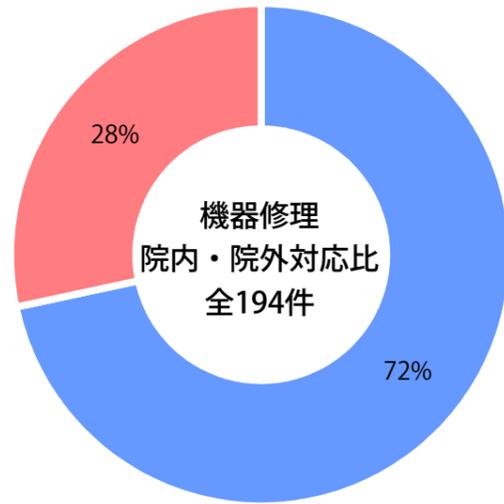
運営方針

1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率運用と安全性の確保
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

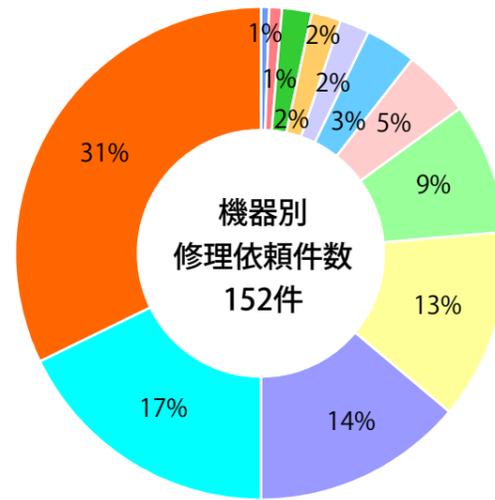
業務実績

(データ作成 臨床工学科 大城)





■ 院内 (ME) 対応 ■ 院外 (メーカー) 対応



■ 吸引器 ■ 除細動器 ■ 検査機器 ■ ネブライザ ■ 人工呼吸器 ■ 手術医療機器 ■ 患者モニタ ■ 血圧計 ■ 保育器 ■ パルスオキシメータ ■ シリンジポンプ ■ 輸液ポンプ

RFA 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
T V 室	1	0	1	2	2	1	0	1	0	1	1	1	11
手術室	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
小計	1	0	3	2	2	1	0	1	0	1	1	1	13

HOT 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小計	2	2	3	2	0	2	2	3	2	2	2	6	28

PM チェック症例数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院 PMC	PM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ICD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PMC	PM	1	21	15	13	17	20	12	15	20	16	14	20	184
	ICD	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	6
	小計	1	22	18	13	17	20	12	15	22	16	14	20	190
IVCF		3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	1	9
	PPI	1	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	6
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4	0	0	0	4	2	2	0	0	0	2	1	15

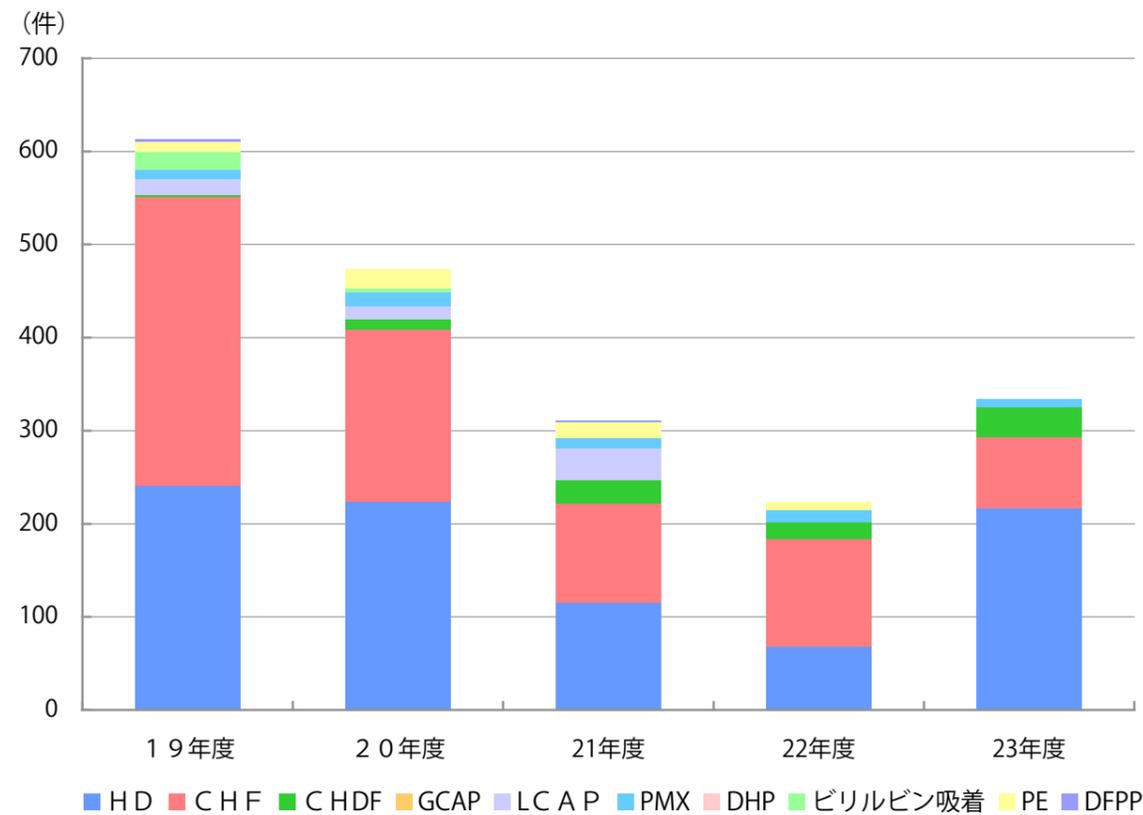
研究業績

学会発表

(データ作成 臨床工学科 大城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院において作成、運用しているデータベース	第20回日本心血管インターベンション治療学会 学術集会	大阪国際会議場	2011年7月20日～24日	弓濱義之、宮城直史、宮城直史、野原 剛、大城 安、與古田 拓、三戸正人、仲田 操、興座 一
座長	第16回九州臨床工学会	宮崎県	2011年10月23日	大城 安
当院における医療事故防止対策～血液浄化部インシデント KYT を実践して～	第53回全日本病院学会	宜野湾市	2011年10月29日～30日	大城 安、野原 剛
当院における立会い規制後の在宅酸素療法 (HOT) の取り組みと現況	第53回全日本病院学会	宜野湾市	2011年10月29日～30日	野原 剛
血内症例におけるPMX-DHPの施行経験	第9回沖縄県敗血症治療研究会	沖縄産業支援センター	2011年11月12日	仲松晋也
FutureNetWeb + 水質管理機能の使用経験	第44回九州人工透析研究会	佐賀県	2011年11月27日	仲松晋也、大瀧健太、内里 司、宮城直史、新川桂一朗、野原 剛、大城 安
当院における日機装社製D-FAS導入時の取り組み	第30回沖縄県人工透析研究会	宜野湾市	2012年3月11日	宮城直史、仲松晋也
座長	第30回沖縄県人工透析研究会	宜野湾市	2012年3月11日	大城 安

出張血液浄化実績



論文著書

(データ作成 臨床工学科 大城)

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
在宅酸素療法における臨床工学技士の役割	秀潤社クリニカルエンジニアリング 2011年10月号	2011.9.25 (Vol.22No.10) Page977-982	野原 剛

活動実績

院内外研修講義実績

(データ作成 臨床工学科 大城)

題目	開催地	実施年月日	講師
シリンジポンプ・輸液ポンプ研修	当院	2011年4月7日	豊川真理、仲松晋也、内里 司
BLS講習会	当院(2階講堂)	2011年4月9日	弓濱義之
モニター勉強会	当院	2011年4月12日	仲松晋也
4階病棟人工呼吸器勉強会(人工呼吸器の使用法)	当院(3階機器管理室)	2011年5月18日	仲松晋也
血液浄化勉強会(CHF)	当院(ICU)	2011年6月22日	仲松晋也
新人フォローアップ研修(3ヶ月)呼吸ケアについて	当院	2011年6月23日	仲松晋也
経腸栄養ポンプ取扱い説明会	当院	2011年6月24日	内里 司
アークティックサン操作説明会	当院(ICU)	2011年7月6日	仲松晋也
経腸栄養ポンプ取扱い説明会	当院(6階病棟)	2011年7月12日	内里 司
リスクマネジメント勉強会医療機器「心電図モニタの安全使用」	当院(2階講堂)	2011年8月17日~18日	仲松晋也、内里 司
ドリップアイ勉強会	当院(6階病棟)	2011年8月25日	仲松晋也、内里 司、宮城直史
新人フォローアップ研修(6ヶ月)人工呼吸器について	当院(2階講堂)	2011年9月22日	仲松晋也
院内研究発表会予選会	当院(2階講堂)	2011年10月6日	大瀧健太
血液浄化勉強会	当院	2011年12月7日	仲松晋也
BIPAPハーモニー取扱い説明会	当院(7階病棟)	2011年12月9日	仲松晋也、内里 司、喜瀬(南西医療器)
コメディカル定例勉強会	当院(2階講堂)	2012年1月19日	新川桂一郎
師「医療用機器の原理と実際上」	中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校しかわ看護学校(うるま市)	2012年1月26日	大城 安
講師「医療用機器の原理と実際下」	中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校しかわ看護学校(うるま市)	2012年2月1日	大城 安
フットポンプAVインパルス操作説明会	当院(手術室)	2012年2月29日	仲松晋也
人工呼吸器ザビーナアラーム対応勉強会	当院(3階病棟)	2012年3月23日	仲松晋也

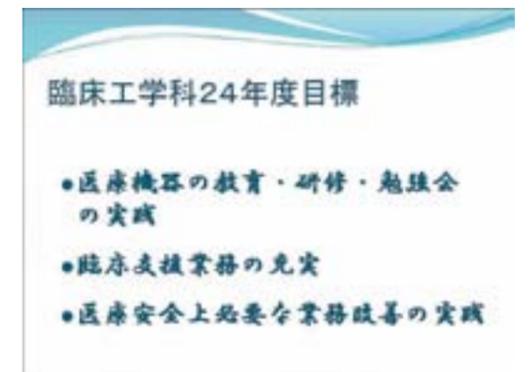
院内外研修受講実績

(データ作成 臨床工学科 大城)

名称	開催地	実施年月日	参加者
BLS講習会	当院(2階講堂)	2011年4月9日	新川桂一郎
新規モニタの使用法勉強会	当院	2011年4月26日	仲松晋也、内里 司、7階病棟看護師
第55回沖縄県CE技術交流会	那覇市(自治会館)	2011年5月15日	野原剛、仲松晋也、新川桂一郎
4階病棟人工呼吸器勉強会(人工呼吸器の使用法)	当院(3階機器管理室)	2011年5月18日	新川桂一郎・4階Ns10名
院会講習会「標準予防策」	当院(2階講堂)	2011年5月19日	内里 司
講演会「臨床応用に向けたIPS細胞の現状と課題」	当院(2階講堂)	2011年5月20日	大城安、宮城直史
日本光電モニター講習会(ベーシックコース)	当院(2階講堂)	2011年5月27日	新川桂一郎・Ns38名
RFA勉強会(MK物産)	当院	2011年6月3日	仲松晋也、内里 司、新川桂一郎
経腸栄養ポンプメンテナンス講習会(TOP-6100)	当院(3階ME室)	2011年6月9日	仲松晋也、内里 司、新川桂一郎、宮城直史、大瀧健太、豊川真理
第33回日本呼吸療法学会学術総会	横浜	2011年6月10日~6月11日	仲松晋也
第56回日本透析療法医学会学術集会総会	横浜	2011年6月17日~6月19日	内里 司
新人フォローアップ研修(3ヶ月)呼吸ケアについて	当院	2011年6月23日	新川桂一郎
心臓カテーテル/ペースメーカー勉強会	西原町(琉球大学HP)	2011年6月26日	宮城直史
手術室電気メス勉強会(主に操作方法)	当院(手術室)	2011年6月28日	内里 司
透析室勉強会「維持透析療法中のC型慢性肝炎患者に対するフェロンの有用性」	透析室	2011年7月1日	大城安、仲松晋也、大瀧明日香、弓濱義之、新川桂一郎、他Ns.
capnostreamカブノメータ説明会	当院(ICU)	2011年7月6日	仲松晋也、内間師長、Dr久場
第37回日本対外循環治療医学会九州地方会	那覇市(沖縄産業支援センター)	2011年7月9日	野原 剛、宮城直史
日本光電モニター心電図保存用ソフト勉強会	当院(7階病棟)	2011年7月13日	仲松晋也、7階病棟Ns.10名、電算:宮城克己
スタッフフォーラム2011「高齢者透析について」	那覇市(パシフィックホテル)	2011年7月16日	野原 剛、仲松晋也、内里 司、透析室Ns.山内
呼吸療法勉強会	那覇市(那覇市立病院)	2011年7月20日	宮城直史
輸液ポンプメンテナンス講習会(OT-707)	南風原町(南部医療センター)	2011年7月23日	新川桂一郎
人工呼吸器VELA保守点検技術講習会	浦添市(インテリジェンスセンター)	2011年7月30日	仲松晋也、新川桂一郎
人工呼吸器講習会	浦添市(インテリジェンスセンター)	2011年8月7日	仲松晋也、宮城直史、内里 司
インスピロンネブライザー	当院(5階病棟)	2011年8月9日	仲松晋也・内里 司、5階病棟Ns.20名
リスクマネジメント勉強会医療機器「心電図モニタの安全使用」	当院(2階講堂)	2011年8月17日~18日	大城 安、仲松晋也、新川桂一郎、内里 司
リスクマネジメント勉強会医療ガス「アウトレットの取扱いと点検」	当院(2階講堂)	2011年8月17日~18日	仲松晋也、内里 司、大瀧健太、宮城直史
コメディカル定例勉強会	当院(2階講堂)	2011年8月25日	大城 安、仲松晋也、新川桂一郎、内里 司、宮城直史
動物実験	宮崎県	2011年8月25日~26日	野原 剛、弓濱義之
第17回沖縄呼吸セミナー	沖縄市(沖縄市民会館)	2011年9月3日	野原 剛

名称	開催地	実施年月日	参加者
PMX+CHDF直列療法勉強会	当院 (ICU)	2011年9月15日	大城 安、仲松晋也、内里 司、大瀨健太、新川桂一郎、ICU Ns . 9名、3階病棟1名
人工呼吸器講習会(ドレーゲル) 一歩進める人工呼吸器	那覇市(那覇市立病院)	2011年10月2日	野原 剛、内里 司
院内研究発表会予選会	当院 (2階講堂)	2011年10月6日	野原 剛、仲松晋也、宮城直史、新川桂一郎
診療報酬とチーム医療勉強会	当院 (2階講堂)	2011年10月15日	仲松晋也
第16回救急症例検討会	当院	2011年10月21日	弓濱義之
入院患者在宅呼吸器勉強会	当院	2011年11月4日	内里 司、4階病棟Ns
PCPS基本原理とブライミング	当院 (ICU)	2011年11月10日	ME弓濱義之、宮城直史、ICU Ns . 8名、3階病棟Ns . 1名、ERNs . 6名、6階病棟1名
耳鏡の使用方法	当院	2011年11月16日	仲松晋也、内里 司、医師
眼底鏡勉強会	当院	2011年11月30日	仲松晋也、内里 司、医師
透析液浄化基礎セミナー	浦添市(てだこホール、多目的室)	2011年12月4日	新川 桂一郎
新卒者臨床工学技士映像講習会	浦添市(てだこホール、多目的室)	2011年12月18日	新川 桂一郎
在宅人工呼吸器NIPネーザル使用方法	当院	2011年12月21日	仲松晋也、内里 司、7階病棟Ns .
コメディカル定例勉強会	当院 (2階講堂)	2012年1月19日	大城 安、仲松晋也、弓濱義之、大瀨健太、宮城直史、野原 剛
日機装D-FAS勉強会	当院 (透析室)	2012年2月8日	宮城直史、大瀨健太、新川桂一郎
日機装D-FAS勉強会	当院 (透析室)	2012年2月13日	内里 司、宮城直史
ASV-CS 勉強会	当院 (透析室)	2012年2月16日	血液浄化部Ns、ME
手術システムダビンチ説明会	当院	2012年2月16日	仲松晋也
DCS-100NX操作説明会	当院 (透析室)	2012年2月21日	大城 安、野原 剛、宮城直史、新川桂一郎、Ns 10名
第39回日本集中医学会学術集会	千葉県	2012年2月28日~3月1日	野原 剛
耳鼻科用顕微鏡操作説明会	当院 (手術室)	2012年3月9日	仲松晋也、手術室Ns
第30回沖縄県人工透析研究会	宜野湾市(沖縄コンベンションセンター)	2012年3月11日	大城 安、弓濱義之、内里 司、野原剛
第2回血液浄化学ビデオセミナー	浦添市(てだこホール、多目的室)	2012年3月18日	新川桂一郎
第18回沖縄呼吸ケアセミナー	那覇市(沖縄産業支援センター)	2012年3月24日	内里 司、野原 剛
麻酔器VANS勉強会	当院	2012年3月26日	仲松晋也、手術室Ns

実績報告会発表資料



栄養科

職員数

総数

29名

職種別

管理栄養士 5名

栄養士 1名

調理師 10名

調理補助 7名

食器洗浄 5名

事務 1名

認定・資格

氏名	認定・資格名
久場徳子	運動指導士 糖尿病療養指導士
新垣優子	運動指導士 糖尿病療養指導士

(データ作成 栄養科 久場)

氏名	認定・資格名
渡真利ゆりか	運動指導士
真栄城ゆかり	糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療養士

運営方針

- ・患者様のニーズに応える食事を提供します。
- ・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
- ・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

研究業績

学会発表

(データ作成 栄養科 久場)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病患者の食事摂取前後の満腹メーターを探る	第54回 日本糖尿病学会年次学術集会	札幌	2011年5月19～21日	新垣優子
日本経腸栄養学会	難治性下痢及び褥瘡に関わった症例	神戸	2012年2月23日～24日	嘉数智子、鈴木千恵、浅賀智美、島袋麻子、真栄城ゆかり
イベント参加 2011 糖尿病予防キャンペーン 西日本地区講演会 in 沖縄	パネルディスカッション	沖縄	2011年11月20日	新垣優子

イベント参加

(データ作成 栄養科 久場)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
2011 糖尿病予防キャンペーン 西日本地区講演会 in 沖縄	パネルディスカッション	沖縄	2011年11月20日	新垣優子

活動実績

患者さんを招いての昼食会

(データ作成：栄養科 久場)

題目	開催地	実施年月日	講師
血液サラサラレシピ	当院	2011年6月	真栄城ゆかり
美味しく減塩	当院	2011年10月	高屋美希
クリスマスバイキング	当院	2011年12月	高屋美希

研修受講実績

(データ作成：栄養科 久場)

名称	開催地	実施年月日	参加
栄養サポートセミナー	沖縄県 那覇市立病院	2011年5月	栄養士
NST研修会	沖縄県 総合福祉センター	2011年6月	栄養士
健康運動指導士会研修会	沖縄県 環境の杜	2011年6月	栄養士
公衆衛生研修会	沖縄県 産業支援センター	2011年8月	調理師
健康運動指導士会講習会	沖縄県 環境の杜	2011年8月	栄養士
ソフト食調理セミナー	沖縄県 ホシザキ沖縄	2011年11月	調理師
肝臓栄養トータルケアを考える会	沖縄県 ザナハテラス	2012年2月	栄養士
健康運動指導士会研修会	沖縄県 環境の杜	2012年2月	栄養士
糖尿病治療・看護・指導のための講習会	沖縄県	2012年3月	栄養士

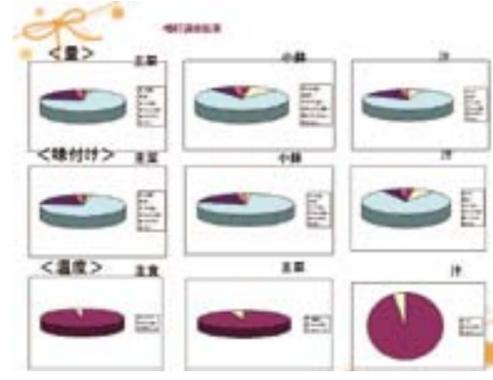
科内研修会実績

(データ作成：栄養科 久場)

名称	開催地	実施年月日	講師
次亜塩素酸の使用について	当院	2011年4月	新垣優子
食中毒について	当院	2011年5月	山城佳世
時間栄養学	当院	2011年6月	高屋美希
お弁当を作る時の食中毒を防ぐ	当院	2011年7月	久場徳子
セルフマッサージについて	当院	2011年8月	新垣優子
食中毒について(感染、石川さん)	当院	2011年9月	真栄城 ゆかり
よい睡眠について	当院	2011年10月	山城佳世
ミキサーの有効利用について	当院	2011年11月	高屋美希
ノロウイルスについて	当院	2012年1月	新垣優子
食品の保存について	当院	2012年2月	山城佳世
水について	当院	2012年3月	高屋美希

実績報告会発表資料





薬局

職員数

総数

17名

職種別

薬剤師 13名

薬局助手 3名

一般事務 1名

認定・資格

氏名	認定・資格名
伊藤昌徳	認定実務実習指導薬剤師 公認スポーツファーマシスト
義田育美	NST専門療法士

(データ作成 薬局 伊藤)

氏名	認定・資格名
谷山美紗子	糖尿病療養指導士
魚住達也	糖尿病療養指導士

理念

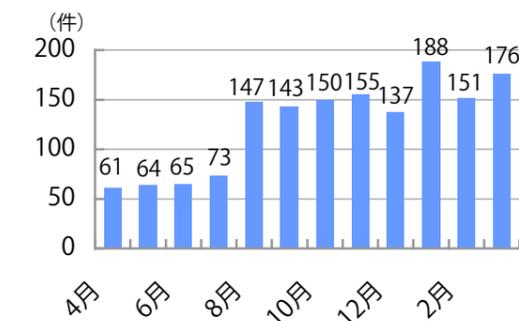
私たちは心と心をつなぐ信頼される医療を目指します。
患者さんが喜ぶ医療を目指します。

運営方針

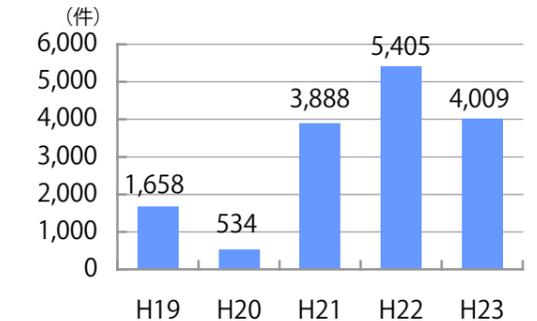
全ての入院患者さんの状況把握と関与
医薬品の適正使用
「より安全な薬物療法」と「より質の高い薬物療法」

活動実績

検薬件数



薬剤管理指導業務



学会発表

(データ作成 薬局 伊藤)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
講師	看護協会主催・癌エキスパートナーズ講習会	島尻郡	2011年5月28日	伊藤昌徳
座長	在宅ケア・緩和医療薬学セミナー	島尻郡	2011年7月8日	伊藤昌徳
講師	沖縄県緩和ケア研修会 2011	名護市	2011年9月4日	伊藤昌徳
講師	沖縄県緩和ケア研修会 2011	沖縄市	2011年10月16日	伊藤昌徳
座長	第53回全日本病院学会	宜野湾市	2011年10月28日	伊藤昌徳
シュアフェューザーの管理の重要性について	第53回全日本病院学会	宜野湾市	2011年10月28日	田中健嗣、奥島憲彦、西原 実、宮平 工、花城直次、伊藤昌徳、大関秀和、本田由佳理、徳比嘉恵
ボルテゾミブによりイレウスを発症した多発性骨髄腫の一例	第73回九州山口薬学大会	宜野湾市	2011年11月13日	谷山美紗子、伊藤昌徳、嘉数智子、大濱昌代、平良直也
座長	沖縄緩和医療薬学セミナー	島尻郡	2011年11月22日	伊藤昌徳
研修会講師	沖縄県緩和ケア研修会 2011	那覇市	2011年11月27日	伊藤昌徳
講習会講師	スポーツファーマシスト講習会	那覇市	2012年1月29日	伊藤昌徳
研修会講師	沖縄県緩和ケア研修会 2011	豊見城村	2012年2月5日	伊藤昌徳
座長	漢方調剤セミナー	宜野湾市	2012年3月4日	伊藤昌徳

リハビリテーション科

職員数

総数

21名 (育休補充職員2名含む)

職種別

理学療法士 12名 (育休補充職員1名含む)

言語聴覚士 3名

作業療法士 5名 (育休補充職員1名含む)

助手 1名

認定・資格

(データ作成 リハビリテーション科 玉城)

氏名	認定・資格名
玉城義彦	介護支援専門員
屋宜伸春	呼吸療法認定士 心臓リハビリテーション指導士
栄野比智也	がんのリハビリテーション研修終了

氏名	認定・資格名
長嶺敦司	健康運動指導士
波平静香	呼吸療法認定士
玉栄優子	がんのリハビリテーション研修終了

理念

患者さんの目標 (家庭復帰等) に向かって、機能的予後予測に即した、リハビリテーション全体をマネージメントする。

運営方針

急性期病院におけるリハビリテーションを担い、その役割を明確にし、実践する。

院内外の関連職種間とのコミュニケーションや連携の強化を図る。

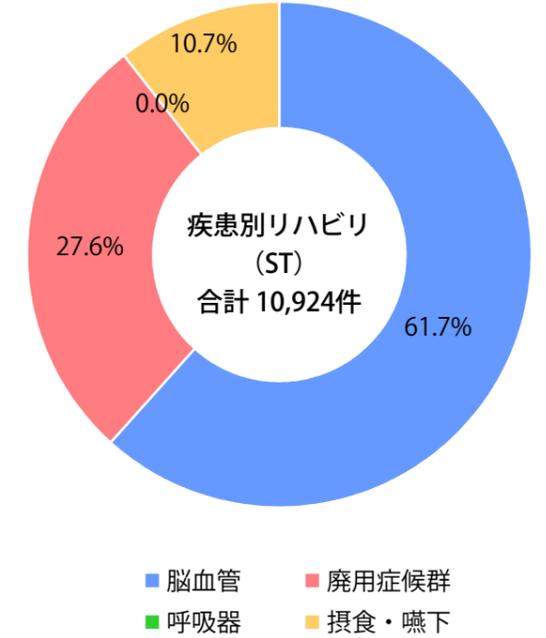
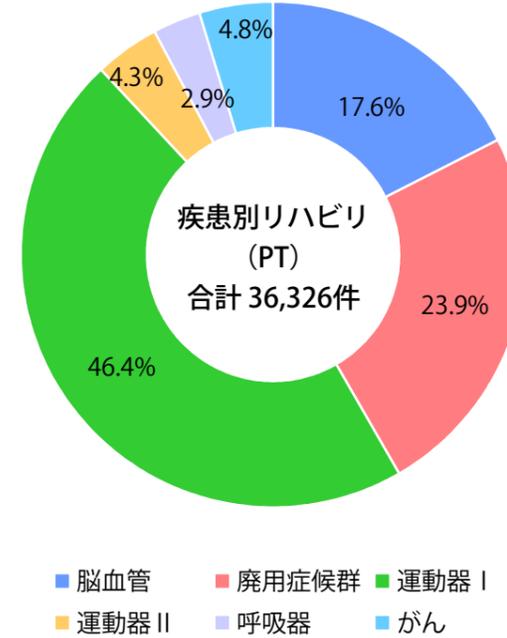
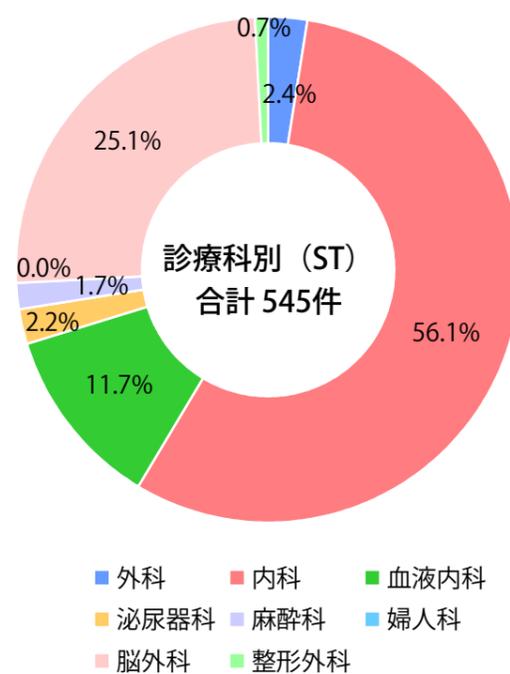
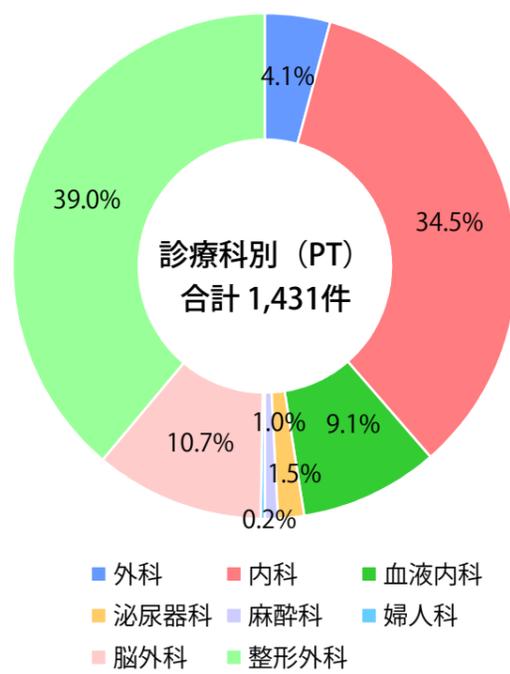
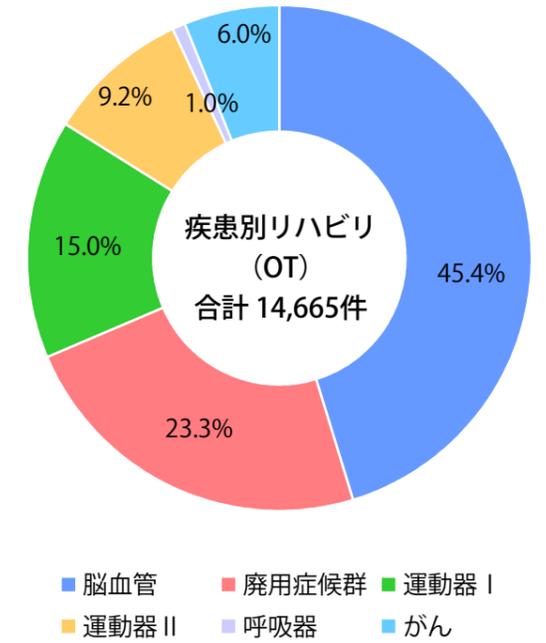
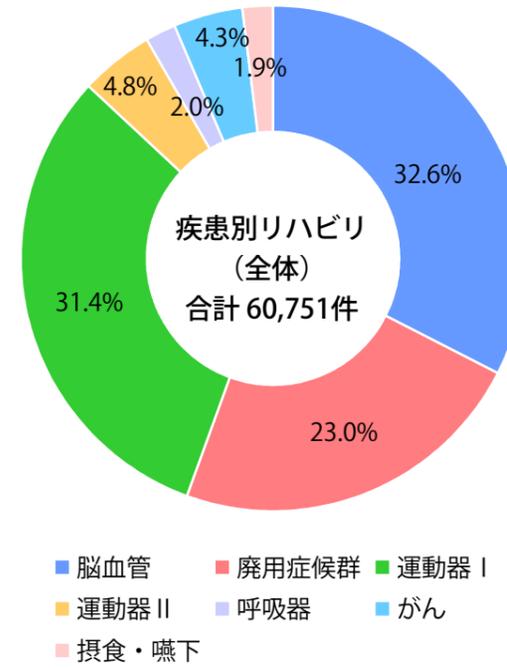
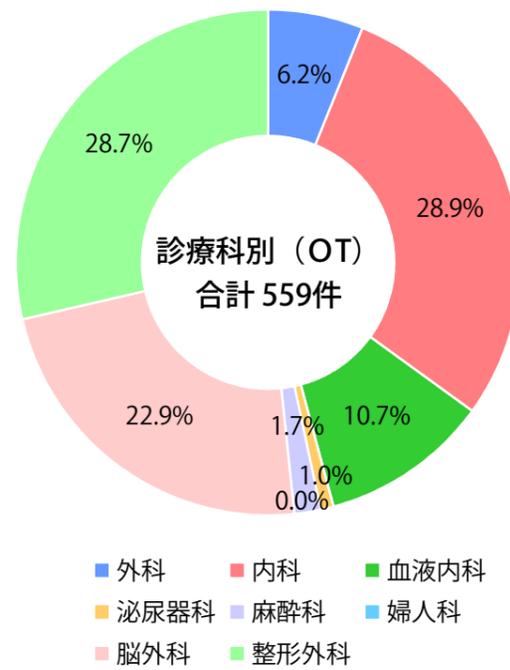
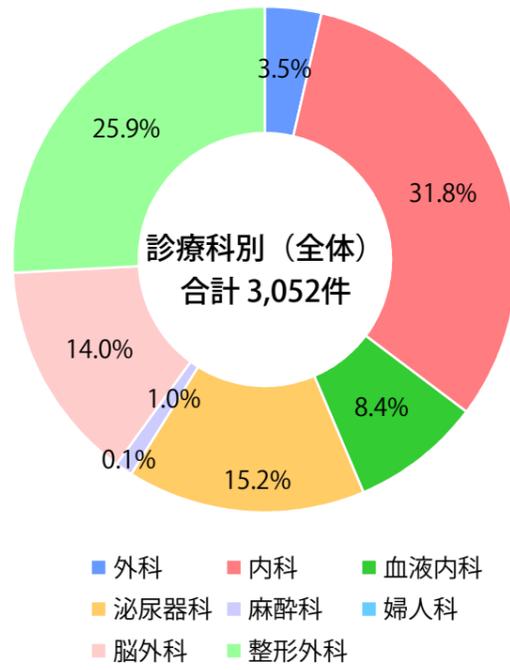
部及び個々の診療技術の向上を目指す

検査・治療実績

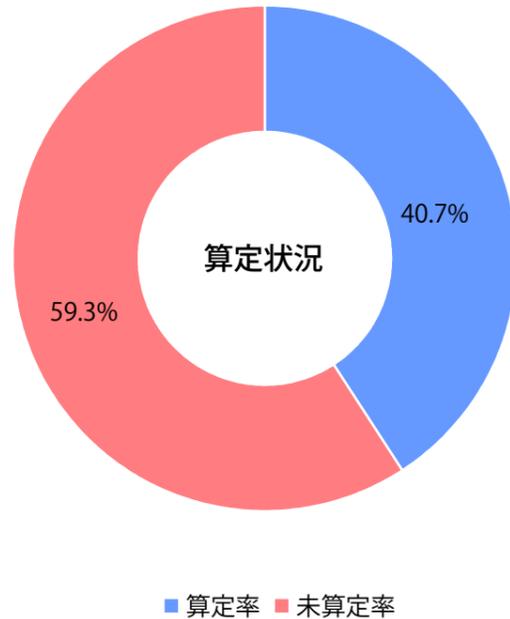
リハビリテーション実施状況

(データ作成 リハビリテーション科 玉城)

リハビリテーション処方状況



リハビリテーション総合実施計画



算定状況	
新患者数	1,714
算定数	698
未算定数	1,016
算定率	40.7%
未算定率	59.3%
算定点数	209,400
未算定点数	304,800

研究業績

学会発表

(データ作成 リハビリテーション科 玉城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
発表	第 54 回日本糖尿病学会 年次学術集会	札幌市	2011 年 5 月 19 日	長嶺敦司
座長	全日本病院学会	宜野湾市	2011 年 10 月 29 日	屋宜伸春

活動実績

イベントなどへの派遣

(データ作成 リハビリテーション科 玉城)

名称	開催地	発表年月日	発表者と研究者
理学療法フェア 2011	北谷町	2011 年 7 月 9 日	玉城義彦
JICA 国際交流フェスタ 2011	浦添市	2011 年 11 月 5 日	玉城義彦
石垣市健康福祉祭り	石垣市	2011 年 12 月 4 日	玉城義彦

実績報告会発表資料

病棟担当制の導入

- ◎ 目的：病棟とリハビリとの連携の強化
病棟担当制よりセラピストの病棟配置の要請
遠隔促進へのリハビリ介入の必要性
(リハビリの必要性への教育、進行状況の確認や相談等)
- 4 階病棟 長期入院患者についてのミーティング実施
- 5 階病棟 入院後の費用性確保低下の防止を目的にリハビリ処方
・実施の促進
- 6 階病棟 実施者全員に加えて、個別カンファレンスの充実に向け
調整中
- 7 階病棟 呼吸器・循環器担当への移行、調整状況の報告や新規
入院患者のリハビリへの助言

その他 活動

- ◎ トランスファー指導
病棟看護士・看護助手・看護学生に実施
- ◎ 講義派遣
・真志川看護学校(トランスファー指導)
・沖縄リハビリテーション福祉学院
PT：DM等の運動療法
OT：臨床作業療法について
・沖縄県老人クラブ連合会(介護予防運動について)
- ◎ 研修内覧強会(3~4回/年)
- ◎ 施設見学受け入れ(小・中・高校生等)
- ◎ 臨床実習生受け入れ(PT・OT・ST)

課題

- ◎ リハビリテーション専任の医師の確保
(病棟稼働評価、監査・協議、指導に耐えうる体制)
- ◎ 承認請求定項目(リハビリテーション実施計画書等)
- ◎ セラピスト適正人員の分析、増員の必要性の検討
(通・費休、クリニック開始に伴う補充等の必要性)
- ◎ 専門性の確保(各種認定・専門セラピスト)
- ◎ 研修・講習会への参加(部費、研修費予算の削減)
- ◎ 病棟担当の検討(各病棟にあわせた連携の確保)
- ◎ 請求(単位)制と新費請求
回診、委員会活動、患者予定の変更(選別・検査・体調不良等)

電子カルテ導入後の変化

- ◎ リハビリ実施患者カンファレンス
カンファレンス記録(カルテ書込、カンファ録録)
↓
電子カルテへのカンファ内容のカルテ記録
- ◎ 地域連携バス
バスシート(紙)書き込み
↓
電子カルテ文書管理での運用
※全病棟の電子化検討中の為、今後別システムへの変更
- ◎ 個別実績分析
各セラピスト毎の実績(請求単位、実施件数等)把握

臨床実習受け入れ状況

- ◎ 理学療法部門
・長期臨床実習(3~10週)
沖縄リハビリテーション福祉学院
琉球リハビリテーション学院
西日本リハビリテーション学院
・短期臨床実習(2週)
沖縄リハビリテーション福祉学院
琉球リハビリテーション学院
- ◎ 作業療法部門
・長期臨床実習(9週)
沖縄リハビリテーション福祉学院
・短期臨床実習(2週)
沖縄リハビリテーション福祉学院
- ◎ 言語療法部門
・短期臨床実習(2週)
沖縄リハビリテーション福祉学院

平成24年度 目標

- ◎ 実績の把握・分析の活用、施設基準・人員に適合する実績の評価を
行い業務改善や増員の必要性の検討を行う
- ◎ 各病棟との連携充実のため
①カンファレンス(症例検討会等)の継続と質的向上
②ケースワーカーとの連携充実とスムーズな連携・転院への取り組み
③医師等へ参加し医師との連携を強める
(早期開始、経過報告・リハ実施患者の確保等)
- ◎ 承認請求定項目の改善
①セラピストの総合計画の90%以上算定可能なシステムの構築
②初期加算(14日以内)及び外来管理加算が算定可能な診療体制構築
③各種診療料算定の強化
- ◎ 医師の質の向上のため
①病棟稼働評価に準じたシステムの構築

医療技術部 年度総括



医療技術部部长
宮城 竜也

平成 23 年度の各科の取り組みについては、薬局では薬剤師が 13 名から産休等で 9 名まで減少しましたが、業務内容は拡大を図りました。外来化学療法混合調製や外来特殊治療関与件数は増加しました。栄養サポートチームや感染対策チーム、褥創チーム、糖尿病、禁煙等は若手が活躍し、各科カンファレンスや病棟回診に積極参加できた一年でした。実績は薬剤管理指導関連が年間 4,009 件、対前年 74%、医師・看護師向け学会や講習会の講師を 5 件勤めました。

リハビリテーション科は、理学療法部門 11 名、作業療法部門 4 名、言語聴覚部門 3 名、助手 1 名の計 19 名で業務を行っています。脳血管疾患等、運動器疾患、呼吸器、がんの 4 つのリハビリ認可施設基準と、摂食機能療法のリハビリを実施しています。各疾患リハビリ料の比率は、脳血管疾患等 56%、運動器疾患 36%、呼吸器 2%、がん疾患 4%、摂食機能療法が 2% となりました。

放射線科の検査件数は平成 22 年度と比較して、一般撮影は 18% 増、X 線 TV は 2% 増、CT は 8.5% 増、Angio は増減なし、RI は 11% 減、マンモグラフィ 9% 減でした。新規機器導入に関しては 2012 年 4 月のハートライフクリニックオープンに向けて 3 月にクリニック放射線科へ CR システム及び PACS システムを導入しました。放射線科スタッフは技師 16 名、受付 1 名で業務を行っています。学会発表は県内外で 3 題でした。

栄養科は栄養士 6 名（本院 5 名、ドック 1 名）で業務にあたっています。業務内容は献立作成・発注・入院患者個別対応・栄養相談業務等を行っています。栄養科全般としては調理師 10 名・調理補助 6 名・食器洗浄 7 名・栄養士事務 1 名の 30 名のスタッフで栄養科業務を行っています。実績としては栄養相談業務に積極的に取り組む事や、入院患者さんへの食事提供で毎週実施している選択メニューや月 1 回のバースデーメニューと行事食の提供で楽しんで頂けるよう工夫しております。

臨床工学科はスタッフ 10 名です。業務は代謝部門（血液透析）・医療機器管理部門（機器の保守管理）・循環器部門（心臓カテーテル補助）等となっています。新規機器導入においては 22 台のコンソールが一掃され、これによりすべての透析システムが電子化されました。現在は 135 名の透析治療を行っています。

臨床検査科では主に生理検査・病理細胞一般検査・検体検査・眼科臨床検査等の業務を行っています。スタッフは臨床検査技師 26 名で視能訓練士 1 名・衛生検査技師 1 名・助手 3 名です。平成 23 年度の日本医師会外部制度管理では 98.6 点となっており良好な評価を得ております。次年度は平成 22 年度に沖縄県から「医療産業化プラットフォーム基盤構築事業」を受託し設置するに至った細胞調製施設（CPC）稼働に向け取り組んでいます。

医療安全管理室

部門紹介

平成 19 年に当院の医療安全部門として、組織横断的活動を行うために病院長を直属とする医療安全管理室が設置されました。統括責任者を副院長の久場とし、看護師 1 名を医療安全管理者(リスクマネジャー)として専任配置しています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の代表者が参加する総勢 22 名のメンバーで構成され、毎月会議を開催しています。

医療安全管理室 理念

1. 心と心をつなぐ信頼される医療を目指す
2. 医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

医療安全管理室 運営方針

1. 医療事故防止の為に安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る
2. 医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める
3. 安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化を醸成を促進する

職員数

総数
1 名
職種別
医療安全管理室 専任看護師 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
玉城 秀美	医療安全管理者認定

研究業績

学会発表

(データ作成 医療安全管理室 玉城)

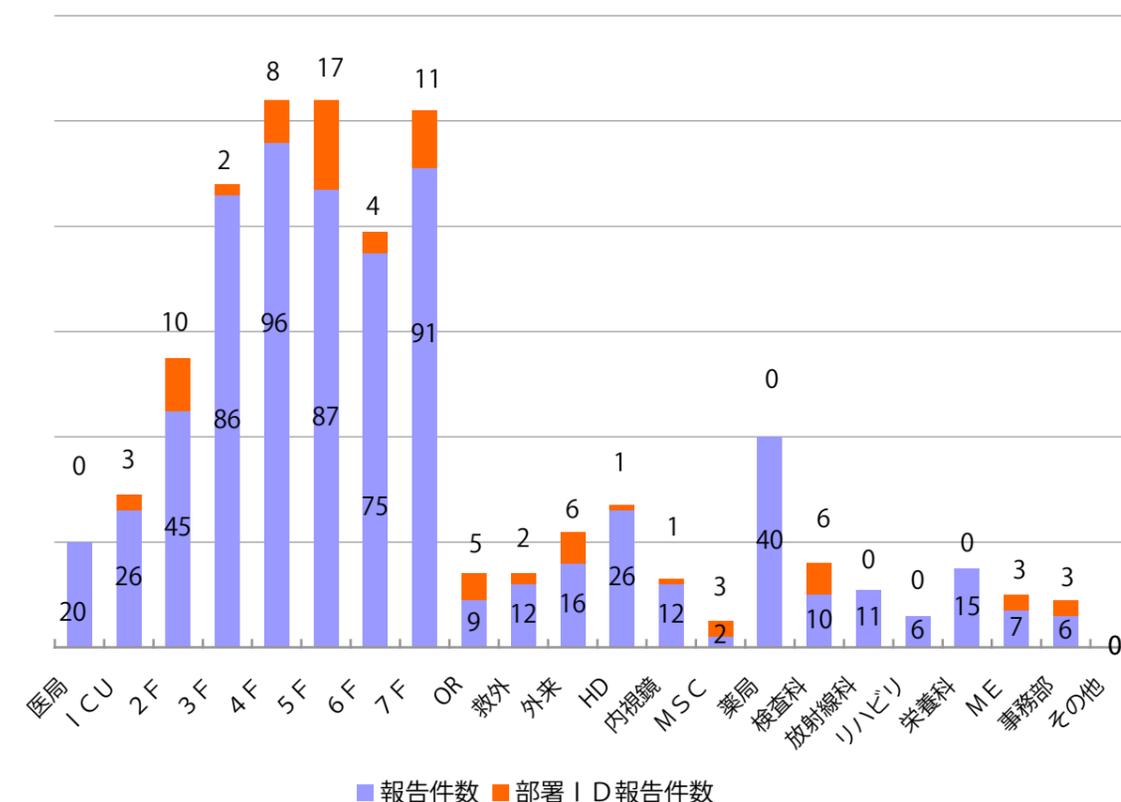
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
部署 ID 作成により速やかな報告と件数増が図れた取り組みについて	第 53 回全日本病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 29 日	玉城秀美、伊藤昌徳、大城 安、久場良也

活動実績

インシデント管理システムへの部署 ID の導入

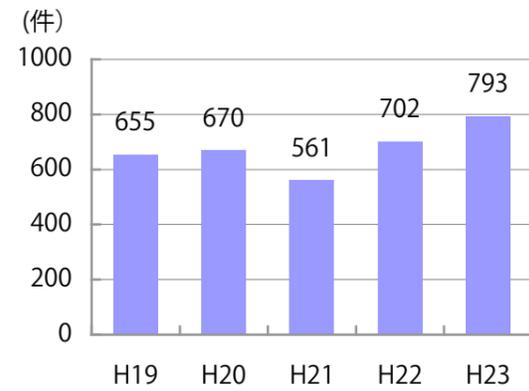
インシデント発生時には、インシデント管理システム (SafeMaster) への入力によりインシデント内容が個人の ID によって医療安全管理室と直属の上司へ報告されるようになっていました。しかし、当事者が分からない場合や影響レベルの低いケース、複数の職員が関わり責任の所在が曖昧なケースだと、報告が遅れる事がありました。

その問題点を解決し、小さいインシデントでも発見者が報告しやすい環境を整え、患者さんへの影響を最小限に抑えるため、部署 ID での報告制度を導入しました。各部署へ振り分けた ID で報告する事により、当事者が分からない場合や影響レベルの低いケースなどでも、気付いた時点で誰でも早々の報告を行えるようになり、報告件数が増加し事故防止対策を図る事が可能となりました。



合計 793 件うち 85 件が部署 ID 件数

インシデント件数年次推移



勉強会・講習会開催

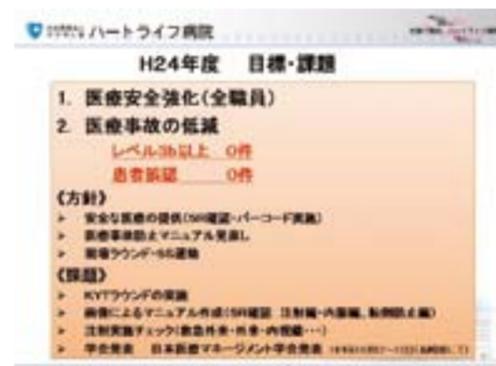
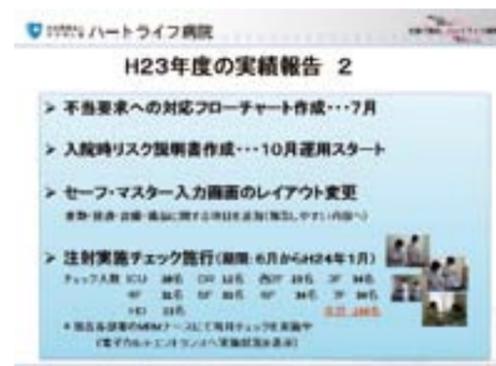
(データ作成 医療安全管理室 玉城)

名称	開催地	発表年月日	演者
医療安全勉強会(医療ガス・医療安全・医薬品・事務・医療機器の内容)	当院	2011年8月17日	具志堅徳明、玉城秀美、伊藤昌徳、宮城 淳、仲松晋也
医療安全勉強会(医療ガス・医療安全・医薬品・事務・医療機器の内容)	当院	2011年8月18日	具志堅徳明、玉城秀美、伊藤昌徳、宮城 淳、内里 司
医療安全講演会 事例から見た医療安全問題	当院	2011年11月11日	長谷川 剛 氏

医療安全管理室の委員会活動についてはP 202 をご参照下さい。

実績報告会発表資料

(医療安全管理委員会の発表資料を含む)



医療安全管理室 年度総括



医療安全管理室 玉城 秀美

平成 23 年度の目標として、職員の安全に対する意識の向上や患者誤認による医療事故の低減をあげ、各部署のメンバーと安全活動を進めてきました。活動の一つとして医療安全勉強会を 8 月に 2 日間開催。講師は委員会メンバーで構成し、医療ガス（アウトレットの取り扱いと点検）、医療安全（インシデント報告）、医薬品（ハイリスク薬と安全管理）、事務（事務系における事故防止対策）、医療機器（心電図モニターの安全使用）の内容で全職員対象の安全教育研修を実施しました。

インシデント報告に関しては、部署 ID を作成することで報告しやすい環境が整い、報告件数も年々増え、速やかな報告から早めの対応ができる体制となりました。また、電子カルテが導入されたことで、バーコード入力による患者誤認を防ぐシステムを稼働させ、安全に注射実施ができる環境も整いました。今後システムの評価も含め、引き続き誤認防止の強化を図っていきます。

また、今年度は医療安全管理室に新たなメンバーとしてメディエーターを配置しました。メディエーターは患者さんと医療者間の情報共有を図り、必要時には中立的な立場で双方の関係性を再構築する支援者としての役割を担います。実際、複雑な臨床現場において、患者さんやそのご家族の訴えを引き出し、医療者側へ的確に情報提供することで、双方の対話が促された結果、問題解決に繋がるケースが少なくありませんでした。

平成 24 年度は、安全な医療の提供を目標に、5R 確認、注射実施、内服確認、転倒転落防止、患者誤認について画像によるマニュアルを作成し、安全強化につなげるとともに、すべての職種で危険予知トレーニング（KYT）の実施と効果測定ラウンドを予定しています。

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室は専従看護師 1 名と事務員 1 名で運営しております。感染対策委員会は、呼吸器内科医を感染対策委員長とし院長をはじめ医師、看護部長、事務部長、検査技師長、薬局長、師長など各部門の所属長と感染対策管理室のメンバーで構成され月 1 回の会議を行っております。

また、ICT (Infection Control Team) で週に 1 回の耐性菌ラウンド、月 1 回の環境ラウンド等を実施しています。さらに、各部署より 1～2 名を選出してもらい感染対策小委員会を設置。月 1 回の集まりを持ち感染対策に関する問題提起や感染対策の周知を行っております。また、職員教育や地域支援の一環として地域の医療・福祉施設への勉強会等も行っております。

感染管理対策室 理念

感染管理をとおして、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

総数

2 名

職種別

感染対策管理室 専従看護師 1 名

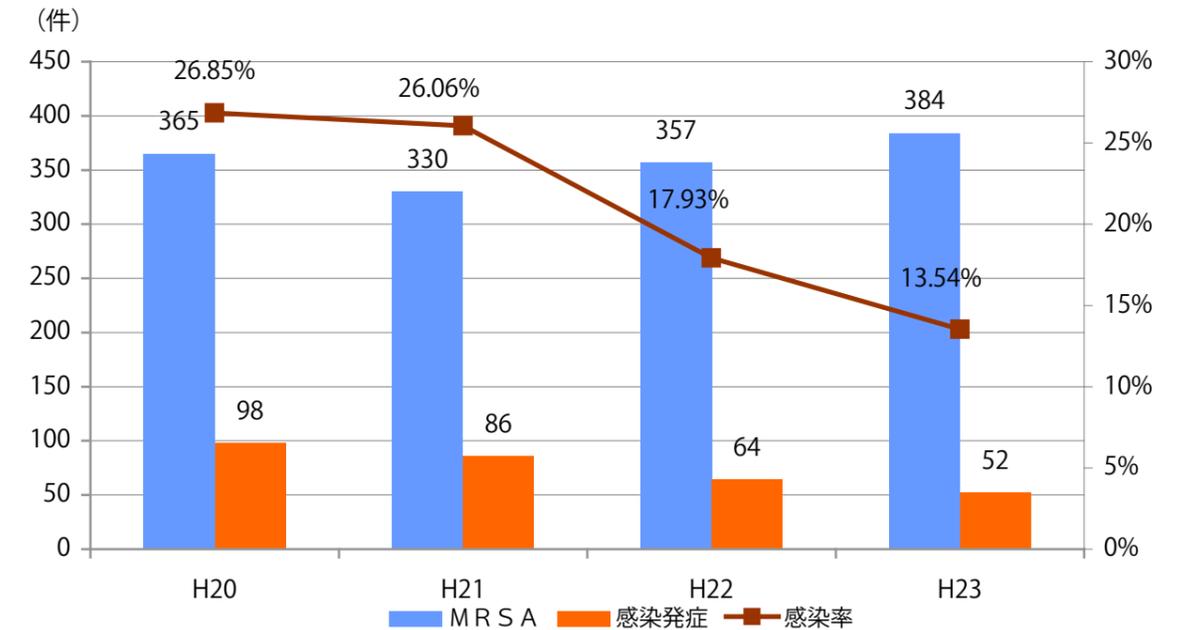
一般事務 1 名

認定・資格

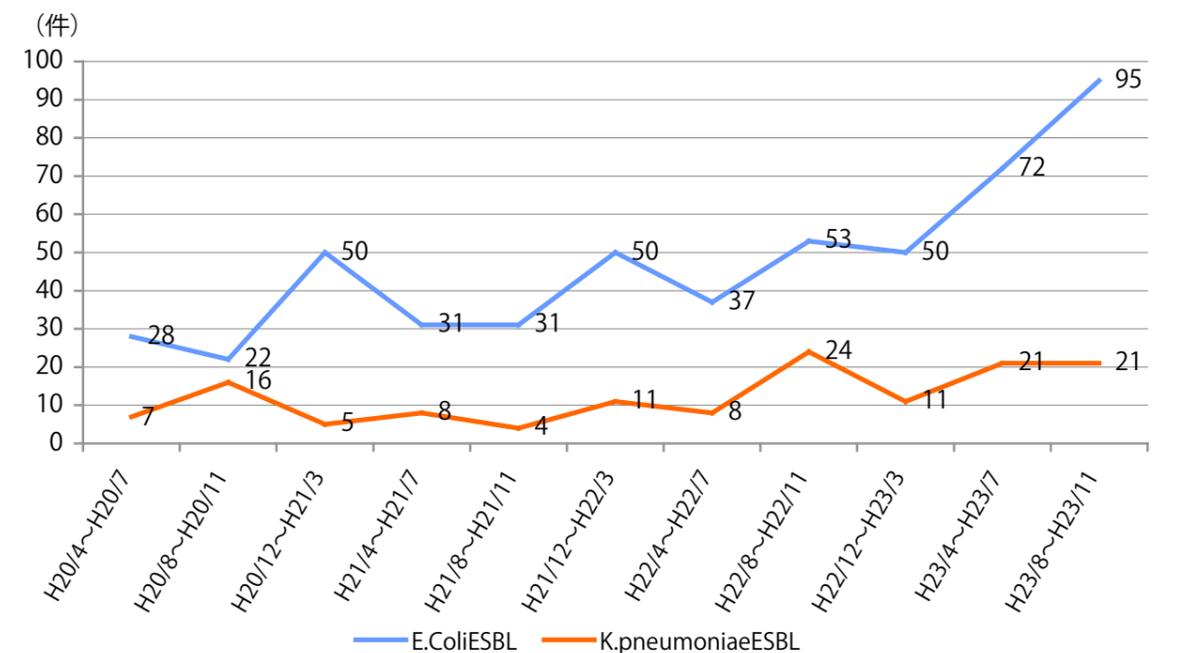
氏名	認定・資格名
石川由希	呼吸療法認定士 医療環境管理士

業務実績

平成 20 年～平成 23 年 MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) 動向

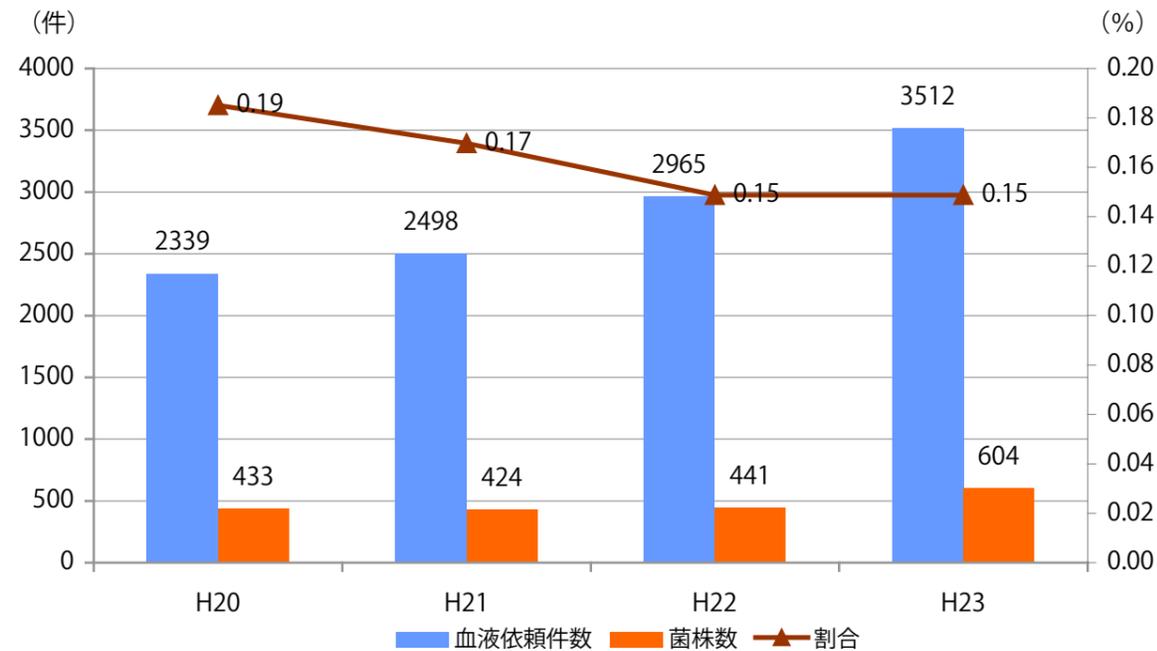


平成 20 年～平成 23 年 ESBL (基質特異性拡張型βラクタマーゼ) 動向

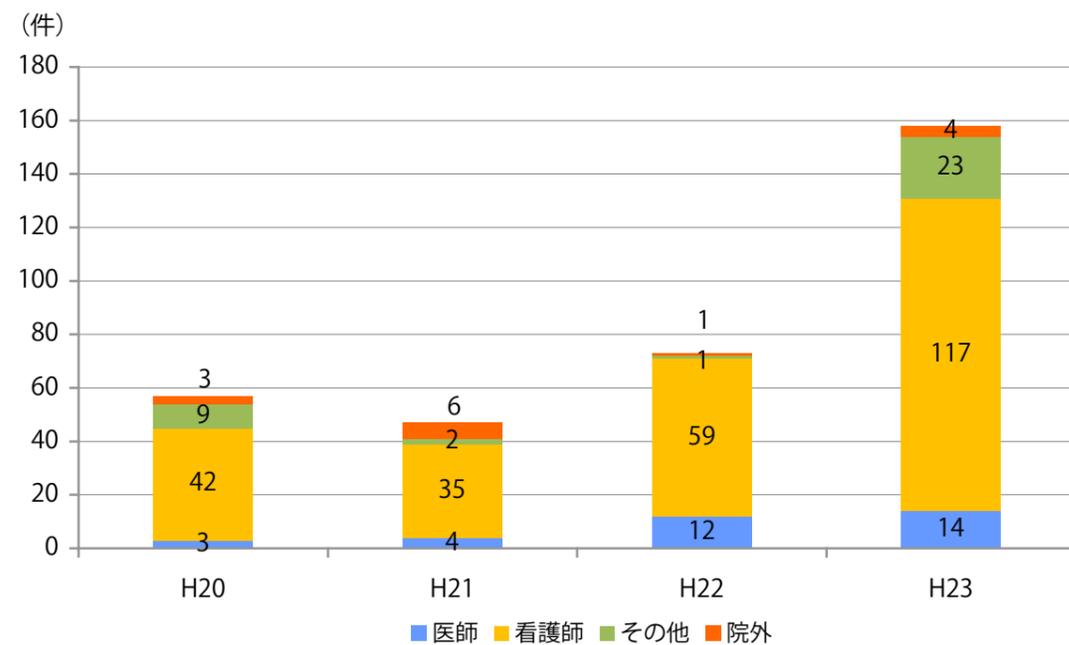


※院内発症よりも持ち込みの ESBL が多く、また県内全域で ESBL は増加傾向にあります。

血液培養以来件数と菌株数の割合



コンサルト件数



活動実績

論文著書

(データ作成 感染対策管理室 石川)

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
ケア・処置別に実践的解決! 感染管理の疑問 -ムシ・ムダ・ムリ・ムラをストップ-	もっといい方法が見つかる「目からウロコの感染対策」	2012年2月 Page102-103	石川由希

学会発表

(データ作成 感染対策管理室 石川)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
地域と連携した感染対策	第53回全日本病院学会	宜野湾市	2011年10月29日	石川由希・仲里幸康・普天間光彦
ノロウイルス発生2事例の対策検討	沖縄県ICNネットワークセミナー	南風原町	2012年3月3日	石川由希

勉強会・講習会開催

(データ作成 感染対策管理室 石川)

名称	開催地	年月日	演者
いきいき講話 インフエザ―西原町 内間の皆さまへー	西原町	2011年9月9日	石川由希
新人研修「院内感染対策」-全入職者-	当院	2011年4月1日	普天間 光彦
看護部新入職者研修「標準予防策・手洗いの実際」	当院	2011年4月4日	石川由希
「感染管理について」-小委員会-	当院	2011年4月22日	石川由希
「N95 マスク装着実習」-内視鏡センター-	当院	2011年4月25日	石川由希
「標準予防策」-全職員対象-	当院	2011年5月19日	石川由希
「職業感染」-助手研修-	当院	2011年5月26日	石川由希
「カテーテル管理」-小委員会-	当院	2011年5月27日	石川由希
「PPE 着脱実習」-4階病棟-	当院	2011年5月30日	石川由希
「職業感染」-助手研修-	当院	2011年6月9日	石川由希
「感染経路別予防策」-3か月フォローアップ研修-	当院	2011年6月23日	石川由希
「手洗い講習会」-全職員対象-	当院	2011年6月24日	環境整備グループ
「BDオートセット説明」-7階病棟-	当院	2011年6月29日	箱崎昭博(日本BD)
「手洗い講習会」-栄養科-	当院	2011年7月5日	石川由希
「手洗い講習会」-栄養科-	当院	2011年7月19日	石川由希
「標準・経路別予防策」-小委員会-	当院	2011年7月22日	接触感染対策グループ
「血流感染」-中堅研修-	当院	2011年7月28日	石川由希
「血流感染」-中堅研修-	当院	2011年8月25日	石川由希
「血液を介して起こるウイルス感染症」-全職員-	当院	2011年8月3日	佐久川 廣
「ESBL・尿回収実演」-5階病棟-	当院	2011年8月8日	深沢 梨恵子
「血培養採取方法」-小委員会-	当院	2011年8月26日	石川由希
「食中毒」-栄養科-	当院	2011年8月30日	石川由希
「血流感染」-小委員会-	当院	2011年9月30日	血流感染グループ
「感染性胃腸炎」-3年目研修-	当院	2011年10月20日	石川由希
「細菌学の基礎」-小委員会-	当院	2011年10月21日	森山武志
「Qサイト説明」-6階病棟-	当院	2011年10月24日	箱崎昭博(日本BD)
「消毒薬の適正使用について」-全職員-	当院	2011年11月16日	盛岡督雄(吉田製薬)
「血流感染・カテーテル管理・血液培養」-2年目研修-	当院	2011年11月17日	石川由希
「感染性胃腸炎」-小委員会-	当院	2011年11月25日	石川由希
「感染管理」-おもと看護学生-	当院	2011年12月2日	石川由希
「安全器具の種類と使い方」-小委員会-	当院	2011年12月16日	職業感染グループ
「新型インフルエンザ」-小委員会-	当院	2012年1月27日	石川由希
「感染管理」-沖縄看護専門学校学生-	当院	2012年1月27日	石川由希

名称	開催地	年月日	演者
「感染管理」- 沖縄看護専門学校学生 -	当院	2012 年 2 月 16 日	石川由希
「インフルエンザ」-1 年目フォローアップ研修 -	当院	2012 年 2 月 23 日	石川由希
「結核について」- 検査科 -	当院	2012 年 3 月 2 日	普天間 光彦
「CA-MRSA 市中感染型 MRSA」- 小委員会 -	当院	2012 年 3 月 23 日	森山武志
「洗浄・消毒・滅菌」- 小委員会 -	当院	2012 年 3 月 23 日	米田 梓

研修医向け教育

(データ作成 感染対策管理室 石川)

名称	開催地	年月日	演者
院内感染対策の実際 - ガウン・手袋・マスクの着脱	講堂	2011 年 4 月 8 日	石川由希

院内感染対策委員会は P 205 をご参照下さい。

実績報告会発表資料

(院内感染対策委員会の発表資料を含む)

新規導入

- ・アルコールポーチの導入
- ・おしぼり器の導入
- ・メイクスワブの導入
- ・ハルカップ蓋の導入
- ・マスク自販機の導入



血流感染の徹底予防

血培の件数は増加しているが、血流感染発症は減少傾向にある

本年度は
ライン管理の教育・血液培養採取方法の教育
(年に4回勉強会・新人研修)
新人教育・2・3年目研修
感染対策小委員会の血流感染Gによるマニュアルの整備
末梢・CVラインの管理・穿刺部の固定管理方法
感染対策管理室によるサーベイランスシステムの構築



感染対策管理室 年度総括



感染対策管理室 石川 由希

今年度は特に職員教育を重点に活動を進めてきました。感染管理は日頃から現場スタッフが、いかに感染対策を意識しケアを行うかが重要です。手洗い講習会なども含めた全職員対象の職員研修を4回実施したほか、4月の新入職者・研修医・看護部研修に加え、内視鏡でのN95マスク着用や病棟での耐性菌と尿回収実習、検査科での結核の勉強会を実施しました。また、病院の役割である地域支援の一環として近隣地域へ出向き、住民の方を対象にインフルエンザについての健康講話を実施しました。

教育・研修のほかにも、感染管理を実践する上で必要な安全で清潔な物品をいくつか導入しました。アルコールポーチ、環境整備用のおしぼり器、消毒用イソジン綿球の単包化、マスク自販機の設置です。評価・検討を重ね、引き続き現場に即した対応策を提案していきます。

また、ICTチームを中心としたさまざまな取り組みの結果、MRSAの発症率は平成20年26.9%、平成21年26.1%、平成22年17.9%、平成23年13.5%と減少しています。次年度も職員教育、感染対策の強化に努めます。

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。翌 18 年には褥瘡対策委員会と合併し NST・褥瘡対策委員会として協働で活動しています。平成 22 年度には、看護部より出向のもと看護師 1 名を専従として配置し、栄養サポート体制を強化しました。

栄養サポート室 理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室 運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し最もふさわしい栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1 名

職種別

栄養サポート室 専従看護師 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
嘉数智子	栄養サポートチーム専門療法士
	日本静脈経腸栄養学会員
	日本褥瘡学会員

NST 回診&カンファレンスについて

NST 対象患者選択

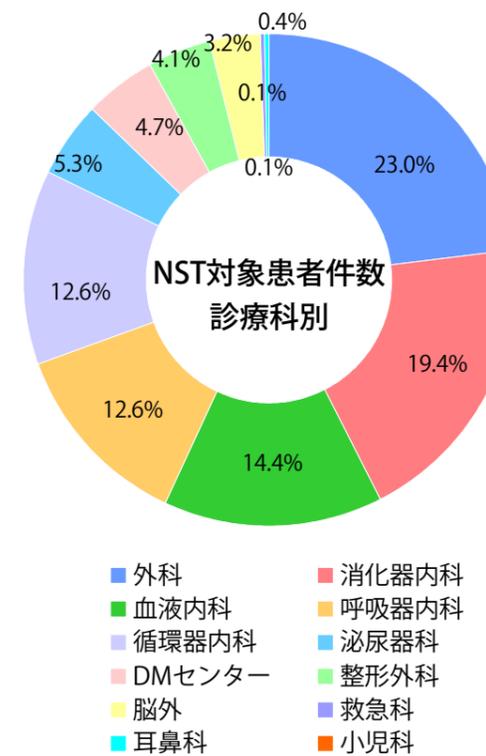
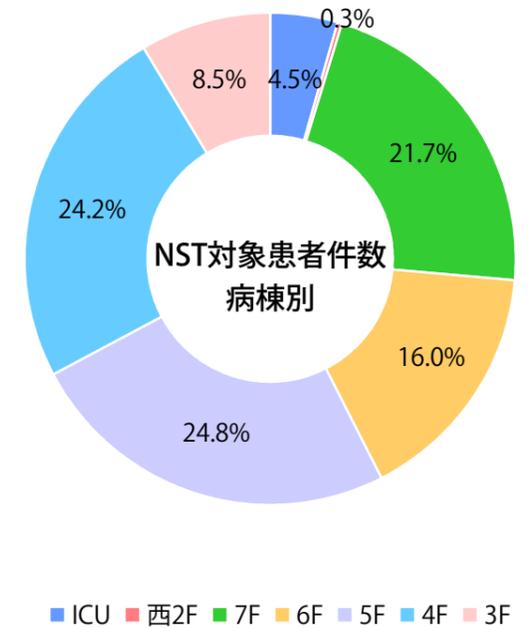
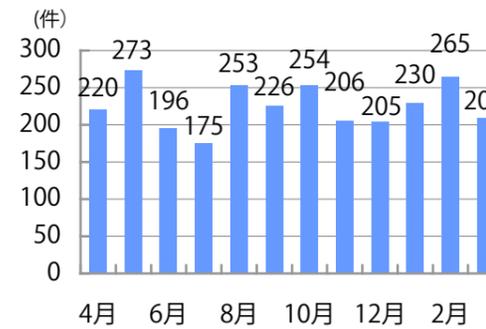
- 回診前週の採血でアルブミン値 3.0mg /dl 以下の患者
- 褥瘡を有してる
- 摂食・嚥下障害がある
- 経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

NST 対象除外

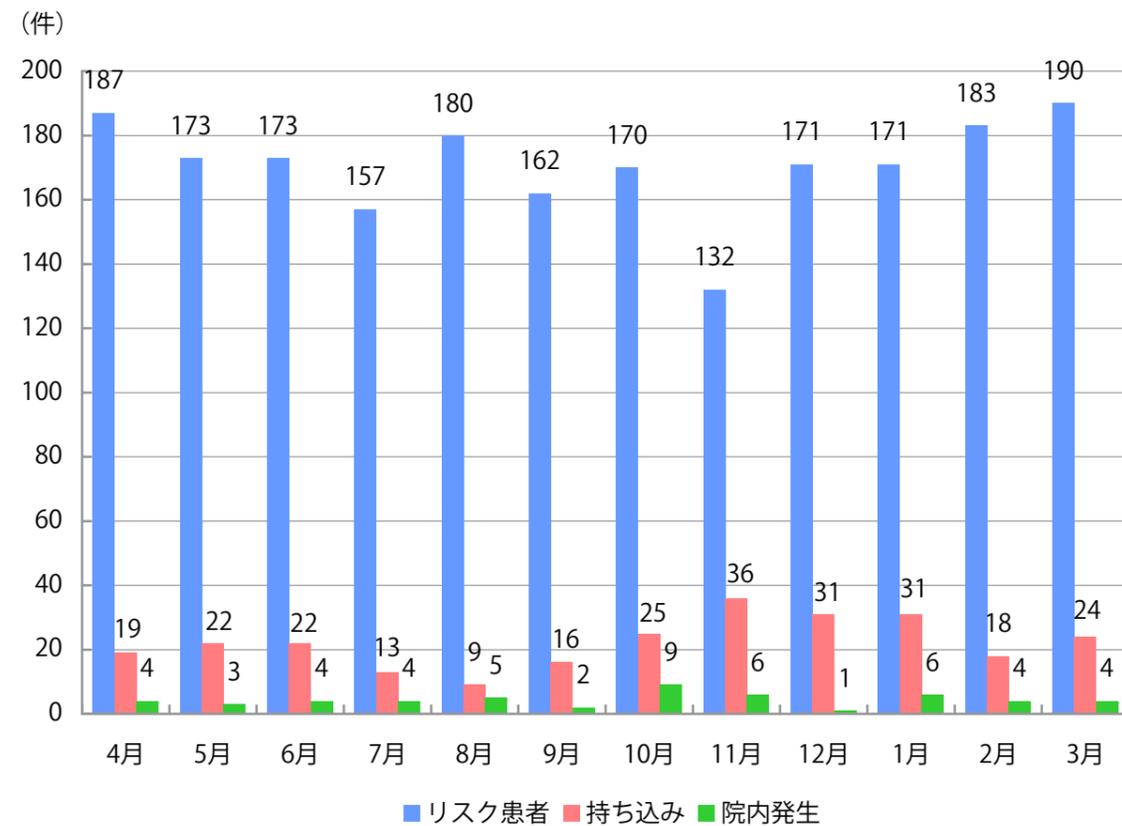
- 術後の採血でアルブミン値が 3.0mg /dl 以下
- ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
- 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

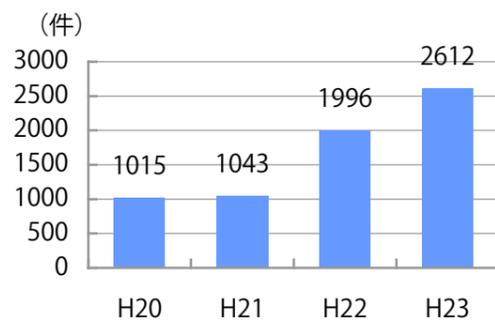
NST 対象患者件数



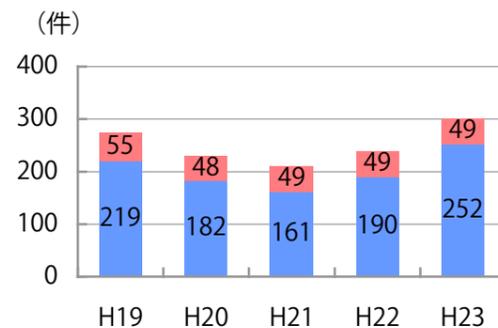
褥瘡患者推移 (月別)



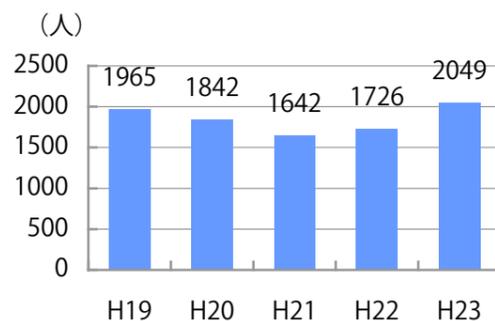
NST 回診者リスト



褥瘡入院時持ち込み及び院内発生数



褥瘡発生リスク患者総数



研究業績

学会発表

(データ作成 栄養サポート室 嘉数)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
在宅ケアにおけるチーム医療	在宅・緩和ケア講座	沖縄県	2011年7月8日	嘉数智子
「急性期における栄養管理～当院における現状～」	沖縄呼吸療法研究会	沖縄県	2011年12月17日	嘉数智子
「難治性の下痢および褥瘡に関わった1症例」	日本静脈経腸栄養学会	兵庫県	2012年2月23日・24日	嘉数智子

活動実績

研修医向け教育

(データ作成 栄養サポート室 嘉数 智子)

名称	開催地	年月日	演者
TNT 講習会	沖縄県	2011年7月9日・10日	研修医2名参加

NST・褥瘡対策委員会はP 207 をご参照下さい。

栄養サポート室 年度総括



栄養サポート室 嘉数 智子

平成 23 年度は、外科副部長を NST 委員長、整形外科医長を褥瘡対策委員長とし、医師 3 名、看護師 20 名、医療技術部 8 名で構成しています。週 1 回の病棟回診およびカンファレンスを実施し、十分に食事が摂取できない患者さんには摂取しやすい食事形態の変更、褥瘡を有する患者さんに対しては栄養補助食品の提供など、食事を摂取する方法や量・内容などの提案・助言を行い栄養状態の改善に努めました。また、栄養サポートや褥瘡処置に関連した勉強会の開催、院外研修へ参加し知識を向上させる事で、栄養管理や褥瘡管理において適切なケアにつなげる事ができたと思われま

平成 24 年度の取り組みとして、化学療法により食事摂取が困難な方への支援や、ターミナルケア時期におけるギアチェンジ時期の栄養管理方法、また、褥瘡管理においては処置方法の統一化を図り、褥瘡の早期改善、院内発生の減少に努めていきたいと考えております。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センターは日本内視鏡学会の認定指導施設で、指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む看護スタッフ 14 名が従事しています。当センターでは通常検査や予防医学センターの検査のほか、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石などの胆・膵の処置（ERCP 関連）、また、従来は外科的手術が必要だった病変が広い早期食道がん、胃がん、大腸がんに対しては、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を取り入れています。平成 20 年 1 月には経鼻細径内視鏡による胃カメラを本格的に導入し、同時に内視鏡センターの改装も行い、患者さんが検査終了後に休めるリカバリースペースを設置しました。

職員数

総数 25 名（非常勤医を除く）

職種別

【内視鏡医】

内科常勤医 6 名
外科常勤医 5 名
非常勤医（琉大） 5 名

【内視鏡スタッフ】

技師 8 名
看護師 3 名
助手 3 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
古波倉美登利	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
宮城愛子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
平良ゆかり	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
喜屋武香織	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師

氏名	認定・資格名
国仲トモ子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
山内悦子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
渡久山すえの	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
伊礼留美子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師

内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に答える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

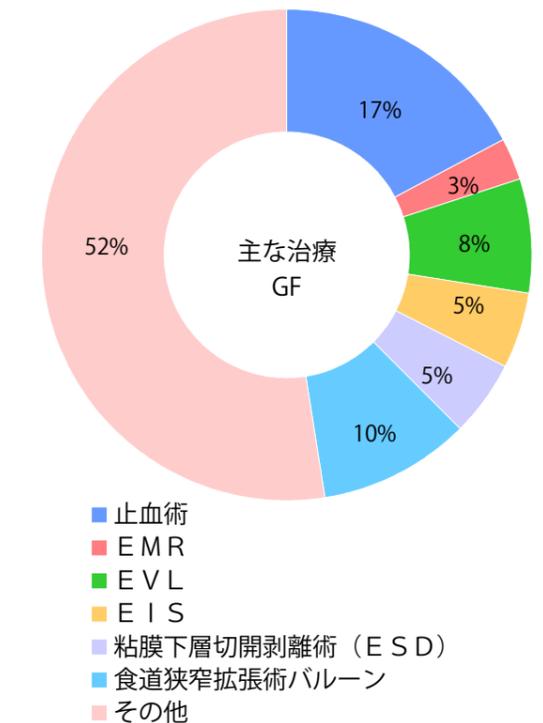
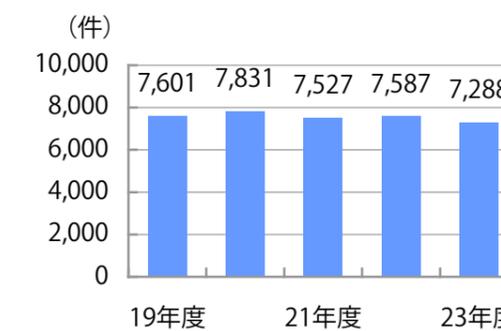
検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

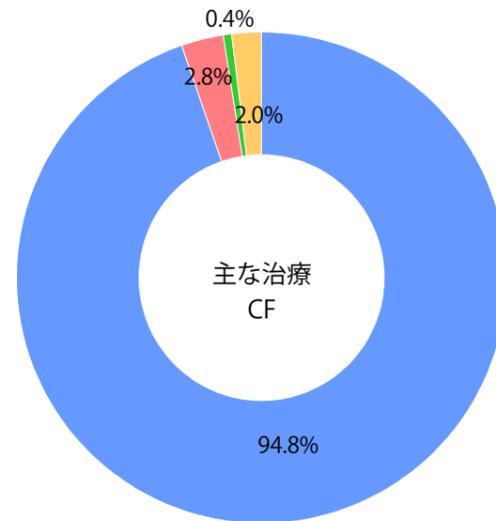
種別	件数
胃内視鏡	7,288
大腸内視鏡	2,318
ERCP	64
小腸内視鏡	0
気管支鏡	50
上部消化管（内訳）	
止血術	60
EMR	10
EVL	27
EIS	17
食道狭窄拡張術バルーン	35
食道狭窄拡張術ブジー	7
食道ステント留置術	4
焼灼術	59
異物摘出術	7
胃瘻造設術	72
粘膜下層切開剥離術（ESD）	18
超音波内視鏡	35

下部消化管（内訳）	
EMR	235
止血術	7
直腸狭窄拡張術	1
異物摘出術	0
超音波内視鏡	4
粘膜下層切開剥離術（ESD）	1
胆道・膵管（内訳）	
乳頭切開術（EST）	28
乳頭拡張術（EPBD）	2
総胆管結石砕石 / 採石術	16
経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	13
胆道stent	17
気管支鏡	0
経気管支肺生検（TBLB）	26
肺胞洗浄（BAL）	37
気管 / 気管支ステント留置術	0
内視鏡検査及び内視鏡的治療 合計	10,458

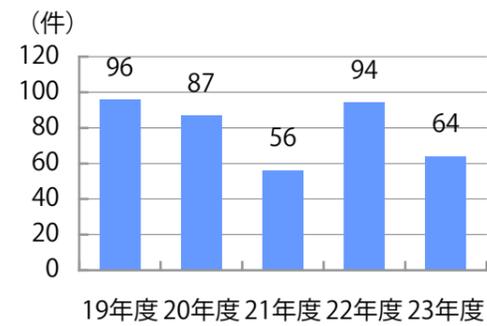
GF 件数



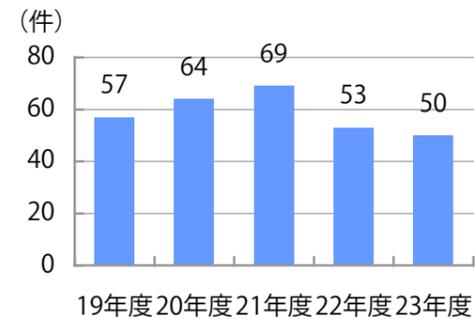
CF 件数



ERCP 件数



BF 件数



- EMR
- 止血術
- 粘膜下層切開剥離術 (ESD)
- その他

研究業績

学会発表

(データ作成 内視鏡センター 古波倉)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
鎮静剤使用後の覚醒判断基準の作成と使用を試みて	九州内視鏡技師研究会	福岡県	2011年11月19日	野原さやか、国仲トモ子、渡久山すえの

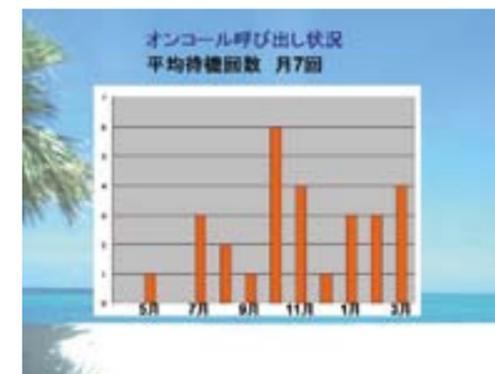
活動実績

院内外研修・勉強会参加実績

(データ作成 内視鏡センター 古波倉)

名称	開催地	年月日	参加者
ハートライフ内視鏡主催ESDの介助 (講師:神戸大学臨床工学士 吉村謙)	当院	2011年4月22日	ハートライフ内視鏡看護師、消化器医師、他施設
自動モニター (講師:臨床工学士)	当院	2011年5月12日	内視鏡看護師
大腸洗剤ビジクリアの効果と使用方法 (ゼリア製薬:山下太郎)	当院	2011年7月7日	内視鏡看護師、看護助手、消化器内科医
内視鏡センター主催:大腸洗腸剤 ビジクリアの紹介	当院	2011年7月	5F病棟、4F病棟、外来の看護師
処置具用 注射針の使用 (講師:トッパ山内一樹)	当院	2011年7月14日	内視鏡看護師
ミンクリア内用散布薬について	当院	2011年8月31日	内視鏡看護師
食道アカラシア (講師:Dr奥島)	当院	2011年9月22日	内視鏡看護師
沖縄消化器技師会主催情報交換会	中頭病院	2011年11月14日	古波倉、平良、宮城、国仲、渡久山、大城、他施設
気管支鏡 検体採取について (講師:Dr知花)	当院	2011年12月21日	内視鏡看護師
機器修理分析と機器取扱い (講師:オリンパス 大塚直人)	当院	2011年12月1日	内視鏡看護師
腹部用手圧迫 (講師:山鹿市民医療センター 仲井やすひろ)	当院	2011年12月9日	内視鏡看護師、消化器医師
放射線バッチについて (講師:レントゲン技師大城守宏)	当院	2012年2月6日	内視鏡看護師
ERCP処置具ハンズオン (講師:ボストン)	当院	2012年2月8日	内視鏡看護師
沖縄消化器技師会主催:最先端の内視鏡機器 画像処理・特殊光・超音波	当院	2012年2月25日	古波倉、宮城、野原、国仲、渡久山、喜屋武、他施設

実績報告会発表資料



目標

自分が受けた内視鏡看護を提供する

- ①患者様やご家族へ思いやりのある心で接しよう
- ②明るい笑顔で安全な医療の提供をめざす
- ③知識 介助技術 感染管理のレベル向上

働きやすくやりがいのある職場環境をつくる

- ①明るく楽しい雰囲気作り
- ②ゆいまーる精神で残業を減らす
- ③声を掛け合い共有の気持ちを忘れない
- ④向上心を保ち研修 学会 研究会への積極的参加と
綿た知識の共有と活用
- ⑤係活動の充実

内視鏡センター 年度総括



内視鏡センター長
折田 均

平成 23 年度の内視鏡センターは、平成 22 年度末に発生した東日本大震災という未曾有の大災害の影響をまともに受ける形となりました。当センターは数年前より内視鏡洗浄システムを特定のメーカーと提携しながら構築して来ましたが、そのメーカーの内視鏡消毒液などを作る福島工場が被災し、さらに原発事故の危険区域内にあるため、操業の目途が立たない状況に陥りました。そのため消毒液の供給が断たれる事となり、ストック分の消毒液が無くなれば内視鏡検査が出来なくなる事態となりました。やむをえず検査件数を制限し、消毒液の使用量を節約しました。また他社の洗浄システムを急遽レンタル導入し、急場をしのぐ事にしました。その後被災したメーカーの消毒液の海外品が輸入可能となり、安定供給が図られるようになりましたが、結果として 4 月の件数は例年の半分以下にまで落ち込みました。特定企業と組むことの効率性を取るか、一社依存によるリスクを回避すべきか、考えさせられたケースでした。6 月以降は例年通りの件数を実施出来るようになり、10 月からは内視鏡医が 1 名増員され、検査枠を増やして上半期の減少分を多少は挽回出来ましたが、年間の検査総数としては近年では最も少ない年となってしまいました。ただし、平成 23 年度の事例はあくまで特殊な事情によるものであり、平成 24 年度は例年通りの件数は確保出来るでしょう。また、当センターは安全で質の高い内視鏡検査を標榜しており、そのために内視鏡医と内視鏡技師、その他スタッフは日々業務の改善に取り組み、さらには老朽化の進む現行の内視鏡機器に代わり、最新機器の導入を目指しています。平成 24 年度には是非とも最新機器導入を実現させたいと考えています。

予防医学センター

部門紹介

ハートライフ病院の人間ドックは昭和 63 年の開院時よりスタートしており、当初は旧館 1 階の外来部分に位置しており、平成 3 年より 8 階へ移動しました。

スタート時の受診者はドックが 46 名、健診が 197 名でしたが、9 階への拡張などハード・ソフト面で受診者の受け入れ態勢を充実させた結果、平成 23 年度には、ドックが 12,115 名、健診が 1,589 名となりました。平成 7 年から開始した脳ドックが 145 名、平成 20 年より開始した特定健診が 260 名となっています。

職員数

総数

51 名

職種別

医師	9 名	クラーク	5 名
看護師	11 名	検査技師	7 名
保健師	4 名	検査助手	4 名
一般事務	11 名		

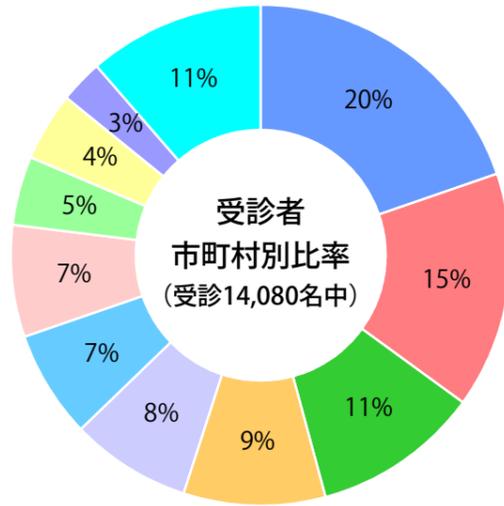
予防医学センター 理念

1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

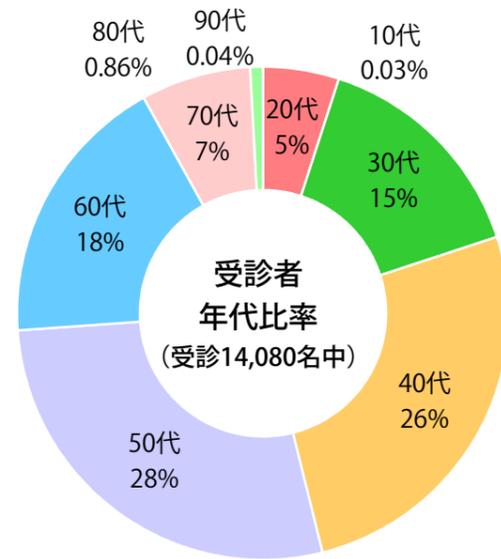
予防医学センター 運営方針

私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします。

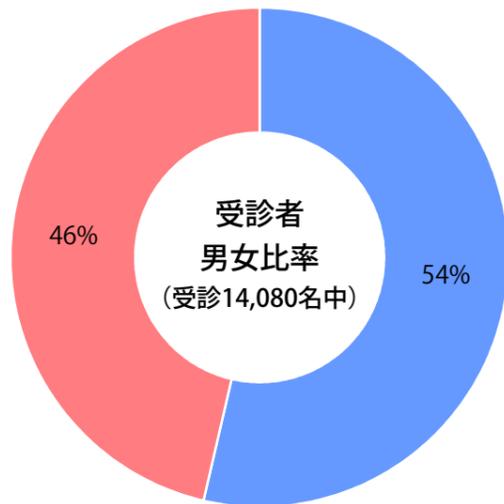
検査件数



- 宜野湾市 ■ 西原町 ■ 那覇市
- 中城村 ■ 浦添市 ■ 沖繩市
- 南城市 ■ うるま市 ■ 与那原町
- 南風原町 ■ その他

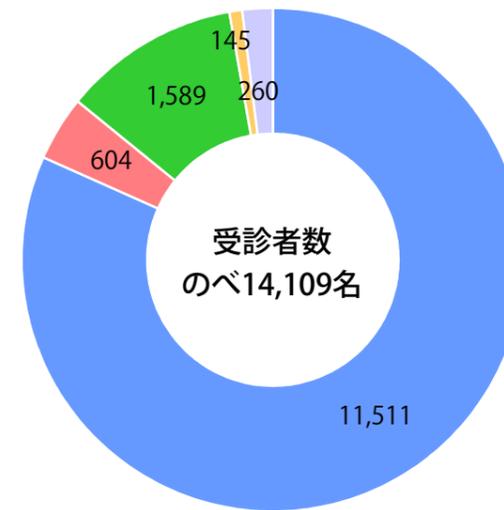


- 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代
- 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代



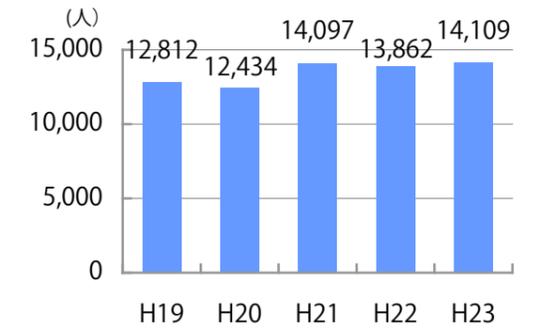
- 男 ■ 女

平成23年度受診者数

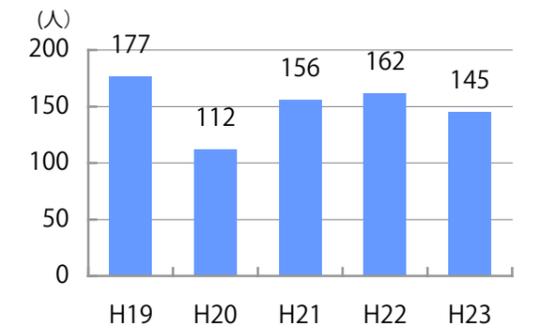


- 日帰りドック ■ 宿泊ドック
- 健診 ■ 脳ドック
- 特定健診

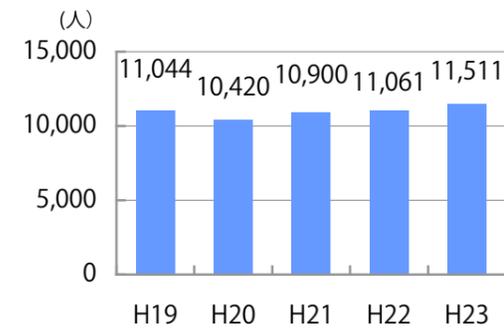
受診者総数の推移



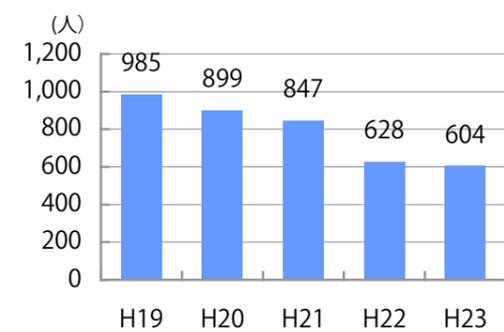
脳ドック



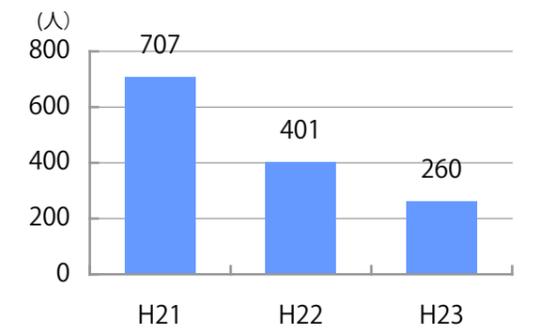
日帰りドック



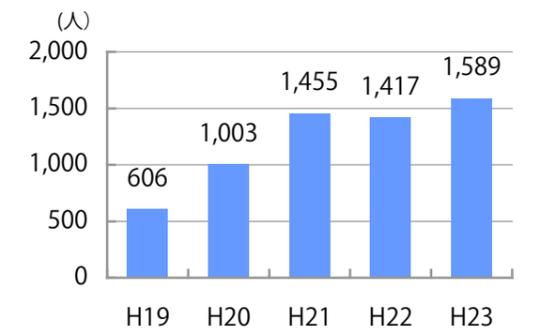
宿泊ドック



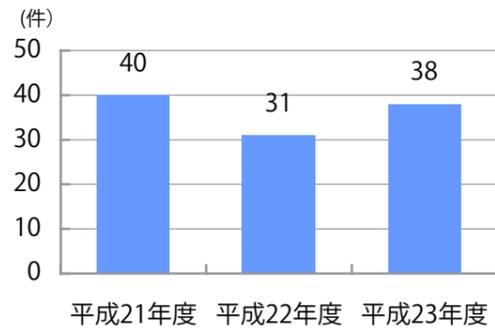
特定健診



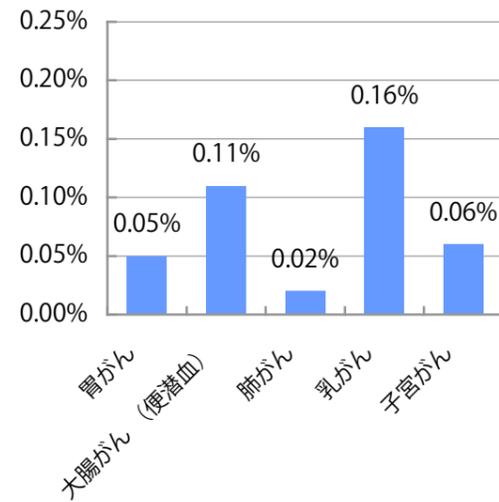
健康診断



悪性腫瘍発見報告数



全受診者に対する悪性腫瘍発見率



研究業績

学会発表

(データ作成 予防医学センター 金城)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
上部消化管 X線検査後にアナフィラキシーショックを起こした症例を通して	第51回日本人間ドック学会	大阪府	2011年8月25日	高宮江利子、平良亮子、甲斐博子、屋我裕子、安次富道代、小橋川広美、川上国男、比嘉昌文、宮里稔、宮平守博
BMI・性別でみる5%以上の体重減少の効果について	第51回日本人間ドック学会	大阪府	2011年8月26日	呉屋みなみ、甲斐博子、屋我裕子、安次富道代、渡真利ゆりか、小橋川広美、川上国男、比嘉昌文、宮里稔、宮平守博
座長	第53回全日本病院学会	宜野湾市	2011年10月29日	川上国男

活動実績

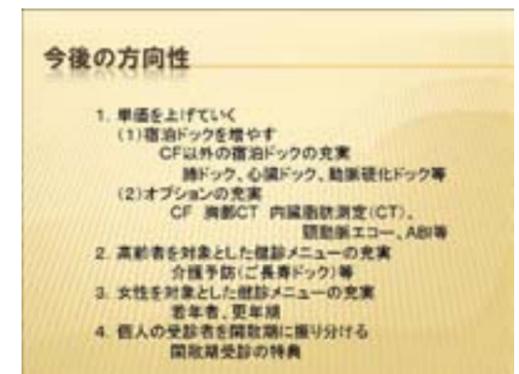
課内勉強会

(データ作成 予防医学センター 金城)

名称	開催地	年月日	参加者
ドック契約コースについて	当院	2011年4月18日	小橋川、高宮、平良、知花、砂川、石川、前田、宮城、湧川、伊佐、仲村、屋我、甲斐、玉城、呉屋、渡真利
救急時対応	当院	2011年5月17日	小橋川、高宮、平良、砂川、石川、前田、宮城、湧川、伊佐、仲村、屋我、甲斐、玉城、呉屋、渡真利
救急時対応	当院	2011年6月20日	小橋川、宮城、砂川、石川、前田、湧川、屋我、甲斐、呉屋、渡真利、玉城、新垣、仲村、當間、伊佐
ステップエクササイズ	当院	2011年5月25日	講師：長嶺敦司 参加者：高宮、平良、宮城、屋我、甲斐、呉屋、渡真利、玉城、大城、比嘉、上地
事務受診者対応・電話対応	当院	2011年6月28日	吉川、仲松、金城、佐藤、百名、泉川、平良、大城、宮城

名称	開催地	年月日	参加者
バリウム検査の安全な実施の為に知っておきたい硫酸バリウム造影剤の基礎知識	当院	2011年7月21日	講師：橋爪健太郎 参加者：高宮、甲斐、安次富
健診でよく見られる食道疾患	当院	2011年8月2日	講師：宮平守博(医師) 参加者：小橋川、平良、知花、砂川、石川、前田、湧川、屋我、甲斐、呉屋、渡真利、伊佐、川上、比嘉、大城、蔵下、上地、吉川、洲鎌
メディエーション勉強会	当院	2011年8月19日	講師：池村(メディエーター) 参加者：小橋川、平良、石川、前田、湧川、瀬濱、屋我、甲斐、呉屋、安次富、渡真利、伊佐、新垣、仲村
亜鉛の有効性について	当院	2011年9月9日	講師：シノテスト 参加者：宮平、小橋川、知花、高宮、石川、屋我、甲斐、呉屋、安次富、渡真利、伊佐、比嘉、大城、蔵下、上地、吉川、金城、仲松、佐藤、平良、百名、宮城、洲鎌、新垣、高屋
伝達講習：アルコール研修 二次検査(OGTT/頸動脈エコー)	当院	2011年10月31日	発表者：屋我 参加者：小橋川、平良、高宮、石川、前田、瀬濱、平良、砂川、屋我、甲斐、呉屋、安次富、伊佐、仲村
ピロリ菌の診断と治療	当院	2011年12月28日	講師：折田均(医師) 参加者：小橋川、平良、高宮、砂川、石川、前田、湧川、早子、屋我、甲斐、呉屋、渡真利、伊佐、棚原、新垣、仲村、當間、與儀、川上、吉田、比嘉、大城、蔵下、上地、松田、金城、仲松、佐藤、百名、泉川、平良、宮城、明海資料伝達：安次富、吉川、瀬濱、大城、糸数
ベセスダシステム(子宮がん検診)	当院	2012年1月10日	小橋川、知花、瀬濱、平良、早子、湧川、甲斐、呉屋、安次富、渡真利、伊佐、仲村、棚原、當間、高宮、平良、石川
CKD(慢性腎臓病)について	当院	2012年3月22日	高宮、石川、宮城、伊佐、屋我、安次富

実績報告会発表資料



予防医学センター 年度総括



予防医学センター
副センター長
宮里 稔

平成 23 年度は、文字通り日本を揺るがす東日本大震災を受けてのスタートでした。沖縄は被災地からもっとも遠い地域とはいえ、物心ともに大きな影響を受けました。このことは限られた紙面では言い表すことが不可能なのでこれ以上は述べません。予防医学センターの業務への影響のみ焦点を絞ると、内視鏡関連の物品の不足が直接受診者の制限につながりました。このため 4 月からの受診者数は低迷していましたが、徐々に回復して、年度末では前年度に比べ受診者数はわずかですが増加となっています。

平成 23 年 4 月から新センター長として宮平守博医師を迎え、非常勤医を支える診察体制ができ、またセンター職員をまとめ、組織としての方向性を示し実行に移せる体制が整いました。ここ数年の傾向としては、長引く景気の低迷に加えて、県内の新たな検診施設の増加が、受診者数の増加を鈍らせていると考えられますが、このような厳しい向かい風のなか、当センターでは受診者に選んでもらえる施設を目指して努力しています。具体的には受診者のホスピタリティのための接遇向上、満足度を高めるためとして検査着の変更や使い捨てスリッパの採用、CT による内臓脂肪検査や血中亜鉛測定検査項目の充実などを行いました。また、健診の流れをスムーズにするため、ナースの業務改善や診察医との意見交換会、診察医の業務内容改善に取り組みました。しかし、まだ内部の職員だけでは気がつかない多くの点があるでしょう。私たちは受診される方が納得し満足して健診を終えてもらうために、日々の投書や口頭での皆様のご意見に対してはすぐに話し合いをもち随時解決を図りました。受診される方の生の意見を聞き、反省すべきところは反省し、誤解のあるところは十分に説明することが大切であると実感しています。このような日々の積み重ねが当センターの姿勢、方針を形作る根幹になっていくでしょう。

事務部

部門紹介

事務部は総務課、施設管理課、財務課、用度課、請求業務課、地域医療連携室、診療情報管理室、医療情報管理室、経営企画室、料飲・販売の9部門からなります。平成23年4月1日から事務部門組織の見直しを行い、事務副部長3名体制で管理し機能強化を図りました。

職員数

総数

187名

職種別

一般事務	102名	その他	37名
医療ソーシャルワーカー	5名	料飲・販売 調理師	2名
施設技術者	4名	その他	37名

各部署概要・実績

総務課

職員数

総数

22名

職種別

一般事務	14名
警備員	1名
患者送迎係	7名

運営方針

- 事務処理の迅速を図る。
- 各部署に対する支援強化を図る。
- 職場環境の整備に努める。

活動実績

院内行事

(データ作成 総務課 後原)

名称	年月日	対象者
春季職員健診	2011年4月3日	病院職員
新入職者オリエンテーション	2011年4月3日	新入職者
新入職者歓迎会	2011年4月3日	新入職者
東日本大震災救護派遣報告会	2011年4月21日	病院職員
接遇セミナー講習会	2011年4月21日	新入職者
榮野川勉&うむい&コトラコンサート	2011年4月20日	患者さん
ハートライフクリニック地鎮祭	2011年5月12日	病院職員
いきいき講演会「良い病院をしましょう!「パート1」(講師:大久保寛司)	2011年5月	病院職員
「コトラさんのバルーンショー」	2011年6月8日	入院患者さんなど
院内献血	2011年7月	
B型ワクチン接種	2011年8月	
いきいき講演会「良い病院をしましょう!「パート2」(講師:大久保寛司)	2011年8月10日	病院職員
コトラさんのバルーンレクチャー	2011年7月30日	研修医
いきいき講演会「わくわく楽しい職場づくり」講師:新谷順子	2011年9月14日	病院職員
コトラさんのバルーンショー	2011年10月12日	入院患者さんなど
ハートライフ病院合同慰霊祭	2011年11月4日	病院職員
院内研究発表会	2011年11月5日	病院職員
秋季職員健診	2011年11月	病院職員
総合防災訓練	2011年11月9日	病院職員
いきいき講演会	2011年12月14日	病院職員
納会	2011年12月30日	病院職員
新春もちつき大会	2012年1月6日	病院職員
コトラさんのバルーンショー	2012年2月	入院患者さん

名称	年月日	対象者
ハートライフクリニック落成式	2012年3月24日	病院職員など
卒後臨床研修医終了式及び祝賀会	2012年3月	研修医など

セミナー・勉強会などへの参加

(データ作成 総務課 比嘉)

名称	開催地	年月日	参加者
接遇対応セミナー	沖縄県	2011年4月19日	比嘉康文、富里 等
社会保険セミナー	福岡県	2011年6月8日	河上裕一
労働時間の適切な管理	沖縄県	2011年6月16日	富里 等、河上裕一
危機発生時のメディア対応実務講座	大阪府	2011年7月28日	知念政治
ソーシャル時代の広報・PRの基本と実務ポイント	大阪府	2011年8月24日	仲田尚正
人材開発トレーナーの役割について知識習得	東京都	2011年10月7日	富里 等、河上裕一
キャリア・コンサルティングの導入・活用	沖縄県	2011年10月20・21日	富里 等、河上裕一
初めて学ぶ役職者研修	福岡県	2011年10月26日	後原保光、比嘉康文
機能評価受診セミナー	沖縄県	2011年10月28日	後原保光
年末調整セミナー	福岡県	2011年11月16日	富里 等、河上裕一
病院経営における災害リスクマネジメントセミナー	東京都	2011年11月20日	後原保光、比嘉康文
病院機能評価担当者セミナー初級編	東京都	2011年11月22日	後原保光、比嘉康文
障がい者雇用納付金申請セミナー	沖縄県	2012年2月22日	比嘉康文
賃金制度の改新セミナー	東京都	2012年3月9日	後原保光、比嘉康文
診療報酬改定に伴う施設基準対応	東京都	2012年3月15日	後原保光、比嘉康文
個人情報に係る知識習得	沖縄県	2012年3月22日	後原保光

実績報告会発表資料



総務課(庶務)
【主な業務内容】

- ①職員給与・賞与・年末調整・退職金計算
- ②社会保険手続き(健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険)
- ③医師の麻薬免許・保険医・指定医の申請手続き
- ④職員募集業務(職安安定所・新聞・ホームページ等)
- ⑤労務管理
- ⑥どこの部署にも属さない業務

財務課

職員数

総数

3名

職種別

一般事務 3名

運営方針

1. 経理・財務内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門予算執行状況の把握。
4. 経理予算業務のマニュアル化を図る。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

(データ作成 財務課 比嘉)

名称	開催地	年月日	参加者
医療機関の財務基盤強化手法セミナー	東京都	2011年6月25日	比嘉 靖
事務系職員のための数字力養成講座	福岡県	2011年7月22日	比嘉 靖、大山朝史
病院における人事制度構築の具体的方法	東京都	2011年9月21日	比嘉 靖
中小病院の経営に役立つ経理データのつかみ方と活用方法	大阪府	2011年10月1日	比嘉 靖
事務系職員のための数字力養成講座応用	福岡県	2011年11月18日	比嘉 靖、大山朝史
看護師の確保・定着体制の構築シルバー & ヘルスケア戦略特別セミナー	東京都	2012年1月22日	比嘉 靖
公的病院および私的二次救急医療機関への特別交付税解説	東京都	2012年2月18日	比嘉 靖

実績報告会発表資料

平成23年度 実績報告

平成24年3月決算(合算)

医療収入	8,014百万円
当期純利益	539百万円
本業収入(内訳)	収益業務部門(児科・産科・介護)
医療収入	7,899百万円
収益収入	186百万円
運用純利益	540百万円
運用純利益	1百万円

社会医療法人の税金

	法人税	法人住民税	法人県民税	法人市町村民税
納税(法人税)	×	×	×	○
入附金	×	○	○	○
手数料	×	○	○	○
収益業務(売却益)	○	○	○	○

今年度の目標

- 業務を正確に且つ迅速に行う
- 経理の更なる透明性
顧問税理士の月次監査、理事会報告
- 課内勉強会(職員ひとりひとりのスキルアップ)
税理士との消費税、税務全般の勉強会
セミナーへの参加
- 現場をもっと知ろう(各部署見学)

H23年度決算分析(H22年度比較)

- 医業収入増 327,655千円 ↑(+4.3%)
- 人件費増 162,364千円 ↑(+4.1%)
(ただし、人件費率はH22年度と変わらず)
- 医業原価増 73,374千円 ↑(+3.8%)
- 純利益減 159,218千円 ↓(-22.8%)

用度課

職員数

総数

5名

職種別

一般事務 5名

運営方針

物品の安全供給

物品の管理（在庫・定数管理）の強化

課員の教育

理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る、最善の策（行為）を日々、研究、実践する。

診療情報管理室

職員数

総数

8 名

職種別

診療情報管理士 5 名

一般事務 2 名

図書司書 1 名

認定・資格

(データ作成 診療情報管理室 柳)

氏名	認定・資格名
柳 学	診療情報管理士
宮平 奈美子	診療情報管理士
真栄平 久美子	診療情報管理士
山本 亜矢子	診療情報管理士
島袋 絢	診療情報管理士

事業計画・評価

(データ作成 診療情報管理室 柳)

項目	概要	達成率	評価
【業務(収入)計画】	昨年度は診療情報管理士 3 名(正職員)がほぼ同時期に産休及び育休で、約 1 年間は産休補助要員で業務を行わないといけない状況であった。診療情報管理士は女性が多く今後産休時の体制を考える必要がある。	0%	男性診療情報管理士の新規採用は難しく、現状の体制で対応できる体制を考えていかざるを得ない。
	○ 診療・経営に役立つ統計・分析資料の作成。	10%	DPC 委員会等で報告はおこなっているが、診療側へのフィードバックがなされていない。
	○ 「MEDI-ARROWS」のさらなる活用。	50%	部署内での活用は進んでいるが、他部署への普及ができていない。
	○ データ精度向上への取組み。	80%	各担当の IT スキルアップを図り、IT 技術を駆使しチェックを行い精度向上、時間の短縮を行っている。
	○ 院内がん登録の見直し。(業務協力の依頼の検討を含む)	20%	DPC の機能評価係数Ⅱの地域医療係数に反映されていなかった。
	○ 電子カルテ導入による業務の見直し及びマニュアル作成。	50%	電子カルテ導入による業務の見直しはできているが、マニュアル作成がまだ手つかず状態。(※病院機能評価に向け 2012 年度中に作成必須)
	○ カルテ廃棄の作業。(保管スペースの確保)		
	○ 年報作成へ資料提供。	100%	年報作成委員として 2 名参加。
【要員計画】	○ 整理・整頓。	60%	カルテの保管スペース確保が必要。
	○ 統計・分析関連の強化を図るために 1 名専任者として人材の増員を希望します。	0%	現状、専任化は厳しく部署全体で統計・分析のスキルアップを図り対応。将来的には統計・分析の選任部署の設立を。

項目	概要	達成率	評価
【教育研修計画】	○ 2011 年年度「第 37 回日本診療情報管理学会学術大会」へ参加。	100%	島袋参加(9月28日)。
	○ 2011 年度「第 19 回院内研究発表会」へ演題発表。	50%	事務局予選会参加、本戦出場ならず。
	○ 沖縄県診療情報管理研究会定例勉強会(毎月)への参加及び発表。	80%	参加はしたが、発表が無かった。
	○ 2011 年度「第 4 回沖縄県診療情報管理研究会主催セミナー」での発表。	0%	次年度発表に向けて頑張りたい。
	○ 「MEDI-ARROWS」スタートアップセミナー・テクニカルセミナーへの参加。	100%	柳参加(スタートアップセミナー・06/24)。
【設備計画】	○ カルテ保管スペースの確保	0%	院内には確保できる場所がない。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

(データ作成 診療情報管理室 柳)

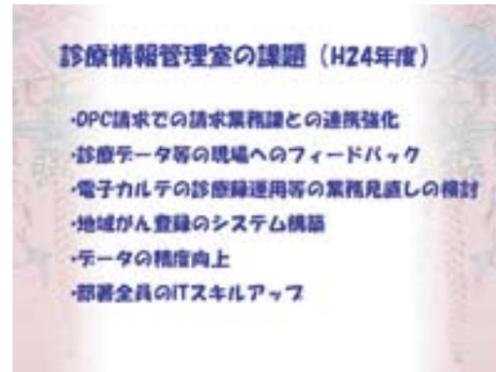
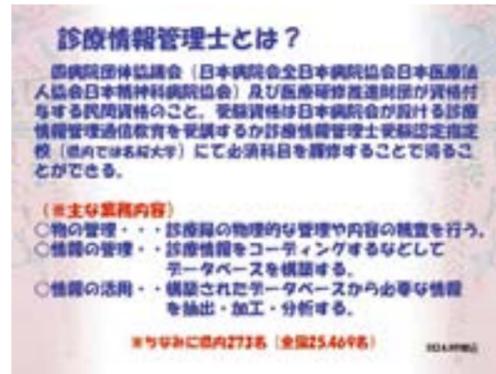
名称	開催地	年月日	参加者
第 1 回 DPC コストセミナー	県内	2011 年 5 月 19 日	柳 / 宮平 / 真栄平 / 山本 / 島袋
平成 23 年度第 1 回がん登録研修会	県内	2011 年 5 月 21 日	柳 / 真栄平 / 山本 / 島袋 / 田河 / 安里
沖縄県メディカルライブラリー研究会 2011 年度総会・第 28 回研修会	県内	2011 年 6 月 10 日	宮城
沖縄定例勉強会	県内	2011 年 6 月 18 日	宮平 / 真栄平 / 山本 / 田河 / 安里
第 18 回 MEDI-ARROWS スタートアップセミナー	県外	2011 年 6 月 24 日	柳 学
院内がん登録実務初級修了者研修会	県外	2011 年 6 月 27 日	宮平奈美子
第 37 回日本診療情報管理学会学術大会	県外	2011 年 9 月 28 日	島袋絢
平成 23 年度第 2 回がん登録研修会	県内	2011 年 7 月 30 日	柳 / 宮平 / 真栄平 / 山本 / 島袋 / 安里
DPC 夏季セミナー	県外	2011 年 8 月 7 日	柳 学
第 2 回 DPC コストセミナー	県内	2011 年 8 月 18 日	柳 / 宮平 / 真栄平 / 山本
沖縄定例勉強会(医療統計学)	県内	2011 年 8 月 27 日	柳 / 山本 / 島袋 / 田河 / 安里
第 4 回診療情報管理セミナー	県内	2011 年 10 月 22 日	柳 / 宮平 / 真栄平 / 山本 / 島袋
日本病院ライブラリー協会研修会・沖縄メディカルライブラリー研修会準備会議	県内	2011 年 10 月 13 日	宮城映子
日本病院ライブラリー協会 2011 年度第 2 回研修会	県内	2011 年 11 月 12 日	宮城映子
平成 23 年度第 3 回がん登録研修会	県内	2011 年 11 月 12 日	真栄平 / 山本 / 島袋 / 田河 / 安里
院内がん登録実務初級者研修会	県外	2011 年 11 月 15 日	真栄平 / 島袋
第 3 回セミナー(がん登録、経営分析、DPC の知識向上及び情報交換)	県内	2011 年 11 月 16 日	柳 / 真栄平 / 山本
第 55 回診療情報管理士生涯教育研修会	県内	2011 年 11 月 19 日	柳 学
第 1 回 Qlikview 応用コース	県内	2012 年 1 月 27 日	柳 学
第 4 回 DPC セミナー	県内	2012 年 2 月 23 日	柳 / 宮平 / 真栄平 / 山本 / 島袋
平成 23 年度第 4 回がん登録研修会	県内	2012 年 3 月 10 日	真栄平 / 山本 / 田河 / 安里

論文著書

(データ作成 データ作成 診療情報管理室 柳)

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
私の図書室46「心地よい図書室へ」	ほすびたるらいぶらりあん	2011.9 (0288-4496) 36巻3号 Page178-180	宮城映子

実績報告会発表資料



利用部署	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
総務部	98	11	27	28
看護部	7	1	1	4
診療部 (院内)	1	1	1	1
合計	106	13	29	33
デジタルコンテンツ (印刷物)	91	2,412	9,088	9,758
電子カルテ閲覧	17	108	118	117

請求業務課

職員数

総数

39名

職種別

一般事務 37名

診療情報管理士 2名

認定・資格

診療情報管理士 2名

運営方針

1. 患者さんには (目配り・気配り・誠心誠意)
2. 細分化業務の早期構築 (量から質の人材育成)
3. 請求漏れ発生の防止 (診療では補助・保険では本業の心)
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

(データ作成 請求業務課 当真)

名称	開催地	年月日	参加者
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2011年6月17日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2011年7月16日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2011年9月9日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2011年12月7日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
医療経営セミナー	当院	2012年2月23日	請求業務課職員
中医協・診療報酬改正説明会	東京	2012年3月15日	宮城、高良
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2012年2月3日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2012年3月6日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
院内での点数改正説明会	当院	2012年3月30日	病院職員対象

医療情報管理室

職員数

総数

職種別

一般事務 5 名

認定・資格

認定・資格名
第二種情報処理技術者
システムアドミニストレータ
第一級陸上特殊無線技士
デジタル第 1 種工事担当者
ソフトウェア開発技術者

認定・資格名
日本商工会議所簿記検定試験 2 級
cisco certified network associate
cisco certified network professional (BSCI)
cisco certified network professional (BCMSN)
microsoft certified professional (70-270)

運営方針

1. 院内ネットワークの有効活用
2. 電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ
3. スキルの向上
 - a. プログラミング、ドキュメント化技術の向上
 - b. 病院業務への理解を深める

理念

IT への理解力と応用力を身に付け、院内 IT 環境の充実に努める

活動実績

学会発表

(データ作成 医療情報管理室 安里)

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
座長	第 53 回全日本病院学会	沖縄県	2011 年 10 月 29 日	當銘秀之

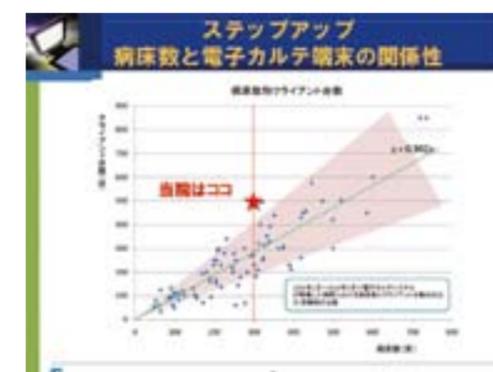
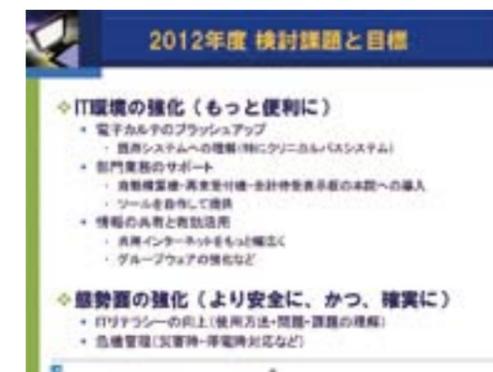
セミナー・勉強会などへの参加

(データ作成 医療情報管理室 當銘)

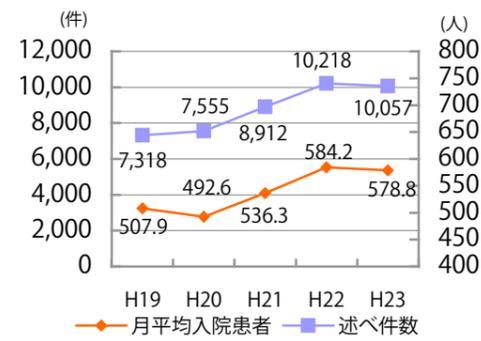
名称	開催地	年月日	発表者と研究者
平成 23 年度 第 10 回病院事務長研修コース	東京都	2011 年 5 月 14 日～ 2012 年 1 月 15 日	當銘秀之

実績報告会資料

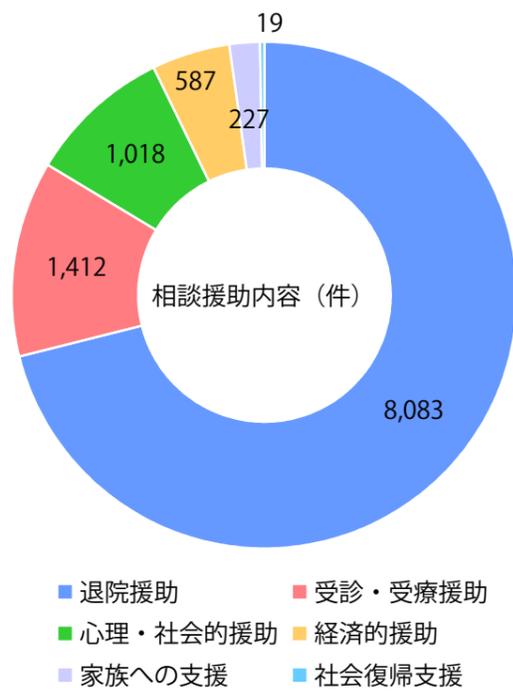
(IT 推進委員会、電算系の発表資料も含む)



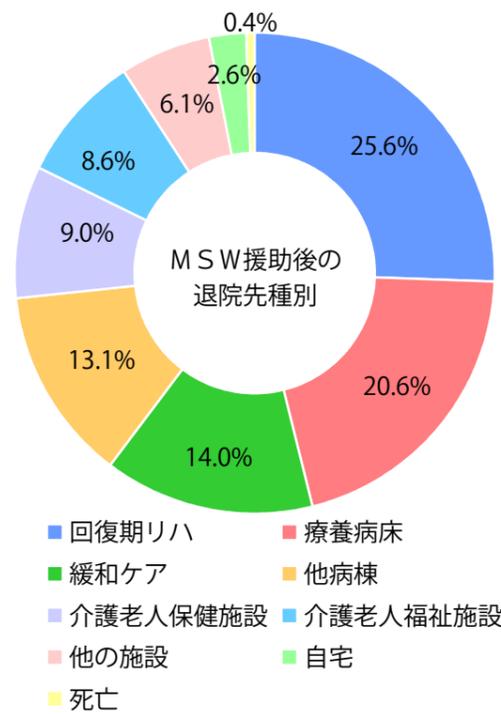
延べ相談件数と新規入院患者数の推移



相談援助内容



MSW 援助後の退院先種別



出前健康講話実施状況

(データ作成 地域医療連携室 仲地)

講座名	開催地	年月日	演者
正しい薬の飲み方・使い方	いいあんべー家(西原町) 我謝公民館	2011年6月4日	田中健嗣(薬剤師)
脳卒中について	いいあんべー家(西原町) 小那覇公民館	2011年6月10日	末吉健次(脳神経外科医)
運動療法で糖尿病予防	いいあんべー家(西原町) 翁長公民館	2011年7月11日	長嶺敦司(理学療法士)
心肺蘇生法について	いいあんべー家(西原町) 小橋川公民館	2011年7月13日	坂本慶太(看護師)
認知症の予防について	いいあんべー家(西原町) 美咲公民館	2011年8月15日	長嶺敦司(理学療法士)
インフルエンザの予防について	いいあんべー家(西原町) 内間公民館	2011年9月9日	石川由希(看護師)
高血圧の予防について	いいあんべー家(西原町) 幸地ハイツ	2011年10月8日	長嶺敦司(理学療法士)
変形性膝関節症について	いいあんべー家(西原町) 平園自治会	2011年11月11日	長嶺敦司(理学療法士)
乳がんの病気について	いいあんべー家(西原町) 内間公民館	2011年11月24日	村山茂美(外科師)
メタボリックシンドロームについて	中城村 健康保険課吉の浦会館	2011年12月9日	三戸正人(循環器内科医)
転倒予防について(ロコモディブ症候群)	いいあんべー家(西原町) 小橋川公民館	2011年12月14日	長嶺敦司(理学療法士)
転倒予防について(ロコモディブ症候群)	いいあんべー家(西原町) 呉屋コミュニティーセンター	2012年1月26日	長嶺敦司(理学療法士)

実績報告会資料



2. 後方連携担当(MSW)の実績

全体の相談件数の推移

	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
延べ件数	7,318	7,555	8,912	10,218	10,057
月平均の延べ件数	610	630	743	851	838
月平均の新規入院	507.9	492.6	536.3	584.2	578.8
病床利用人数	267.4	265.5	274.0	278.6	279.7
在院日数	15.9	16.3	15.4	14.4	14.6

活動実績

学会発表

(データ作成 地域医療連携室 仲地)

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
地域医療連携室の業務改善への取り組み～院内における地域医療連携室のポジションの把握から～	第53回 全日本病院学会	宜野湾市	2011年10月29日	砂川直樹、仲地智俊、新垣りか、照屋尚美
医療と介護の連携～当院における在宅復帰援助の課題～	第53回 全日本病院学会	宜野湾市	2011年10月30日	奥平藤也、望月祥子、仲本奈津子、桑江幸子、仲地智俊

経営企画室

職員数

総数

2名

職種別

一般事務 2名

運営方針

1. 事業計画への早期取組と構築
2. 医療制度改革への取り組み
3. 経営分析・報告と提案
4. 分析・計画・調整・実行 理念

活動報告

- 平成22年3月～平成25年3月「先端医療技術産業化研究(CPC)事業」事務局
- 平成24年3月15日 ハートライフクリニック新築工事完了。ヘルシーカフェ・オハナと疾病予防運動施設・リユーズを併設
- 平成23年11月1日～平成24年12月31日 手術室改修工事
- (財)骨髄移植推進財団 非血縁者間骨髄移植・採取認定施設事務局
- 災害医療派遣チーム(DMAT)設立事務局
- ICU改築工事計画
- 無菌調剤室・バスユニット増築計画
- 無菌室改築工事計画

活動実績

研究事業報告会

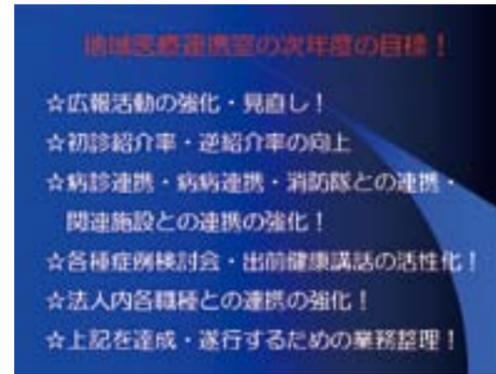
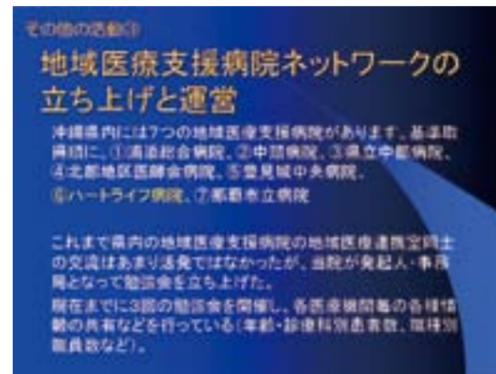
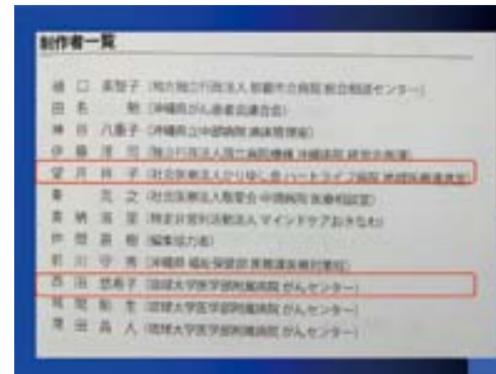
(データ作成 請求業務課 当真)

名称	開催地	年月日	参加者
先端医療技術産業化研究事業・研究開発委員会(CPC見学報告会)	沖縄県	2011年9月23日	先端医療技術産業化研究事業・研究開発委員会
先端医療技術産業化兼住事業・研究開発委員会	沖縄県	2011年9月23日	先端医療技術産業化研究事業・研究開発委員会
先端医療技術産業化研究事業・研究開発委員会	沖縄県	2012年2月11日	先端医療技術産業化研究事業・研究開発委員会

セミナー・勉強会開催

(データ作成 請求業務課 当真)

名称	開催地	年月日	参加者
再生医療技術の開発と患者へ届ける仕組みづくり 当社の経験を踏まえて	当院	2011年5月25日	病院職員
診療報酬分析報告・勉強会	当院	2011年8月17日	病院職員



名称	開催地	年月日	参加者
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2011年6月17日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2011年7月16日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2011年9月9日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2011年12月7日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2012年2月3日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室
DPCデータ分析勉強会及び実績報告会	当院	2012年3月6日	請求業務課、診療情報管理室、経営企画室

施設管理課

職員数

総数

4名

職種別

施設技術者 4名

認定・資格

認定・資格名	人数
第3種電気主任技術者	2
第1種電気工事士	1
第2種電気工事士	3
2級ボイラー技士	4

認定・資格名	人数
危険物取扱者乙種4類	4
消防設備乙種4類	4
自衛消防講習修了	4
医療ガス保安講習修了	3

運営方針

省エネ (CO₂削減1%)

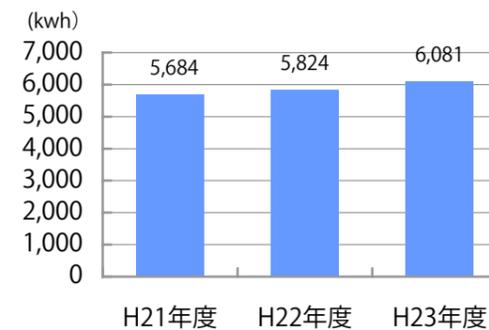
理念

節電に努める

業務実績

(データ作成 施設管理課 我謝)

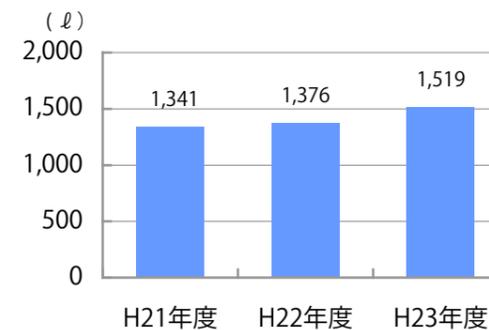
総電力量 (単位:千)



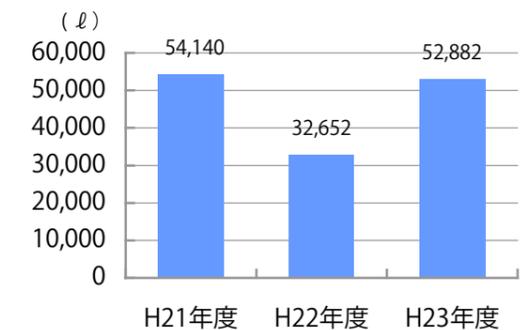
蓄熱電力量 (kwh) 単位:百



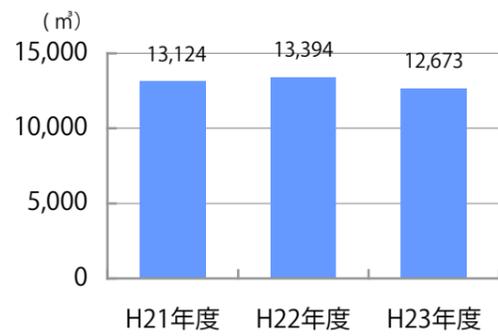
A 重油使用量 (ボイラ、単位:百)



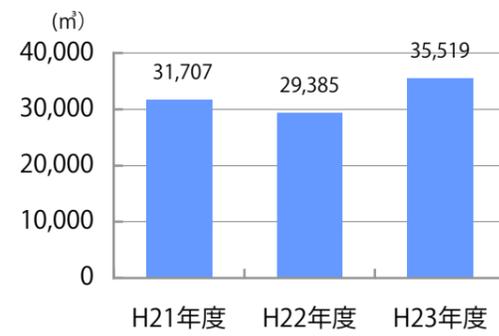
A 重油使用量 (常用発電機) (ℓ)



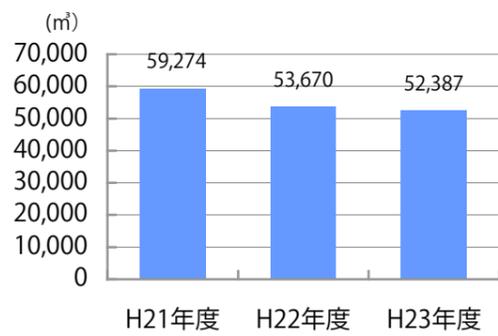
LPG 使用量 (厨房) (m³)



LPG 使用量 (吸収式冷凍機) (m³)



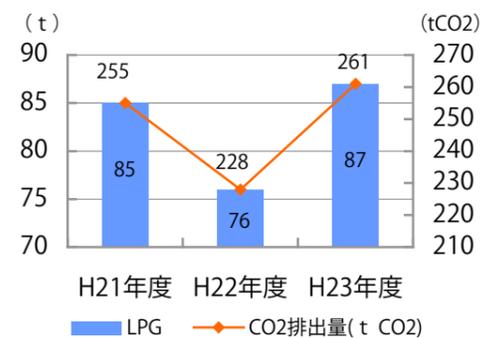
上水道使用量 (m³)



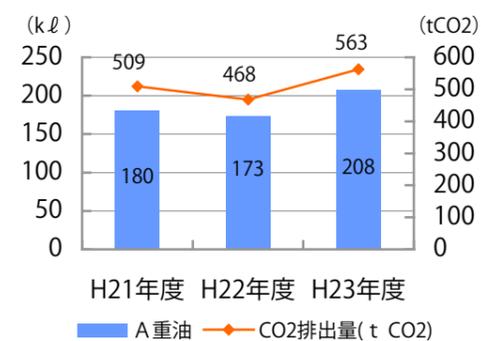
エネルギー消費量・CO₂排出量 (電力・CO₂)



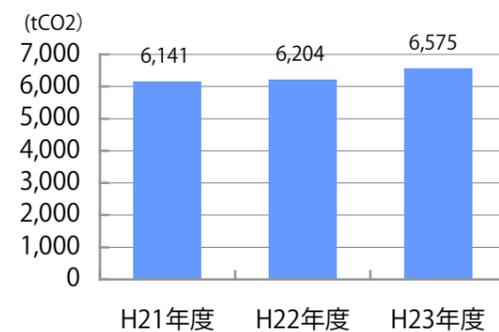
エネルギー消費量・CO₂排出量 (LPG・CO₂)



エネルギー消費量・CO₂排出量 (A重油・CO₂)



CO₂総排出量



活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

(データ作成 施設管理課 我謝)

名称	開催地	年月日	参加者
自衛消防講習	福岡県	2011年5月	我謝三男
自衛消防講習	福岡県	2011年7月	比屋根 崇
危険物講習	沖縄県	2011年10月	比屋根 崇
医療ガス保安講習	沖縄県	2011年3月	具志堅徳明

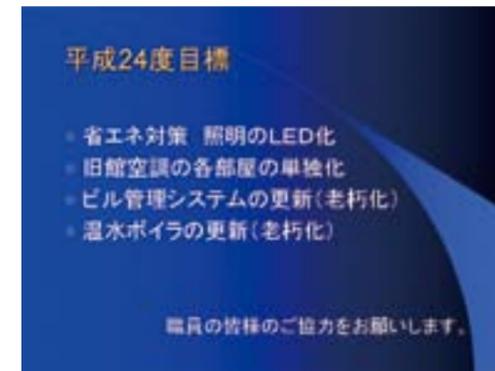
防災訓練

(データ作成 施設管理課 我謝)

名称	開催地	年月日	参加者
新入職員向け消防訓練	当院	2011年4月	当院職員
総合防災訓練	当院	2011年11月	当院職員

実績報告会発表資料

(エネルギー委員会発表資料も含む)



料飲・販売

職員数

総数

17名

職種別

調理師 2名

その他 15名

運営方針

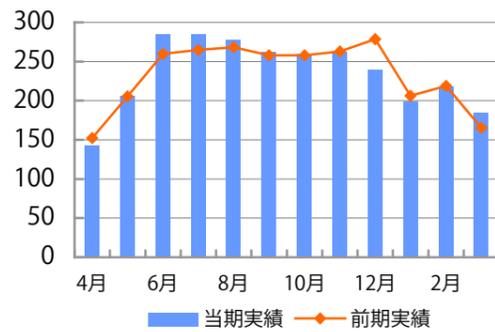
食の安全とより良いサービスの提供

理念

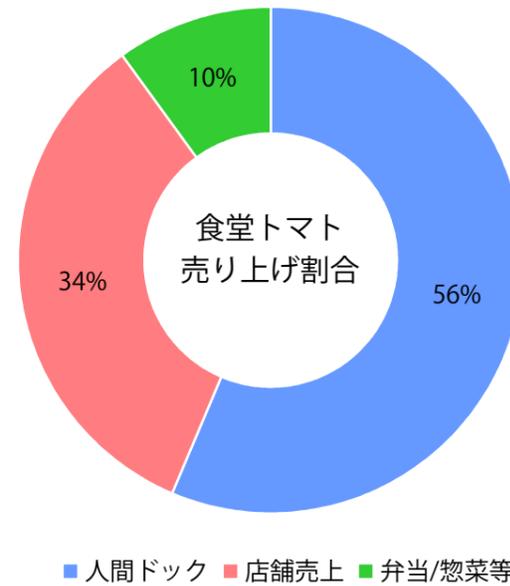
目配り・気配り・思いやり

業務実績

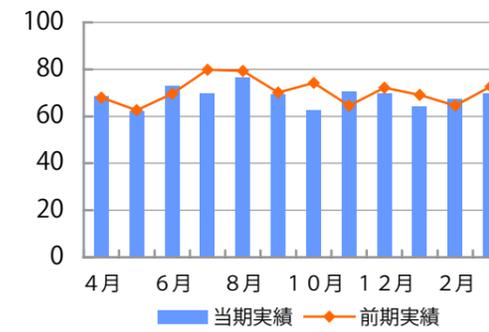
食堂 トマト 売上推移 (単位:万)



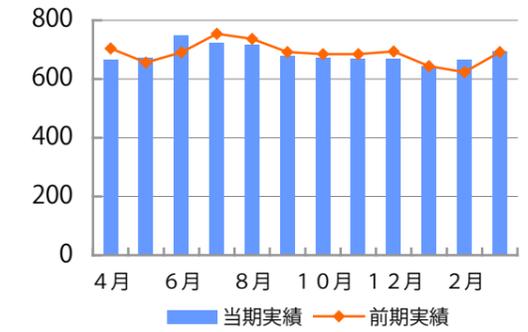
食堂 トマト 売上割合



喫茶 グリーン ケイブルズ売上推移 (単位:万)

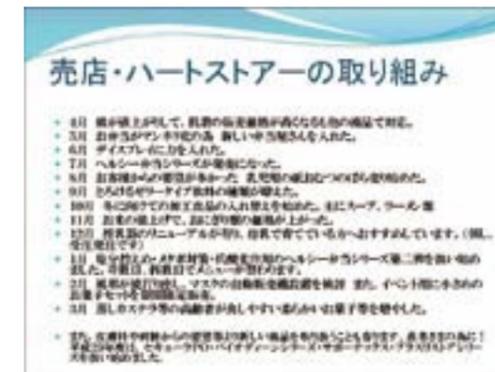


売店 ハートストア売上推移 (単位:万)



活動実績

実績報告会発表資料



事務部 年度総括



事務部長
宮良 長男

平成 23 年度の各課の取り組みについてですが、まず総務課では年 2 回の職員健診や新入職員オリエンテーション、ハートライフクリニックの地鎮祭や総合防災訓練、ハートライフ病院合同慰霊祭などの運営や、大久保寛司氏を招いての「いきいき講演会」も複数回開催しました。そのほかにも人材開発トレーナーの役割についての知識習得や、キャリア・コンサルティングの導入・活用、機能評価受審セミナーへの参加、診療報酬改定に伴う施設基準対応など 10 件の病院運営に関する研修会及び勉強会に参加し業務改善を行いました。経営企画室では平成 22 年度より医療産業プラットフォーム基盤構築事業事務局を担当し、引き続き先端医療技術産業化研究 (CPC) 事業の事務局を担当しています。今後、平成 24 年度までに申請後、研究事業を開始予定です。また、3 月にはハートライフクリニックの新築工事が完了、災害医療派遣チーム (DMAT) 設立に向けての取り組みについては何度か申請をしており、現在もまだ引き続き申請を継続予定です。請求業務課では電子カルテの導入により、患者待ち時間対策の解消を実施。減点査定の取り組みに関しては、200 床以上の医療機関の場合、平均査定率は 0.5% ですが、当院査定目標 0.14% に対し平成 23 年度は 0.49% と目標は達成していません。昨年度は、救急医療加算の算定基準を当院で決め、すべて算定する方向性で力を入れた結果、査定率がアップしてしまいました。しかし、救急管理加算の査定は想定内の結果で、救急管理加算のみの査定率は 0.34% となり総査定率 0.49% を差し引くと 0.15% となるため、当院査定率の目標は、救急管理加算の査定を除くと目標を達成した結果になったのではないかと思います。今後は取得困難な総合入院体制加算取得に向けての情報収集及び取り組みを行って参ります。医療情報管理室では、電子カルテシステムのサポート業務をはじめとして、院内 IT 環境の拡充と強化を目標に掲げました。院内共有ネットワーク端末の配布、医局内無線 LAN の開局、部門業務をサポートする各種ツールの開発 (伝達事項、病院日誌、患者数掲示板、胃瘻交換管理など) を行いました。施設管理課では CO₂ 排出量の年率 1% 削減を目標に設定し、一部照明の LED 化などを行いましたが、結果 5% 増となり、西棟全館空調の各部屋 (パッケージ) 空調への取替えも未完に終わりました。用度課では手術室の衛生材料等をセット化して、手術室のスピード化、スタッフの術前術後業務の軽減に取り組んでおり、外科、整形外科、婦人科手術等の材料のうち 3 割セット化が完了しています。次年度で全てのセット化を完成させる予定です。財務課では「課内勉強会等によるメンバーの知識向上」を目標に取り組み、顧問税理士を講師に迎え、勉強会を 6 回開き、主に消費税を中心に、税金に関する知識を得ることができました。また、院外開催の経理セミナーにも積極的に参加できました。

委員会活動

医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	22名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	玉城秀美
委員名	【医療安全管理室】玉城秀美(専従看護師) 【医 局】久場良也、末吉健次、上原盛幸 【看護部】西銘宣子、小橋川春子、外間真紀子、安村公均、林 広江、池村久美子 【医療技術部】伊藤昌徳、西澤香織、大城 安、石原 悟、神谷乗敏、柴野比智也、古波倉美登利、高宮江利子、久場徳子 【事務部】仲地智俊、高良直光、後原保光		
活動目的	1) 医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上をはかる。 2) 医療事故やニアミスの情報を収集し、分析して具体的な事故防止対策に役立てる。		
活動内容	1) 医療事故防止策の検討及び研究に関すること 2) 医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること 3) 医療事故防止のための職員に対する指示に関すること 4) 医療事故防止のために行う提言に関すること 5) 医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6) リスクマネージャーの養成に関すること 7) その他医療事故の防止に関すること ※委員会開催：毎月第3金曜日 17:00～		
備考			

医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	20名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城 安
委員名	【医 局】久場良也、普天間光彦 【医療安全管理室】玉城秀美(専従看護師) 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、屋良ちえみ、我那覇美帆、安村公均、中野久乃、外間真紀子、小橋川春子、米須智子、森 富江、宮平典子、城田怜子 【医療技術部】大城 安、伊藤昌徳、古波倉美登利 【事務部】具志堅徳明(実施責任者/施設管理課)、後原保光		
活動目的	医療ガス(診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう)設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。		
活動内容	1) 医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2) 帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3) 医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4) 医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5) その他医療ガスに関わる事項。		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



※部署別報告件数についての詳細は P151 をご覧下さい。

平成23年度の活動報告

平成23年度医療ガス設備保守点検不良箇所改善状況

発表日:平成23年9月14日(火曜)～18日(土曜)
発表日:平成23年10月19日(金曜)～16日(土曜)

室名	品名	不良品	対応
1階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
2階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
3階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
4階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
5階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
6階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
7階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
8階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
9階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
10階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
11階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
12階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
13階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
14階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
15階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
16階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
17階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
18階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
19階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行
20階手術室	吸引アフレット	故障チェック済	チェック済行

平成23年度の活動報告

平成23年度医療ガス日常点検報告

日 時	場 所	日 時	場 所
4月4日(月)	1階手術室	4月14日(水)	4階手術室
4月11日(月)	2階手術室	4月21日(水)	5階手術室
4月18日(月)	3階手術室	4月28日(水)	6階手術室
4月25日(月)	4階手術室	5月5日(水)	7階手術室
5月2日(月)	5階手術室	5月12日(水)	8階手術室
5月9日(月)	6階手術室	5月19日(水)	9階手術室
5月16日(月)	7階手術室	5月26日(水)	10階手術室
5月23日(月)	8階手術室	6月2日(水)	11階手術室
5月30日(月)	9階手術室	6月9日(水)	12階手術室
6月6日(月)	10階手術室	6月16日(水)	13階手術室
6月13日(月)	11階手術室	6月23日(水)	14階手術室
6月20日(月)	12階手術室	6月30日(水)	15階手術室
6月27日(月)	13階手術室	7月7日(水)	16階手術室
7月4日(月)	14階手術室	7月14日(水)	17階手術室
7月11日(月)	15階手術室	7月21日(水)	18階手術室
7月18日(月)	16階手術室	7月28日(水)	19階手術室
7月25日(月)	17階手術室	8月4日(水)	20階手術室

医療ガス安全・管理委員会事業計画

平成24年度

項 目	説 明
【報告・情報計画】	4月 委員会報告書の作成と公表 10月 委員会報告書の作成と公表
●安全・調査会議	4月 委員会報告書の作成と公表 10月 委員会報告書の作成と公表
【設備計画】	4月 委員会報告書の作成と公表 10月 委員会報告書の作成と公表
●医療ガス設備保守点検	4月 委員会報告書の作成と公表 10月 委員会報告書の作成と公表

医療ガス安全管理委員会24年度目標

医療ガス設備の安全管理を
回り患者の安全を確保する

- 1.医療ガス設備の保守点検の実施
- 2.医療ガス安全管理教育の実施

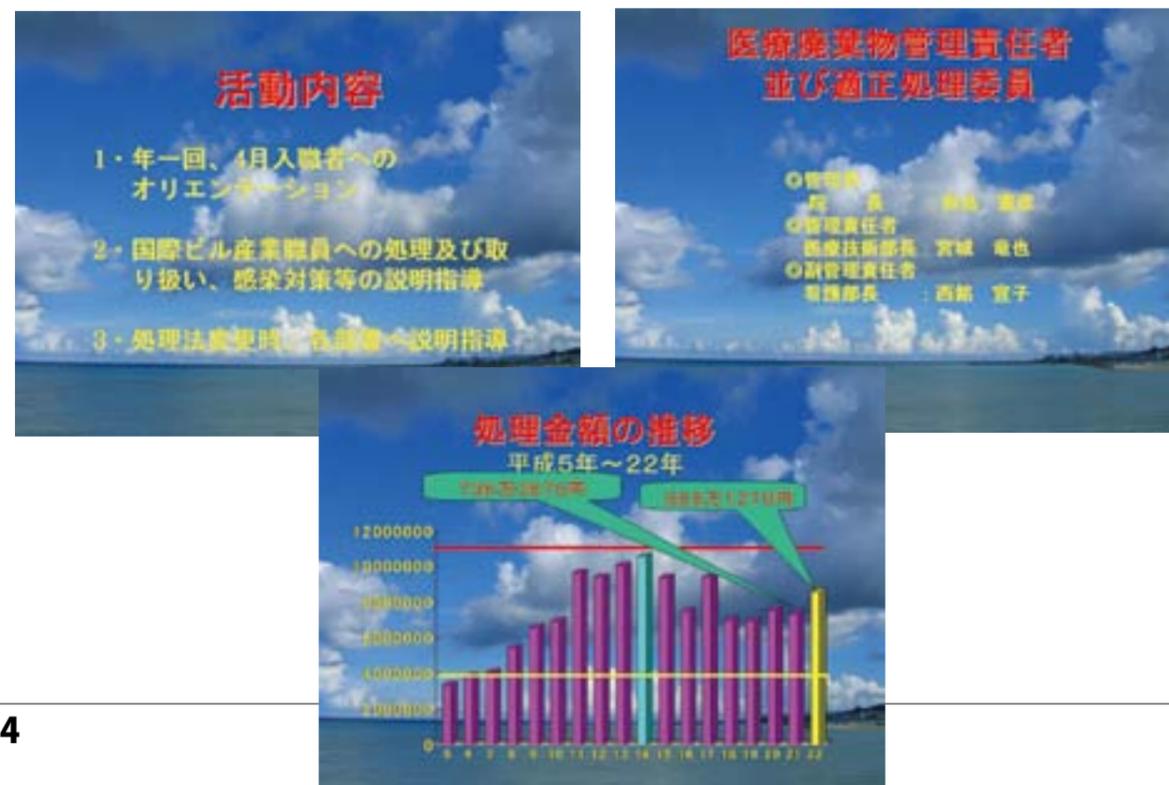
医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	11名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	宮良長男
委員名	【医 局】久場良也、佐久川 廣、西原 実、與座 一 【医療安全管理室】玉城秀美(専従看護師) 【看護部】西銘宣子、池村久美子(メディエーター) 【事務部】宮良長男、比嘉 靖、高良直光、仲地智俊(MSW)		
活動目的	病院で発生する医療事故、訴訟問題に迅速に対応するとともに適切な対応を図るため		
活動内容	1) 医療事故発生の事実及び経過の確認に関すること 2) 医療事故の原因調査に関すること 3) 医療事故発生に伴う対応策に関すること 4) 訴訟等の対応策に関すること		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	29人
事務局・担当部署	放射線科	担当者名	宮城竜也
委員名	【医 局】奥島憲彦、西原 実 【看護部】西銘宣子、屋良ちえみ、内間幸人、小橋川春子、中野久乃、安村公均、外間真紀子、森 富江、米須真紀子、藤本寿賀子、宮平典子、城田怜子 【医療技術部】比嘉一廣、宮城竜也、伊藤昌徳、仲座義富、玉城義彦、齋藤辰好、神谷乗敏、川上国男、古波倉美登利、久場徳子 【事務部】我謝三男、新川 進、後原保光、比嘉康文、大城利信(国際ビル)		
活動目的	医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
活動内容	年1回以上、必要に応じて管理委員会を開催する。 1) 年1回、4月入職者へのオリエンテーション 2) 国際ビル産業職員への処理及び取り扱い、感染対策等の説明指導 3) 処理法変更時、各部署へ説明指導		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



院内感染対策委員会

委員会名	院内感染対策委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	16名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	石川由希
委員名	【感染対策管理室】石川由希(専従看護師)、宮城好美(事務) 【医 局】普天間光彦、奥島憲彦、宮平 工、前本 均 【看護部】西銘宣子、中野久乃、宮城美那 【医療技術部】伊藤昌徳、宮里武行、仲里幸康、森山武志、古波倉美登利 【事務部】宮良長男、渡久地政重		
活動目的	1) 感染発生の予防と防止 2) 感染発生時の発生源の調査、拡散防止、治療 3) 再発防止 4) アウトブレイク時の早期対応 5) サーベイランスの実施		
活動内容	1) サーベイランスの計画、実施、評価 2) アウトブレイクの調査と対策への直接関与 3) 医療従事者への教育 4) 感染委員会のマネジメント 5) 感染管理に関する相談 6) 厚生労働省サーベイランス JANIS への参加 7) 部署のラウンドとチェック、指導 * 耐性菌ラウンド: 毎週月曜日 14時～ * 環境ラウンド: 毎月第1月曜日 14時～ * 感染対策委員会: 毎月第3月曜日 17時～		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



衛生委員会

委員会名	衛生委員会		
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	13名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	後原保光
委員名	【医 局】奥島憲彦、比嘉昌文、菅野善一郎、上原盛幸 【看護部】西銘宣子、池村久美子 【医療技術部】宮城竜也、仲里幸康、玉城義彦、伊藤昌徳 【事務部】渡久地政重、佐藤さとみ、後原保光		
活動目的	職員の健康保持及び増進を図ることを目的とする。		
活動内容	1) 定期職員健診 2) 入職前健診 3) 健診後の有所見者のフォロー 4) 各種ワクチン接種 / 感染症対策 (インフルエンザ・肝炎・麻疹・風疹・ノロ等) 5) こころの健康づくり 6) 禁煙対策 ※委員会開催: 毎月第2木曜日 PM4:00		
備考			

NST・褥瘡対策委員会

委員会名	NST・褥瘡対策委員会		
委員長名	宮平 工(NST) / 渡慶次 学(褥瘡)	構成人数	32名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	嘉数智子
委員名	【栄養サポート室】嘉数智子(専従看護師) 【医 局】宮平 工、宮城 純、渡慶次 学 【看護部】宮平典子、屋良ちえみ、仲宗根香織、親盛智子、益倉福子、森山由紀子、仲宗根由香、下地 睦、名嘉 悠、伊波佐智枝、安里恵美子、前田枝利子、鈴木千恵、浅賀智美、比嘉常美、親川あかね、泉 淑子、砂川智美、宮城久美子、高良幸枝 【医療技術部】生沢梢愛、普天間 泉、真栄城ゆかり、久場徳子、具志堅善則、富田美智代、松川玲子、大城盛彦		
活動目的	1) 入院患者の褥瘡発生を予防する 2) 褥瘡発生(または入院時より有する) 患者に対して適切なケアを実施する 3) 褥瘡ケアの質の向上 4) 栄養不良の原因や栄養状態を把握し適切な栄養投与(経口栄養の支援・経腸栄養・静脈栄養)を実施する		
活動内容	1) 褥瘡対策の体制を整備し、機能させる 2) 褥瘡対策の実践を指導、監督する 3) 褥瘡ケアの予防及び治療に対する正しい知識を広める 4) 褥瘡対策の状況を定期的に病院へ報告する 5) 病状にあった輸液や栄養剤の選択 ※ NST 回診・カンファレンス: 毎週月曜日 ※ 褥瘡回診: 毎週月曜日(必要に応じていつでも回診)		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

平成23年度 衛生委員会活動実績

- 4月: 定期職員健診 (受診者: 645名)
- 5月: 定期職員健診報告 (提出先: 管轄保健所)
- 7月: 全国保健協会沖縄支部による健康相談 (対象者: 27名)
- 8月: 日型ワクチン接種 (1回診) (受診者: 62名 (26.6%))
- 9月: 日型ワクチン接種 (2回診) (受診者: 57名 (23.4%))
- 11月: 秋季職員健診 (受診者: 565名 (100%))
- 12月: インフルエンザワクチン接種 (受診者: 630名 (83.1%))
- 1月: 禁煙講演会 (伊志嶺朝彦先生) (37名)
- 2月: インフルエンザ未受診者に対するアンケート調査実施
- 3月: 日型ワクチン接種 (3回診) (受診者: 35名 (14.4%))

衛生委員会の強化対策

- 健診後の有所見者のフォロー
- 針刺し事故対策及びフォロー
- 感染症対策 (C型肝炎、梅毒、淋しん、風疹、ノロ等)
- 心の健康づくり (メンタル対策)
- 禁煙対策

課題

- 上記対策の十分なフォローがなされていない。

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

NST回診&カンファレンス

- NST対象患者選択
 - 回診前週の採血でアルブミン値3.0mg/dl以下の患者
 - 褥瘡を有している
 - 摂食・嚥下障害がある
 - 経腸栄養中のトラブル(下痢・便秘・胃食道逆流・穿孔トラブルなど)
- NST対象除外
 - 採血の採血でアルブミン値が3.0mg/dl以下
 - ターミナル期の患者(手後が早く介入困難)
 - 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

平成23年度 NST対象患者件数②

褥瘡患者推移 (月別)

平成24年度の活動

- NST加算取得の継続
- 栄養管理計画書・褥瘡管理が入院基本料へ包括
 - ⇒カルテ入力を周知・徹底する
- 栄養管理に関する知識を深める
 - ⇒定期勉強会(輸液・栄養剤)
- 褥瘡に関する知識を深める
 - ⇒ポジショニング方法・被覆材の適正使用方法
 - ⇒VAC治療システムのトレーニング受講推進
- 他チームとの連携
 - ✓感染対策チーム⇒栄養点滴セットを1日1回交換
 - ✓医療安全チーム⇒皮膚トラブル予防対策

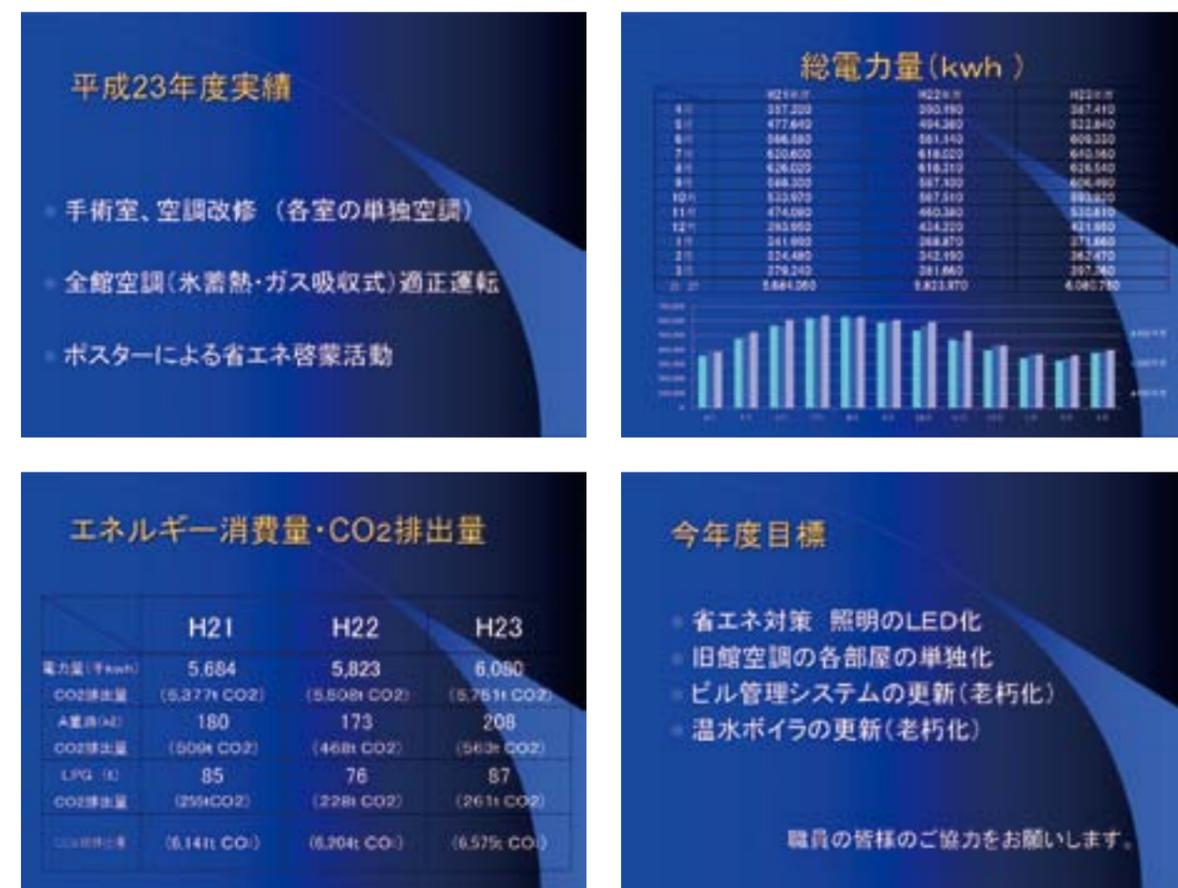
エネルギー委員会

委員会名	エネルギー委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	4名
事務局・担当部署	施設管理課	担当者名	我謝三男
委員名	【医局】松元 悟 【看護部】西銘宣子 【事務部】後原保光、我謝三男		
活動目的	病院のエネルギー（電気・ガス・重油・水）を適正に使用することを目的とする。		
活動内容	1) 手術室、空調改修（各室の単独空調） 2) 全館空調（氷蓄熱・ガス吸収式）適正運転 3) ポスターによる省エネ啓蒙活動		
備考			

栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会		
委員長名	宮平 工	構成人数	8人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	久場徳子
委員名	【医局】宮平 工 【看護部】宮平典子、森 富江、米須智子、小橋川春子、外間真紀子、我那覇美帆 【医療技術部】久場徳子		
活動目的	栄養管理の充実・向上とその適正な運営を図る		
活動内容	1) 入院患者の栄養管理、食事計画、調査、改善策等を検討する 2) 給食業務に関する事項を検討		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会		
委員長名	西原 実	構成人数	14名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関秀和
委員名	【医 局】西原 実、平良直也 【医療安全管理室】玉城秀美(専従看護師) 【看護部】林 広江、藤本寿賀子、森 富江、本田由佳理、徳比嘉 恵 【医療技術部】伊藤昌徳、田中健嗣、谷山美紗子、大関秀和 【事務局】望月祥子		
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
活動内容	1) 化学療法の運用上の改善を行う。 2) 化学療法に係る環境の整備を行う。 3) 院内で使用されるレジメンの検証を行う。 4) 使用薬剤、器具の整備を行う。 5) 勉強会、講演の企画を行う。 6) その他、化学療法に関わるすべての事項に関して検討・対応を行う。 ※委員会開催：毎月第一木曜日		
備考			

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会		
委員長名	西原 実	構成人数	11名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	粟盛信子
委員名	【医 局】西原 実、比嘉須奈子(メディカルクラーク) 【看護部】仲地ますみ、本田由香里、藤本寿賀子 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務局】宮平奈美子、望月祥子、粟盛信子(看護師/地域医療連携室)、柳 学、高良直光		
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実した、がん医療の提供の推進を図る。		
活動内容	1) セカンドオピニオン 2) 緩和ケア病院への紹介 3) がん患者さんの在宅退院への支援 4) 地域がん登録提出 以下の研修会受講の推進 ①相談支援センター相談員基礎研修 ②院内がん登録実務初級者研修 ③がんのリハビリテーション研修(同一施設からのチーム参加) ④緩和ケアの基本教育に関する指導者研修 ⑤沖縄県緩和ケア研修		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

H23年度の活動内容

- 院内化学療法勉強会の開催
- 東京女子医大病院の見学
- 抗がん剤暴露時の処理方法マニュアルの作成
- ファシールシステムの導入
- 6階病棟へ安全キャビネットの導入
- その他

化学療法委員会の役割

⑥その他

- 通院治療室での婦人科疾患の化学療法施行を開始。⇒H23.2月開始 9件(2月・3月実績)
- 抗がん剤プロトコールシステムの作成、メンテナンス。⇒(登録件数:350件(平成24年4月時点))
- 化学療法実施後の電話サポートの開始。⇒H23.12月開始 24件(12月～3月実績)
- CVポートの自己抜針指導の開始。(2名)
- 全日本病院学会(10月)で発表(田中、徳比嘉)
- 外来化学療法加算の算定件数は1036件で569,800点であった。

今年度の活動目標

- 6階病棟の無菌・混合調整室の完成
- 東京女子医科大学での実習
- がん研有明病院の見学
- 基礎教育研修講演会の年2回開催
- プロトコールシステムへの完全移行
- 抗がん剤チェックシステムとの連携
- 来年度がん治療学会へ発表準備
- 教育DVDの作成
- 通院治療室の化学療法施行件数1200件以上(700,000点)

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

活動内容①

- セカンドオピニオン
- 緩和ケア病院への紹介
- がん患者さんの在宅退院への支援
- 地域がん登録提出

活動内容②

- 相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)
- 相談支援センター相談員基礎研修(3)
- 院内がん登録実務初級者研修
- がんのリハビリテーション研修(同一施設からのチーム参加)
- 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修
- 沖縄県緩和ケア研修

以上の研修会受講の推進

①-IV. 地域がん登録提出

年度	提出件数
H16	623
H17	337
H18	379
H19	249
H20	197
H21	313
H22	23
H23	81

総計 2202 件

今後の目標

- 年1回 沖縄県緩和ケア研修会開催
- 院内向け沖縄県緩和ケア研修会開催
- 看護部内での研修会受講の推進
- 産科講演会の開催
- 平成25年までに受講が義務づけられている沖縄県緩和ケア研修会受講を医師へ推進

呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	8 名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医 局】 普天間光彦、 【看護部】 内間幸人、岡田 仁、宮城美那 【医療技術部】 仲松晋也、波平静香、狩俣貴康 【感染管理対策室】 石川由希（専従看護師）		
活動目的	1) 人工呼吸器からの離脱に向けての支援（ウィニング計画立案・実施・コンサルテーション） 2) 人工呼吸器装着患者の合併症予防 3) 人工呼吸器からの離脱に向けての支援（計画立案、実施、コンサルテーション）		
活動内容	1) 1 回 / 週のラウンドの実施 対象患者は、人工呼吸器装着中（NPPV 含む）で、離脱を目指している患者 2) 呼吸ケア関連の勉強会の開催		
備考			

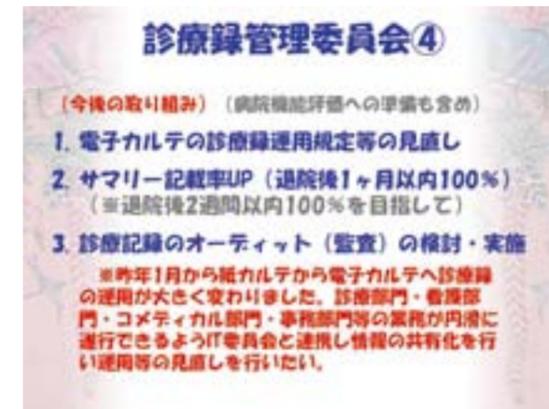
個人情報対策委員会

委員会名	個人情報対策委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	11 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	後原保光
委員名	【医 局】 佐久川 廣、普天間光彦 【看護部】 西銘宣子、仲地ますみ 【医療技術部】 伊藤昌徳、神谷乗敏、川上国男 【事務部】 當真嗣美、柳 学、宮城克己、後原保光		
活動目的	院内患者及び職員のプライバシー保護を目的に対策検討する。		
活動内容	1) 個人情報保護指針（ガイドライン）の策定・公示 2) 内部規定の策定 3) 個人情報保護管理者の選定 4) 個人情報が漏洩した場合の報告および連絡体制の功逐 5) 相談窓口の開設 6) 個人情報漏洩にかかる職員教育 7) 個人情報の文書等の管理方法及び見直し 8) 同意書等の整備 9) 委託業者の監督		
備考	平成 24 年 3 月 26 日 「個人情報の取り扱いについて」講演会 18:00 ～ 2 階講堂		

診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	13 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳
委員名	【医 局】 佐久川 廣、西原 実 【看護部】 仲地ますみ 【医療技術部】 伊藤昌徳、神谷乗敏、玉城義彦、久場徳子、野原 剛、石原 悟 【事務部】 渡久地政重、柳 学、輪番 1 名 【医療安全管理室】 玉城秀美（専従看護師）		
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為に必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
活動内容	委員会は隔月（奇数月）1 回定例とし、第 4 水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為に諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

平成 23 年度委員会別実績報告会発表資料より



卒後診療研修管理委員会

委員会名	卒後診療研修管理委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	33名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	嶋崎裕一
委員名	【医 局】奥島憲彦、普天間光彦、久場良也、佐久川 廣、西原 実、山本壽一、平良直也、折田 均、與座 一、安里義秀、新垣勝男、大西 勉、武田 理、嘉川春生、末吉健次、前本 均(研修医1年目代表) 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】宮良長男、嶋崎裕一 【外部委員】川平 稔、大屋祐輔、道下 聡、渡部 尚、涌波淳子、涌波 満、中田安彦、村田謙二、安部好弘、新里 脩、朝戸末男、安里尚彦、松本ノリス、今井千春、兼次順子 ※敬称略、順不同。		
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑の実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床研修委員会の運営に関し必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
活動内容	1) 平成22年度研修医終了判定 2) 平成22年度臨床研修費等補助金に係る配分額の承認 3) 群星沖縄プロジェクトへの参加の承認 4) 新規管理委員の承認 5) 評価票の改訂 6) 平成22年度採用者の修了予定の報告 7) 平成23年度採用研修医の紹介		
備考			

地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	14名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	仲地智俊
委員名	【医 局】奥島憲彦、松元 悟、久場良也、佐久川 廣 【看護部】西銘宣子 【外部委員】中城村長 浜田京介、西原町長 上間 明、宜野湾市長 安里 猛、中城北中城消防組合 消防長 安里長栄、東部消防組合消防本部 消防長 當山 健、宜野湾市消防本部 消防長 平安名常明、中部地区医師会理事 仲地 聡、(株)東和薬品沖縄販売 中部地区薬剤師会 会長 前原信照、中部地区婦人連合会 会長 與儀利枝 ※敬称略、順不同。		
活動目的	ハートライフ病院が地域のかかりつけ医、かかりつけ歯科医などからの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため、ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会を設置する。地域医療支援病院の認定に係る次の各項目について、内外の委員を招集し検討を行い、認定要件を満たしているかの確認および向上を図る。		
活動内容	(1) 開設者 (2) 紹介率(紹介率・逆紹介率) (3) 共同利用 (4) 救急医療 (5) 研修 (6) 病床数 (7) 構造設備 (8) 諸記録 (9) 委員会 (10) 患者相談 (11) その他 (12) 居宅等		
備考	年度に1回以上委員会を開催する。		

地域医療支援病院認定に係る以下の情報は、「病院概要(12ページより)」および「患者統計・病歴統計(20ページ)」をご参照ください。

- (1) 開設者 (2) 紹介率(紹介率・逆紹介率) (3) 共同利用 (4) 救急医療
(5) 研修 (6) 病床数

(7) 構造設備

「集中治療室、化学・細菌及び病理の検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、救急用または患者輸送用自動車、医薬品情報管理室」の設置が承認要件で、当院は満たしております。

(8) 諸記録

諸記録の①保存・管理や②閲覧など、日本医療機能評価機構の基準をクリアしており、認定時に比べて質の向上を果たしております。

(9) 委員会

本委員会の設置にてクリアしております。

(10) 患者相談

専用の面談室あり。医療ソーシャルワーカー5名および医療メディエーター2名を配置して対応。

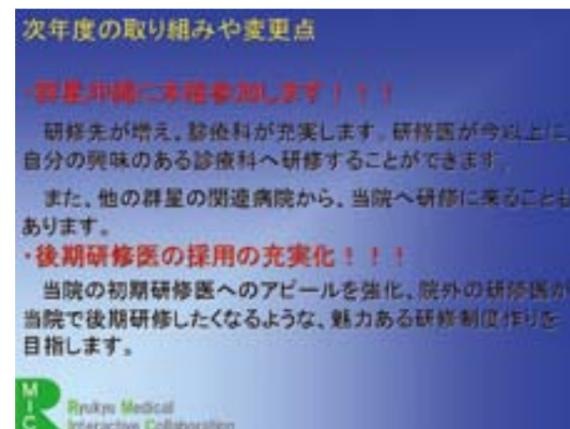
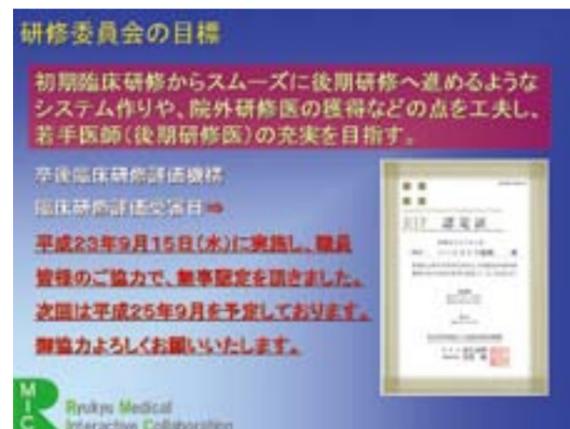
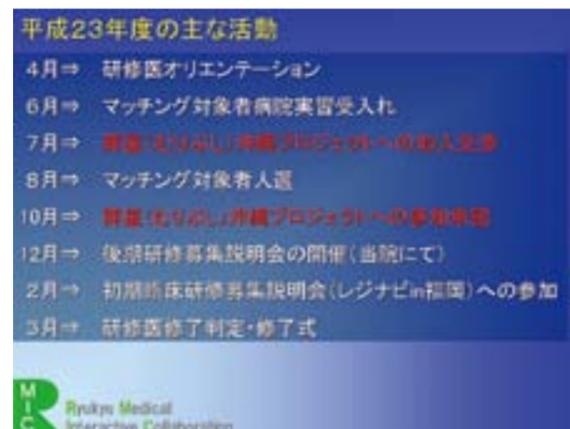
(11) その他

患者相談業務および地域の診療所等と、円滑に連携が行われる体制がとられている。

(12) 居宅等

主に在宅支援診療所や訪問看護ステーションなどの、在宅医療を担う医療機関との連携が承認条件です。

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



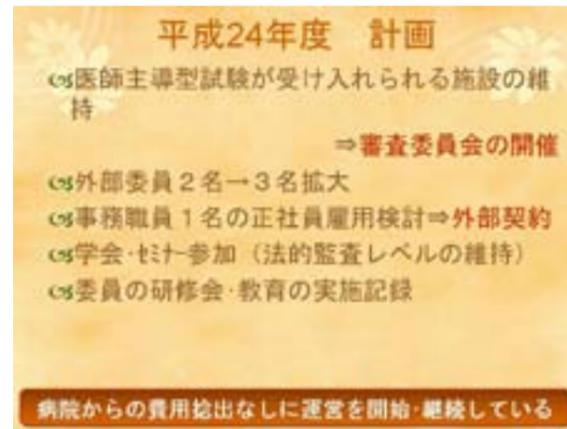
治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	8名
事務局・担当部署	治験管理センター、薬局	担当者名	伊藤昌徳
委員名	【医 局】松元 悟、佐久川 廣、嘉川春生 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】比嘉 靖、當間嗣美 【外部委員】2名		
活動目的	治験を行う為に必要な第三者機関(院長の諮問機関)として、「治験の原則」に従って、すべての被験者の人権の保護、安全の保持および福祉の向上を図ることを目的とする。 治験を開始する前から終了後に至るまで、その責務は継続するものである。		
活動内容	稼働治験数:4件(内、終了治験数:1件) 医師主導型臨床試験数:新規1件		
備考			

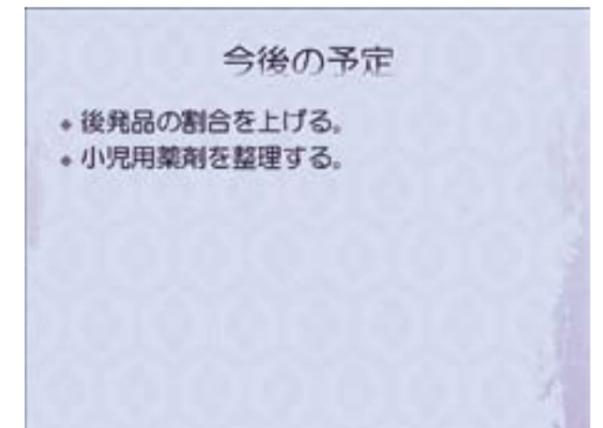
薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	8名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医 局】松元 悟、久場良也、佐久川 廣、普天間光彦 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】宮良長男、渡久地政重		
活動目的	院長の諮問機関として、病院で使用する、すべての医薬品の医学的、薬学的及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
活動内容	医薬品にかかわるすべての事項 1) 医薬品の採否決定に関すること 2) 薬品予算の年間計画に関すること 3) 未使用医薬品の残品防止に関すること 4) 後発医薬品の採用推進すること 5) 採用医薬品の種類を制限すること 6) その他医薬品の取り扱いに関すること		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下 恒
委員名	【医 局】佐久川 廣、宮平 工 【看護部】藤本寿賀子、内間幸人 【医療技術部】伊藤昌徳、神谷乗敏、蔵下 恒 【事務部】渡久地政重		
活動目的	輸血療法の安全な実地及び輸血製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血医療に係る全般を議題、検討内容とする。		
活動内容	1) 手順書の作成 ①輸血業務に必要とされる手順書を随時作成、改定を行う ②手順書の内容を啓蒙する 2) 輸血ミスの防止 ①インシデント発生時、原因を追究し、対処法を作成する。 ②対処法を実践させるよう啓蒙する。 3) 適正使用の実施 ①”輸血療法の適正化に関する指針”に則した使用を目指す。 ②”輸血療法の適正化に関する指針”の啓蒙を行う ③適正使用に向け、血液製剤使用量の報告を行い、医局会議、運営会議等で報告を行う。 ④適正使用に則さない場合、指導、検討を行う 4) 血液製剤の有効利用を促進する。 ①使用量、廃棄量の報告を行う。 ②問題がある場合、個別に問題を検討し対処法を検討する。 ③副作用、感染症の報告を行う。 ④ その他、血液療法に関する問題を議題内容とする。		
備考			

臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	神谷乗敏
委員名	【医 局】佐久川 廣 【看護部】中野久乃 【医療技術部】神谷乗敏、仲里幸康、具志堅善則 【事務部】渡久地政重		
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので疾病の診断、治療、予後判断のための重要な情報を提供するものである。質の高いデータを迅速に提供する事を目的とする。		
活動内容	1) 臨床検査が関わる業務の範囲の検討 2) 検査精度、機器選定ならびに導入計画 3) 検査項目や、正常値の検討 4) その他検査に関わる必要事項の検討を行う		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

平成24年度の活動目標

- 輸血管理料・適正使用加算の継続
- 病院機能評価に向けた各種マニュアルの作成と体制の整備
 - 輸血実施マニュアル
 - 緊急時の輸血マニュアル
 - 宗教的輸血拒否患者に対するガイドラインと対応手順

倫理委員会

委員会名	倫理委員会		
委員長名	與座 一	構成人数	7名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	伊藤昌徳
委員名	【医 局】與座 一、佐久川 廣、久場良也、宮城 敬 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】後原保光、新川 進、高良直光		
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（以下、「病院」という。）の職員が行う医療行為および医学研究（以下、「医療行為等」という。）において、「ヘルシンキ宣言」（2000年エジンバラ修正、2002年ワシントン総会で注釈追加）を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
活動内容	1) 医療にかかる法律の順守に関する事項 2) 患者の権利に関する事項 3) 医療行為等をめぐる生命倫理に関わる事項 4) 臓器移植および新治療法の採用に関する事項 5) その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数:12件		
備考			

安全管理委員会

委員会名	安全管理委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	12名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	後原保光
委員名	【医 局】松元 悟、佐久川 廣、西原 実 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】宮城竜也、大城 安 【事務部】宮良長男、比嘉 靖、後原保光、我謝三男、吉川 忍、宮城 淳 【人材開発部長】比嘉一廣		
活動目的	当院の医療施設等ハード面の定期的なチェックをし、問題があれば検討する。また、台風及び災害時は委員会の招集や安全確認のラウンドを行い、あわせて環境整備も行う。		
活動内容	災害時の防災にかかる予防及び対策、災害時の委員の招集及び外来診療の休診及び解除等の発令を行う。台風が接近した際は小委員会である「台風対策委員会」を開催し台風対策に対応する。		
備考			

DPC委員会

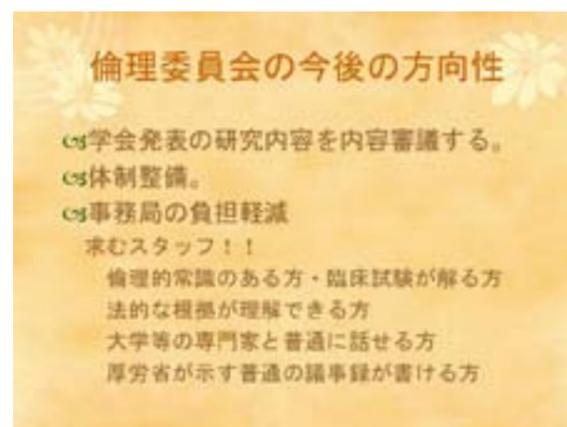
委員会名	DPC委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	14名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳
委員名	【医 局】奥島憲彦、西原 実、内科系医師、外科系医師 【看護部】西銘宣子、粟盛信子（地域医療連携室） 【医療技術部】伊藤昌徳（薬局）、宮城竜也（放射線科）、神谷乗敏（臨床検査科） 【事務部】當真嗣美（経営企画室）、高良直光（請求業務課・入院）、金城昭一（請求業務課・入院）、柳 学（診療情報管理室）、輪番1名（診療情報管理室）		
活動目的	DPC委員会は、DPC対象病院としてDPC業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
活動内容	1) 委員会は毎月1回定例とし、第2月曜日に開催することを原則とする。 2) 適切なコーディングを行う体制に関する事。 3) 診断及び治療方法の適正化標準に関する事。 4) 院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関する事。 5) その他DPC業務に係る課題に関する事。		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



	H19	H20	H21	H22	H23
開催回数	2	5	4	1	10
議題数	3	17	15	1	12
新治療法			2		5
臨床研究試験等		2	7	1	2
遺伝子検査・院内製剤	1				2
患者調査・疫学調査	1		5		
対象者倫理		2			2
院内規定	1	13	1		2
その他					

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会		
委員長名	花城直次	構成人数	21名
事務局・担当部署	看護部 6階病棟	担当者名	藤本寿賀子
委員名	【医 局】花城直次、菅野善一郎 【看護部】池村久美子、大家 聡樹、本田由佳理、仲地春代、足立聖子、藤堂早紀、野原千草、森 富江、与那城友子、藤本寿賀子、田中菜里子、下地博一 【医療技術部】伊藤昌徳、田中健嗣、玉栄優子、栄野比智也、新垣優子、棚原佳世 【事務部】望月祥子		
活動目的	治療不可能な疾患の終末期にある患者及び家族の生活の質の向上のために、各部署の専門家が協力してチームを作り、以下の項目を要件とするケアを提供する。		
活動内容	1) 患者の痛みや、その他の不快な身体症状を緩和する 2) 患者に精神的・社会的・霊的な援助を行い、死が訪れるまで生きていることに意味を見いだせるようなケアを行う 3) 患者の家族を患者の療養中から死別した後まで支える		
備考			

診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	7名
事務局・担当部署	請求業務課	担当者名	金城 泰
委員名	【医 局】佐久川 廣、松元 悟、西原 実 【医療技術部】神谷乗敏、伊藤昌徳 【事務部】金城昭一、金城 泰		
活動目的	当院目標査定率0.14%の達成に努める		
活動内容	1) 保険診療に関すること 2) 請求漏れ、査定減の対策に関すること 3) 保険請求事務等の改善に関すること 4) レセプト作成、点検に関すること		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

※当院過去の査定率

	支払基金	国庫連合会	合計	査定点数	査定率
平成20年	198,880,000	441,247,528	627,907,528	300,383	0.10%
平成21年	198,285,877	417,150,985	603,541,842	343,543	0.14%
平成22年	253,887,772	434,377,103	708,064,875	1,196,472	0.17%
平成23年	238,330,051	489,287,516	728,597,567	3,586,123	0.49%
合計	846,063,506	1,822,048,112	2,668,111,618	6,541,521	0.25%

※0.1%

※救急医療管理加算査定状況

平成23年度

月	査定対象	請求金額	査定金額
4月	436	¥1,204,000	¥100,000
5月	403	¥1,224,000	¥104,000
6月	370	¥1,201,000	¥106,000
7月	540	¥1,267,000	¥104,000
8月	502	¥1,240,000	¥1,212,000
9月	1,040	¥1,706,000	¥1,544,000
10月	1,031	¥1,248,000	¥1,090,000
11月	1,110	¥1,304,000	¥1,328,000
12月	1,000	¥1,264,000	¥1,234,000
1月	1,000	¥1,112,000	¥1,090,000
2月	1,000	¥1,240,000	¥1,070,000
3月	1,457	¥1,208,000	¥1,020,000

※平成24年度目標

◆当院目標査定率0.14%の達成に努める

- ※目標0.14%以下への課題として
- ◆医師・看護師・コメディカル・請求業務課の連携の強化。
 - ◆請求業務課の診療報酬点数解釈、点検業務の強化
 - ◆査定された内容を再検証し次月請求への反映の取り組み。

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



- 院内緩和ケア講演会(平成23年度)
- 6/14 在宅移行を視野に入れた緩和ケアの実践
 - 9/26 プイクレスの説明会
 - 10/26 デュロテップパッチとワンデュロテップパッチの違いと特性
 - 12/1 那覇市立病院 Dr足立による講演会「緩和ケア領域における放射線治療およびストロンチウムによる疼痛緩和」
 - 12/14 生き生き講演会
 - 12/26 インナーパワー勉強会

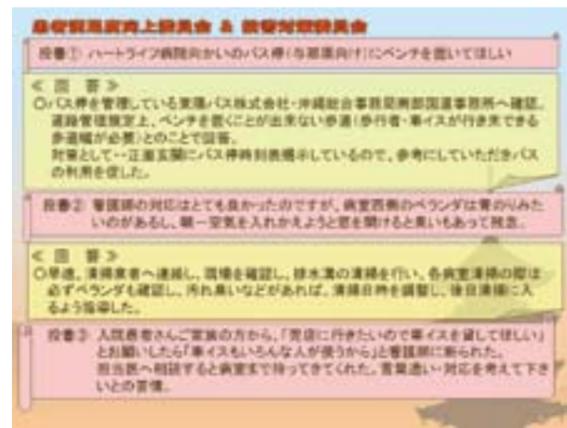
- 沖縄県緩和ケア研修会
- H23年12月 沖縄県緩和ケア研修会構想
 - H24年1月 事務局設立
 - H24年4月 ナース・MSWがファシリテーター養成のため、第1回研修会に参加
 - H24年5月19、20日 第二回沖縄県緩和ケア研修会を開催
 - 当院においては、厚労省指定研修会が初めて開催されました。院内外から2日間を通して30名の医師・看護師・薬剤師が参加。

- 平成24年度の課題
- 対象患者さんの拡大
 - 電子カルテの充実
 - 緩和ケアチームの活性化
 - 緩和ケア認定看護師の育成

投書対策委員会

委員会名	投書対策委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	6名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	比嘉康文
委員名	【医 局】奥島憲彦 【看護部】西銘宣子、粟盛信子 【事務部】宮良長男、比嘉康文 【人財開発室】比嘉一廣		
活動目的	患者からの苦情相談に対し迅速に対応処理し、患者様の病院に対する信頼を向上する。		
活動内容	外来患者または入院患者の要望または苦情に対し、関連部署へ通知し、改善を図る。		
備考			

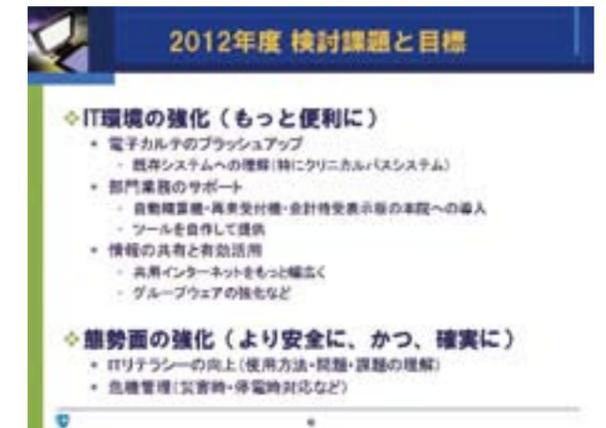
平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



IT推進委員会

委員会名	IT推進委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	15名
事務局・担当部署	企画室電算係	担当者名	宮城克己
委員名	【医 局】佐久川 廣、普天間光彦 【医療技術部】伊藤昌徳、田中健嗣、大城盛寛、古波倉美登利、具志堅善則 【事務部】新川 進、柳 学、安里 竜、高良直光、宮城 淳、宮城克己、當銘秀之 【医療安全管理室】玉城秀美(専従看護師)		
活動目的	オブザーバ: 仲松晋也(医療技術部)、竹本直美(透析室)、砂川直樹(地域医療連携室) 電子カルテ・オーダーリングシステムをはじめとした院内情報システム(機器)の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内IT環境の充足をはかる。		
活動内容	1) 医事・オーダーリング・電子カルテなどの医業システムの運用方法の検討 2) グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 3) 上記①②に係るネットワークの検討 4) IT導入に伴うセキュリティ管理 5) 各部門システムの導入、運用検討 6) 職員のIT知識の向上		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より



クリティカルパス委員会

委員会名	クリティカルパス委員会		
委員長名	大西 勉	構成人数	23名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	粟盛信子
委員名	【医 局】大西 勉、宮平 工、折田 均、普天間光彦、與座 一、平良直也、川満 豊、新垣薫、末吉健次、嘉川春生、照屋明子、上原 健、山本壽一 【看護部】仲地ますみ、久手堅政直、比嘉 暢、鈴木千恵、平良 勇、當眞さゆり、上原ちえみ、富里由美子 【事務部】柳 学、粟盛信子(看護師/地域医療連携室)		
活動目的	1) 医療の質の向上 2) 患者中心の医療を提供 3) 業務の効率化 4) 在院日数の短縮、コスト削減		
活動内容	H23年1月より電子カルテ導入。電子カルテ対応パスの作成を各科へ作成依頼。		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

適用患者数集計 電子カルテ <診療科別>

診療科	適用数
内 科	191
外 科	52
産婦人科	894
泌尿器科	40
合 計	1177

入院患者に対するパスの適用率 (科別)

診療科	適用率
内 科	5.3%
外 科	5.4%
産婦人科	80.1%
泌尿器科	15.6%
合 計	11.6%

まとめ

- ・ H23年度 当院のパス(電子カルテ)適用頻度の多い疾患は、「自然分娩」「正常新生児」「大腸E MR」であった。
- ・ 短期入院・比較的安定した経過をたどる疾患のパス作成がなされていない。
- ・ 医師によりパス適用数のばらつきが大きい。

課題

- ・ パス作成に習熟していない (入院診療計画書・看護計画も組み入れられる) →パス作成の講習会開催
- ・ パスの利用率を高める
- ・ パスの種類を増やす
- ・ パスの改訂を行う

患者満足度向上委員会

委員会名	患者満足度向上委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	13名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	比嘉康文
委員名	【医 局】奥島憲彦(院長)、松元 悟 【看護部】西銘宣子、林 広江 【医療技術部】仲座義富、古波倉美登利、狩俣貴康 【事務部】金城 泰、宮良長男、比嘉 靖、比嘉康文、仲松一美 【人財開発室】比嘉一廣		
活動目的	患者さんに対する接遇向上と待ち時間短縮の向上を図る。 職場環境療養改善を図る。 患者さんの苦情・要望に対応する。		
活動内容	1) 年間を通じて接遇教育・研修計画をたてる 2) アンケート調査を実施する 3) 病院内をラウンドして改善箇所を把握する。 H23年度 目標 ①請求業務課・各外来の接遇力の底上げ。⇒接遇研修 ②接遇講師養成。⇒接遇指導者養成セミナーへの参加(9名参加) ③接遇の職場環境作り。		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

患者満足度向上委員会 & 新入職研修委員会

<H23年度・活動実績>

接遇指導者養成セミナー (輝くリーダーのための接遇指導者養成講座)

9月 講義(2回)・演習(2回)・行/カルテ(2回)・MSC(2回)・模擬演習(1回)

平成23年4月21日(木)・22日(金) 2日間

患者満足度向上委員会 & 新入職研修委員会

<H23年度・活動実績> 新入職者対象 接遇研修

平成23年4月21日(木) 当院2階講堂

新入職者 39名対象 講師: 新医療タイムズ 渡辺 恵 先生



患者満足度向上委員会 & 新入職研修委員会

H24年度・活動予定について

新入職者対象 接遇研修
中堅・役職者対象 接遇研修
外来患者・入院患者 満足度調査 <H24, 9月予定>
朝のあいさつ運動<継続>

患者満足度向上委員会

投書対策委員会

朝の挨拶運動をはじめ、職員皆様のご協力ありがとうございます。
この運動は、職員同士の「あいさつ」「自家」がないことから始まった運動です。
「職員同士」「来訪者」へ自分から声を出して、あいさつしましょう。
今後とも接遇向上に向けた取り組みをご理解の上、ご協力の程宜しくお願いいたします。

健康増進委員会

委員会名	健康増進委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	11名
事務局・担当部署	予防医学センター	担当者名	玉城義彦
委員名	【医 局】奥島憲彦、松元 悟、山本壽一、菅野善一郎 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】玉城道代、新垣優子、玉城義彦、長嶺敦司 【事務部】比嘉 靖、富里 等		
活動目的	職員の健康増進活動を支援する。		
活動内容	1) 健康増進に関する会議の開催 2) 健康増進に関する相談・指導 3) 健康増進のきっかけづくり 4) 部署・サークルの健康増進活動への支援 5) 健康増進に関する情報提供 6) 健康増進に関するニーズの集約 7) 健康増進に関する環境の整備 8) 健診後の生活指導の支援		
備考			

医療機器安全管理委員会

委員会名	医療機器安全管理委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	18名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城 安
委員名	【医 局】松元 悟、西原 実 【医療安全管理室】玉城秀美(専従看護師) 【看護部】西銘宣子、安村公均、中野久乃 【医療技術部】宮城竜也、大城 安、仲松晋也、神谷乗敏、石原 悟、栄野比智也、伊藤昌徳、吉田 裕、古波倉美登利 【事務部】新川 進、我謝三男		
活動目的	今日、わが国の高度先進医療を支えるものとして、驚異的な技術の進歩を遂げた医療機器があります。これらの高度化した多種多様の医療機器の持つ機能を、十分に発揮させると共に安全性を確保するには、計画的な保守と、適切な取り扱い技術の習得、効率の良い運用を専門的に行うことを目的とする。		
活動内容	1) 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保 ①機器故障、誤操作による事故発生の防止 ②院内修理、点検による修理点検コストの低減 ③医療機器の一括管理を推進し過剰設備を防止する(利用状況、適正保有台数の把握)		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

4、平成23年度活動実績

- 田中宏規先生講演会 7月20日
ニコベースのスロージョギングとスタッフ運動
- 秋の運動会(吉ノ浦体育館) 10月16日
参加者 150名超(4チーム振り分け)
- メンタルヘルス講演会 2月17日
講師 菅野 善一郎 先生
- セルフマッサージ部署対象講習会 MSC実施

ハートライフ病院 健康増進委員会

4、平成23年度活動実績

- 健康増進企画会議 毎月第4月曜日
- 健康増進委員会 非定期開催
- アンケート調査 適時実施
- 朝礼時のワンポイント体操 毎月朝礼時
- あすなろ紙面へスレッパ体操掲載 4月号
- 卓球大会(2階講堂) 6月22-24日

ハートライフ病院 健康増進委員会

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

23年度講習会実績 NO. 2

講習会名	講師	実施年月日	開催地	主 催	共 催
スリープ・ラボ	CHP	2011年10月20日	岡山県	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
心臓リハビリテーション		2011年10月20日	岡山県	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
PCV/PAH講習会		2011年10月20日	岡山県	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
PMX4C300P 点検実習講習会	トシコケン	2011年10月18日	K31	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
PCV講習会		2011年10月20日	K31	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
PCV講習会 ポイント講習会		2011年11月18日	K31	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
人工呼吸器講習会	サトウファーム 岡山県	2011年10月20日	岡山県	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県

23年度講習会実績 NO. 1

講習会名	講師	実施年月日	開催地	主 催	共 催
新人研修(インナー)	輪船ボンプメンテナンス	2011年4月20日	岡山県	主催: 看護部 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
新人研修(インナー)	心臓リハビリテーション	2011年4月20日	岡山県	主催: 看護部 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
心臓リハビリ	オムロンコロン	2011年10月18日	岡山県	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
日本実業学校講習会	ベータワークス	2011年10月18日	岡山県	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
基礎研修講習会	CHP	2011年10月20日	K31	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
新人研修(インナー)フォロー講習会	特約ケア・エス・ピー	2011年10月20日	岡山県	主催: 看護部 共催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県
新人研修(インナー)フォロー講習会	人工呼吸器について	2011年10月20日	岡山県	主催: 看護部 共催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会	共催: 岡山県

5、平成24年度活動計画

- 1) 朝礼時の体操(実施継続中)
- 2) 本島縦断駅伝(互助会共催:5/13実施済)
- 3) ラジオ体操推進活動
- 4) 卓球大会(8月中旬予定)
- 5) カロリー消費コンペ(8月~11月予定)

ハートライフ病院 健康増進委員会

5、平成24年度活動計画

- 6) 運動教室サポート(リユーズ利用:8月予定)
- 7) 健康講演会(メンソーレさん落語:9月予定)
- 8) 秋の運動会(互助会共催:10月予定)
- 9) 菅野先生メンタルヘルス講演会(調整中)
- 10) その他健康増進イベントの企画・開催

ハートライフ病院 健康増進委員会

23年度メンテナンス講習実績

講習会名	主 催	実施年月日	参加者
経年劣化のメンテナンス講習会(10P-610C)	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会 共催: トップ	2011年4月9日	神紀彦也、内室司、宮城道代、大澤廣太郎、長尾、新川桂一郎
輪船ボンプメンテナンス講習会(10P-30P)	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会 共催: JARI	2011年7月23日	新川桂一郎
人工呼吸器VILASの点検実習講習会	主催: 臨床工学科 共催: 医療機器安全管理委員会 共催: JARI	2011年7月30日	神紀彦也、新川桂一郎

院内研修(リスクマネジメント)勉強会

院内研修の様子を捉えた写真。講師がスクリーンを指しながら説明している様子が見える。

広報委員会

委員会名	広報委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	10名
事務局・担当部署	総務課広報係	担当者名	知念政治
委員名	【医 局】久場良也、嘉川春生 【看護部】中野久乃 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】吉川 忍、比嘉康文、宮城克己、砂川直樹、知念政治、仲田尚正		
活動目的	1) 院内の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外にPRする 2) 院内の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3) 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4) 院内における掲示物などに関して、規定を作成する。		
活動内容	法律や条例、各評価機関の定めに従った情報提供		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

年報作成委員会

委員会名	年報作成委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	9名
事務局・担当部署	総務課広報	担当者名	知念政治
委員名	【医 局】奥島憲彦、嘉川春生、菅野善一郎 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】仲座義富、玉城義彦 【事務部】當銘秀之、宮平奈美子、知念政治		
活動目的			
活動内容	病院年報の企画・データ収集・作成。 各科・各委員会・各部署それぞれの前年度実績報告会の企画・運営。		
備考			

平成23年度委員会別実績報告会発表資料より

救急・ICU 検討委員会

委員会名	救急・ICU 検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	17名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医 局】久場良也、佐久川 廣、與座 一、西原 実、新垣勝男、末吉健二、嘉川春生、城間丈二、 普天間光彦、平良直也、安里義秀、大西 勉、武田 理、照屋明子 【看護部】内間幸人、安村公均、粟盛信子		
活動目的	救急外来、ICUの運営上の諸問題、搬送患者の取り扱い、感染問題、治療実績、地域消防との連携、勉強会の開催等		
活動内容	1) BLS コース企画、運営 2) ICLS コース企画、運営 3) 救急、災害フェアへの参加(地域消防との連携により近隣のショッピングセンターにおいてBLS講習会を実施)		
備考			

図書委員会

委員会名	図書委員会		
委員長名	宮平 工	構成人数	6 名
事務局・担当部署	診療情報管理室・図書係	担当者名	宮城映子
委員名	【医 局】宮平 工 【看護部】西銘 宣子 【医療技術部】石原 悟 【事務部】比嘉 靖、宮城映子、柳 学		
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営をはかるため必要な事項等を審議検討することを目的とす。		
活動内容	図書委員会活動：委員長が招集し年 2 回開催。(4 月・10 月) 広報活動：「図書だより」を毎月 1 回発行し、院内各部署および他病院図書室などに配布。年 1 回所蔵目録の作成。		
備考			

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	5 名
事務局・担当部署	事務部長	担当者名	宮良長男
委員名	【医 局】奥島憲彦 【看護部】西銘宣子 【事務部】宮良長男、後原保光 【人材開発室】比嘉一廣		
活動目的	1) 21 世紀における、医療の質の向上に寄与するための人材確保 2) 各部門の現状把握と分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し経営に寄与する 3) 職員の採用(増員、補充、移動、その他)は人事検討委員会を通して検討する。 増員・補充に関しては理事会の承認を得る 4) 昇進人事を検討し理事会へ提案する。 5) 業務委託の検討		
活動内容	平成 23 年度人事委員会開催回数 16 回。承認された事案は理事会で審議され決定されます。 主な審議内容は①昇進人事②業務拡張等に伴う増員③退職・産休に伴う補充④時給・資格手当・等級表の見直しなどがあります。平成 23 年度の医業費用合計 54.5 億円のうち 給与費は 40.6 億円(74%)を占め、対医業収益比率では 51.6%に達します。 人事検討委員会では、病院の経営的な面と職員の活性化とのバランス取りながら運営を行っております。		
備考			

教育研修管理委員会

委員会名	教育研修管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	5 名
事務局・担当部署	看護部、副部長	担当者名	仲地ますみ
委員名	【医 局】久場良也、西原 実 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】宮良長男		
活動目的	医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携(ネットワーク)、IT 等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化・向上に寄与する。		
活動内容	1) 病院全体の教育・研修実施状況について以下を把握する。 ①年間計画と実績 ②各部門の教育・研修の現状 ③学会発表、参加状況 ④研修会(講習会)への参加状況 ⑤研修後の報告の有無 2) 外部からの研修(実習)実績の集約 3) その他		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	33 名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	中野久乃
委員名	【医 局】奥島憲彦、堤 真吾、大西 勉、上笹 航、狩俣かおり、西原 実、村山茂美、喜久本 藍、末吉健次、山入端敦、宮平 工、新垣 薫、武田 理、上原 健、宮城 敬、花城直次、親川 智、松元 悟、釜野武志、国吉史雄、新垣勝男、大城琢磨、佐久川陽子、澤岷安勝、渡慶次 学、嘉川春生、折田 均、波照間友基、井手上隆史、照屋明子、平良直也		
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制・職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。		
活動内容	月 1 回。 ここでは手術スケジュールの調整に関する事、手術室の安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事、機器の保守点検・新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。		
備考			

診療材料等管理検討委員会

委員会名	診療材料等管理検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	18 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	新川 進
委員名	【医 局】久場良也、松元 悟 【看護部】仲地ますみ、諸喜田久美、屋良ちえみ、森 富江、米須智子、藤本寿賀子、宮平典子、内間幸人、中野久乃、城田玲子、安村公均、小橋川春子 【医療技術部】神谷乗敏、大城 安、宮城竜也 【事務部】新川 進		
活動目的	診療材料等に関する方針および懸案事項を審議、調整する。		
活動内容	1) 診療材料・医療消耗品等に係る方針に関する事。 2) 購買管理・在庫管理・使用管理に関する事。 3) 発注事務等の改善に関する事。 4) 職員教育及び啓蒙に関する事。 5) 前各号に定めるもの他、理事長が必要と認める事項。		
備考			

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	10 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	新川 進
委員名	【医 局】松元 悟、久場良也 【看護部】西銘宣子、中野久乃 【医療技術部】神谷乗敏、宮城竜也、大城 安 【事務部】當眞嗣美、當銘秀之、新川 進		
活動目的	診療・業務レベルの維持向上、療養及び生姜環境の充実の為、経済効率も加味した適正な物品の購入を検討し、理事会に呈示する。		
活動内容	1) 良質で安全・安価な物品購入がなされているか監督する。 2) 効率的物品管理がなされているか監督する。 3) 物品購入は、各年度の予算内とする。		
備考			

クリニック設立委員会

委員会名	クリニック設立委員会		
委員長名	安里哲好 理事長	構成人数	10 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	仲里幸康
委員名	【医 局】安里哲好、松元 悟、佐久川 廣、與座 一、山本壽一、 【看護部】西銘宣子、林 広江 【医療技術部】宮城 竜、仲里幸康 【事務部】渡久地政重		
活動目的	平成 23 年 2 月 14 日に内科、小児科、糖尿病内科の 3 診療科を標榜するクリニック開院を目的に準備委員会を設立		
活動内容	平成 23 年 2 月 14 日に大委員会を設立 1) クリニック設計図の調整 2) 診療科別収支計画の審議 3) 設立準備委員会の人員と組織図の審議 平成 23 年 5 月 30 日に事務局と設立準備小委員会を設立 1) 予算案の審議 電子カルテ、医療機器、物品等について 2) クリニック要員の審議 医師、看護師、管理栄養士、放射線技師、臨床検査技師、臨床心理士、カフェ、運動施設、 クラーク、メディカルクラーク、請求業務課等の要員について 3) 関連部署との連携調整 総務課、財務課（金銭の対応等）、施設課（ライフライン、災害時対応等）、用度課（物品の発注・ 納品・請求等）、薬局（SPD の流れ等）、診療情報管理課、臨床検査科（SPD・SRL の流れ等） 地域連携室（患者の流れ・紹介等）、SSI		
備考			

写真で見る
ハートライフ病院の1年



救急症例検討会



細胞調整施設 (CPC) オープンセレモニー・記者会見



ハートライフクリニック地鎮祭



卓球大会



平成22年度 各部署実績報告会



いきいき講演会 ~いい病院を作りましょうパート2~



中部合同カンファレンス



看護師長対象BLS講習

4月

新入職員歓迎会
入職式
研修医オリエンテーション
クラウンコト라의バルーンショーと
榮野川 勉&つむい「コンサート」

東日本大震災救護班報告会
登録医との症例検討勉強会(消化器)
辞令交付式・災害派遣表彰式
ハートライフクリニック地鎮祭

科別実績報告会 1日目
感染対策講演会
BLS講習会
手洗い講習会

6月

卓球大会 1日目
【メデイエーション勉強会】
各委員会実績報告会 2日目
出前講演会
〜脳卒中について〜 小那覇公民館
出前健康講話
〜正しい薬の飲み方・使い方〜 我謝公民館

平成23年

新入職員総合オリエンテーション
看護部オリエンテーション
細胞調整施設 (CPC) オープンセレモニー・記者会見

救急症例検討会
【講習会】新入職員接遇講習会

化学療法勉強会
【講演会】いきいき講演会
〜良い病院をつくりましょう〜
科別実績報告会 2日目
化学療法勉強会

5月

卓球大会 2日目
【メデイエーション勉強会】
各委員会実績報告会 1日目
クラウンコト라의バルーンショー
手洗い講習会
ポリクリ実習生受け入れ
【講演会】DPCの現状とハートライフ病院の分析
各委員会実績報告会 1日目

7月

卓球大会 2日目
地域の中学生職場体験受け入れ
出前講演会〜運動療法で糖尿病予防〜
出前講演会〜心肺蘇生法について〜小橋川公民館

8月

救急症例検討会
【講演会】いきいき講演会
〜いい病院を作りましょうパート2〜
ハートライフ病院 開院23周年
【講演会】院内感染対策講演会
救急症例検討会

9月

医療安全講演会 1日目
【講演会】医療安全講演会 1日目
出前講演会〜認知症の予防について〜美味公民館
【講演会】院内感染対策講演会
クラウンコト라의バルーンレクチャー
【講演会】ニコニコペースの
ジョギングとステップ運動
出前講演会〜心肺蘇生法について〜小橋川公民館
出前講演会〜運動療法で糖尿病予防〜

心臓核医学勉強会
ICLS
DPC勉強会 1日目
メデイエーション学習会
看護部業務改善報告会
看護師長対象BLS講習
中部合同カンファレンス
(ハートライフ病院事務局)

院内研究発表事務予選
【講演会】いきいき講演会〜楽しい職場づくり〜
DPC勉強会 2日目
出前講演会
〜インフルエンザの予防について〜内間公民館
地域医療連携懇談会
がん化学療法勉強会

入職式・オリエンテーション



東日本大震災救護班報告会



各委員会実績報告会



出前講演会~脳卒中について~



出前講演会



ニコニコペースの
ジョギングとステップ運動



医療安全講演会



地域医療連携懇談会



東日本大震災災害救助医療派遣



平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分に発生した大地震。三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の地震は日本国内観測史上最大で、地震により日本のほかにも太平洋沿岸各国に達する津波が発生し、東北地方を中心に死者・行方不明者計 2 万人以上にのぼる甚大な被害を及ぼしました。

沖縄県では地震が発生した翌日の 3 月 12 日に、県下の救急関連病院間で係る災害の対応についての協議の結果、沖縄県医師会災害救助医療班を派遣することが決定され、3 月 15 日～6 月 1 日の 79 日間で 79 名が参加しました。

被害地域が広範囲にわたることもあり、全国各地からさまざまな団体が支援活動を進める中、沖縄県では完全自己完結型を方針とし、岩手県大槌町で亜急性期から慢性期までの医療支援にあたりました。1 回の派遣に医師・看護師・事務から成る 5～6 人のメンバー構成で、撤収までに 15 のグループが編成されました。当院からも第 3 陣～第 14 陣間に医師・看護師 8 名を、また沖縄県薬剤師会の災害派遣団に薬剤師 1 名が参加しました。

沖縄県医師会派遣：岩手県大槌町

	活動期	派遣期間	氏名	職種	現地の状況
初期	第3陣	3月25日～4月2日	仲地ますみ	看護師	ライフラインは発電機や給水車での対応。薬局が稼働し、薬剤取り寄せや長期処方が可能に。また慢性疾患や放置され悪化した外傷の対応。余震続く。
	第4陣	3月31日～4月6日	真栄城克匡	看護師	使用制限はあるがライフラインの復旧があり。地元の開業医師らの医療活動も始まる。余震続く。
中期	第5陣	4月3日～4月9日	嘉数智子	看護師	震度6弱の余震あり。仮庁舎完成。アレルギー性疾患、ストレスによる消化器症状、睡眠障害、うつ状態増加。保健師と協働で訪問診療、公衆衛生的環境の整備が進む。感染症サーベイ、心のケア。住民入浴サービス始まる。
	第6陣	4月8日～4月14日	下地博一	看護師	
	第7陣	4月13日～4月19日	菅野善一郎	医師	
後期	第8陣	4月18～4月24日	大西 勉	医師	仮庁舎で役場再開。地元の開業医診療再開。県立病院仮設診療所設置。派遣チームの診療時間縮小。インフルエンザ増。
	第12陣	5月8～5月14日	普天間光彦	医師	
	第14陣	5月19～5月26日	国吉史雄	医師	

沖縄県薬剤師会派遣：宮城県石巻市

活動期	派遣期間	氏名	職種	現地の状況
	4月7日～4月12日	西澤香織	薬剤師	薬剤師による地域巡回。現地医療支援チームのサポート。



■安里理事長と災害救助医療派遣に参加したみなさん■

左から、産婦人科部長の大西勉、心療内科の菅野善一郎、看護副部長の仲地ますみ、理事長の安里哲好、NST 専任看護師の嘉数智子、看護師の真栄城克匡と下地博一、外科の国吉史雄。

編集後記

平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月までのハートライフ病院の診療実績や活動状況、イベントなどをまとめた平成 23 年度ハートライフ病院の年報が完成いたしました。ハートライフ病院の一年間の実績がわかる素晴らしい年報になったと思います。年報委員会のメンバーが月一回集まり、喧々諤々の議論をしながらデータを収集し、苦勞をしながらやっと完成しました。ご苦勞いただいた編集委員の皆様から感謝申し上げます。特に、資料のまとめに多大な時間を費やし、常に先頭に立って頑張ってください、数字の羅列で無味乾燥になりがちな年報に写真で一年を振り返ることができる楽しい工夫をしてくださった、広報の知念さんと仲田さんは影の立役者だと思います。今年度は各科実績報告会、各部署実績報告会、各委員会実績報告会から年報作成までの手順が確立したと思います。次年度からはより短時間で年報作成ができる事を期待いたします。この年報を職員一人一人がご覧いただき、この一年のお互いの頑張りを讃え合っていただきたいと思います。また、お互いに足りない点や課題を指摘しあい来年度の発奮材料にしていただければ幸いです。

編集委員長 奥島憲彦

データ収集にご協力頂きました、各部署の皆様
ありがとうございました。
年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長 奥島憲彦（ハートライフ病院院長）
副委員長 嘉川春生（泌尿器科部長）
委員 菅野善一郎（心療内科医長）
仲地ますみ（看護副部長）
仲座義富（放射線科技師長）
玉城義彦（リハビリテーション科療法士長）
當銘秀之（事務部長）
山本亜矢子（診療情報管理室）
島袋 絢（診療情報管理室）
知念政治（広報担当副主任）
仲田尚正（広報担当）

ハートライフ病院 平成 23 年度年報
第 18 巻
平成 25 年 3 月

編集発行人 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
年報編集委員会
〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 . (098) 895-3255 (代) FAX. (098) 895-2534
URL. <http://www.heartlife.or.jp/>